

がん研究会有明病院



年 報

2020 年



目 次

はじめに

1. 理念・基本方針	1
2. 2020 年の動き	2
3. 組織図	3
4. 職員数	6
5. 診療科と責任者	7
6. 学会認定・指定・施設基準等	10
7. 統計資料	16
外来・入院実績	17
疾患別入院患者数	18
地区別外来患者数（総数）	21
◆全国	21
◆東京都	22
病理検査	23
病理検査・細胞診検査件数	23
CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数	24
内視鏡検査数・超音波検査数	25
院内がん登録集計	26
①部位別・男女別件数	26
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	27
③主要 5 部位治療別件数	28
④治療別件数	29
⑤ステージ別件数	30
⑥部位別・年齢別件数	31
⑦症例区分別件数	32
8. 一般公開講座	33
9. 学会・研究発表業績	34
10. 雑誌・単行本発表業績	98
11. 獲得研究費一覧	182
12. 学術研究講演	186
13. 財政状況	187

はじめに

2020 年のがん研有明病院年報をお届けいたします。新型コロナウイルスの大打撃を受けた 1 年の記録です。2005 年に大塚から有明に移転して以来ずっと増え続けていた新規患者数と手術件数が、初めて、そして大きく減少しました。この年報が完成した 2021 年の秋、ようやく回復の傾向がしっかり見えてきたとはいえ、元に戻るにはまだ時間がかかりそうです。

2019 年まで、がん診療の発展と拡大に向けて走り続けてきたがん研有明病院でしたが、2020 年はひたすら守りに入りました。健診センターを閉鎖し、入院患者の面会を禁止し、職員には厳しい行動規制を求め、コロナウイルスの持ち込みを徹底的に抑えました。当院には毎日 1,700 名の外来患者さんが通院していましたが、殺到する問い合わせに再診コールセンターがパンクしたため、医師が手分けして自分の担当患者に電話して再診を延期したり促したりしました。感染第 1 波の緊急事態宣言時には、多くの病院が診療を縮小する中、「がん診療最後の砦作戦」と称して週末にも手術室を稼働させましたが、がん患者の受診控えはどうにも止められませんでした。年末の感染者急増時には、東京都福祉保健局からの要請に応え、特定機能病院としての責務を果たすためにコロナ専用病棟を開設しました。

大変重苦しい空気に覆われ続けた 1 年でしたが、英文論文の発表数が増えたことは朗報でした。当院の医師が筆頭著者となってインパクトファクターが 2 以上の医学雑誌に掲載された論文が 150 篇を超えていました。職員のがん診療にかける思いとそれをきちんと世に示そうとする姿勢を、管理者として誇らしく思います。来年はもっと明るいご報告をしたいと心から思う次第です。

2021 年 11 月吉日

公益財団法人がん研究会 有明病院
病院長 佐野 武

1. 理念・基本方針

未来を担う理想のがん専門病院となるために、病院の理念・基本方針として次の**使命(Mission)**、共有する**価値観(Core Values)**、**将来展望(Vision)**を定めました。

これに基づき、私たちは最高の医療を提供するとともに、下記の「患者さんの権利」を尊重した、やさしく心の通った医療を実践してまいります。

◆基本理念

「がん研究会はがん克服をもって人類の福祉に貢献する」

この基本理念達成のために、がん研究会は 研究所、病院およびがん化学療法センター等を擁し

1. がんの本態と個性を明らかにし、がんの診断・治療・予防に貢献すると共に、生命科学の先端を開拓する。
2. 優れたがんの診断・治療を実践し、がんを治す。
3. がんの新薬と新しい診断・治療法を開発する。
4. がんの予防研究と一次・二次予防の実践により、がんの発生と死亡を抑える。
5. がんの研究・診療・予防の、国内および国際交流を促進する。

◆使命・価値観・将来展望

使 命	Mission	「がん克服をもって人類の福祉に貢献する」
価 値 観	Core Values	「創造・革新・高質・親切・協調」
将来展望	Vision	「がんの診療・研究において世界に誇るがん研となる」

◆基本方針

1. 新しいがん医療の創造に努めます
2. 安全かつ質の高いがん医療を提供します
3. 患者さん中心の親切ながん医療を行います
4. 臓器別診療に基づくチーム医療を実践します
5. 人間性豊かな医療人の育成に努めます

◆患者さんの権利

1. 基本的人権に基づき、高質の医療を等しく受けることができます。（基本的人権）
2. 十分な説明と情報提供を受けることができます。（十分な説明と情報提供）
3. 自己の意思に基づいて診療を受けることができます。（治療の自己決定）
4. 自己の受けた診療内容を知ることができます。（情報公開）
5. 個人情報及び医療情報は十分に保護され秘密が守られます。（個人情報保護）

例えば・・・

- セカンドオピニオンを求めることができます。
- 診療を受けることも、拒否することもできます。
- 一方、自己決定したことに対して責務が存在することをご理解ください。
- 診療内容、診療記録等について知りたいときは説明・開示をお求めください。

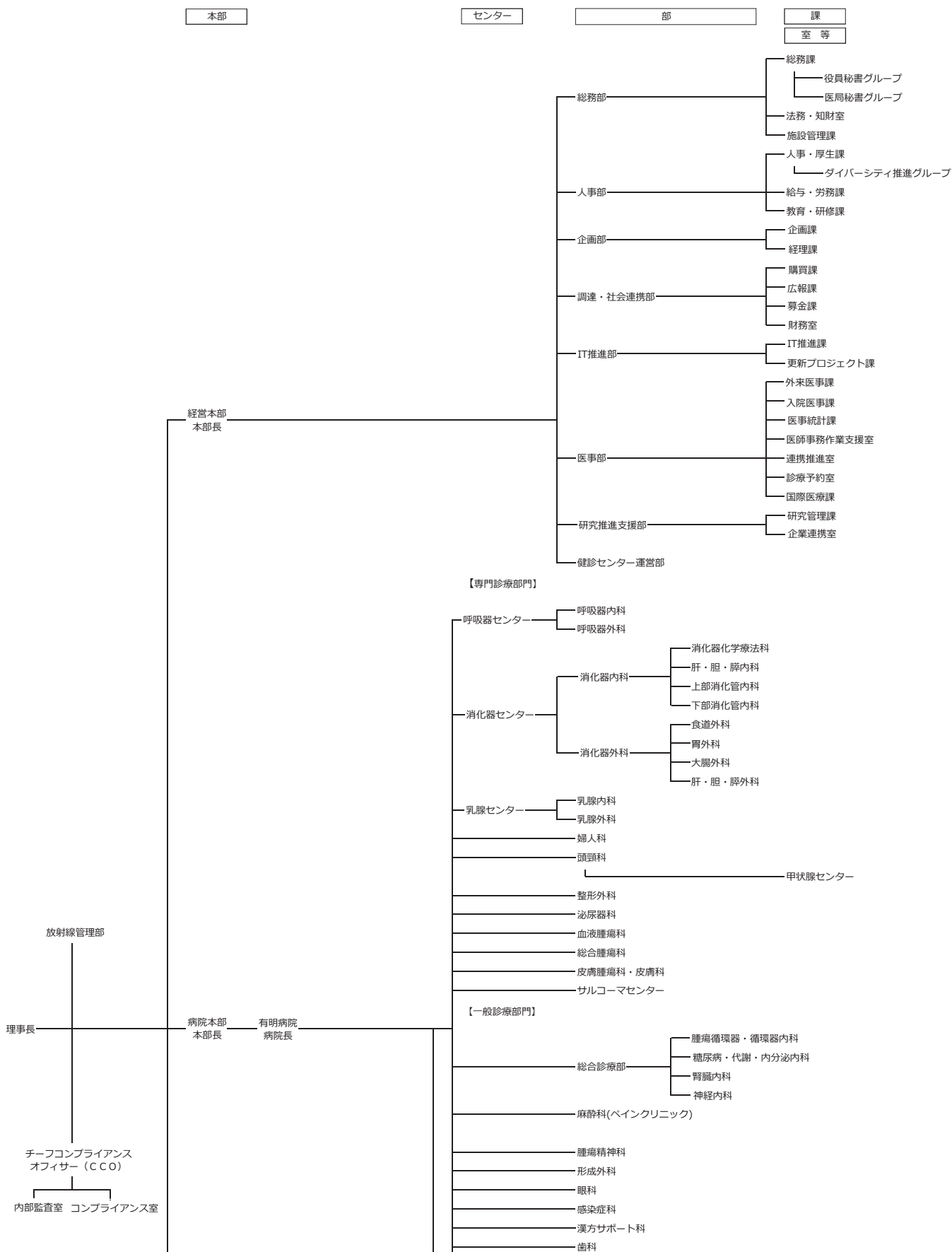
なお、新しい治療法開発のために必要な臨床試験をお願いすることがありますのでご理解下さい。

2. 2020年の動き

- 1月6日 がん研究会新年祝賀式典並びに永年勤続者等表彰式が挙行される。
25年勤続表彰者8名、10年勤続表彰者57名、がん研究会特別賞2名1グループ、チーム表彰3チーム、優良賞2名、感謝状1社
- 3月17日 Best English Paper of the Yearの授賞式が挙行される。
ゴールド賞1名、シルバー賞2名、ブロンズ賞5名
- 4月9日 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、健診センターを一時休止し、発熱スクリーニングの充実を図る。
- 4月20日 クラウドファンディング第二弾プロジェクト「治療法未解明の『原発不明がん』克服の希望となる研究の第一歩へ」を実施し、34,605,000円（総勢686名）のご寄付が集まる。
- 6月17日 第20回定時評議員会・第100回理事会が開催される。
- 7月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、休止していた健診センターが再開される。
- 10月26日 中長期戦略2030が開始される。
- 10月28日 細胞検査士養成所の令和2年度卒業式（総勢13名）が挙行される。
- 12月16日 第21回臨時評議員会・第105回理事会が開催される。
- 12月22日 1階PCR検査室の使用を開始する。
- 12月25日 東京都の協力要請に沿って、病棟への新型コロナウイルス患者の受け入れを開始する。

3. 組織図

【2020 年 12 月 1 日】



本部

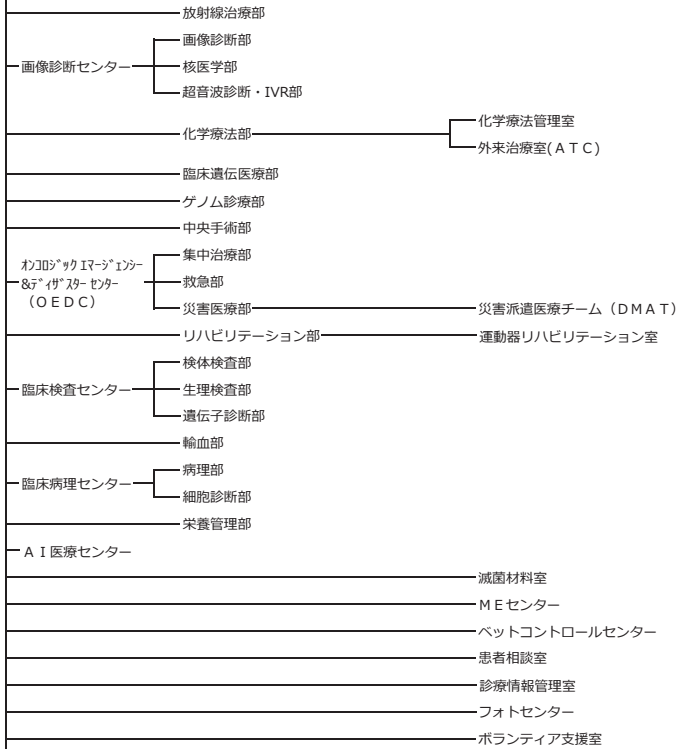
センター

部

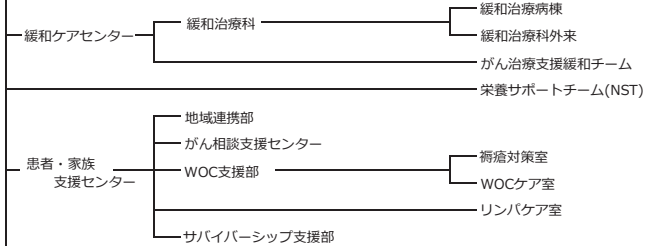
課

室等

【中央診療部門】



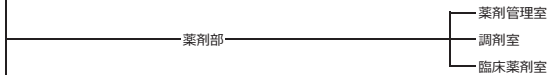
【トータルケア部門】



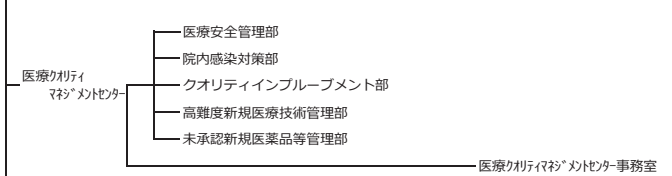
【看護部門】

看護部

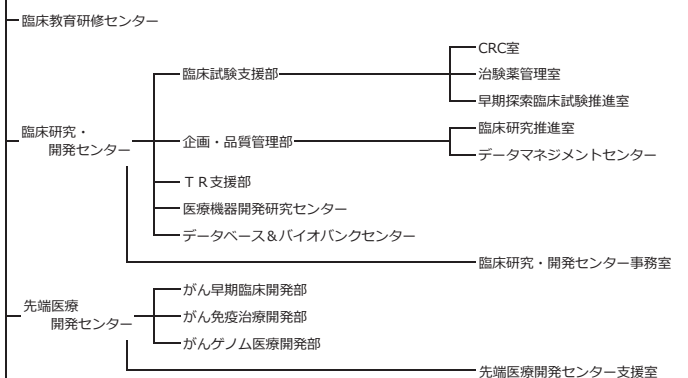
【薬剤部門】

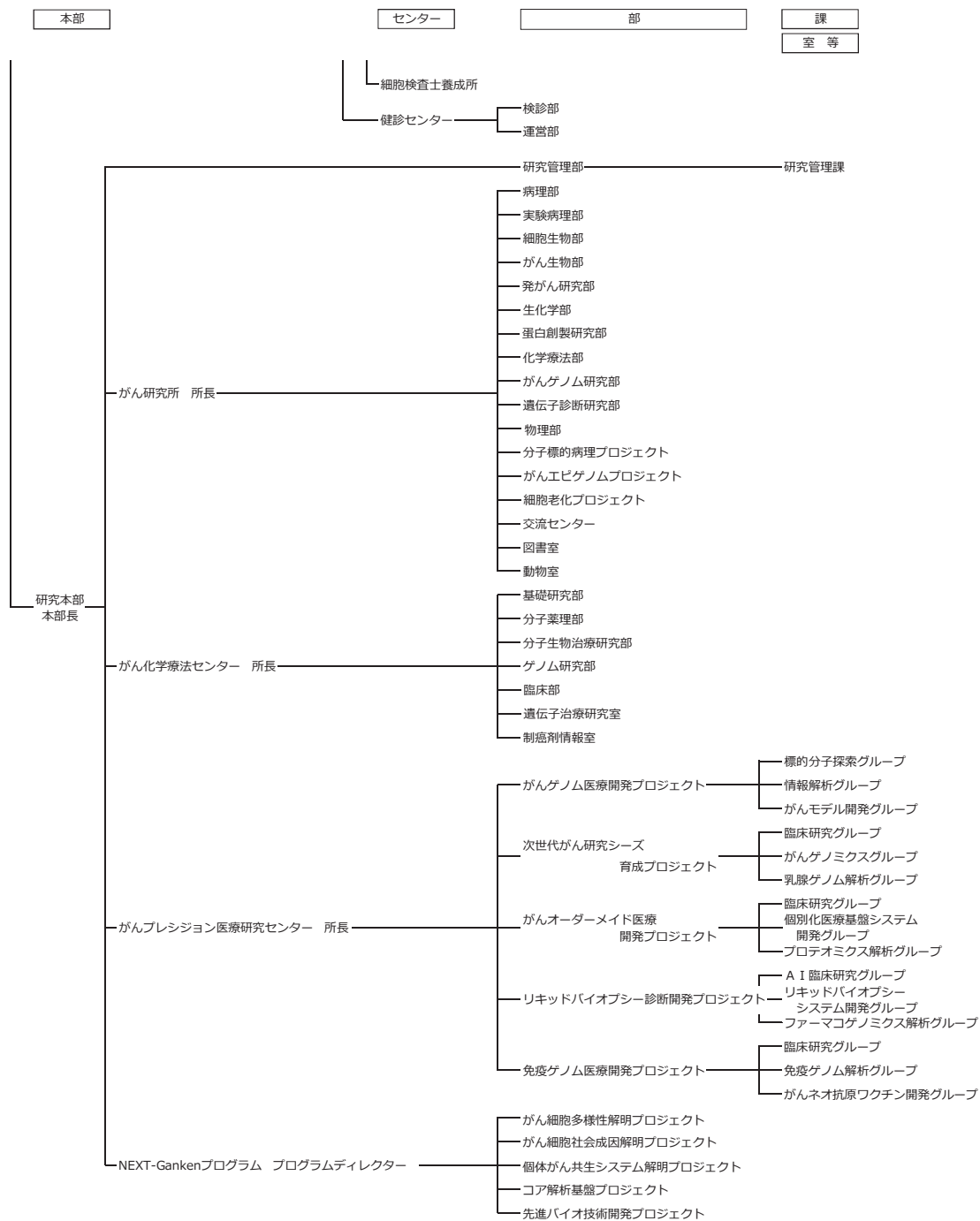


【医療クオリティマネジメント部門】



【臨床教育・研究部門】





4. 職員数

【2020 年 12 月】

	事務部門	病院部門	研究部門	合計	非常勤職員
医師	1	358		359	163
薬剤師	0	66		66	1
看護師	0	852		852	8
臨床検査技師	0	87		87	1
診療放射線技師	0	85		85	0
栄養士	0	17		17	1
事務職員	73	155	11	239	32
研究員	1	5	87	93	14
その他	0	201	74	275	42
計	75	1826	172	2073	262

5. 診療科と責任者

【2020年12月1日】

名誉院長	武藤 徹一郎（消化器外科）・中川 健（呼吸器外科）・
病院長	門田 守人（消化器外科）・山口 俊晴（消化器外科）
副院長	佐野 武（消化器外科）
院長補佐	大野 真司（乳腺センター）・小口 正彦（AI 医療センター）・
	高橋 俊二（総合腫瘍科）・渡邊 雅之（消化器外科）・
	清水 多嘉子（看護部）
	米瀬 淳二（泌尿器科）・奥村 栄（中央手術部）・
	山口 研成（消化器内科）・伊藤 良則（化学療法部）・
	濱 敏弘（薬剤部）
顧問	福井 巖（泌尿器科）・宝来 威（呼吸器内科）・
	三木 一正（消化器内科）・河野 敦（画像診断部）・
	高橋 寛（健診センター）・五十嵐 正広（消化器内科）・
	松本 誠一（整形外科）
呼吸器センター	センター長 西尾 誠人
呼吸器内科	部長 西尾 誠人
	副部長 柳谷 典子
呼吸器外科	部長 文 敏景
消化器センター	センター長 福長 洋介
消化器内科	部長 藤崎 順子
消化器化学療法科	部長 山口 研成
	副部長 陳 勁松
肝・胆・膵内科	部長 笹平 直樹
	副部長 尾阪 将人
上部消化管内科	副部長 佐々木 隆
	部長 藤崎 順子
	副部長 平澤 俊明
	副部長 由雄 敏之
下部消化管内科	副部長 石山 晃世志
	部長 斎藤 彰一
	副部長 千野 晶子
消化器外科	部長 渡邊 雅之
食道外科	部長 渡邊 雅之
胃外科	部長 布部 創也
	副部長 大橋 学
大腸外科	部長 福長 洋介
	副部長 秋吉 高志
肝・胆・膵外科	部長 高橋 祐
	副部長 井上 陽介
乳腺センター	センター長 大野 真司
乳腺内科	部長 高野 利実
乳腺外科	部長 上野 貴之
	副部長 宮城 由美
	副部長 森園 英智
婦人科	部長 金尾 祐之
頭頸科	部長 三谷 浩樹

整形外科	部長	阿江 啓介
泌尿器科	部長	米瀬 淳二
	担当部長	山本 真也
	担当部長	湯浅 健
	副部長	沼尾 昇
血液腫瘍科	部長代行	横山 雅大
総合腫瘍科	部長	高橋 俊二
皮膚腫瘍科・皮膚科	部長	中山 耕之介
サルコーマセンター	センター長	松本 誠一
総合診療部	部長	中山 耕之介
	副部長	志賀 太郎
腫瘍循環器・循環器内科	部長	志賀 太郎
糖尿病・代謝・内分泌内科	部長	中山 耕之介
	副部長	北澤 公
腎臓内科	—	—
神経内科	—	—
麻酔科（ペインクリニック）	部長	横田 美幸
	副部長	関 誠
腫瘍精神科	部長	清水 研
形成外科	部長	矢野 智之
眼科	部長	辻 英貴
感染症科	部長	大野 真司
漢方サポート科	—	—
歯科	部長	富塚 健
放射線治療部	部長	吉岡 靖生
画像診断センター	センター長	寺内 隆司
画像診断部	部長代行	寺内 隆司
	副部長	負門 克典
	副部長	田中 優美子
	副部長	上田 和彦
	副部長	菊池 真理
	副部長	田中 宏子
核医学部	部長	寺内 隆司
	副部長	小山 眞道
超音波診断・I V R 部	部長	松枝 清
	副部長	海老原 文
化学療法部	部長	伊藤 良則
臨床遺伝医療部	部長	中島 健
ゲノム診療部	部長	高橋 俊二
中央手術部	部長	奥村 栄
オンコロジックエマージェンシー&ディザスターセンター（OEDC）	センター長	横田 美幸
集中治療部	部長	横田 美幸
救急部	部長	横田 美幸
災害医療部	部長	横田 美幸
リハビリテーション部	部長	阿江 啓介
臨床検査センター	センター長	中山 耕之介
検体検査部	部長	中山 耕之介
	副部長	海老原 文
生理検査部	部長	中山 耕之介

遺伝子診断部	部長	三木 義男
輸血部	部長	横山 雅大
臨床病理センター	センター長	竹内 賢吾
病理部	部長	河内 洋
細胞診断部	部長	杉山 裕子
栄養管理部	部長	熊谷 厚志
A I 医療センター	センター長	小口 正彦
緩和ケアセンター	センター長	川原 玲子
緩和治療科	部長	川原 玲子
患者・家族支援センター	センター長	大野 真司
地域連携部	部長	唐渡 敦也
がん相談支援センター	センター長	花出 正美
WOC 支援部	部長	松浦 信子
サバイバーシップ支援部	部長	大野 真司
看護部	部長	清水 多嘉子
	副部長	中原 由美子
	副部長	北野 雅子
	副部長	長井 優子
薬剤部	部長	濱 敏弘
	副部長	清水 久範
医療クオリティマネジメントセンター	センター長	大野 真司
医療安全管理部	部長	山本 豊
院内感染対策部	部長	大野 真司
	副部長	羽山 ブライアン
クオリティインプループメント部	部長	西尾 誠人
高難度新規医療技術管理部	部長	高橋 祐
未承認新規医薬品等管理部	部長	濱 敏弘
臨床教育研修センター	センター長	伊藤 良則
臨床研究・開発センター	センター長	山口 研成
臨床試験支援部	部長	高橋 俊二
企画・品質管理部	部長	山口 研成
	副部長	石塚 直樹
TR 支援部	部長	渡邊 雅之
	副部長	長山 聡
医療機器開発研究センター	センター長	矢野 智之
データベース & バイオバンクセンター	センター長	小口 正彦
	副センター長	渡邊 雅之
先端医療開発センター	センター長	佐野 武
	センター長代行	高橋 俊二
がん早期臨床開発部	部長	古川 孝広
がん免疫治療開発部	部長	北野 滋久
がんゲノム医療開発部	部長	上野 貴之
細胞検査士養成所	所長	杉山 裕子
健診センター	センター長	土田 知宏
	名誉センター長	中川 健
検診部	部長	宇津木 久仁子
運営部	部長	常田 茂
	副部長	田中 正典

6. 学会認定・指定・施設基準等

1. 都道府県がん診療連携拠点病院の指定

がん研究会有明病院は、平成 14 年 3 月に厚生労働大臣から地域がん診療拠点病院の指定を受けておりましたが、その後の新たな制度下においても、継続して 2019 年 3 月に都道府県（東京都）がん診療連携拠点病院の指定を受けております。

2. 学会認定教育修練研修機関

当院は次の学会の認定医・専門医療制度の研修施設指定を受けております。

- | | |
|----------------|------------------|
| 1) 日本医学放射線学会 | 20) 日本ペインクリニック学会 |
| 2) 日本病理学会 | 21) 日本乳癌学会 |
| 3) 日本内科学会 | 22) 日本臨床細胞学会 |
| 4) 日本外科学会 | 23) 日本形成外科学会 |
| 5) 日本消化器外科学会 | 24) 日本放射線腫瘍学会 |
| 6) 日本消化器内視鏡学会 | 25) 日本整形外科学会 |
| 7) 日本麻酔科学会 | 26) 日本婦人科腫瘍学会 |
| 8) 日本眼科学会 | 27) 日本肝胆膵外科学会 |
| 9) 日本産科婦人科学会 | 28) 日本がん治療認定医機構 |
| 10) 日本泌尿器科学会 | 29) 日本甲状腺学会 |
| 11) 日本消化器病学会 | 30) 日本頭頸部外科学会 |
| 12) 日本臨床腫瘍学会 | 31) 日本皮膚科学会 |
| 13) 日本静脈経腸栄養学会 | 32) 日本総合病院精神医学会 |
| 14) 日本呼吸器学会 | 33) 日本感染症学会 |
| 15) 日本大腸肛門病学会 | 34) 日本救急医学会 |
| 16) 日本耳鼻咽喉科学会 | 35) 日本消化管学会 |
| 17) 日本超音波医学会 | 36) 日本緩和医療学会 |
| 18) 日本血液学会 | 37) 日本集中治療医学会 |
| 19) 日本核医学会 | 38) 日本食道学会 |

3. 施設基準の指定

がん研究会有明病院における関東信越厚生局長から指定を受けている基本診療料、特掲診療料等にかかる施設基準については、次の通りです。

基本診療料の施設基準

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1) 歯科外来診療環境体制加算 1 | 15) 感染防止対策加算 1—抗菌薬使用適正加算 |
| 2) 特定機能病院入院基本料 7 : 1 | 16) 患者サポート充実体制加算 |
| 3) 救急医療管理加算 | 17) 褥瘡ハイリスク患者ケア加算 |
| 4) 診療録管理体制加算 1 | 18) 後発医薬品使用体制加算 3 |
| 5) 医師事務作業補助体制加算 1 30 : 1 | 19) 病棟薬剤業務実施加算 1 |
| 6) 急性期看護補助体制加算 50 : 1 | 20) 病棟薬剤業務実施加算 2 |
| 7) 看護職員夜間配置加算 12 : 1 配置加算 1 | 21) データ提出加算 2 及び 4 |
| 8) 療養環境加算 | 22) 入退院支援加算 1—入院時支援加算 |
| 9) 重症者等療養環境特別加算 | 23) 総合評価加算 |
| 10) 無菌治療室管理加算 1 | 24) せん妄ハイリスク患者ケア加算 |
| 11) 無菌治療室管理加算 2 | 25) 特定集中治療室管理料 3 |
| 12) 緩和ケア診療加算 | —早期離床・リハビリテーション加算、 |
| 13) 栄養サポートチーム加算 | 早期栄養介入管理加算 |
| 14) 医療安全対策加算 1 | 26) 日本感染症学会 |

特掲診療料の施設基準

- 1) 歯科疾患管理料の注 11 に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- 2) がん性疼痛緩和指導管理料
- 3) がん患者指導管理料イ
- 4) がん患者指導管理料ロ
- 5) がん患者指導管理料ハ
- 6) がん患者指導管理料ニ
- 7) 婦人科特定疾患治療管理料
- 8) 外来緩和ケア管理料
- 9) 小児運動器疾患指導管理料
- 10) 夜間休日救急搬送医学管理料—救急搬送看護体制加算
- 11) 外来放射線照射診療料
- 12) ニコチン依存症管理料
- 13) 療養・就労両立支援指導料—相談支援加算
- 14) がん治療連携計画策定料
- 15) 薬剤管理指導料
- 16) 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- 17) 医療機器安全管理料 1
- 18) 医療機器安全管理料 2
- 19) 遺伝学的検査
- 20) BRCA 1 / 2 遺伝子検査
- 21) がんゲノムプロファイリング検査
- 22) HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 23) ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
- 24) 検体検査管理加算（Ⅰ）

- 25) 検体検査管理加算（Ⅳ）
- 26) 国際標準検査管理加算
- 27) 遺伝カウンセリング加算
- 28) 遺伝性腫瘍カウンセリング加算
- 29) ロービジョン検査判断料
- 30) 画像診断管理加算 1
- 31) 画像診断管理加算 2
- 32) ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影
- 33) CT 撮影及び MRI 撮影
- 34) 冠動脈 CT 撮影加算
- 35) 乳房 MRI 撮影加算
- 36) 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 37) 外来化学療法加算 1
- 38) 無菌製剤処理料
- 39) 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
- 40) 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- 41) 呼吸器リハビリテーション料（Ⅱ）
- 42) がん患者リハビリテーション料
- 43) リンパ浮腫複合的治療料
- 44) 集団コミュニケーション療法料
- 45) 歯科口腔リハビリテーション料 2
- 46) 処置の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
- 47) 導入期加算 1
- 48) CAD/CAM 冠
- 49) センチネルリンパ節加算
- 50) 四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算
- 51) 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
- 52) 骨移植術（軟骨移植術を含む。）
（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。））
- 53) 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
- 54) 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
- 55) 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
- 56) 乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRI によるもの）
- 57) 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）
（乳がんセンチネルリンパ節加算 1）
- 58) 乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）
（センチネルリンパ節生検（併用））
- 59) 乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
- 60) 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 61) 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 62) 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 63) 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 64) 腹腔鏡下臍頭部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 65) ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）

- 66) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
- 67) 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は 1 肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 68) 食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
- 69) 大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
- 70) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（後腹膜）
- 71) 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
- 72) 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
- 73) 腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 74) 腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 75) 腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）
- 76) 腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 77) 胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）
- 78) 腹腔鏡下肝切除術
- 79) 腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
- 80) 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
- 81) 腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
- 82) 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 83) 腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 84) 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 85) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 86) 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 87) 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- 88) 人工尿道括約筋植込・置換術
- 89) 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 90) 腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 91) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 92) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）
- 93) 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）
- 94) 手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
- 95) 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
（医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に規定する手術）
- 96) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術
（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）
- 97) 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 19 に規定する手術
（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）
- 98) 輸血管理料Ⅱ
- 99) 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 100) 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 101) 歯周組織再生誘導手術

- 102) 麻酔管理料（Ⅰ）
- 103) 麻酔管理料（Ⅱ）
- 104) 放射線治療専任加算
- 105) 外来放射線治療加算
- 106) 高エネルギー放射線治療
- 107) 1 回線量増加加算
- 108) 強度変調放射線治療（IMRT）
- 109) 画像誘導放射線治療（IGRT）
- 110) 体外照射呼吸性移動対策加算
- 111) 定位放射線治療
- 112) 定位放射線治療呼吸移動対策加算
- 113) 画像誘導密封小線源治療加算
- 114) 病理診断管理加算 2
- 115) デジタル病理画像による病理診断
- 116) 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 117) 口腔病理診断管理加算 2
- 118) クラウン・ブリッジ維持管理料
- 119) 歯科点数表の初診料の注 1 に規定する施設基準

酸素及び窒素の価格

入院時食事療養(Ⅰ)の施設基準

実施報告が必要なもの

- 1) 特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書
- 2) 病床数が 200 床以上の病院について受けた初診,再診の実施報告書
- 3) 180 日を超える入院の実施(変更)報告書
- 4) 金属床による総義歯の提供の実施報告書

4. その他の指定

- 1) 指定自立支援医療機関（更生医療・育成医療）
- 2) 生活保護法指定医療機関
- 3) 東京都災害拠点病院
- 4) 臨床研修指定病院
- 5) 都道府県がん診療連携拠点病院
- 6) 救急告示医療機関
- 7) 休日・全夜間診療事業実施医療機関（東京都指定二次救急医療機関）
- 8) 外国医師臨床修練病院
- 9) 日本医療機能評価機構認定病院
- 10) 労災指定病院
- 11) 特定機能病院
- 12) がんゲノム医療拠点病院

5. 外来の受付時間（初診・再診）

月～金曜日 午前 8 時 30 分～正午

6. 休診日

土曜・日曜・祝祭日・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

7. 面会時間

平 日 : 午後 2 時～午後 8 時（総合案内／正面玄関手続き）
（ICU は午後 2 時 30 分～午後 7 時 30 分）

土・日・祝日 : 午前 10 時～午後 8 時（守衛室／救急時間外入口手続き）
（ICU は午前 10 時 30 分～午後 7 時 30 分）

※新型コロナウイルス感染対策のため、面会を制限している期間がありました。

7. 統計資料

外来・入院実績	17
疾患別入院患者数	18
地区別外来患者数（総数）	21
◆全国	21
◆東京都	22
病理検査	23
病理検査件数・細胞診検査件数	23
CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数	24
内視鏡検査件数・超音波検査件数	25
院内がん登録集計	26
①部位別・男女別件数	26
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）	27
③主要 5 部位治療別件数	28
④治療別件数	29
⑤ステージ別件数	30
⑥部位別・年齢別件数	31
⑦症例区分別件数	32

外来・入院実績【2020年1月～12月】

科名	初診患者数	外来延患者数	入院患者数	延患者数
呼吸内	469	15,152	1,418	17,593
呼吸外	289	8,165	524	4,450
食道外	145	3,871	193	4,538
胃外科	335	8,129	534	6,596
大腸外	562	16,039	1,006	15,550
消化療	176	23,247	1,459	15,681
上消内	840	13,129	828	5,408
下消内	632	7,492	536	2,776
肝胆外	345	9,297	696	12,739
肝胆内	457	19,467	1,234	10,738
乳腺外	1,386	41,244	1,147	9,555
乳腺内	27	18,856	334	3,709
婦人科	1,531	33,874	2,474	24,361
頭頸科	822	26,376	582	13,755
整形外	960	9,338	849	12,089
泌尿器	804	24,981	1,514	13,625
血液腫	204	12,147	809	11,216
総腫瘍	86	5,999	486	9,851
放射線	274	28,541	0	0
総内科	577	9,907	0	0
腫瘍循	177	2,009	0	0
内分泌	85	2,658	0	0
腎臓内	4	91	0	0
神経内	3	46	0	0
脳外科	2	16	0	0
腫瘍精	89	1,338	0	0
眼科	240	5,087	44	310
皮膚科	319	2,888	32	466
歯科	1,411	7,719	0	0
形成外	78	7,979	319	2,703
麻酔科	113	1,738	0	0
救急部	299	721	11	19
緩和	110	1,542	97	7,102
放診断	3	143	0	0
健内科	13	2,622	0	0
臨床遺	43	1,002	0	0
患者支	0	264	0	0
漢方サ	7	162	0	0
感染症	19	65	0	0
地域連	0	23	0	0
がん相談	0	421	0	0
WOC	3	947	0	0
ゲノム	61	345	0	0
先端C	7	23	6	21
が早期	1	6	0	0
が免疫	0	3	0	0
	14,008	375,109	17,132	204,851

疾患別入院患者数【2020 年】

退院患者延べ数(第10回国際疾病分類による)

病 名	男	女	合計
総数①+②+③	8,602	9,485	18,087
①悪性新生物(C00-C97)	7,432	7,881	15,313
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物(C00-C14)	387	135	522
C 00 口唇の悪性新生物	0	0	0
C 01 舌根〈基底〉部の悪性新生物	9	5	14
C 02 その他及び部位不明の舌の悪性新生物	54	38	92
C 03 歯肉の悪性新生物	33	28	61
C 04 口腔底の悪性新生物	6	3	9
C 05 口蓋の悪性新生物	5	2	7
C 06 その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	8	3	11
C 07 耳下腺の悪性新生物	10	6	16
C 08 その他及び部位不明の大唾液腺の悪性新生物	3	9	12
C 09 扁桃の悪性新生物	2	0	2
C 10 中咽頭の悪性新生物	74	15	89
C 11 鼻<上>咽頭の悪性新生物	21	5	26
C 12 梨状陥凹<洞>の悪性新生物	58	7	65
C 13 下咽頭の悪性新生物	104	14	118
C 14 その他及び部位不明確の口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	0	0	0
消化器の悪性新生物(C15-C26)	3,495	2,093	5,588
C 15 食道の悪性新生物	759	153	912
C 16 胃の悪性新生物	882	520	1,402
C 17 小腸の悪性新生物	20	18	38
C 18 結腸の悪性新生物	430	430	860
C 19 直腸 S 状結腸移行部の悪性新生物	4	9	13
C 20 直腸の悪性新生物	479	326	805
C 21 肛門及び肛門管の悪性新生物	9	14	23
C 22 肝及び肝内胆管の悪性新生物	175	59	234
C 23 胆のう<嚢>の悪性新生物	46	42	88
C 24 その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	174	49	223
C 25 膵の悪性新生物	508	463	971
C 26 その他及び部位不明確の消化器の悪性新生物	9	10	19
呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物(C30-C39)	1,151	669	1,820
C 30 鼻腔及び中耳の悪性新生物	11	7	18
C 31 副鼻腔の悪性新生物	10	7	17
C 32 喉頭の悪性新生物	67	5	72
C 33 気管の悪性新生物	1	0	1
C 34 気管支及び肺の悪性新生物	1,040	641	1,681
C 37 胸腺の悪性新生物	20	9	29
C 38 心臓、縦隔及び胸膜の悪性新生物	2	0	2
C 39 その他及び部位不明確の呼吸器系及び胸腔内臓器の悪性新生物	0	0	0
骨及び関節軟骨の悪性新生物(C40-C41)	164	100	264
C 40 (四)肢の骨及び関節軟骨の悪性新生物	59	47	106
C 41 その他及び部位不明の骨及び関節軟骨の悪性新生物	105	53	158
皮膚の黒色腫及びその他の悪性新生物(C43-C44)	35	14	49
C 43 皮膚の悪性黒色腫	11	7	18
C 44 皮膚のその他の悪性新生物	24	7	31

病 名	男	女	合計
中皮及び軟部組織の悪性新生物(C45-C49)	229	200	429
C 45 中皮腫	0	8	8
C 46 カポジ<Kaposi>肉腫	0	0	0
C 47 末梢神経及び自律神経系の悪性新生物	4	0	4
C 48 後腹膜及び腹膜の悪性新生物	35	65	100
C 49 その他の結合組織及び軟部組織の悪性新生物	190	127	317
乳房の悪性新生物(C50)	4	1,715	1,719
C 50 乳房の悪性新生物	4	1,715	1,719
女性性器の悪性新生物(C51-C58)		1,858	1,858
C 51 外陰の悪性新生物		13	13
C 52 膣の悪性新生物		5	5
C 53 子宮頸(部)の悪性新生物		511	511
C 54 子宮体部の悪性新生物		655	655
C 55 子宮の悪性新生物,部位不明		1	1
C 56 卵巣の悪性新生物		643	643
C 57 その他及び部位不明の女性性器の悪性新生物		30	30
C 58 胎盤の悪性新生物		0	0
男性性器の悪性新生物(C60-C63)	547		547
C 60 陰茎の悪性新生物	10		10
C61 前立腺の悪性新生物	488		488
C62 精巣〈睪丸〉の悪性新生物	49		49
C63 その他及び部位不明の男性性器の悪性新生物	0		0
尿路の悪性新生物(C64-C68)	637	274	911
C 64 腎盂を除く腎の悪性新生物	86	40	126
C 65 腎盂の悪性新生物	63	47	110
C 66 尿管の悪性新生物	63	32	95
C 67 膀胱の悪性新生物	424	147	571
C 68 その他及び部位不明の泌尿器の悪性新生物	1	8	9
眼,脳及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物(C69-C72)	6	2	8
C 69 眼及び付属器の悪性新生物	5	2	7
C 70 髄膜の悪性新生物	0	0	0
C 71 脳の悪性新生物	1	0	1
C 72 脊髄,脳神経系及び中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	0	0	0
甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物(C73-C75)	46	90	136
C 73 甲状腺の悪性新生物	42	88	130
C 74 副腎の悪性新生物	1	2	3
C 75 その他の内分泌腺及び関連組織の悪性新生物	3	0	3
部位不明確,続発部位及び部位不明の悪性新生物(C76-C80)	306	371	677
C 76 その他及び部位不明確の悪性新生物	2	5	7
C 77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	32	52	84
C 78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	181	182	363
C 79 その他の部位の続発性悪性新生物	63	98	161
C 80 部位の明示されない悪性新生物	28	34	62

病 名	男	女	合計
リンパ組織,造血組織及び関連組織の悪性新生物(C81-C96)	425	360	785
C 81 ホジキン〈HoDgkin〉病	10	4	14
C 82 ろく慮>胞性〔結節性〕非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	34	38	72
C 83 びまん性非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫	204	190	394
C 84 末梢性及び皮膚T細胞リンパ腫	17	11	394
C 85 非ホジキン<non-HoDgkin>リンパ腫のその他及び詳細不明の型	51	45	96
C 88 悪性免疫増殖性疾患	9	0	9
C 90 多発性骨髄腫及び悪性形質細胞腫瘍	53	42	95
C 91 リンパ性白血病	24	13	37
C 92 骨髄性白血病	21	17	38
C 93 単球性白血病	0	0	0
C 94 その他の細胞型の明示された白血病	0	0	0
C 95 細胞型不明の白血病	2	0	2
C 96 リンパ組織,造血組織及び関連組織のその他及び詳細不明の悪性新生物	0	0	0
独立した(原発性)多部位の悪性新生物(C97)	0	0	0
C 97 独立した(原発性)多部位の悪性新生物	0	0	0
②その他の新生物(D00-D48)	378	566	944
上皮内新生物(D00-D09)	0	22	22
子宮頸〈部〉の上皮内癌(再掲)		(2)	(2)
良性新生物(D10-D36)	97	179	276
性状不詳又は不明の新生物(D37-D48)	281	365	646
③その他	792	1,038	1,830
血液及び造血器の疾患ならびに免疫機構の障害(D50-D89)	16	20	36
循環器系の疾患(I 00- I 99)	41	68	109
呼吸器系の疾患(J 00- J 99)	81	28	109
消化器系の疾患(K 00- K 93)	360	227	587
尿路性器系の疾患(N 00- N 99)	46	387	433
その他	248	308	556

地区別外来患者数（総数）【2020年1～12月】

◆全国

* 新患者数＝当院を初めて受診した患者数

都道府県	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
北海道	389	107	0.18%	25	23.36%
青森県	591	135	0.22%	22	16.30%
岩手県	154	40	0.07%	6	15.00%
宮城県	252	72	0.12%	13	18.06%
秋田県	311	76	0.13%	20	26.32%
山形県	347	54	0.09%	14	25.93%
福島県	1,186	298	0.49%	45	15.10%
茨城県	6,751	1,237	2.04%	308	24.90%
栃木県	1,685	319	0.53%	37	11.60%
群馬県	1,783	302	0.50%	70	23.18%
埼玉県	43,996	7,298	12.01%	1,633	22.38%
千葉県	57,298	8,744	14.39%	1,987	22.72%
東京都	205,903	32,443	53.40%	7,781	23.98%
神奈川県	44,529	7,133	11.74%	1,409	19.75%
新潟県	471	114	0.19%	11	9.65%
富山県	239	51	0.08%	5	9.80%
石川県	63	24	0.04%	3	12.50%
福井県	46	11	0.02%	5	45.45%
山梨県	1,330	277	0.46%	44	15.88%
長野県	1,360	277	0.46%	52	18.77%
岐阜県	125	26	0.04%	6	23.08%
静岡県	857	201	0.33%	29	14.43%
愛知県	406	117	0.19%	21	17.95%
三重県	167	37	0.06%	8	21.62%
滋賀県	50	9	0.01%	4	44.44%
京都府	180	37	0.06%	7	18.92%
大阪府	396	106	0.17%	19	17.92%
兵庫県	301	79	0.13%	13	16.46%
奈良県	40	9	0.01%	0	0.00%
和歌山県	156	36	0.06%	8	22.22%
鳥取県	27	10	0.02%	3	30.00%
島根県	87	17	0.03%	5	29.41%
岡山県	82	22	0.04%	1	4.55%
広島県	206	41	0.07%	4	9.76%
山口県	115	38	0.06%	5	13.16%
徳島県	83	27	0.04%	3	11.11%
香川県	41	15	0.02%	3	20.00%
愛媛県	65	21	0.03%	1	4.76%
高知県	112	28	0.05%	6	21.43%
福岡県	233	55	0.09%	10	18.18%
佐賀県	30	7	0.01%	1	14.29%
長崎県	101	16	0.03%	4	25.00%
熊本県	77	28	0.05%	6	21.43%
大分県	51	16	0.03%	3	18.75%
宮崎県	211	46	0.08%	10	21.74%
鹿児島県	169	37	0.06%	7	18.92%
沖縄県	167	42	0.07%	9	21.43%
未分類	2,606	624	1.03%	322	51.60%
	375,825	60,759	100.00%	14,008	23.06%

地区別外来患者数（総数）【2020 年 1 ～ 12 月】

◆東京都

* 新患者数＝当院を初めて受診した患者数

	延患者数	実患者数		新患者数	
		件数	割合	件数	実患者数に対する割合
千代田区	1,087	226	0.69%	49	21.68%
中央区	4,762	803	2.46%	208	25.90%
港区	6,136	1,053	3.23%	241	22.89%
新宿区	3,967	708	2.17%	171	24.15%
文京区	2,810	494	1.52%	110	22.27%
台東区	2,650	457	1.40%	108	23.63%
墨田区	5,558	821	2.52%	221	26.92%
江東区	27,645	4,093	12.55%	1,262	30.83%
品川区	8,766	1,311	4.02%	337	25.71%
目黒区	4,313	731	2.24%	154	21.07%
大田区	13,287	1,950	5.98%	489	25.08%
世田谷区	13,850	2,281	7.00%	522	22.88%
渋谷区	4,288	693	2.13%	164	23.67%
中野区	4,420	695	2.13%	170	24.46%
杉並区	7,722	1,358	4.17%	261	19.22%
豊島区	5,012	872	2.67%	170	19.50%
北区	4,033	627	1.92%	128	20.41%
荒川区	1,770	282	0.87%	61	21.63%
板橋区	8,349	1,304	4.00%	312	23.93%
練馬区	11,662	1,852	5.68%	397	21.44%
足立区	6,052	960	2.94%	231	24.06%
葛飾区	6,544	976	2.99%	228	23.36%
江戸川区	18,385	2,753	8.44%	754	27.39%
都下	32,833	5,301	16.26%	1,033	19.49%
	205,901	32,601	100.00%	7,781	23.87%

病理検査【2020年1～12月】

病理検査数

	外来	入院	合計
総件数	15,944	11,739	27,683
部位数（臓器分類単位）	23,663	42,457	66,120
ブロック数（検体分類別）	21,615	93,624	115,239
染色スライド数（特染含む）	69,244	160,631	229,875
染色スライド数（特染のみ）	33,044	37,504	70,548
保険部位数	34,870	27,090	61,960
E M	—	—	—
抗体法	—	—	—
迅速件数	221	3,918	4,139
診断料	12,997	6,816	19,813
診断のみ	1,823	95	1,918
レポート画像	—	—	—
ミクロ画像	—	—	—
マクロ画像	—	—	—
その他画像	—	—	—
呼吸器内科	212	134	346
呼吸器外科	56	933	989
消化器内科	7,722	1,125	8,847
消化器外科	242	3,277	3,519
乳腺センター	1,419	1,700	3,119
婦人科	1,875	1,523	3,398
頭頸科	557	784	1,341
整形外科	394	981	1,375
泌尿器科	299	1,018	1,317
血液腫瘍科	457	129	586
総合腫瘍科	66	8	74
放射線治療	2	0	2
総合内科	0	1	1
腫瘍精神科	0	0	0
眼科	107	48	155
皮膚科	113	31	144
歯科	5	0	5
形成外科	15	30	45
麻酔科	0	0	0
救急部	0	1	1
緩和治療科	0	0	0
画像診断部	6	4	10
健診ドック	2,390	10	2,400
臨床遺伝医療部	3	0	3
ゲノム診療部	2	0	2
先端医療開発センター	2	2	4

細胞診検査数

項目	年間件数
子宮腔部・頸部	5,133
子宮内膜	2,835
その他（婦人科）	5,256
健診 子宮腔部・頸部・断端	3,531
健診 子宮内膜	2,778
婦人科合計	19,533
乳腺	1,147
甲状腺	246
頭頸部（甲状腺以外）	269
骨軟部	846
脳脊髄液	172
リンパ節	612
気管支・肺	208
EBUS縦隔・肺門リンパ節	119
喀痰・三連痰	42
体腔液	3,673
尿	3,750
食道・胃	11
肝・胆・膵・大腸	546
その他	152
婦人科以外合計	11,793
総合計	31,326
術中迅速細胞診	2,723
LBC	3,312
オンサイトサイトロジー	715
セルブロック	110

CT 検査件数・MRI 検査件数・核医学検査件数

◆ CT 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2020年	稼働日数	19	18	21	21	22	21	20	20	22	19	20	
	件数	4,102	3,826	4,204	3,401	3,906	4,399	4,232	4,542	4,733	4,220	4,539	50,197
	平均件数/日	215.9	212.6	200.2	162.0	217.0	209.5	211.6	227.1	215.1	222.1	227.0	

◆ MRI 検査件数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2020年	稼働日数	19	18	21	21	22	21	20	20	22	19	20	
	件数	1,147	1,049	1,196	963	794	1,161	1,020	1,369	1,223	1,087	1,127	13,425
	平均件数/日	60.4	58.3	57.0	45.9	44.1	55.3	51.0	68.5	55.6	57.2	56.4	

◆ 核医学検査件数

2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
外来	PET-CT	684	644	617	457	399	574	549	647	670	656	615	7,169
	SPECT-CT	41	37	42	32	33	38	29	31	26	36	40	423
	その他	98	98	106	81	59	96	79	82	81	83	93	1,068
	その他 (SPECT含)	(139)	(135)	(148)	(113)	(92)	(134)	(108)	(113)	(107)	(119)	(133)	(1491)
入院	PET-CT	6	5	6	8	2	5	4	1	5	4	6	60
	その他	90	87	96	62	64	101	65	75	65	71	71	900
合計		919	871	867	640	557	814	876	836	847	850	825	9,620

内視鏡検査件数

検 査 項 目	2020年
上部消化管	10,356
下部消化管	6,566
上部工コー	219
下部工コー	79
肝胆膵工コー	799
気管支鏡	262
ERCP	987
上部（EMRポリペク）	797
下部（EMRポリペク）	1,208
下部（ESD）	350
EUS-FAN	245
その他	220

超音波検査件数

	2020年
呼吸内	828
呼吸外	461
消外	807
食道外	340
胃外科	985
大腸外	2,174
肝外科	898
消内	357
消化療	695
肝内科	585
上消内	193
下消内	47
乳腺外	14,836
乳腺内	1,390
婦人科	10,374
頭頸科	5,692
整形外	1,247
泌尿器	1,538
血液腫	1,352
総腫瘍	269
放治療	61
総合内	732
腫循内	367
代謝科	71
腎臓内	8
神経内	2
眼科	234
皮腫瘍	60
形成外	1,169
麻酔科	5
救急部	3
緩和	17
画像診	47
健診ドック	20,551
臨床遺	50
W O C	1
先端 C	8

院内がん登録集計

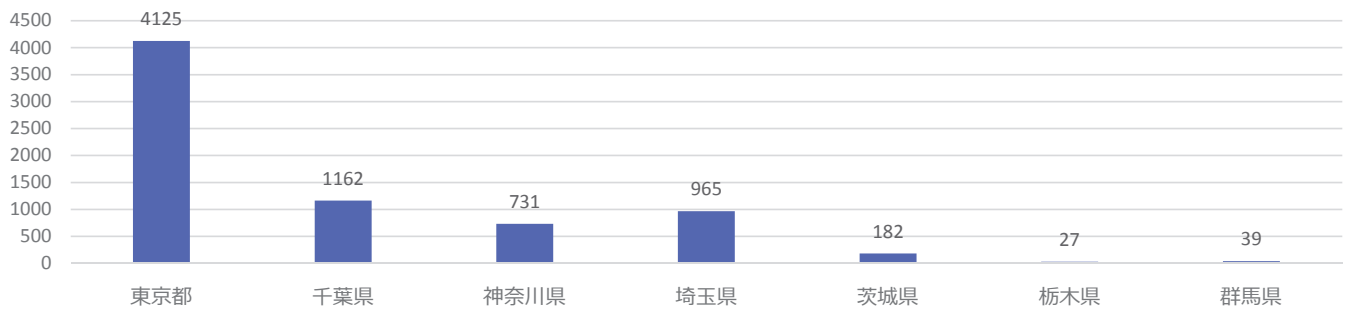
①部位別・男女別件数

部位	総数	男	女
口腔・咽頭	365	281	84
食道	432	354	78
胃	887	583	304
十二指腸・小腸	36	21	15
大腸	1072	609	463
肝臓	120	93	27
胆嚢・胆管	113	80	33
膵臓	355	182	173
喉頭	34	30	4
肺	534	301	233
骨・軟部	154	80	74
皮膚	53	23	30
乳房	1260	5	1255
子宮頸部	404	0	404
子宮体部	284	0	284
卵巣	172	0	172
前立腺	342	342	0
膀胱	176	127	49
腎・他の尿路	157	93	64
甲状腺	122	37	85
悪性リンパ腫	203	92	111
多発性骨髄腫	18	10	8
白血病	26	15	11
他の造血器腫瘍	22	16	6
原発不明	25	11	14
その他	220	103	117
総計	7586	3488	4098

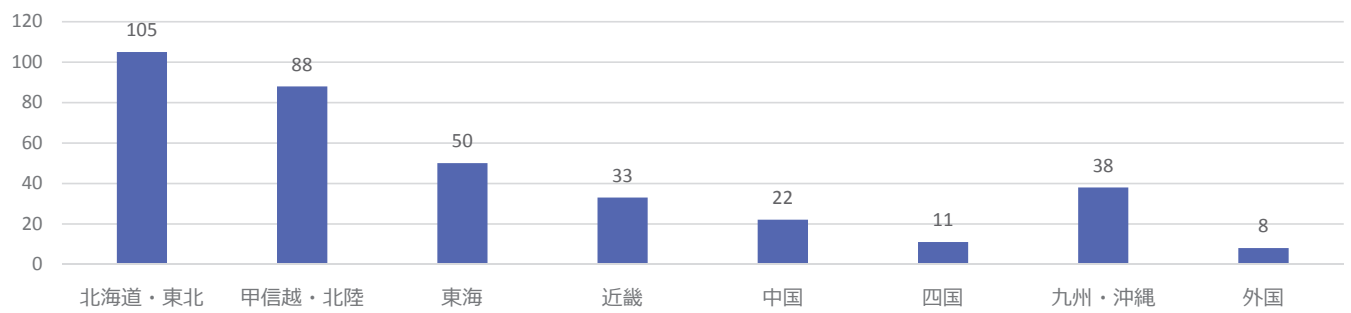
②診断時居住地別件数（東京都医療圏別内訳）

医療圏名	区市町村名	件数		医療圏名	区市町村名	件数	
区中央部	千代田区	22	346	南多摩	八王子市	72	167
	中央区	102			日野市	21	
	港区	123			多摩市	19	
	文京区	53			町田市	43	
	台東区	46			稲城市	12	
区東部	江東区	557	1083	西多摩	羽村市	5	44
	江戸川区	409			福生市	9	
	墨田区	117			青梅市	15	
区東北部	荒川区	33	286		あきる野市	10	
	足立区	120			瑞穂町	4	
	葛飾区	133			日の出町	1	
区西部	新宿区	86	323		奥多摩町	0	
	中野区	90			檜原村	0	
	杉並区	147		北多摩南部	武蔵野市	28	159
区西北部	豊島区	89	552		三鷹市	25	
	北区	73			調布市	39	
	板橋区	164			狛江市	13	
	練馬区	226			小金井市	25	
	区西南部	目黒区			88	454	
世田谷区		287	北多摩西部	国分寺市	21		71
渋谷区		79		国立市	9		
区南部	品川区	197		479	東大和市	12	
	大田区	282			立川市	18	
島しょ部	大島町	1		10	北多摩北部	武蔵村山市	
	利島村	0	昭島市			9	
	新島村	3	清瀬市			20	
	神津島村	3	東久留米市			25	
	三宅村	1	西東京市			47	
	御蔵島村	0	東村山市		23		
	八丈町	2	小平市		36		
	青ヶ島村	0	総計		4125		
	小笠原村	0					

診断時居住地（関東）

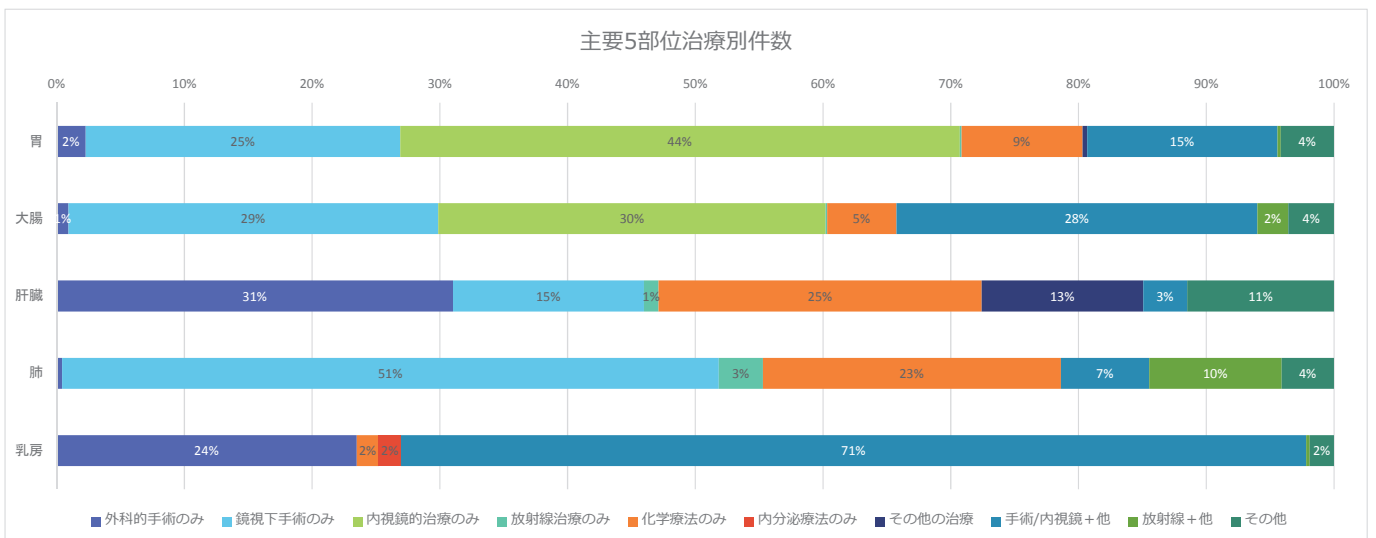


診断時居住地（関東以外）



③主要5部位治療別件数

当院で初回治療を開始した症例（症例区分 20・30）



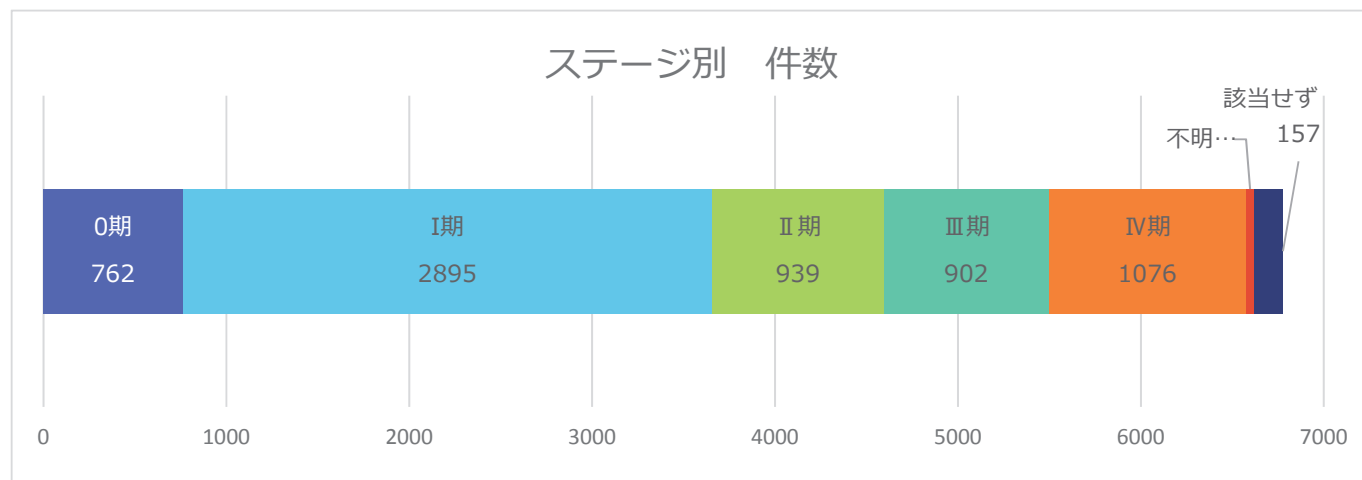
④治療別件数

当院で初回治療を開始した症例（症例区分 20・30）

	外科的 手術のみ	鏡視下 手術のみ	内視鏡的 治療のみ	放射線 治療のみ	化学 療法のみ	内分泌 療法のみ	その他の 治療のみ	放射線 + 内分泌	手術 + 内視鏡	手術/内視鏡 + 放射線	手術/内視鏡 + 化学療法	手術/内視鏡 + 内分泌	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法	手術/内視鏡 + 放射線 + 内分泌	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法 + 内分泌	手術/内視鏡 + 放射線 + 化学療法 + 内分泌	その他の 組み合わせ	経過観察	総計
口腔・咽頭	111	0	64	8	7	7	0	0	0	14	3	0	0	26	0	0	19	0	300
食道	2	25	162	9	12	12	0	0	10	1	44	0	1	6	0	0	46	23	380
胃	18	195	347	1	75	0	3	0	36	1	81	0	0	0	0	0	33	0	792
大腸	8	251	263	1	47	0	0	0	27	2	177	0	0	39	0	0	8	23	867
十二指腸・小腸	11	6	7	0	2	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	1	0	31
肝臓	27	13	0	1	22	0	11	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	8	87
胆嚢・胆管	40	7	0	0	22	0	0	0	0	0	14	0	1	0	0	0	5	1	90
脾臓	25	15	0	0	146	0	0	0	0	0	69	0	0	0	0	0	15	0	275
喉頭	6	0	6	7	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	30
肺	2	238	0	16	108	0	0	0	0	2	26	0	0	4	0	0	19	0	463
皮膚	21	0	0	4	0	0	4	0	0	5	0	0	0	0	0	0	3	0	37
骨・軟部	73	0	0	0	3	0	0	0	0	0	29	0	0	2	0	0	4	2	115
乳房	259	0	0	0	19	19	0	1	0	46	95	268	0	38	96	141	13	8	1102
子宮頸部	117	89	0	4	8	0	0	0	0	6	38	0	0	18	0	0	39	0	344
子宮体部	40	118	0	0	6	3	0	1	0	1	82	1	0	0	0	0	2	2	256
卵巣	38	3	0	0	9	0	0	0	0	0	89	0	0	0	0	0	0	1	140
前立腺	2	106	0	12	0	48	0	1	59	0	0	7	0	0	0	0	32	4	271
膀胱	0	0	11	1	2	0	0	0	5	1	42	0	12	2	0	0	3	27	106
腎・他の尿路	17	68	1	2	9	0	0	0	0	0	8	0	0	2	0	0	9	5	121
甲状腺	55	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	12	0	0	0	0	19	1	93
悪性リンパ腫	1	2	1	25	98	0	0	14	0	0	3	0	0	2	0	0	26	0	172
多発性骨腫瘍	0	0	0	2	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	15
白血病	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	23
他の造血器腫瘍	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	18
原発不明	1	0	0	1	6	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	13
その他	41	19	2	11	12	0	1	23	0	4	24	1	0	4	0	0	2	1	145
総計	915	1156	864	105	648	71	22	239	60	86	830	289	14	146	98	141	319	107	6286

⑤ステージ別件数

当院で診断、治療を実施した症例（症例区分 10・20・21・30・31）

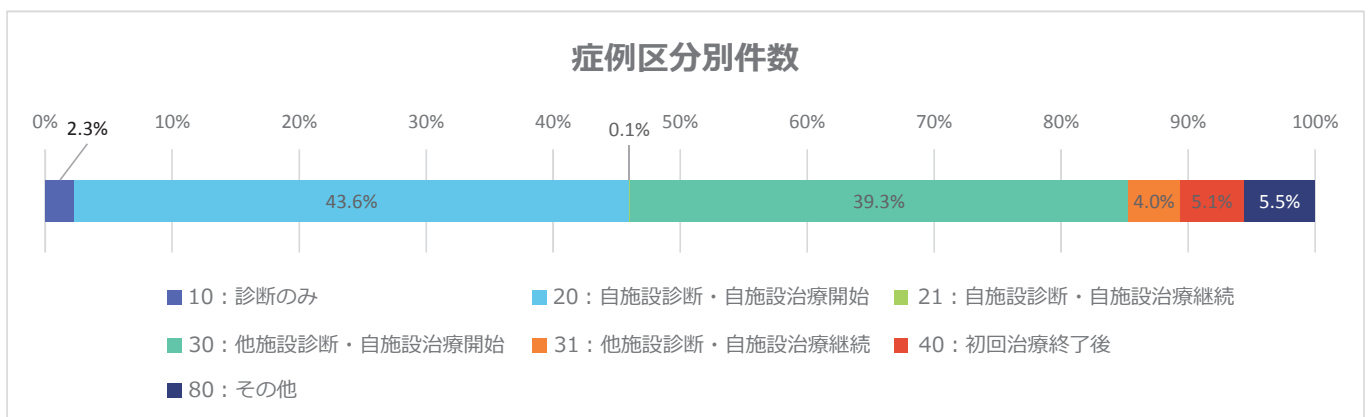


⑥部位別・年齢別件数

部位	年代									総計
	0-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	
口腔・咽頭	1	2	5	33	60	105	126	29	4	365
食道	0	1	2	18	74	126	167	42	2	432
胃	1	3	18	72	114	219	341	114	5	887
十二指腸・小腸	0	0	0	4	11	5	9	7	0	36
大腸	0	10	47	150	214	263	298	86	4	1072
肝臓	0	1	4	5	12	32	47	18	1	120
胆嚢・胆管	0	0	0	5	18	37	33	19	1	113
膵臓	0	0	5	19	66	94	129	41	1	355
喉頭	0	0	0	2	3	15	10	4	0	34
肺	0	0	12	34	71	145	210	59	3	534
骨・軟部	5	14	12	27	33	19	30	13	1	154
皮膚	0	0	1	5	8	11	14	11	3	53
乳房	0	6	100	410	316	232	160	33	3	1260
子宮頸部	0	24	114	135	74	31	24	2	0	404
子宮体部	0	1	28	52	117	58	21	6	1	284
卵巣	0	4	13	49	60	27	15	4	0	172
前立腺	0	0	1	6	45	116	152	22	0	342
膀胱	0	0	2	10	21	41	76	24	2	176
腎・他の尿路	0	2	1	20	25	35	57	17	0	157
甲状腺	0	4	8	27	17	28	30	8	0	122
悪性リンパ腫	2	5	4	17	35	54	64	20	2	203
多発性骨髄腫	0	0	0	2	3	3	9	1	0	18
白血病	0	0	1	4	5	5	8	3	0	26
他の造血器腫瘍	0	0	0	0	3	5	11	3	0	22
原発不明	0	0	0	2	4	9	7	3	0	25
その他	0	8	17	39	50	45	42	18	1	220
総計	9	85	395	1147	1459	1760	2090	607	34	7586

⑦症例区分別件数

症例区分	件数	比率
10：診断のみ	178	2.3%
20：自施設診断・自施設治療開始	3308	43.6%
21：自施設診断・自施設治療継続	7	0.1%
30：他施設診断・自施設治療開始	2978	39.3%
31：他施設診断・自施設治療継続	306	4.0%
40：初回治療終了後	389	5.1%
80：その他	420	5.5%
総計	7586	100.0%



8. 一般公開講座

年度		日程	時間	場所	題名	講師	担当科	参加人数
令和2年度	1	2020年6月11日	17:00～18:00	オンライン	(外出自粛中に) がんと上手く過ごすための心の持ち方	清水研腫瘍精神科部長	腫瘍精神科	29人
	2	2020年8月6日	17:00～18:00	オンライン	精神腫瘍科医と一緒に考える「寄り添うこと」	清水研腫瘍精神科部長	腫瘍精神科	145人
	3	2021年2月6日		オンライン (オンデマンド)	世田谷区がん講演会 よくわかる大腸がん治療～小さな傷でがんを治す～	福長洋介大腸外科部長	大腸外科	1110回※
	4	2021年3月20日	13:00～15:00	オンライン	もっと知ってほしい胃がんのこと	佐野武病院長、平澤俊明副部長、布部創也部長、 山口研成部長、馬城はるか主任、藤崎順子部長	消化器センター 胃がんチーム リハビリテーション部	500人弱

※2021年6月8日時点の動画再生回数

9. 学会・研究発表業績

【呼吸器内科】

1. Nishio, M., Murakami, H., Okamoto, I., Horinouchi, H., Toyozawa, R., Takeda, M., Uno, M., Crawford, N., Jimbo, T., Ishigami, M., Takayama, G., Nakayama, S., Ohwada, S., Slosberg, E., Goto, K.
A first – in – human phase 1 study of the AXL inhibitor DS – 1205c in combination with gefitinib in subjects with EGFR – mutant NSCLC.
European Society for Medical Oncology (ESMO) Virtual Congress : Web 開催, 2020
2. Nishio, M.
First – line nivolumab (NIVO) + ipilimumab (IPI) in advanced NSCLC : CheckMate 227 Asian subanalysis.
第 61 回日本肺癌学会学術集会 : 岡山市, 2020
3. Nishio, M.
Pembrolizumab + lenvatinib in metastatic NSCLC after chemotherapy and immunotherapy : LEAP – 008 trial.
第 61 回日本肺癌学会学術集会 : 岡山市, 2020
4. Nishio, M., Peled, A. Z. N., Houghton, B., Bar, J., Drew, D., Herbst, R. S., Rodriguez – Aberu, D., Talpur, R., Golden, L., Yin, L., Dang, T., Hui, R.
Phase 3 LEAP – 006 safety run – in (Part 1) : 1L pembrolizumab (Pembro) + chemotherapy (Chemo) with / without lenvatinib (Len) for metastatic NSCLC.
European Society for Medical Oncology (ESMO) Virtual Congress : Web 開催, 2020
5. Nishio, M., Peled, A. Z. N., Houghton, J. B., Bar, J., Drew, D., Herbst, R. S., Rodriguez – Abreu, D., Talpur, R., Golden, L., Yin, L., Dang, T., Hui, R.
Phase 3 LEAP – 006 safety runIn (Part 1) : 1L pembrolizumab + chemotherapy with lenvatinib for metastatic NSCLC.
Clinical Oncology Society of Australia (COSA) 47th Annual Scientific Meeting : Web 開催, 2020
6. Nishio, M., Nishio, K., Reck, M., Garon, E. B., Imamura, F., Kawaguchi, T., Yamaguchi, H., Ikeda, S., Hirano, K., Visseren – Grul, C. M., Widau, R. C., Zimmermann, A. H., Homma, G., Enatsu, S., Nakagawa, K.
RELAY + : Exploratory study of ramucirumab plus gefitinib in untreated patients (pts) with epidermal growth factor receptor (EGFR) – mutated metastatic non – small cell lung cancer (NSCLC).
AACR Annual Meeting : Web 開催, 2020
7. Nishio, M.
1L pembrolizumab + chemotherapy with / without lenvatinib for metastatic NSCLC : LEAP – 006 safety part 1.
第 61 回日本肺癌学会学術集会 : 岡山市, 2020
8. Tozuka, T., Kitazono, S., Sakamoto, H., Yoshida, h., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Hasegawa, T., Ariyasu, R., Uchibori, K., Yanagitani, N., Horai, T., Nishio, M.
Efficacy of anti – programmed cell death – 1 / ligand 1 monotherapy for non – small cell lung cancer patients with active brain metastases.
ASCO Virtual Scientific Program : Web 開催, 2020
9. 内堀健, 坂本博昭, 戸塚猛大, 吉田寛, 網野喜彬, 有安亮, 北園聡, 柳谷典子, 宝来威, 片山量平, 林理絵, Low, S. K., 西尾誠人
初回 Osimertinib 開始前の血漿中 TP53 変異は negative biomarker の可能性がある。
第 61 回日本肺癌学会学術集会 : 岡山市, 2020
10. 吉田寛, 柳谷典子, 坂本博昭, 戸塚猛大, 網野喜彬, 植松慎矢, 長谷川司, 吉澤孝浩, 有安亮, 内堀健, 北園聡, 西尾誠人, 宝来威
気管支鏡検査で得た細胞診検体による EGFR 遺伝子検査の精度の検討。

- 第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
11. 坂本博昭，内堀健，吉田寛，戸塚猛大，網野喜彬，植松慎矢，長谷川司，吉澤孝浩，有安亮，北園聡，柳谷典子，宝来威，西尾誠人
EGFR 陽性肺癌における 1 次治療 Osimertinib 後の治療内容の検討。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
 12. 宝来威
呼吸器細胞診の歴史と肺癌の臨床。
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
 13. 宝来威
細胞診のノブレス・オブリージュ：私たちの目指すもの。
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
 14. 戸塚猛大，柳谷典子，坂本博昭，吉田寛，網野喜彬，植松慎矢，吉澤孝浩，長谷川司，有安亮，内堀健，北園聡，宝来威，西尾誠人
非小細胞肺癌（NSCLC）に対する殺細胞性抗癌剤と抗 PD - 1 / L1 併用療法（Chemo - PD1）の効果と血漿 VEGF - A の推移。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
 15. 有安亮，内堀健，二宮浩範，坂本博昭，戸塚猛大，吉田寛，網野喜彬，植松慎矢，吉澤孝浩，長谷川司，北園聡，柳谷典子，宝来威，竹内賢吾，西尾誠人
オンコマイン Target Test マルチ CDx システムとコバス EGFR 変異キットの CDX としての feasibility の比較。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
 16. 柳谷典子，宝来威
実臨床における肺癌遺伝子検査の現状。
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市，2020
 17. 柳谷典子
当院の使用実績からみたロルラチニブ投与症例のマネジメントの実際。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
 18. 柳谷典子，宝来威
臨床医が望む細胞診検体を用いたゲノム医療。
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
 19. 西尾誠人
MET 遺伝子変異陽性肺癌に対する治療：Capmatinib の臨床成績。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
 20. 西尾誠人
SCLC に対する治療戦略 up to date。
第 111 回日本肺癌学会関西支部学術集会：大阪市，2020
 21. 西尾誠人
希少ドライバー遺伝子陽性肺癌の新たな選択肢：個別化医療の現状と今後の方向性。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
 22. 西尾誠人
希少肺癌に対する治療 up to date : Treatment for rare lung cancer。
第 60 回日本呼吸器学会学術講演会：Web 開催，2020
 23. 西尾誠人
新時代を迎える進行期肺癌薬物療法。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
 24. 西尾誠人，Herbst, R. , Lopes, G. , Kowalski, D. , Wu, Y. - L. , Castro Jr. , G. , Baas, P. , Kim, D. - W. , Gubens, M. , Piperdi, B. , Mok, T.
進行非小細胞肺癌の国際共同第 3 相試験における組織の Tumor Mutation Burden (tTMB) とペムブロリズマブ単剤の臨床効果との関連。
第 60 回日本呼吸器学会学術講演会：Web 開催，2020
 25. 西尾誠人，北園聡，柳谷典子，坂井和子，西尾和人
非小細胞肺癌における血漿中 EGFR 遺伝子変異検出法の比較に関する検討。
第 111 回日本肺癌学会関西支部学術集会：大阪市，2020

【呼吸器外科】

1. Ichinose, J.
Key points in thoracoscopic segmentectomy and COVID-19 in Japan.
2020 Current Update of Thoracic Surgery: Web 開催, 2020
2. Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Predictors of survival and local therapy failure in patients with resectable colorectal lung metastases.
1st ESTS Virtual Congress: Web 開催, 2020
3. Ichinose, J.
RATS lobectomy by the confronting approach.
Sino-Japan Exchange Conference on Robotic Lung Surgery and Advanced VATS Surgery: Web 開催, 2020
4. Kawaguchi, Y., Matsuura, Y., Omura, K., Iwamoto, N., Ozawa, H., Kondo, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Artificial intelligence provides a novel insight into the occult N2 disease search.
American Association for Thoracic Surgery (AATS) 100th Annual Meeting: Web 開催, 2020
5. Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Surgically resected anaplastic lymphoma kinase-rearranged non-small cell lung cancer.
American Association for Thoracic Surgery (AATS) 100th Annual Meeting: Web 開催, 2020
6. Mun, M.
Sino-Japan Exchange Conference on Robotic Lung Surgery and Advanced VATS Surgery: Web 開催, 2020
7. Mun, M.
Early stage lung cancer: Segmentectomy vs lobectomy.
South East Asia Thoracic Surgery Webinar: Web 開催, 2020
8. Mun, M.
Fluorescence-guided segmentectomy.
South East Asia Thoracic Surgery Webinar: Web 開催, 2020
9. Mun, M.
Lung cancer with incidental N2; To cut or to close.
28th Congress of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS): Chiang Mai, Thailand, 2020
10. Mun, M.
Mediastinal lymph node mapping.
5th Asian Thoracoscopic Surgery Education Program; Outreach Program: Web 開催, 2020
11. Mun, M.
Novel technique for VATS segmentectomy.
28th Congress of the Asian Society for Cardiovascular and Thoracic Surgery (ASCVTS): Chiang Mai, Thailand, 2020
12. Omura, K., Nakao, M., Iwamoto, N., Ozawa, H., Kondo, Y., Yamamichi, T., Hashimoto, K., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
Novel 3-dimensional image simulation for thoracoscopic lung segmentectomy in patients with pulmonary malignancy.
2020 Korean Association for Lung Cancer International Conference Virtual: Web 開催, 2020
13. 一瀬淳二, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
AI による肺腺癌 EGFR 遺伝子変異予測モデルの構築.
第 61 回日本肺癌学会学術集会: 岡山市, 2020
14. 一瀬淳二, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 河口洋平, 松浦陽介, 中尾将之, 奥

- 村栄, 文敏景
RATS 肺葉切除導入時に経験したヒヤリハットとその対策.
第 37 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会: Web 開催, 2020
15. 一瀬淳二, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
大腸癌肺転移に対する conversion 手術の成績.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
 16. 一瀬淳二, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
対面式 RATS による右上葉肺癌に対する肺門縦隔リンパ節郭清.
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: 紙上開催, 2020
 17. 一瀬淳二, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
左肺癌手術における #4L 背側先行処理の有用性.
第 37 回日本呼吸器外科学会総会: Web 開催, 2020
 18. 一瀬淳二, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 河口洋平, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
新規低侵襲(単孔式・ロボット支援)手術におけるヒヤリハット: RATS 肺葉切除導入時に経験したヒヤリハットとその対策.
第 37 回日本呼吸器外科学会総会: Web 開催, 2020
 19. 一瀬淳二, 山道堯, 岩本直也, 大村兼志郎, 小澤広輝, 近藤泰人, 橋本浩平, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
迷走神経心臓枝発生の神経鞘腫に対する胸腔鏡下手術.
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2020
 20. 中尾将之
『こんな画像が欲しかった。』が現実になり！外科医目線の最新 3D 画像シミュレーション.
第 37 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会: Web 開催, 2020
 21. 中尾将之, 大村兼志郎, 岩本直也, 小澤広輝, 近藤泰人, 河口洋平, 一瀬淳二, 松浦陽介, 奥村栄, 文敏景
異時多発肺癌に対する、右肺下葉切除後の残中葉切除.
第 37 回日本呼吸器外科学会総会: Web 開催, 2020
 22. 大村兼志郎, 一瀬淳二, 負門克典, 佐藤嘉尚, 二宮浩範, 橋本浩平, 松浦陽介, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
AI による肺腺癌の胸膜浸潤予測モデルの構築.
第 61 回日本肺癌学会学術集会: 岡山市, 2020
 23. 大村兼志郎, 松浦陽介, 一瀬淳二, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景, 二宮浩範, 梶政洋, 廣瀬茂道
大腸癌肺転移の病理組織像から肺部分切除術を考察する.
第 37 回日本呼吸器外科学会総会: Web 開催, 2020
 24. 大村兼志郎, 中尾将之, 岩本直也, 小澤広輝, 一瀬淳二, 松浦陽介, 奥村栄, 文敏景
胸腔鏡下肺区域切除における新たな 3D 画像シミュレーションソフトウェアの有用性.
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2020
 25. 奥村栄
新たな呼吸器外科.
第 37 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会: Web 開催, 2020
 26. 小澤広輝, 松浦陽介, 山道堯, 大村兼志郎, 岩本直也, 近藤泰人, 橋本浩平, 一瀬淳二, 中尾将之, 奥村栄, 文敏景
NCD risk calculator と原発性肺癌の術後長期予後について.
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会: 名古屋市, 2020

27. 小澤広輝
当科における原発性肺癌に対する ICG 蛍光イメージング併用胸腔鏡下肺区域切除術。
日本蛍光ガイド手術研究会第 3 回学術集会：Web 開催，2020
28. 小澤広輝，一瀬淳二，大村兼志郎，岩本直也，近藤泰人，河口洋平，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
肺癌に対する区域切除の長期予後と再発形式。
第 37 回日本呼吸器外科学会総会：Web 開催，2020
29. 山道堯，一瀬淳二，岩本直也，大村兼志郎，小澤広輝，近藤泰人，橋本浩平，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
胸腔鏡下肺癌手術における術前禁煙期間と術後肺合併症発症率の関係。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
30. 岩本直也，松浦陽介，山道堯，大村兼志郎，小澤広輝，近藤泰人，橋本浩平，一瀬淳二，中尾将之，内堀健，二宮浩範，奥村栄，西尾誠，文敏景
治療抵抗性の ALK 陽性肺癌に対する salvage 手術の 1 例。
第 188 回日本肺癌学会関東支部学術集会：Web 開催，2020
31. 岩本直也，一瀬淳二，二宮浩範，大村兼志郎，小澤広輝，近藤泰人，河口洋平，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
肺原発腺様嚢胞癌 4 例の進展様式に関する病理学的検討。
第 37 回日本呼吸器外科学会総会：Web 開催，2020
32. 岩本直也，一瀬淳二，大村兼志郎，小澤広輝，河口洋平，近藤泰人，松浦陽介，中尾将之，奥村栄，文敏景
肺癌に対する胸腔鏡下肺葉切除時の標本回収袋洗浄細胞診に関する検討。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
33. 文敏景
ゼロコンを目指した肺がん低侵襲手術における剥離操作。
- ゼロコンセミナー：Web 開催，2020
34. 文敏景
ミニシンポジウム 4「呼吸器」。
日本蛍光ガイド手術研究会第 3 回学術集会：Web 開催，2020
35. 文敏景，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，奥村栄
リンパ節転移陽性原発性肺癌に対する 4 port VATS systemic mediastinal lymph node dissection。
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会：名古屋市，2020
36. 文敏景，河口洋平，近藤泰人，大村兼志郎，小澤広輝，岩本直也，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，奥村栄
ロボット支援下肺葉切除術の新たなアプローチ。
第 12 回日本ロボット外科学会：Web 開催，2020
37. 文敏景，一瀬淳二，松浦陽介，中尾将之，中川健，奥村栄
対面視野式ロボット支援下手術におけるリンパ節郭清術の実際：開胸術や胸腔鏡手術と同等の郭清を目指して。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
38. 文敏景
肺癌に対するロボット支援下手術との共存：合併症ゼロを目指した新たな知見。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
39. 松浦陽介
ALK-TKI 治療後の ALK 肺癌 salvage 手術の 1 例。
2nd Minimally Invasive Therapies Seminar (MITS) for Thoracic Malignancy; 2020 年度：Web 開催，2020
40. 松浦陽介
cN0-pN1/2 肺癌に対する胸腔鏡手術の治療成績：開胸手術との対比。
第 37 回日本呼吸器外科学会総会・学術集会：Web 開催，2020

41. 松浦陽介
継往開来！完全鏡視下肺癌手術における創始と
継志。
第 37 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：Web
開催，2020
42. 松浦陽介，山道堯，大村兼志郎，岩本直也，小
澤広輝，近藤泰人，橋本浩平，一瀬淳二，中尾
将之，奥村栄，文敏景
遺伝子変異に応じた進行肺腺癌に対する集学的
治療戦略の提案：術後再発の検討から。
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会：名古
屋市，2020
43. 河口洋平，中尾将之，大村兼志郎，岩本直也，
小澤広輝，近藤泰人，一瀬淳二，松浦陽介，奥
村栄，文敏景
AI による肺腺癌の病理学的悪性度予測モデル
の構築。
第 37 回日本呼吸器外科学会総会：Web 開催，
2020
44. 河口洋平，松浦陽介，岩本直也，大村兼志郎，
小澤広輝，近藤泰人，一瀬淳二，中尾将之，奥
村栄，文敏景
AI を用いた縦隔リンパ節予測の検討。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
45. 河口洋平，一瀬淳二，負門克典，大村兼志郎，
岩本直也，小澤広輝，近藤泰人，松浦陽介，中
尾将之，奥村栄，文敏景
ICG 静注法を用いた胸腔鏡下肺区域切除術にお
ける仮想区域面作成法の検討。
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：紙上
開催，2020
46. 近藤泰人，一瀬淳二，山道堯，岩本直也，大村
兼志郎，小澤広輝，松浦陽介，中尾将之，奥村
栄，二宮浩範，文敏景
2cm 以下小型肺腺癌における高悪性度組織重
型成分の有無の重要性。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020
47. 近藤泰人，松浦陽介，大村兼志郎，岩本直也，
小澤広輝，河口洋平，一瀬淳二，中尾将之，奥
村栄，文敏景

NCD Feedback における Risk Calculator の有
用性の検証。

第 37 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：Web
開催，2020

【消化器化学療法科】

1. Chin, K.
Immunotherapy.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
2. Kamiimabeppu, D., Wakatsuki, T., Takahari,
D., Fukuda, N., Osumi, H., Nakayama, I.,
Ogura, M., Sato, T., Ooki, A., Shinozaki, E.,
Suenaga, M., Chin, K., Yamaguchi, K.
Treatment efficacy of ramucirumab-based
chemotherapy in patients with alpha-feto-
protein producing gastric cancer (AFPGC).
Gastrointestinal Cancer Symposium of the
American Society of Clinical Oncology (AS-
CO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
3. Nakayama, I., Shoji, H., Hara, H., Esaki, T.,
Machida, N., Nagashima, K., Aoki, K., Hon-
da, K., Takahari, D., Miyamoto, T., Boku, N.,
Kato, K.
Correlation of tumor mutation with effi-
cacy in patients with gastric cancer who
received nivolumab and ramucirumab com-
bination therapy.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the
American Society of Clinical Oncology (AS-
CO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
4. Suenaga, M., Mashima, T., Kawata, N.,
Wakatsuki, T., Seimiya, H., Yamaguchi, K.
Circulating IL-8 levels as candidate marker
of antiangiogenic therapy for metastatic
colorectal cancer.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the
American Society of Clinical Oncology (AS-
CO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
5. Suenaga, M., Zhang, W., Mashima, T.,
Schirripa, M., Cao, S., Okazaki, S., Berger,
M. D., Miyamoto, Y., Barzi, A., Lenz, H.
Gene polymorphisms of CCL3, CCL4, CCL5,

and CCR5 network in metastatic colorectal cancer patients treated with regorafenib. Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020

6. Suzuki, T., Takahari, D., Kamiimabeppu, D., Sato, T., Osumi, H., Nakayama, I., Ichimura, T., Ogura, M., Ooki, A., Wakatsuki, T., Suenaga, M., Shinozaki, E., Chin, K., Yamaguchi, K.
Single-center analysis of thyroid dysfunction in patients with gastric cancer treated with nivolumab.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
7. Takahari, D.
Chemotherapy 3.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
8. Takahari, D., Takashima, A., Nakajima, T. E., Ishizuka, N., Ohhashi, M., Katai, H., Mikami, S., Chin, K., Nunobe, S., Ito, M., Wada, T., Ogura, T., Sano, T., Boku, N., Yamaguchi, K.
Feasibility and pathological response of TAS-118 + oxaliplatin as perioperative chemotherapy for patients with locally advanced gastric cancer (APOLLO-11).
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
9. 上今別府大作，若槻尊，高張大亮，福田直樹，佐藤太龍，鈴木健，大隅寛木，中山徹馬，末永光邦，大木暁，小倉真理子，篠崎英司，山口研成
当院での AFP 産生切除不能進行・再発胃癌に対するラムシルマブ併用化学療法の検討。
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
10. 山口研成
新時代を迎える大腸癌化学療法：個別化治療をふまえた治療ストラテジー。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020

【肝胆脾内科】

1. Takeda, T., Sasaki, T., Mie, T., Furukawa, T., Kanata, R., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Comparison of clinicopathological characteristics and prognosis of borderline resectable pancreatic cancer according to the location of the primary tumor.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
2. 三重堯文，武田剛志，松山真人，佐々木隆，笹平直樹
SpyGlass DS による術前胆道鏡及び直視下生検の成績。
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020
3. 三重堯文，佐々木隆，古川貴光，金田遼，武田剛志，松山真人，尾阪将人，笹平直樹
脾癌に対する集学的治療中に左頬部皮膚転移を認めた一例。
日本消化器病学会関東支部第 358 回例会：誌上開催，2020
4. 三重堯文，春日章良，古川貴光，金田遼，武田剛志，松山真人，佐々木隆，伊藤寛倫，上田和彦，高松学，笹平直樹
脾管周囲に線維化を認めた脾頭部 PanIN の 1 例。
第 72 回日本消化器画像診断研究会：さいたま市，2020
5. 三重堯文，武田剛志，金田遼，佐々木隆，笹平直樹
超音波内視鏡下胆嚢ドレナージ術にてプラスチックステントを留置した際にトラブルシューティングを要した一例。
第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2020
6. 佐々木隆，高橋祐，笹平直樹
当院における切除可能脾癌に対する術前治療..
第 106 回日本消化器病学会総会：誌上開催，2020

7. 佐々木隆
肝・胆・膵がんの薬物療法．
がん専門薬剤師集中教育講座：東京，2020
8. 古川貴光，ほか
当院における初発大型肝細胞癌 TACE 施行例の
治療成績．
第 56 回日本肝癌研究会：大阪市，2020
9. 古川貴光，尾阪将人，笹平直樹
当院における膵原発神経内分泌癌に対する化学
療法の後方視的検討．
第 106 回日本消化器病学会総会：誌上開催，
2020
10. 尾阪将人
膵癌 2 次化学療法における新たな治療選択肢と
患者サポートプログラム．
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，
2020
11. 尾阪将人
膵臓がんの化学療法の現状と今後の展望．
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，
2020
12. 山田悠人，武田剛志，松山真人，佐々木隆，笹
平直樹
超音波内視鏡ガイド下胆管胃吻合術（EUS-
HGS）におけるステント逸脱と末梢側胆管炎予
防のための工夫．
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
Web 開催，2020
13. 福田晃史郎，三重堯文，古川貴光，山田悠人，
武田剛志，春日章良，松山真人，佐々木隆，尾
阪将人，笹平直樹，平澤俊明，松枝清
肝門部領域胆管癌に対する化学療法中に十二指
腸静脈瘤破裂を来し、経皮門脈ステント留置術
と内視鏡的静脈瘤硬化療法にて止血し、救命し
えた一例．
日本消化器病学会関東支部第 360 回例会：
Web 開催，2020
14. 笹平直樹，三重堯文，佐々木隆，金田遼，古川
貴光，澤田雅志，武田剛志，春日章良，松山真
人，尾阪将人，井上陽介，高橋祐，平塚真生子，

上田和彦，松枝清，高澤豊，前佛均
Stage 0, I-A 膵癌の画像所見から見た膵癌早期
診断のための診断戦略．
第 106 回日本消化器病学会総会：誌上開催，
2020

15. 笹平直樹，武田剛志，佐々木隆
難渋する胆道ドレナージの工夫：通常型カバー
付ステント不応の悪性胆道狭窄に対する Duck-
bill 型弁付ステントの成績．
第 56 回日本胆道学会学術集会：Web& 誌上開
催，2020

【上部消化管内科】

1. Ishioka, M., Hirasawa, T., Namikawa, K.,
Fujisaki, J.
Clinical and imaging features of gastric mu-
cosa-assisted lymphoid tissue lymphoma in
Helicobacter pylori-uninfected cases.
2nd World Congress of GI Endoscopy, 24th
Pan American Congress of Digestive Endos-
copy: Rio de Janeiro, Brazil, 2020
2. Namikawa, K., Hirasawa, T., Fujisaki, J.
Evaluation of efficiency of antrectomy for
patients with type I gastric neuroendocrine
tumors.
2nd World Congress of GI Endoscopy, 24th
Pan American Congress of Digestive Endos-
copy: Rio de Janeiro, Brazil, 2020
3. 並河健，藤崎順子，吉水祥一，堀内裕介，石山
晃世志，由雄敏之，平澤俊明，土田知宏，森誠
一
H. pylori 感染・未感染の早期印環細胞癌にお
ける whole-exome sequencing を用いた遺伝
子解析の比較検討．
第 16 回日本消化管学会総会学術集会：姫路市，
2020
4. 並河健，森誠一，藤崎順子
H. pylori 感染・未感染の未分化型早期胃癌に
おける whole-exome sequencing を用いた遺
伝子解析の比較検討．
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW
2020: 神戸市，2020

5. 並河健, 森誠一, 藤崎順子
H. pylori 感染・未感染の早期未分化型早期胃癌における whole-exome sequencing を用いた遺伝子解析の比較検討.
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: Web 開催, 2020
6. 並河健, 藤崎順子
Helicobacter pylori 除菌後スキルス胃癌の臨床病理学的特徴.
第 1 回 Helicobacter pylori 未感染と除菌後時代の胃癌発見に役立つ内視鏡診断の構築研究会: 紙上発表, 2020
7. 並河健, 平澤俊明, 藤崎順子, 多田智裕
人工知能を用いた胃癌と胃潰瘍の鑑別診断システム: Original 版と Advanced 版胃癌診断システムの比較検討.
第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2020
8. 並河健
食道 2.
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: Web 開催, 2020
9. 中尾栄祐, 平澤俊明, 泉本裕文, 清水良, 東佑香, 松野高久, 池之山洋平, 畑森裕之, 城間翔, 渡海義隆, 並河健, 吉水祥一, 堀内裕介, 土田知宏, 石山晃世志, 由雄敏之, 藤崎順子, 河内洋
十二指腸神経内分泌腫瘍に対するリンパ節転移リスクからみた治療法に関する検討.
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: Web 開催, 2020
10. 中尾栄祐, ほか
超拡大内視鏡所見と JNET 分類・pit pattern 分類および病理組織所見との整合性に関する検討
第 92 回大腸癌研究会: 広島市, 2020
11. 内藤咲貴子, 平澤俊明, 中野薫, 河内洋, 藤崎順子
当院における A 型胃炎合併胃癌の特徴について.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020 (消化器内視鏡学会): 神戸市 (誌上発表), 2020
12. 内藤咲貴子, 土田知宏, 糸井隆夫
消化器内科女医の働き方における施設間での検討.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・Web 開催, 2020
13. 内藤咲貴子, 由雄敏之, 藤崎順子
深達度 MM/SM1 の食道扁平上皮癌に対する内施行的切除例の長期成績.
第 74 回日本食道学会学術集会: 徳島市 +Web 開催, 2020
14. 十倉淳紀, 並河健, 藤崎順子
Helicobacter Pylori 除菌後進行胃癌の臨床的特徴の検討.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020: 神戸市, 2020
15. 十倉淳紀, 由雄敏之, 藤崎順子
内視鏡的切除術により生じた食道穿孔に対するトラブルシューティングとしての PGA シート貼付.
第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2020
16. 十倉淳紀, 平澤俊明, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 井田智, 布部創也, 中野薫, 河内洋, 中島健, 藤崎順子
当院で経験した Gastric adenocarcinoma and proximal polyposis of the stomach (GAPPS) の 3 例.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・Web 開催, 2020
17. 十倉淳紀, 由雄敏之, 富田英臣
抗凝固薬が胃 ESD に及ぼす影響: 3 施設の検討.
第 106 回日本消化器病学会総会: 誌上開催, 2020
18. 十倉淳紀, 渡海義隆, 藤崎順子
脈管侵襲を伴った胃底腺粘膜型胃癌の 1 例.
第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2020
19. 十倉淳紀, 堀内裕介, 藤崎順子
高齢者抗血栓薬内服例に対する食道内視鏡治療における抗血栓薬の取り扱いに関する検討.

第 99 回日本消化器内視鏡学会総会：京都市・
Web 開催，2020

20. 吉水祥一，平澤俊明，布部創也
上部消化管における低侵襲治療の現状と将来展望：腫瘍径 5.1cm 以上の胃粘膜下腫瘍に対する LECS の有効性、安全性の検討。
第 106 回日本消化器病学会総会：Web 開催，2020
21. 吉水祥一，布部創也，藤崎順子
当院における表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍の治療選択とその実際。
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会：京都市・
Web 開催，2020
22. 吉水祥一，河内洋，渡海義隆，並河健，堀内裕介，石山晃世志，由雄敏之，平澤俊明，伊藤寛倫，藤崎順子
非乳頭部十二指腸 SM 癌のリンパ節転移危険因子に関する臨床病理学的検討。
第 362 回日本消化器病学会関東支部例会：Web 開催，2020
23. 城間翔，由雄敏之，多田智裕
内視鏡動画における人工知能による食道扁平上皮癌の診断能：内視鏡医との比較。
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020：神戸市，2020
24. 堀内裕介，滝沢耕平，小野裕之
未分化型早期胃癌に対する ESD 適応拡大に関する単群検証的試験の解析結果：ガイドライン内視鏡切除適応の概要も含めて。
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会：京都市・
Web 開催，2020
25. 堀川宜範，石山晃世志，河内洋，中野薫，藤崎順子
当院で経験した習慣的飲酒歴・喫煙歴がない食道表在癌 12 症例の検討。
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島市，2020
26. 平澤俊明，石岡充彬，並河健，多田智裕，藤崎順子
AI の社会実装に向けての他業種との連携。

第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：
Web 開催，2020

27. 平澤俊明，多田智裕，藤崎順子
Clinical application of artificial intelligence for diagnosing gastric cancer.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
28. 平澤俊明
Diagnosis approach of early gastric cancer after Hp eradication.
携手同“鏡”“奥視”未来：奥林巴斯華東消化学院早癌系列：中日消化内鏡早癌系列雲課堂：Web 開催，2020
29. 平澤俊明
Is endoscopic resection appropriate for type 3 gastric NETs? Retrospective, multi-center study.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
30. 平澤俊明
With COVID 時代の内視鏡：新しい感染症にどう対応するか？
Next TV Symposium: Web 講演，2020
31. 平澤俊明
With COVID 時代の内視鏡：コロナとの正しい付き合い方。
NEXIUM Web Seminar in 東三河：Web 講演，2020
32. 平澤俊明
With COVID 時代の内視鏡診療：コロナとの付き合い方教えます。
江東区医師会消化器内視鏡医会：Web 講演，2020
33. 平澤俊明
With COVID 時代の内視鏡診療：コロナ対策大丈夫？
NEXT Web Seminar: Web セミナー，2020
34. 平澤俊明
With COVID 時代の内視鏡診療：コロナ対策大丈夫？

NEXIUM Web Seminar in 千葉：Web 講演，
2020

35. 平澤俊明
不漏診の胃部内視鏡検査：小心，您漏看了那个胃癌！
携手同“鏡”“奥”視未来 奥林巴斯华东消化学院早期癌系列：Web 開催，2020
36. 平澤俊明
人工知能が切り開く近未来の医療：AI によるパラダイムシフト。
浅草医師会・下谷医師会 合同学術講演会：2020
37. 平澤俊明
人工知能が切り開く近未来の医療：AI によるパラダイムシフト。
千葉市医師会学術講演会：千葉市，2020
38. 平澤俊明
人工知能による内視鏡診断：AI は「人間を超えたのか？」
第 59 回日本消化器がん検診学会総会：Web 開催，2020
39. 平澤俊明
人工知能の医療への応用。
日本消化器病学会総会第 106 回総会ポスティングラデュエイトコース：e-Learning，2020
40. 平澤俊明
人間ドックにおける AI：胃内視鏡診断における AI の活用について。
第 61 回日本人間ドック学会学術大会：Web 開催，2020
41. 平澤俊明
対策型胃内視鏡検診の導入と課題：AI による診断支援の可能性。
Next TV Symposium: Web 開催，2020
42. 平澤俊明
早期胃癌の拾い上げ診断：差がつく内視鏡診断のノウハウ。
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020

43. 平澤俊明
胃（IEE・拡大内視鏡・経鼻内視鏡）。
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020: 神戸市，2020
44. 平澤俊明
胃がん内視鏡検診のポイント：見逃さない内視鏡検査。
野田市医師会学術講演会：Web 講演，2020
45. 平澤俊明
見逃しのない対策型胃がん検診：明日から役立つノウハウ教えます。
Next online Symposium: Web 講演，2020
46. 平澤俊明
見逃しのない胃がん内視鏡検診：その胃癌見逃していますよ！。
品川区胃がん内視鏡検診研修会：東京，2020
47. 平澤俊明
除菌後胃癌の内視鏡診断。
Diagnosis and Treatment for Early Gastrointestinal Cancer Forum of Lishui: Web 講演，2020
48. 平澤俊明
除菌後胃癌の内視鏡診断：その胃癌見逃していませんか？
城南上部下部内視鏡セミナー：東京，2020
49. 平澤俊明
除菌後胃癌を極める！。
川崎上部消化管フォーラム：川崎市，2020
50. 東佑香，並河健，藤崎順子
除菌後胃癌 ESD 症例における組織型別非治療因子の検討。
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020
51. 松野高久，並河健，藤崎順子，大橋学，中島健，中野薫，河内洋
遺伝性びまん型胃癌との鑑別を要した乳癌胃十二指腸転移の 1 例。
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020

52. 池之山洋平, 由雄敏之, 藤崎順子, 多田智裕
AI 診断システムによる多発コード不染診断の
有用性
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW
2020 (消化器内視鏡学会): 神戸市 (誌上発表),
2020
53. 池之山洋平, 河内洋, 藤崎順子
食道胃接合部腺癌における胃癌, 食道癌のリン
パ節転移, 深達度, リスク因子の差.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW
2020: 神戸市, 2020
54. 池之山洋平, 赤澤直樹, 藤崎順子
食道胃接合部腺癌内視鏡治療症例におけるリン
パ節転移と深達度, リスク因子の検討.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・
Web 開催, 2020
55. 渡海義隆, 堀内裕介, 吉水祥一
内視鏡検診における早期胃癌検出の一助となる
除菌後胃粘膜所見の検討.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・
Web 開催, 2020
56. 渡海義隆, 堀内裕介, 吉水祥一, 石山晃世志,
由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子
除菌後発癌を示唆する背景胃粘膜の検討.
第 92 回日本胃癌学会総会: Web 開催, 2020
57. 渡海義隆, 堀内裕介, 藤崎順子
除菌後胃癌における発癌および粘膜下層浸潤の
リスクとなる背景胃粘膜所見の検討.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW
2020: 神戸市, 2020
58. 玉城温子, 由雄敏之, 佐々木隆
食道悪性狭窄に対するステント留置術の成績:
先行する放射線照射の影響の検討.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都・
Web, 2020
59. 由雄敏之, 城間翔, 堀江義政, 藤崎順子, 多田
智裕
内視鏡治療の限界とブレイクスルー: 食道癌に
対する AI 診断.
第 74 回日本食道学会学術集会: 徳島市, 2020
60. 畑森裕之, 千野晶子, 河内洋
Traditional serrated adenoma における 2 種
類の遺伝子変異と病理組織形態に基づいた 4 つ
の亜分類の関連性について.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW
2020: 神戸市, 2020
61. 畑森裕之, 由雄敏之, 吉水祥一, 堀内裕介, 石
山晃世志, 土田知宏, 平澤俊明, 藤崎順子
食道癌術後縫合不全による瘻孔に対する PGA
シート充填術の有用性.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・
Web 開催, 2020
62. 石岡充彬, 堀内裕介, 平澤俊明, 由雄敏之, 並
河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 石山晃世志, 土田
知宏, 藤崎順子, 多田智裕
AI による NBI 併用拡大内視鏡を用いた胃炎・
胃癌診断.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW
2020 (消化器内視鏡学会): 神戸市 (誌上発表),
2020
63. 綾木花奈, 藤崎順子, 吉水祥一, 堀内裕介, 石
山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 河
内洋
MALT リンパ腫との鑑別が困難であった IgG4
関連食道胃疾患の一例.
第 16 回日本消化管学会総会学術集会: 姫路市,
2020
64. 藤崎順子, 鈴木秀和
H.pylori 陰性時代の胃がん内視鏡診断.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW
2020 (消化器がん検診学会): 神戸市, 2020
65. 藤崎順子
Hp 陰性胃癌の研究と診療の進歩.
第 16 回日本消化管学会総会学術集会: 姫路市,
2020
66. 藤崎順子, 鈴木秀和
ピロリ陰性時代の上部消化管疾患の内視鏡診
療.
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会:
Web 開催, 2020

67. 藤崎順子, 中村真一
働き方改革に向けた女性内視鏡医のキャリアアップ.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・Web 開催, 2020
68. 藤崎順子
未感染胃癌と自己免疫性胃炎合併胃癌の最前線.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020: 神戸市, 2020

【下部消化管内科】

1. Matsuno, T., Saito, S., Ide, D., Chino, A., Igarashi, M.
Diagnostic performance of Japan NBI expert team (JNET) classification of colorectal lesions in our hospital.
2nd World Congress of GI Endoscopy, 24th Pan American Congress of Digestive Endoscopy: Rio de Janeiro, Brazil, 2020
2. Nakao, E., Saito, S., Ide, D., Chino, A., Igarashi, M.
Endocytoscopic image promise to beyond the real histological finding of colorectal lesion in near future.
2nd World Congress of GI Endoscopy, 24th Pan American Congress of Digestive Endoscopy: Rio de Janeiro, Brazil, 2020
3. 中尾栄祐, 斎藤彰一, 綾木花奈, 鈴木桂悟, 土方一範, 光吉優貴, 屋嘉比聖一, 城間翔, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広
超拡大内視鏡所見と JNET 分類・pit pattern 分類および病理組織所見との整合性に関する検討.
第 92 回大腸癌研究会: 広島市. 2020
4. 中尾栄祐, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸における超拡大内視鏡観察による optical biopsy の有効性.
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: Web 開催, 2020
5. 中尾栄祐, 斎藤彰一, 綾木花奈, 松野高久, 池之山洋平, 鈴木桂悟, 土方一範, 光吉優貴, 屋嘉比聖一, 城間翔, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広
大腸腫瘍性病変における超拡大内視鏡所見の読影に関する検討.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・Web 開催, 2020
6. 中尾栄祐, 千野晶子, 鈴木桂悟, 土方一範, 光吉優貴, 屋嘉比聖一, 城間翔, 井出大資, 斎藤彰一, 五十嵐正広
直腸粘膜脱症候群に対する治療適応と治療方法に関する検討.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020 (消化器内視鏡学会): 神戸市 (誌上発表), 2020
7. 中尾栄祐, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広
超拡大内視鏡所見と病理組織所見との整合性およびその読影に関する検討.
第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会: 東京, 2020
8. 中尾栄祐, 斎藤彰一, 高松学
高齢者における T1b 早期大腸癌に対する内視鏡治療の適応拡大.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・Web 開催, 2020
9. 井出大資
その他 (治療).
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020 (消化器内視鏡学会): 神戸市 (誌上発表), 2020
10. 井出大資, 工藤進英, AMEDT1studygroup
ビッグデータと人工知能を利活用した、大腸 T1 癌リンパ節転移予測モデル.
第 99 回日本消化器内視鏡学会総会: 京都市・Web 開催, 2020
11. 十倉淳紀, 千野晶子, 斎藤彰一
大腸内視鏡の基本的な挿入パターンと挿入困難例への対応.

第 38 回日本大腸検査学会総会：Web・東京，2020

12. 千野晶子，河内洋，長山聡
Traditional serrated adenoma における 2 種類の遺伝子変異と病理組織形態に基づいた分類との関連性について．
第 92 回大腸癌研究会：広島市，2020
13. 屋嘉比聖一，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，斎藤彰一
大腸 ESD におけるトラクションデバイスを使用した pocket-creation method の有用性について．
第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2020
14. 屋嘉比聖一，斎藤彰一，安江千尋，井出大資，千野晶子，五十嵐正広
大腸 SM 浸潤癌におけるリンパ節転移率と治癒切除基準について．
第 92 回大腸癌研究会：広島市，2020
15. 屋嘉比聖一，安江千尋，斎藤彰一
大腸癌治療ガイドラインおよび EMR/ESD ガイドラインからみた大腸 T1（SM）癌のストラテジーにおける妥当性の検証．
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020：神戸市，2020
16. 屋嘉比聖一，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，斎藤彰一
大腸遺残再発病変に対するトラクションデバイスを使用した pocket-creation method の有用性について．
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020
17. 斎藤彰一
新しい粘膜下注入剤による治療戦略．
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020
18. 斎藤彰一
早期大腸癌：病態解明と診断・治療の進歩．
第 92 回大腸癌研究会：広島市，2020

19. 松野高久，斎藤彰一，池之山洋平，光吉優貴，西川雄祐，中尾栄祐，鈴木桂悟，城間翔，土方一範，屋嘉比聖一，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，河内洋
小腸原発化膿性肉芽腫（pyogenic granuloma）の本邦報告症例の臨床病理学的検討．
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020（消化器内視鏡学会）：神戸市（誌上発表），2020
20. 松野高久，斎藤彰一，中尾栄祐，光吉優貴，池之山洋平，城間翔，鈴木佳悟，屋嘉比聖一，井出大資，千野晶子，五十嵐正広，河内洋
当院における小腸疾患の診断と治療について．
第 16 回日本消化管学会総会学術集会：姫路市，2020
21. 鈴木桂悟，斎藤彰一，井出大資，千野晶子，為我井芳郎，五十嵐正広，福長洋介
当院における大腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術（Laparoscopic Cooperative Surgery-Colorectal; LECS-CR）の治療成績．
第 92 回大腸癌研究会：広島市，2020
22. 鈴木桂悟，千野晶子，井出大資，斎藤彰一，五十嵐正広
当院における放射線性腸炎の病態別分類と対処方法および長期成績に関する検討．
第 110 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：東京，2020
23. 鈴木桂悟，斎藤彰一，福長洋介
腸腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術（Laparoscopic Cooperative Surgery-Colorectal; LECS-CR）の治療成績．
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020

【食道外科】

1. Imamura, Y.
LINE-1 hypo-methylation as a distinct phenotype in non-EBV/non-MSI-H esophago-gastric junction adenocarcinoma.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020

2. Imamura, Y., Takamatsu, M., Hori, S., Otake, R., Toihata, T., Kozuki, R., Takahashi, K., Okamura, A., Mori, S., Oki, E., Morita, M., Baba, H., Sano, T., Watanabe, M. LINE-1 hypo-methylation in non-EBV/non-MSI-H esophagogastric junction adenocarcinoma.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
3. 上月亮太郎，渡邊雅之，問端輔，高橋慶太，大竹玲子，岡村明彦，金森淳，今村裕
超高齢者の局所進行食道癌に対する放射線単独療法の治療成績．
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web，2020
4. 今村裕，アダム・バス，沖英次，森田勝，馬場秀夫，渡邊雅之
食道胃接合部腺癌における野生型 KRAS 遺伝子増幅の意義．
第 16 回日本消化管学会総会学術集会：姫路市，2020
5. 今村裕，高松学，堀創史，大竹玲子，問端輔，上月亮太郎，高橋慶太，岡村明彦，森誠一，沖英次，森田勝，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
MSI-L 腫瘍に対する免疫治療の可能性：食道胃接合部腺癌での検討．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
6. 今村裕，高松学，布部創也，吉田直矢，沖英次，森田勝，森正樹，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
Molecular subtype による食道胃接合部腺癌の至適リンパ節郭清範囲．
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web，2020
7. 今村裕，高松学，布部創也，吉田直矢，沖英次，森田勝，森正樹，馬場秀夫，佐野武，渡邊雅之
分子・組織亜型による食道胃接合部腺癌の至適リンパ節郭清範囲．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
8. 問端輔，岡村明彦，堀創史，上月亮太郎，高橋慶太，大竹玲子，今村裕，渡邊雅之
頸胸境界部局所進行食道癌に対する Cervicothoracoscopic esophagectomy.
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
9. 問端輔，岡村明彦，上月亮太郎，高橋慶太，大竹玲子，今村裕，渡邊雅之
Cervicothoracoscopic approach for cervicothoracic esophageal cancer.
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web，2020
10. 堀創史，今村裕，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，大竹玲子，金森淳，岡村明彦，渡邊雅之
食道癌術後早期の血糖管理の重要性．
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島市，2020
11. 堀創史，今村裕，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，大竹玲子，岡村明彦，渡邊雅之
食道癌術後早期の血糖管理の重要性．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
12. 大竹玲子，岡村明彦，山下公太郎，今村裕，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，堀創史，渡邊雅之
食道癌剥離断端陽性症例に対する術後放射線療法の意義．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
13. 大竹玲子，岡村明彦，今村裕，金森淳，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，渡邊雅之
食道癌術後腸閉塞を軽減する手術手技の工夫．
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web，2020
14. 大竹玲子，岡村明彦，山下公太郎，今村裕，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，渡邊雅之
食道扁平上皮癌剥離断端陽性症例に対する術後放射線療法の意義．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
15. 岡村明彦
多職種連携による新たな臨床研究の試み：慢性閉塞性肺疾患併存食道癌に対する周術期の気管

- 支拡張薬の効果を検討する非盲検ランダム化パイロット試験 (EPITOPE 試験) の紹介。
第 4 回食道周術管理セミナー：TSEP：Team Bullding Seminar for Esophageal Professionals: 東京，2020
16. 岡村明彦
食道扁平上皮癌における壁内転移の意義。
第 30 回日本気管食道科学会認定気管食道科専門医大会：横浜市，2020
17. 岡村明彦，速水克，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，大竹玲子，今村裕，佐野武，渡邊雅之
Salvage esophagectomy for initially unresectable locally advanced T4 esophageal cancer.
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
18. 岡村明彦
頸部食道胃管吻合における三辺外翻三角吻合。
Live Streaming 胃管再建を極める：Web 配信，2020
19. 岡村明彦，金森淳，今村裕，渡邊雅之
若年女性に生じた巨大食道平滑筋腫に対する手術。
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会：名古屋市，2020
20. 岡村明彦，松田諭，眞柳修平，金森淳，今村裕，入野誠之，川久保博文，峯真司，竹内裕也，北川雄光，渡邊雅之
食道扁平上皮癌術前補助化学療法における治療前血清 SCC 抗原の意義。
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020 (消化器外科学会)：神戸市 (誌上発表)，2020
21. 岡村明彦，鈴木健，高橋慶太，問端輔，上月亮太郎，大竹玲子，金森淳，今村裕，陳勁松，渡邊雅之
局所進行食道癌に対する集学的治療戦略における非治癒予測因子。
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web，2020
22. 岡村明彦，渡邊雅之，今村裕，高橋慶太，問端輔，上月亮太郎，大竹玲子，佐野武
BorderlineT4 食道扁平上皮癌に対する術前化学放射線療法の治療成績。
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
23. 渡邊雅之
外科治療における最近の取り組み。
第 4 回食道周術管理セミナー：TSEP：Team Bullding Seminar for Esophageal Professionals: 東京，2020
24. 渡邊雅之，堀創史，大竹玲子，上月亮太郎，問端輔，高橋慶太，岡村明彦，今村裕
cStage II/III 進行食道癌に対する Minimally-invasive esophagectomy の治療成績。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
25. 渡邊雅之
縫合不全をゼロにする最適な胃管：亜全胃管 vs 細径胃管。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
26. 渡邊雅之
食道癌治療の最前線。
第 9 回周術期管理研究会：Zoom ウェビナー，2020
27. 渡邊雅之
食道癌治療の最前線。
第 19 回 EGI 外科治療研究会：Web 開催，2020
28. 渡邊雅之
がん専門病院における COVID-19 対策。
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会：名古屋市，2020
29. 渡邊雅之
この症例をどう診断し治療する。
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会：名古屋市，2020

30. 渡邊雅之
食道癌術後合併症対策．
第 73 回日本胸部外科学会定期学術集会：名古屋市，2020
31. 渡邊雅之
食道 2．
第 74 回手術手技研究会：松江市，2020
32. 渡邊雅之
接合部癌お互いにとっての国境はどこだ：食道外科医・胃外科医の立場から．
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
33. 渡邊雅之
食道：周術期管理．
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020（消化器外科学会）：神戸市（誌上発表），2020
34. 渡邊雅之
周術期治療における邂逅と想像：その歴史的変遷：現況と将来展望．
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web，2020
35. 渡邊雅之，大竹玲子，上月亮太郎，高橋慶太，問端輔，岡村明彦，今村裕
進行食道癌に対する胸腔鏡下食道切除の成績：開胸手術との比較．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
36. 渡邊雅之
食道：進行食道癌に対する Conversion surgery．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
37. 蟹江恭和，渡邊雅之，今村裕，岡村明彦，金森淳，藤原大介，丸山傑
無色素性食道原発悪性黒色腫の 1 例．
日本臨床外科学会東京都支部第 857 回外科集談会：誌上開催，2020
38. 金森淳，渡邊雅之，峯真司，高橋慶太，上月亮太郎，大竹玲子，問端輔，岡村明彦，今村裕
当院における胸腔鏡下胸腔内 overlap 吻合の手技と成績．
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020（消化器外科学会）：神戸市（誌上発表），2020
39. 金森淳，渡邊雅之，山下公太郎，高橋慶太，上月亮太郎，大竹玲子，問端輔，岡村明彦，今村裕
食道癌術後再発に対する外科的切除の意義．
第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web，2020
40. 高橋慶太
外科治療における最近の取り組み．
第 4 回食道周術管理セミナー：TSEP：Team Building Seminar for Esophageal Professionals: 東京，2020
41. 高橋慶太，渡邊雅之，蟹江恭和，丸山傑，藤原大介，金森淳，岡村明彦，今村裕
先天性血管走行異常を併存する食道癌に対する頸腹先行アプローチの有用性．
日本臨床外科学会東京都支部第 857 回外科集談会：誌上開催，2020
42. 高橋慶太，渡邊雅之，堀創史，大竹玲子，上月亮太郎，問端輔，岡村明彦，今村裕
高齢者食道癌術後の骨格筋減少が再発・予後に与える影響とそのリスク因子の解析．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
43. 高橋慶太，渡邊雅之，大竹玲子，上月亮太郎，問端輔，岡村明彦，金森淳，今村裕，峯真司
食道亜全摘・頸部胃管再建時における二辺外翻と三辺外翻三角吻合の比較．
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020（消化器外科学会）：神戸市（誌上発表），2020
44. 高橋慶太，岡村明彦，大竹玲子，上月亮太郎，問端輔，金森淳，今村裕，渡邊雅之
食道切除周術期管理チームの導入による術後肺炎予防と長期予後に与える影響．

第 74 回日本食道学会学術集会：徳島・Web, 2020

45. 高橋慶太, 岡村明彦, 大竹玲子, 上月亮太郎, 問端輔, 今村裕, 渡邊雅之
食道切除周術期管理チームの導入による術後肺炎軽減に向けた当院の取り組み.
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市, 2020

【胃外科】

1. Amada, E., Ida, S., Makuuchi, R., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Nunobe, S.
Impact of reconstruction method on physical and nutritional status of elderly patients.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
2. Ida, S.
Nutrition/QOL.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
3. Jiang, X., Kumagai, K., Hiki, N., Nunobe, S., Ida, S., Ohashi, M., Sano, T.
Long-term outcome after laparoscopic subtotal gastrectomy with very small remnant stomach.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
4. Kumagai, K.
International Session 2.
日本蛍光ガイド手術研究会第 3 回学術集会：Web 開催, 2020
5. Makuuchi, R.
Case report 3.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
6. Muneoka, Y., Ohashi, M., Amada, e., Ota, E., Isozaki, M., Ohashi, T., Takahashi, R., Yagi, S., Ri, M., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T.
Risk factors of No.10 metastasis in advanced proximal gastric cancer invading the greater curvature.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
7. Nunobe, S., Natsugoe, S.
Pros and cons of reconstruction methods after proximal gastrectomy.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
8. Nunobe, S., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K.
Reconstruction with a double-flap technique after laparoscopic proximal gastrectomy.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
9. Nunobe, S.
Usefulness of inverted LECS for gastric tumor.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
10. Ohashi, M., Hayamai, M., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Oncological impact of gross proximal margin in distal gastrectomy for gastric cancer.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
11. Ohashi, M.
Remnant gastric cancer.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
12. Ri, M., Nunobe, S., Honda, M., Akimoto, E., Kinoshita, T., Hori, S., Aizawa, M., Isobe, Y., Kawakubo, H., Abe, T.
Long-term outcome of omentum-resecting vs omentum-preserving gastrectomy for cT3/ T4 gastric cancer.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催, 2020
13. Sano, T.
Gastric cancer treatment : Current situation and perspective in Japan.
8th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress(APGCC) & ESOINDIA: Chennai, India, 2020
14. Sano, T.
Open D2 Gastrectomy.
8th Asia-Pacific Gastroesophageal Cancer Congress(APGCC) & ESOINDIA: Chennai, India, 2020

15. Sano, T., Noh, S. H.
Gastric cancer treatment in the world: Bridges between East and West.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
16. Sano, T.
History and perspective of Japanese Classification.
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
17. 井田智，熊谷厚志，松尾宏美，布部創也，比企直樹
胃切除術後の早期栄養および運動介入の効果．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上開催，2020
18. 井田智，松尾宏美，伊沢由紀子，布部創也，熊谷厚志
胃癌周術期の PPN、とくに脂肪製剤の積極的利用による急性期の体重減少を抑制する試み．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上開催，2020
19. 井田智，李基成，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也
胃切除術後の血糖変動とダンピング症状発生との関連．
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
20. 井田智
サルコペニアを防ぐ！胃癌周術期栄養と運動療法．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
21. 井田智，熊谷厚志，幕内梨恵，大橋学，佐野武，布部創也
胃切除術後の早期運動および栄養介入が術後骨格筋量の変化に及ぼす影響．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
22. 井田智
胃：良性．
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
23. 井田智，李基成，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也
胃切除術後の術式ごとの血糖変動とダンピング症状の発生との関連．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
24. 佐野武
研究申請書はどう読まれ、評価されるか．
日本臨床試験学会第 11 回学術集会総会：東京，2020
25. 佐野武
わが国では胃癌術前化学療法は術後補助化学療法を超えられるか？
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
26. 佐野武，吉田和弘
初診時切除不能胃癌に対する conversion surgery の意義．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
27. 佐野武
プロジェクト成果発表（2）．
AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム成果発表シンポジウム 2020：東京，2020
28. 佐野武
COVID-19 を経験して組織としての対策：がん専門病院としてがん治療の継続のための方策．
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
29. 佐野武，高山忠利
手術に役立つ外科解剖の新たな展開．
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
30. 佐野武
AI ホスピタル．
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，2020
31. 佐野武
日本外科系連合会に求めるもの．

- 第 45 回日本外科系連合学会学術集会：Web 開催，2020
32. 佐野武
胃癌治療の変遷と展望．
第 45 回日本外科系連合学会学術集会：Web 開催，2020
33. 佐野武
最新版腹腔鏡下胃がん手術の総論・各論．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
34. 八木秀祐，布部創也，天田塩，宗岡悠介，太田絵美，磯崎正典，高橋遼，大橋拓馬，李基成，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武
胃がん手術症例の時代的変遷：患者背景と予後の変化について．
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
35. 坂本啓，熊谷厚志，八木秀祐，渥美振一郎，泉大輔，小寺澤康文，崔尚仁，西江尚貴，天田塩，宗岡悠介，幕内梨恵，井田智，大橋学，布部創也，佐野武
胃癌根治切除後早期に再発を来した症例の臨床病理学的特徴に関する検討．
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
36. 堀創史，布部創也，本多通孝，李基成，大橋拓馬，八木秀祐，高橋遼，磯崎正典，天田塩，宗岡悠介，太田絵美，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武
胃癌の病変周在とリンパ節転移部位との関連．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
37. 大橋学，加納陽介，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，佐野武，布部創也
上部早期胃癌に対する機能温存術式としての胃全摘術と噴門側胃切除術の短期・長期的アウトカムの比較．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
38. 大橋学
腹腔鏡下胃切除術後の脾液漏：原因探索と予防対策、そして次なる一手．
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
39. 大橋拓馬，布部創也，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武
上腹部手術既往を有する腹腔鏡下幽門側胃切除術の短期成績の検討．
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
40. 天木衛，天田塩，磯崎正典，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，中野薫，中島健，布部創也
Gastric adenocarcinoma and proximal polypsis of the stomach (GAPPS) 疑いに対して胃全摘を行った一例．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
41. 天田塩，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也
観音開き法再建を用いたロボット支援下噴門側胃切除術の安全性．
第 12 回日本ロボット外科学会：東京，2020
42. 天田塩，井田智，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也
80 歳以上の高齢者において手術アプローチが胃切除術後の身体機能回復に及ぼす影響．
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
43. 天田塩，熊谷厚志，高橋遼，庄司佳晃，幕内梨恵，井田智，大橋学，佐野武，布部創也
Prospective feasibility study for single-tracer sentinel node mapping by ICG (indocyanine green) fluorescence and OSNA (one-step nucleic acid amplification) assay in laparoscopic gastric cancer surgery.
日本蛍光ガイド手術研究会第 3 回学術集会：Web 開催，2020
44. 天田塩，布部創也，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武
高度進行食道癌・胃癌に対する治療戦：脾頭部の形態が幽門側胃切除の手術成績に与える影響の検討．

- 第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
45. 天田塩，井田智，山口彩，松尾宏美，馬城はるか，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也
80 歳以上の高齢者において手術アプローチが胃切除術後の身体機能・栄養状態の回復に及ぼす影響の検討。
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
46. 太田絵美，大橋学，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，佐野武，布部創也
胃癌リンパ節転移予測因子としての免疫栄養状態の指標。
第 92 回日本胃癌学会総会：Web 開催，2020
47. 太田絵美，大橋学，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，佐野武，布部創也
胃癌リンパ節転移予測因子としての免疫栄養状態の指標。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
48. 太田絵美，井田智，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也
胃全摘術における栄養指導と術後栄養状態の検討。
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
49. 宗岡悠介，大橋学，天田塩，太田絵美，磯崎正典，大橋拓馬，高橋遼，八木秀祐，李基成，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，布部創也，佐野武
完全鏡視下胃切除術における鏡視下胃切離の安全性の検討。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
50. 宗岡悠介，井田智，渥美振一郎，泉大輔，小寺澤康文，崔尚仁，坂本啓，西江尚貴，天田塩，幕内梨恵，熊谷厚志，大橋学，佐野武，布部創也
腹膜播種陽性胃癌に対する Conversion surgery の検討。
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
51. 宗岡悠介，布部創也，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武
当院における食道浸潤を伴う胃癌に対する腹腔鏡下噴門側胃切除・観音開き法再建の手術成績。
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，2020
52. 山口俊晴
ここが違う！4K 硬性鏡を用いた腹腔鏡下手術。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
53. 山口俊晴
LECS は高齢者胃癌に対する新しいオプションとなるか。
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020（消化器外科学会）：神戸市，2020
54. 山口俊晴
消化器外科手術料の決定プロセスの現状と問題点。
第 28 回日本消化器関連学会週間：JDDW 2020（消化器外科学会）：神戸市，2020
55. 崔尚仁，布部創也，高橋遼，幕内梨恵，井田智，熊谷厚志，大橋学，佐野武
胃切除後における脾萎縮についての検討。
第 50 回胃外科・術後障害研究会：Web 開催，2020
56. 布部創也
ここが違う！4K 硬性鏡を用いた腹腔鏡下手術。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
57. 布部創也
ロボット支援手術は内視鏡外科手術を凌駕できるか：食道癌・胃癌。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
58. 布部創也
胃：GIST・LECS。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020

59. 布部創也, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武
食道残胃: 腹腔鏡下噴門側胃切除後の良好な食事摂取と逆流防止効果を目指した観音開き法再建.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
60. 布部創也
胃: 悪性 7.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
61. 布部創也, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武
胃癌に対する腹腔鏡下機能温存手術.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
62. 布部創也
マーゲン領域での手技定型化、アドバンス症例について.
Da Vinci Gastrectomy Seminar: Zoom 開催, 2020
63. 布部創也, 高橋遼, 熊谷厚志
Survival outcomes of elderly patients with pathological stages II and III gastric cancer.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020: 神戸市, 2020
64. 布部創也
がん研有明病院における LECS の変遷: 外科と内科の良好なコラボレーションを目指して.
第 115 回日本消化器内視鏡学会北陸支部例会: Web 開催, 2020
65. 布部創也
ロボット胃切除術がもたらした変化.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
66. 布部創也
腹腔鏡下噴門側胃切除の手技とアウトカム: 胃癌手術における art と science の融合を目指すもの.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
67. 幕内梨恵, 天田塩, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也, 佐野武
胃癌に対するロボット支援下胃切除術の導入初期の成績.
第 12 回日本ロボット外科学会: 東京, 2020
68. 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也, 佐野武
ロボット支援下胃切除術における術中臓器損傷.
第 92 回日本胃癌学会総会: Web 開催, 2020
69. 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也, 佐野武
外科の魅力.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
70. 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
胃癌に対するロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性の検証.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
71. 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也, 佐野武
噴門側胃切除術におけるロボット支援下手術と腹腔鏡下手術の比較.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
72. 幕内梨恵
胃・十二指腸 2.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
73. 幕内梨絵
胃 2.
第 42 回日本癌局所療法研究会: 誌上開催, 2020
74. 李基成, 布部創也, 井田智

幽門側および幽門保存胃切除後の血糖変動とダンピング症状との関連

第 28 回日本消化器関連学会週間 : JDDW
2020: 神戸市, 2020

75. 李基成, 井田智, 山口彩, 松尾宏美, 馬城はるか, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武, 布部創也
胃切除術後のダンピング症状と血糖変動との関連について.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020

76. 泉大輔, 井田智, 渥美振一郎, 小寺澤康文, 崔尚仁, 坂本啓, 西江尚貴, 天田塩, 宗岡悠介, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 布部創也
胃切除術後に十二指腸憩室穿孔を起こした 2 例.
日本臨床外科学会東京都支部第 857 回外科集談会: 誌上開催, 2020

77. 泉大輔, 井田智, 渥美振一郎, 小寺澤康文, 崔尚仁, 坂本啓, 西江尚貴, 天田塩, 宗岡悠介, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 布部創也
幽門狭窄症例に対する胃切除術前経腸栄養療法の意義.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020

78. 渥美振一郎, 井田智, 泉大輔, 小寺澤康文, 崔尚仁, 坂本啓, 西江尚貴, 天田塩, 宗岡悠介, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 渡邊雅之, 佐野武, 布部創也
早期胃癌に対する内視鏡治療後の腹腔鏡下噴門側胃切除術の短期成績.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020

79. 熊谷厚志, 井田智, 松尾宏美, 伊沢由紀子, 松下亜由子, 川名加織, 高木久美, 中屋恵梨香, 伊丹優貴子, 榎田滋穂, 山口彩, 岡野亜子, 幕内梨恵, 大橋学, 布部創也
早期胃癌に対する腹腔鏡下胃切除術における術後合併症予測因子としての術前栄養指標と患者体型の意義.

第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会: 誌上開催, 2020

80. 熊谷厚志, 幕内梨恵, 井田智, 大橋学, 李基成, 大橋拓馬, 磯崎正典, 高橋遼, 八木秀祐, 宗岡悠介, 天田塩, 太田絵美, 山口俊晴, 佐野武, 布部創也
術中偶発症に対する手技の標準化と開腹移行例の変遷から考える、腹腔鏡下胃切除術のトラブルシューティング.
第 92 回日本胃癌学会総会: Web 開催, 2020

81. 熊谷厚志, 幕内梨恵, 井田智, 大橋学, 宗岡悠介, 天田塩, 渥美振一郎, 泉大輔, 小寺澤康文, 崔尚仁, 坂本啓, 西江尚貴, 佐野武, 山口俊晴, 布部創也
脾臓に触らないリンパ節郭清手技が創造する胃癌手術の未来.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020

82. 熊谷厚志
蛍光クリップ【ゼオクリップ® FS】腹腔鏡下胃切除術における蛍光マーキングクリップの有用性.
第 28 回日本消化器関連学会週間 : JDDW 2020 (消化器外科学会): 神戸市, 2020

83. 熊谷厚志, 入野誠之, 神谷諭, 速水克, 井田智, 幕内梨恵, 大橋学, 布部創也, 山口俊晴, 佐野武
消化器外科医の働き方改革と Art の継承・Science の創生は両立するか?: Sweden での経験から考えること.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020

84. 熊谷厚志
胃・十二指腸: 手術 4.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020

85. 磯崎正典, 井田智, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
4 型胃癌のリンパ節転移と予後.
第 92 回日本胃癌学会総会: Web 開催, 2020

86. 西江尚貴, 井田智, 渥美振一郎, 泉大輔, 小寺澤康文, 崔尚仁, 坂本啓, 天田塩, 宗岡悠介, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
残胃癌に対する遠位側胃切除と残胃全摘における術後栄養状態の検討.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
87. 西江尚貴, 井田智, 泉大輔, 坂本啓, 天田塩, 宗岡悠介, 幕内梨恵, 熊谷厚志, 大橋学, 布部創也
残胃癌に対する遠位側胃切除と残胃全摘における術後栄養状態の検討.
第 50 回胃外科・術後障害研究会: Web 開催, 2020
88. 高橋遼, 布部創也, 太田絵美, 天田塩, 宗岡悠介, 磯崎正典, 八木秀祐, 大橋拓馬, 李基成, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学, 佐野武
高齢者 Stage II/III 胃癌の長期予後解析.
第 92 回日本胃癌学会総会: Web 開催, 2020
89. 高橋遼, 大橋学, 太田絵美, 天田塩, 宗岡悠介, 磯崎正典, 八木秀祐, 大橋拓馬, 李基成, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 佐野武, 布部創也
早期胃癌に対する腹腔鏡下幽門保存胃切除術後の胃排出遅延のリスク因子解析と長期予後の検討.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
3. Fukata, K., Fukunaga, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S.
Clinical outcomes and prognostic factors of R0 resected colorectal cancer with synchronous peritoneal metastasis.
American Society of Colon & Rectal Surgeons (ASCRS) Annual Scientific Meeting: Web 開催, 2020
4. Konishi, T., Ishioka, M., Chino, A., Nagayama, S., Akiyoshi, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Fukunaga, Y., Fujisaki, J.
Adding narrow-band imaging to chromoendoscopy for the evaluation of tumor response to neoadjuvant therapy in rectal cancer.
American Society of Colon & Rectal Surgeons (ASCRS) Annual Scientific Meeting: Web 開催, 2020
5. Konishi, T.
Multidisciplinary treatment for locally advanced lower rectal cancer.
Medtronic Webinar for S.E.A. Cluster 1: Web 開催, 2020
6. Konishi, T., Shinozaki, E., Matsusaka, S., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Ueno, M., Fukunaga, Y., Yamaguchi, K.
Circulating tumor cells in the drainage mesenteric venous blood in rectal cancer with and without neoadjuvant chemoradiotherapy.
Society of Surgical Oncology (SSO) 2020 Virtual Meeting: Web 開催, 2020
7. Konishi, T., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y.
Neoadjuvant chemotherapy, chemoradiotherapy and selective lateral node dissection through minimally invasive approach for poor-risk rectal cancer.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020

【大腸外科】

1. Akiyoshi, T.
Laparoscopic lateral lymph node dissection for advanced low rectal cancer.
Korean Society of Endoscopic & Laparoscopic Surgeons (KSELS) 2020 & Korean Association of Robotic Surgeons (KAROS) Congress: Web 開催, 2020
2. Akiyoshi, T.
cT3N1 low-rectal cancer: lat L/N dissection vs TME alone?
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020

8. Tajima, J. Y., Nakanishi, R., Ikeda, A., Hokonohara, K., Mukai, T., Hiyoshi, Y., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, t., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Konishi, T.
Incisional hernia on the midline umbilical incision after laparoscopic colorectal cancer resection: An ad-hoc study of a prospective randomized clinical trial.
The 30th Biennial Congress of the International Society of University of Colon and Rectal Surgeons: Yokohama, Japan, 2020
9. 中西良太, 秋吉高志, 清住雄希, 澤田隆一郎, 田島ジェシー雄, 深田浩志, 鉾之原健太郎, 江本慎, 平山和義, 永岡智之, 松井信平, 村橋賢, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
Treatment strategy for patients with locally recurrent rectal cancer.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
10. 佐野修平, 福長洋介, 田島ジェシー雄, 清住雄希, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長岡聡, 阿江啓介, 船内雄生
術中ナビゲーションシステムを用いて高位仙骨部分切除で R0 切除しえた直腸癌術後局所再発の 1 例.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
11. 向井俊貴
大腸切除術に対する体腔内吻合導入を目指して.
The 2nd Intracorporeal Anastomosis Hands on Seminar: 川崎市, 2020
12. 向井俊貴, 秋吉高志, 長壽寿矢, 福長洋介, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 上野雅資
他臓器合併切除を伴う局所進行結腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
13. 向井俊貴, 秋吉高志, 日吉幸晴, 山口智弘, 長壽寿矢, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
当科における TaTME 併用腹腔鏡下 ISR の手技と治療成績.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
14. 向井俊貴, 秋吉高志, 長壽寿矢, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
当科における下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
15. 天野隆皓, 向井俊貴, 田口千蔵, 田島ジェシー雄, 日吉幸晴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
術前化学放射線治療後に手術拒否により再増大した下部進行直腸癌に対して放射線再照射後に骨盤内臓全摘術を施行した 1 例.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
16. 太田絵美, 福長洋介, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長壽寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡
直腸癌術後の孤立性腔再発に対して腔部分切除を行い長期生存が得られた 1 例.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
17. 小西毅
骨盤内手術における合併症対策: 解剖とエネルギーデバイスの特性から考えるエキスパートテクニック.
E-Live: SoTM: 2020
18. 小西毅
マルチアングル(各領域)から見る骨盤解剖: PAIm 排尿障害をいかに防ぐか.
ゼロコン+シンポジウム: Web 開催, 2020
19. 小西毅
局所進行大腸癌に対する治療戦略.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
20. 山口智弘
大腸切除術に対する体腔内吻合導入を目指して.

- The 2nd Intracorporeal Anastomosis Hands on Seminar: 川崎市, 2020
21. 山口智弘
直腸がんに対する MIS : 腹腔鏡下手術とロボット手術 .
第 92 回大腸癌研究会 : 広島市, 2020
 22. 山口智弘
これからの医療を担う次世代へロボット手術をどう伝えるか .
007 Gastrointestinal Surgery: 東京, 2020
 23. 山口智弘
下部消化管① .
第 12 回日本ロボット外科学会 : 東京, 2020
 24. 山口智弘
結腸体腔内吻合の安全な導入に向けて .
ゼロコン+ Web シアター : Web 開催, 2020
 25. 山口智弘
直腸癌に対する術前化学放射線治療後の選択的側方郭清 .
Discovery of Colorectal Surgical Oncology Seminar : beyond surgical approach :
第 1 回「側方リンパ節郭清」: Web 開催, 2020
 26. 山口智弘
横行結腸 .
Minimally Invasive Therapies Seminar for Colorectal -The 5th-「大腸癌に対する MIS」:
Web 開催, 2020
 27. 山口智弘
直腸 1.
第 82 回日本臨床外科学会総会 : Web 開催, 2020
 28. 山口智弘
体腔内吻合 .
The 3rs Intracorporeal Anastomosis Hands-on Seminar: Web 開催, 2020
 29. 山口智弘
ダビンチ手術について .
直腸がん治療の今: da Vinci 手術、集学的治療、Watch and Wait: Web 開催, 2020
 30. 山口智弘
大腸: ロボット手術 4.
第 75 回日本消化器外科学会総会 : 和歌山市, 2020
 31. 日吉幸晴, 山崎明, 岩上志朗, 馬場祥史, 宮本裕士, 吉田直矢, 馬場秀夫
大腸疾患に対する腹腔鏡内視鏡合同手術 .
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会 : Web 開催, 2020
 32. 村橋賢, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
術前治療を施行した進行直腸癌症例を用いた circulating tumor DNA と術後再発の関連解析 .
第 120 回日本外科学会定期学術集会 : Web 開催, 2020
 33. 松井信平, 福長洋介, 上野雅資, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長寄寿矢, 向井俊貴
腹腔鏡下括約筋間直腸切除術における細径鉗子の利用と pull through 再建による低侵襲治療 .
第 120 回日本外科学会定期学術集会 : Web 開催, 2020
 34. 永岡智之, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡
下部直腸癌に対する腹腔鏡下括約筋間直腸切除術の短期および長期成績 .
第 75 回日本消化器外科学会総会 : 和歌山市, 2020
 35. 江本慎, 秋吉高志, 深田浩志, 澤田隆一郎, 鉾之原健太郎, 清住雄希, 村橋賢, 田島ジェシー雄, 平山和義, 中西良太, 永岡智之, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
当院における下部直腸 gastrointestinal stromal tumor の治療成績 .
第 120 回日本外科学会定期学術集会 : Web 開催, 2020

36. 江本慎, 福長洋介, 富永哲郎, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡
大腸癌同時性傍大動脈リンパ節転移切除症例.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
37. 深田浩志, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資
大腸癌同時性腹膜播種における R0 切除症例の手術成績と予後因子の検討.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
38. 深田浩志, 秋吉高志, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
結腸直腸悪性腫瘍に対する腹腔鏡下 v.s. 開腹骨盤内臓全摘術: 周術期転帰の比較.
第 58 回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2020
39. 清住雄希, 長寄寿矢, 松井信平, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
直腸癌術後における肛門機能障害の評価とリスク因子の検討.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
40. 清住雄希, 福長洋介, 向井俊貴, 日吉幸晴, 長寄寿矢, 山口智弘, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 千野晶子, 斎藤彰一
直腸 NET に対する内視鏡治療後の追加切除基準に関する検討.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
41. 清住雄希, 長寄寿矢, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
直腸癌術後における肛門機能障害の評価とリスク因子の検討.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
42. 澤田隆一郎, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
StageII/III 結腸癌に対する予後予測因子としての炎症性バイオマーカーの比較検討.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
43. 澤田隆一郎, 向井俊貴, 日吉幸晴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
直腸癌術後の直腸腔瘻に対して薄筋弁充填による閉鎖術にて根治を得た 4 症例の検討.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
44. 澤田隆一郎, 長寄寿矢, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
当院での結腸癌治療成績における左右差の比較.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
45. 田島ジェシー雄, 長寄寿矢, 向井俊貴, 山口智弘, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
結腸癌患者に対する腹腔鏡手術後短期成績と Prognostic nutritional index (PNI) の関連について.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
46. 田島ジェシー雄, 向井俊貴, 長寄寿矢, 山口智弘, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
当科における 80 歳以上高齢者大腸癌患者における術後短期長期成績の検討.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
47. 福長洋介, 川久保博文
管腔内視鏡・腹腔鏡合同手術の最前線.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
48. 福長洋介
大腸癌治療成績 / 技術認定制度.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020

49. 福長洋介, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長寄寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴
当院における大腸癌に対する腹腔鏡下手術手技の変遷とその継承.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
50. 福長洋介
大腸: 内視鏡下手術 (悪性) 2.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020 (消化器外科学会): 神戸市 (誌上発表), 2020
51. 福長洋介, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長寄寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴
当科における直腸癌手術に対する最適なアプローチ法.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
52. 福長洋介
大腸腫瘍に対する LECS-CR の可能性.
第 130 回日本消化器病学会北陸支部例会: 福井市, 2020
53. 福長洋介
大腸: 手術 10.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
54. 秋吉高志, 森誠一, 清谷一馬, 向井俊貴, 長寄寿也, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 福長洋介, 上野雅資
Immunogenomic profiles associated with response to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with advanced low rectal cancer.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
55. 秋吉高志
ロボット支援手術は内視鏡外科手術を凌駕できるか: 直腸癌.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
56. 秋吉高志, 石原総一郎
進行下部直腸癌に対する治療戦略.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
57. 秋吉高志
エキスパートからの提言! 完全制覇!: 結腸 CME/ 体腔内吻合, 直腸 TME, 側方郭清, 拡大手術.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
58. 秋吉高志, 深田浩志, 澤田隆一郎, 清住雄希, 田島ジェシー雄, 向井俊貴, 長寄寿矢, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
当院における腹腔鏡下骨盤内臓全摘術の手術手技と治療成績.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会: Web 開催, 2020
59. 秋吉高志
内視鏡外科のステップアップと技術の応用「直腸 (LAR, TME, 側方郭清)」.
第 45 回日本外科系連合学会学術集会: Web 開催, 2020
60. 秋吉高志
大腸: 直腸癌に対する側方郭清の適応と治療成績.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
61. 秋吉高志, 村橋賢, 向井俊貴, 長寄寿也, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
当院における進行直腸癌に対する watch and wait の治療成績.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
62. 藤原玄, 長寄寿矢, 福長洋介, 小西毅, 秋吉高志, 山口智弘, 向井俊貴, 日吉幸晴
当院における一時的回腸瘻造設後の outlet obstruction 発症例の検討.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020

63. 銚之原健太郎, 山口智弘, 深田浩志, 澤田隆一郎, 清住雄希, 田島ジェシー雄, 平山和義, 中西良太, 江本慎, 永岡智之, 松井信平, 村橋賢, 向井俊貴, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資, 福長洋介
ロボット支援下直腸癌手術における助手の役割.
第 12 回日本ロボット外科学会: 東京, 2020
64. 銚之原健太郎, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 長山聡, 上野雅資
当院における大腸腫瘍に対する腹腔鏡・内視鏡合同手術 (Laparoscopy Endoscopy Cooperative Surgery-Colorectal; LECS-CR) の手術成績.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
65. 銚之原健太郎, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
前立腺癌の既往を有する直腸癌症例に対する腹腔鏡下根治切除の手術成績.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
66. 長山聡, 八尾良司, 岡本拓也
患者由来オルガノイドを活用した大腸癌原発巣と転移巣との比較解析.
第 106 回日本消化器病学会総会: Web 開催, 2020
67. 長山聡, 岡本拓也, 八尾良司, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 高橋祐, 福長洋介
大腸癌原発巣と転移巣のシングルセルゲノミクスから見た治療戦略.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
68. 長山聡, 奥村慎太郎, Low, S. K., 片山量平, 原英二, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 上野雅資, 福長洋介
臨床検体を活用した大腸癌関連橋渡し研究.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
69. 長山聡, 岡本拓也, 八尾良司
Cellular heterogeneity of PDOs derived from patient-matched primary and meta-static lesions of colorectal cancer: 大腸癌組織を構成する細胞集団の多様性.
第 79 回日本癌学会学術総会: 広島市・Web 開催, 2020
70. 長山聡, 池田篤志, 奥村慎太郎, 井上善景, 日吉幸晴, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 福長洋介
臨床外科領域におけるトランスレーショナル研究のあり方: 臨床検体を活用した大腸癌関連橋渡し研究.
第 82 回日本臨床外科学会総会: Web 開催, 2020
71. 長山聡, 奥村慎太郎, 原英二
腸内細菌叢解析による大腸癌早期診断モデルの開発と発癌に関与する菌の同定.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020: 神戸市, 2020
72. 長山聡
体腔内吻合による結腸再建: 胃切除デルタ吻合の結腸への応用.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020 (消化器外科学会): 神戸市, 2020
73. 長山聡
大腸: 症例報告・悪性 6.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
74. 長山聡, 清谷一馬, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿矢, 秋吉高志, 小西毅, 福長洋介
大腸癌患者のリンパ節 T 細胞の解析と免疫療法への応用.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
75. 長山聡
腹腔鏡下大腸癌手術郭清と再建: To the new ERA.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020

76. 長壽寿矢, 秋吉高志, 福長洋介, 向井俊貴, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 上野雅資
当院における下部進行直腸癌に対する腹腔鏡手術手技の工夫.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
77. 長壽寿矢
直腸癌に対する腹腔鏡手術: 豚を用いたサバイバル試験と臨床におけるデバイスの選択と有用性.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020 (消化器病学会): 神戸市, 2020
78. 長壽寿矢, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
各科 (外科、婦人科、泌尿器科) における側方リンパ節 (骨盤リンパ節) 郭清意義と実際: 直腸癌に対する側方リンパ節郭清の実際とその意義.
第 45 回日本外科系連合学会学術集会: Web 開催, 2020
79. 長壽寿矢, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
当院における側方リンパ節郭清の適応と短期・長期成績.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
80. 長壽寿矢
知っておきたい! 腹腔鏡下直腸切除術のコツとピットフォール: 基礎と応用.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
2. Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takashi, Y.
Role of para-aortic lymph node sampling for patients with potentially resectable biliary cancer.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
3. Ito, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Role of microscopic lymphatic invasion in risk-stratification for recurrence after resection of PNET.
15th Annual Academic Surgical Congress (ASC): Orlando, FL, USA, 2020
4. Ito, H., Ushida, Y., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Total pancreatectomy for multifocal pancreatic cancers.
Annual Meeting of Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA): Miami, FL, USA, 2020
5. Ito, H.
Utilization of the Kawaguchi-Gayet complexity classification to stratify hepatectomy patients for distinct enhanced recovery pathways based on anticipated length of stay.
Annual Meeting of Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA): Miami, FL, USA, 2020
6. Ito, H., Oba, A., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.
Gallbladder cancer: Contemporary outcomes of surgical management for advanced disease with T3 or greater.
Digestive Disease Week Society for Surgery of the Alimentary Tract 61th Annual Meeting (DDW/SSAT) 2020: Chicago, IL, USA, 2020
7. Kazami, Y., Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Takahashi, Y.

【肝胆脾外科】

1. Inoue, Y., Ito, H., Oba, A., Ono, A., Sato, T., Takahashi, Y.
Standard technique of distal pancreatectomy with celiac axis resection: Tricks to achieve zero.
Annual Meeting of Americas Hepato-Pancreato-Biliary Association (AHPBA): Miami Beach, FL, USA, 2020

- Role of para-aortic lymph node sampling in pancreatic cancer surgery.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
8. Ushida, Y., Inoue, Y., Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Takahashi, Y.
Clinical outcome of initially unresectable pancreatic cancer patients: Conversion surgery after modified FOLFIRINOX or gemcitabine nab-paclitaxel.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
 9. 中川茂樹, 大道清彦, 梅崎直紀, 小野嘉大, 佐藤崇文, 林洋光, 今井克憲, 井上陽介, 山下洋市, 伊藤寛倫, 高橋祐, 馬場秀夫
網羅的遺伝子解析に基づいた肝細胞癌のリスク分類及び治療標的の検索.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
 10. 中川茂樹, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
腹腔動脈合併脾対尾部切除術の短期及び長期予後の検討.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
 11. 井上陽介
脾切除後の腹腔内出血に対する Interventional Radiology の有効性.
第 2 回肝胆脾移植外科 NEXT: 手術手技・周術期管理研究会: 東京, 2020
 12. 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 齋浦明夫, 高橋祐
Technical tips to perform safe distal pancreatectomy with celiac axis resection.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
 13. 井上陽介
切除可能境界域脾癌に対する GEM+nab-paclitaxel による集学的治療の安全性評価第 2 相試験.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
 14. 伊藤寛倫, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐
進行胆嚢癌に対する手術治療.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
 15. 佐藤崇文, 井上陽介, 大庭篤志, 大道清彦, 黒木直美, 中川茂樹, 風見由祐, 宮下真美子, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 高橋祐
脾癌に対する後腹膜一括郭清を伴う腹腔鏡下脾体尾部切除術の短期成績と腫瘍学的検討.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
 16. 佐藤崇文, 井上陽介, 宮下真美子, 牛田雄太, 風見由祐, 黒木直美, 中川茂樹, 小野嘉大, 伊藤寛倫, 高橋祐
肝切除術における肝離断面積を用いた指標.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
 17. 加藤智敬, 牛田雄太, 黒木直美, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 伊藤寛倫, 高橋祐
外科的加療を行なった十二指腸乳頭部神経内分泌腫瘍の 3 症例.
第 56 回日本胆道学会学術集会: Web& 誌上開催, 2020
 18. 大道清彦, 井上陽介, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
術前化学療法を駆使した大腸癌同時性多発肝転移に対する治療戦略.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
 19. 宮下真美子, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 伊藤寛倫, 高橋祐
糖尿病合併脾癌における臨床的特徴の検討.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020

20. 小野嘉大, 井上陽介, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 齋浦明夫, 高橋祐
脾頭十二指腸切除術における脾静脈合併切除の手技と脾静脈再建法の工夫.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
21. 小野嘉大, 井上陽介, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 齋浦明夫, 高橋祐
脾静脈合併切除を要する脾頭十二指腸切除術における脾静脈左腎静脈再建の中長期妥当性に関する検討.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
22. 崔尚仁, 伊藤寛倫, 井上陽介, 佐藤崇文, 小野嘉大, 高橋祐
80 歳以上の高齢者に対する脾頭十二指腸切除術の治療成績.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
23. 武田良祝, 齋浦明夫, 吉岡龍二, 三瀬祥弘, 今村宏, 佐藤崇文, 小野嘉大, 井上陽介, 伊藤寛倫, 高橋祐
硬変残脾非再建の脾頭十二指腸切除をおこなった浸潤性膵管癌 2 例の長期的経過についての報告.
第 28 回日本消化器関連学会週間: JDDW 2020 (消化器外科学会): 神戸市 (誌上発表), 2020
24. 牛田雄太, 高橋祐, 黒木直美
非切除胆道癌に対する集学的治療: 切除可能性評価と Conversion Surgery: 切除不能肝門部胆管癌・胆嚢癌に対する Conversion surgery の検討.
第 56 回日本胆道学会学術集会: Web& 誌上開催, 2020
25. 牛田雄太, 井上陽介, 伊藤寛倫, 佐藤崇文, 小野嘉大, 大庭篤志, 高橋祐
切除不能脾癌に対する mFFX/GNP 療法 + Conversionsurgery についての検討.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
26. 野村亮介, 大道清彦, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 伊藤寛倫, 高橋祐
当院における大腸癌多発肝転移に対する二次的肝切除の検討.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
27. 風見由祐, 伊藤寛倫, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 高橋祐
脾癌手術における傍大動脈リンパ節サンプリングの役割.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
28. 風見由祐, 井上陽介, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
分枝型 IPMN の切除適応.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
29. 高橋祐, 伊藤寛倫, 井上陽介, 佐藤崇文, 小野嘉大, 大庭篤志, 大道清彦, 黒木直美, 牛田雄太, 宮下真美子, 新垣碧, 風見由祐, 中川茂樹, 野村亮介, 崔尚仁
胆道癌に対する Major HPD の治療成績.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開催, 2020
30. 高橋祐
肝門部領域胆管癌の切除境界例とは: 肝門部領域胆管癌、長期予後因子から見た切除可能境界例とは.
第 56 回日本胆道学会学術集会: Web& 誌上開催, 2020
31. 高橋祐, 伊藤寛倫, 井上陽介, 佐藤崇文, 小野嘉大, 大庭篤志
肝門部領域胆管癌, 脾周囲リンパ郭清の実際と意義: 術後腹腔内出血と長期予後に着目して.
第 75 回日本消化器外科学会総会: 和歌山市, 2020
32. 黒木直美, 小野嘉大, 佐藤崇文, 井上陽介, 伊藤寛倫, 高橋祐
脾頭十二指腸切除術における上腸間膜動脈周囲神経叢 (pISMA) 郭清の意義.

第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020

33. 黒木直美，牛田雄太，高橋祐
十二指腸乳頭部腫瘍に対する診断と治療戦略：
十二指腸乳頭部癌における深達度とリンパ節
(LN) 転移の関係から腹腔鏡下膵頭十二指腸切
除術 (LPD) の適応を考える。
第 56 回日本胆道学会学術集会：Web& 誌上開
催，2020
34. 黒木直美，小野嘉大，佐藤崇文，井上陽介，伊
藤寛倫，高橋祐
ENPD 留置が有効であった膵胆管合流異常症を
伴った肝門部領域胆管癌術後膵液瘻の一例。
第 75 回日本消化器外科学会総会：和歌山市，
2020

【乳腺内科】

1. Masuda, J., Kataoka, A., Oikado, K., Uehiro,
N., Ozaki, Y., Inagaki, L., Kato, C., Morizo-
no, H., Takano, T., Ueno, T., Ohno, S.
Incidental malignant findings on pre-admis-
sion chest computed tomography scan for
coronavirus disease screening in patients
with breast cancer or other cancers.
43rd Annual San Antonio Breast Cancer
Symposium (SABCS): San Antonio, TX,
USA, Virtual Symposium, 2020
2. Masuda, J., Tsurutani, J., Masuda, N., Ta-
nabe, Y., Iwasa, T., Takahashi, M., Futamu-
ra, M., Matsumoto, K., Aogi, K., Iwata, H.,
Hosonaga, M., Mukohara, T., Yoshimura, K.,
Takano, T.
Phase II study of nivolumab in combination
with abemaciclib plus endocrine therapy in
patients with hormone receptor-positive,
human epidermal growth factor recep-
tor-2 negative metastatic breast cancer
(WJOG11418B, NEWFLAME trial).
43rd Annual San Antonio Breast Cancer
Symposium (SABCS): San Antonio, TX,
USA Virtual Symposium, 2020

3. Ozaki, Y., Kitano, S., Tsurutani, J., Iwasa,
T., Takahashi, M., Mukohara, T., Masuda, N.,
Futamura, M., Minami, H., Matsumoto, K.,
Kawabata, H., Yamashita, M., Yoshimura,
K., Takano, T.
Immunological analysis of the combination
therapy of nivolumab, paclitaxel and bev-
acizumab in patients with HER2-negative
MBC in NEWBEAT trial (WJOG9917BTR).
43rd Annual San Antonio Breast Cancer
Symposium (SABCS): San Antonio, TX,
USA, Virtual Symposium, 2020
4. 伊藤良則，大家基嗣
新たな時代に期待する“ホルモンと癌”。
第 20 回関東ホルモンと癌研究会：東京，2020
5. 原文堅，津川浩一郎，岩田広治，大谷彰一郎，
相良安昭，戸井雅和，西村令喜，増田慎三，石
黒功二，吉本拓矢，伊藤良則
HER2 陽性早期乳癌に対する Pertuzumab 術
後療法の有効性・安全性を検証した APHINI-
TY 試験の日本人部分集団解析：Efficacy and
safety of adjuvant pertuzumab in HER2+
Japanese breast cancer patients: APHINITY
study.
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
6. 原文堅
Meet the Expert 3.
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
7. 原文堅
Triple-Negative 乳癌におけるアブラキサン +
アテゾリズマブ併用療法の意義。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，
2020
8. 小林心，伊藤良則，稲垣里奈，柴山朋子，小野
麻紀子，細永真理，深田一平，原文堅，小林隆
之，高橋俊二，上野貴之，大野真司
ホルモンレセプター陽性 HER2 陰性転移再発
乳癌に対する 1 次内分泌療法単独の予後良好
因子の検討：Favorable prognostic factors
of primary endocrine monotherapy for HR
positive HER2 negative MBC.
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020

9. 小林隆之, 伊藤良則, 福田貴代, 倉田麻美, 稲垣里奈, 柴山朋子, 深田一平, 細永真理, 原文堅, 小林心, 小野麻紀子, 高橋俊二, 上野貴之, 大野真司
パルボシクリブ投与患者における末梢血中リンパ球数と予後に関する検討: Absolute lymphocyte count as a predictor of survival in patients treated with palbociclib.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
10. 尾崎由紀範
乳癌免疫療法の今後の展望: 正しい適応と今後の方向性、そして安全なマネージメントのために: Future direction of immune-checkpoint inhibitor in breast cancer treatment.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
11. 柴山朋子, 小林隆之, 小林心, 深田一平, 細永真理, 小野麻紀子, 稲垣里奈, 大迫智, 伊藤良則, 大野真司
Bevacizumab 併用術前化学療法の有効性と安全性に関する検討: Efficacy and safety of neoadjuvant chemotherapy with Bevacizumab.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
12. 深田一平
乳がん術前化学療法の効果判定について: 腫瘍内科医として考える.
第39回日本画像医学会: 東京, 2020
13. 深田一平, 竹内抄與子, 倉田麻美, 稲垣里奈, 柴山朋子, 細永真理, 原文堅, 小林心, 小林隆之, 小野麻紀子, 伊藤良則, 上野貴之, 大野真司, 高橋俊二
がん遺伝子パネル検査導入に向けた多職種での取組と乳がん診療への活用: Clinical implementation of cancer gene profiling test and utilization for breast cancer treatment.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
14. 田中幸美, 小野麻紀子, 原文堅, 柴山朋子, 前田哲代, 稲垣里奈, 小林心, 小林隆之, 細永真理, 福田貴代, 高橋洋子, 吉田和世, 阿部朋未, 前島佑里奈, 大迫智, 庄雅之, 高橋俊二, 上野貴之, 伊藤良則, 大野真司
術前化学療法で pCR となった乳癌患者における予後に関する検討.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
15. 稲垣里奈, 小林心, 堀井理絵, 福田貴代, 倉田麻美, 柴山朋子, 細永真理, 深田一平, 原文堅, 小林隆之, 大迫智, 上野貴之, 高橋俊二, 伊藤良則, 大野真司
術前化学療法を施行したホルモン受容体陽性 HER2 陰性乳癌の長期予後の検討: Long-term prognosis in hormone-receptor+ HER2-breast cancer treated with neoadjuvant chemotherapy.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
16. 細永真理, 伊藤良則, 福田貴代, 倉田麻美, 稲垣里奈, 柴山朋子, 深田一平, 原文堅, 小林隆之, 小林心, 前田哲代, 中島絵里, 北川大, 小野麻紀子, 吉田玲子, 高橋俊二, 中島健, 上野貴之, 大野真司
BRCA 変異陽性転移再発乳癌に対するオラパリブの臨床効果: Efficacy and safety of olaparib therapy for BRCA mutation carriers with metastatic breast cancer.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
17. 高野利実
薬物療法 1.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
18. 高野利実
外来化療・支持療法・チーム医療の在り方: Multidisciplinary team approach for supportive care and outpatient chemotherapy.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
19. 高野利実
薬物療法 (HER2 療法) .
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
20. 高野利実
ESMO での発表と徹底討論: セッション 1.
第28回日本乳癌学会総会: Web開催, 2020
21. 高野利実
オリゴメタにおける全身治療の役割: そもそも、局所治療は必要なのか?

第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020

22. 高野利実
進行再発乳癌におけるホルモン療法および抗 HER2 療法の耐性化機序とその克服。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020

【乳腺外科】

1. Ueno, T., Imoto, S., Futamura, M., Toi, M., Fujiwara, Y., Im, Y. H., Im, S. A., Ahn, S. G., Lee, J. E., Park, Y. H., Wang, K., Bi, X., Liu, G., Sim, S. H., Takao, S., Saito-Oba, M., Kitagawa, Y., Nishimura, M.
International retrospective cohort study of locoregional and systemic therapy in oligo-metastatic breast cancer (OLIGO-BC1).
2020 ASCO Annual Meeting I: Web 開催，2020
2. 上野貴之
新たな時代に期待する“ホルモンと癌”。
第 20 回関東ホルモンと癌研究会：東京，2020
3. 上野貴之
乳腺：予後因子。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
4. 上野貴之
最新技術の発展により乳がん医療はどう変わるか：How the new technology will change the clinical practice of breast cancer in a decade later.
第 28 回日本乳癌学会学術総会：Web 開催，2020
5. 上野貴之
厳選口演 4：基礎 2。
第 28 回日本乳癌学会学術総会：Web 開催，2020
6. 上野貴之
乳腺：家族性・遺伝性・遺伝子異常。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020
7. 上野貴之
継承したい手術手技（乳腺）。
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，2020
8. 中島絵里，北川大，前田哲代，細永真理，吉田玲子，金子景香，竹内抄與子，中島健，上野貴之，大野真司
HBOC 診療の保険適用をうけて臨床現場はどう対応すべきか：その現状と問題点：How should the clinical site respond after receiving insurance approval for HBOC treatment?
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
9. 井上有香，小野麻紀子，前田哲代，植弘奈津恵，高橋洋子，柴山朋子，小林隆之，坂井威彦，大迫智，上野貴之，大野真司
乳癌における炎症性バイオマーカーの臨床的意義：The clinical impact of the inflammatory biomarker on breast cancer patients survival.
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
10. 前田哲代，小野麻紀子，柴山朋子，稲垣里奈，深田一平，細永真理，小林心，小林隆之，原文堅，大迫智，高橋俊二，上野貴之，伊藤良則，大野真司
術前化学療法施行症例トリプルネガティブ乳がんの予後の検討：Prognosis of triple-negative breast cancer treated with neoadjuvant chemotherapy.
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
11. 吉田和世，深田一平，前田哲代，稲垣里奈，柴山朋子，細永真理，原文堅，小林心，小林隆之，小野麻紀子，大迫智，高橋俊二，上野貴之，大野真司，伊藤良則
pT1aN0 ホルモン受容体陽性乳癌に対する術後内分泌療法の検討。
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
12. 坂井威彦，森園英智
乳腺外科医が望む乳腺細胞診の返書について。
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020

13. 坂井威彦
With コロナのがん治療：乳腺外科治療について。
JASTROxCOVID-19 With コロナのがん医療：Web 開催，2020
14. 坂井威彦，Ozkurt, E., Wong, S., Lorgulescu, B., Lester, S., 上野貴之，大野真司，Golshan, M.
乳癌化生癌は術前化学療法の奏効率が低く予後が悪い：米国 National Cancer Database の分析からわかる事。
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
15. 坂井威彦，森園英智
低異型度 DCIS について今乳腺外科医が考えていること。
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市，2020
16. 大野真司
The third decade：乳がん医療の未来。
第 17 回日本乳癌学会九州地方会：鹿児島市，2020
17. 大野真司
世界の乳がん医療は今！：乳がんとピンクリボン活動。
第 9 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会：福岡市，2020
18. 大野真司
抗がん剤脱毛の最前線。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
19. 大野真司，神野浩光
次世代に伝えたい乳癌手術の工夫。
第 120 回日本外科学会定期学術集会：Web 開催，2020
20. 大野真司
在宅とつくるこれからの Advance Care Planning。
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020（第 25 回日本緩和医療学会学術大会 /5 回がんサポーターズケア学会学術集会 /33 回サイコオンコロジー学会総会）：Web 開催，2020
21. 大野真司
乳がん医療の現状と展望：De-escalation & Escalation。
第 32 回日本内分泌外科学会総会：Web 開催，2020
22. 大野真司
乳がんといわれた場合の Decision Making。
第 8 回オンコプラスティックサージャリー学会総会：岡山市，2020
23. 大野真司，岩谷胤生，北野敦子，桜井なおみ，田辺裕子，山内智香子，五十嵐中，久芳さやか，原文堅，佐伯澄人
2019 年度班研究課題途中報告：日本における乳癌治療による経済的負担への意識に関する研究。
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
24. 大野真司，津川浩一郎
乳腺：遺伝性乳癌卵巣癌症候群。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020
25. 大野真司
薬物療法において薬剤師に求められる役割と責任。
第 41 回日本臨床薬理学会学術総会：福岡市，2020
26. 宮城由美
マンモグラフィによる広がり診断。
第 29 回日本乳癌画像研究会：大阪市，2020
27. 小林隆之，伊藤良則，福田貴代，倉田麻美，稲垣里奈，柴山朋子，深田一平，細永真理，原文堅，小林心，小野麻紀子，高橋俊二，上野貴之，大野真司
パルボシクリブ投与患者における末梢血中リンパ球数と予後に関する検討：Absolute lymphocyte count as a predictor of survival in patients treated with Palbociclib。
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020

28. 森園英智, 池畑浩一, 坂井威彦, 大迫智
乳腺腺様嚢胞癌の臨床的特徴.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会: Web
開催, 2020
29. 森園英智, 池畑浩一, 坂井威彦, 高畑史子, 高
橋洋子, 宮城由美, 大迫智, 上野貴之, 大野真
司
乳腺腺様嚢胞癌の臨床的特徴と細胞像: Clinical
feature and cytological findings of Ade-
noid cystic carcinoma of the breast.
第 28 回日本乳癌学会総会: Web 開催, 2020
30. 武田美鈴, 片岡明美, 阿部朋未, 植弘奈津恵,
小野麻紀子, 原文堅, 森園英智, 上野貴之, 伊
藤良則, 大野真司
当院において薬物療法後に出産した乳癌患者
の 特 徴 について: Successful delivery after
pharmacotherapy in breast cancer patients.
第 28 回日本乳癌学会総会: Web 開催, 2020
31. 照屋なつき, 坂井威彦, 貴志美紀, 上野貴之,
菊池真理, 大迫智, 大野真司
細胞診や針生検後に腫瘍細胞の播種が認められ
た乳癌症例の臨床病理学的特徴と予後.
第 28 回日本乳癌学会総会: Web 開催, 2020
32. 片岡明美, 阿部朋未, 武田美鈴, 植弘奈津恵,
佐伯澄人, 小野麻紀子, 原文堅, 森園英智, 伊
藤良則, 上野貴之, 大野真司
がん治療専門施設における AYA 世代 (39 歳以
下) の乳癌患者に対する Oncofertility の実践.
第 120 回日本外科学会定期学術集会: Web 開
催, 2020
33. 片岡明美
妊孕性部会 Year in Review.
緩和・支持・心のケア 合同学術大会 2020 (第
5 回日本がんサポーターブケア学会学術集会・
第 33 回日本サイコオンコロジー学会総会・第
25 回日本緩和医療学会学術大会): Web 開催,
2020
34. 片岡明美, 阿部朋未, 武田美鈴, 植弘奈津恵,
原文堅, 小野麻紀子, 佐伯澄人, 森園英智, 伊
藤良則, 上野貴之, 大野真司
手術時の BMI (body mass index) 高値が乳癌
の進行度と予後に及ぼす影響: Impact of BMI
on disease progression and survival out-
come among patients with operable breast
cancer.
第 28 回日本乳癌学会総会: Web 開催, 2020
35. 片岡明美
コロナ禍でのがん専門病院の変化&コロナ禍で
も受診すべき乳がん再発の兆候とタイミング.
第 119 回女性医療ネットワーク: マンマチアー
活動: Web 開催, 2020
36. 田中幸美, 小野麻紀子, 原文堅, 柴山朋子, 前
田哲代, 稲垣里奈, 小林心, 小林隆之, 細永真
理, 福田貴代, 高橋洋子, 吉田和世, 阿部朋未,
前島佑里奈, 大迫智, 庄雅之, 高橋俊二, 上野
貴之, 伊藤良則, 大野真司
術前化学療法で pCR となった乳癌患者にお
ける予後に関する検討: Prognosis of breast
cancer patients with pCR after neoadjuvant
chemotherapy.
第 28 回日本乳癌学会総会: Web 開催, 2020
37. 高畑史子, 高橋洋子, 森園英智, 宮城由美, 國
分優美, 五味直哉, 大迫智, 上野貴之, 大野真
司
血性乳頭分泌に対して長期経過観察ののち Sol-
id-papillary carcinoma と 診 断 さ れ た 2 例:
Two cases of solid-papillary carcinoma with
bloody nipple discharge, took a long time
to diagnose.
第 28 回日本乳癌学会総会: Web 開催, 2020

【婦人科】

1. Kanao, H., Fusegi, A.
Laparoscopic nerve-sparing radical hyster-
ectomy with no-look, no-touch technique.
49th American Association of Gynecologic
Laparoscopists: Web 開催, 2020
2. Yunokawa, M.
Cervical cancer overview.
APAC school of Oncology: Web 開催, 2020
3. 中林誠, 野村秀高, 岡本幸太, 根津幸穂, 杉山
裕子, 竹島信宏

頸部リンパ節転移の由来臓器を免疫学的染色で判別し、速やかに治療開始できた一例。

第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020

4. 伏木淳，金尾祐之，田中佑治，栗田智子，岡本幸太，中林誠，尾身牧子，谷川輝美，青木洋一，根津幸穂，野村秀高，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平

子宮頸癌に対する、No-look no-touch technique を用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術。

第 43 回日本産婦人科手術学会：Web 開催，2020

5. 宇津木久仁子

婦人科がん治療の進歩：新しい治療とケア。

山王会講演会：山形市，2020

6. 宇津木久仁子

婦人科その他。

第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020

7. 尾松公平，野村秀高，岡本三四郎，青木洋一，栗田智子，根津幸穂，中林誠，谷川輝美，的田眞紀，尾身牧子，伏木淳，田中優美子，金尾祐之

画像診断で卵巣がんを強く疑われたが腹腔鏡下手術で骨盤内炎症性疾患と診断された一症例。

第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：Web 開催，2020

8. 岡本幸太，谷川輝美，板橋彩，伏木淳，青木洋一，野村秀高，岡本三四郎，的田眞紀，尾松公平，温泉川真由，金尾祐之，竹島信宏

卵巣癌に対するペバシズマブ治療において腸管穿孔を発症した症例の腹膜播種と穿孔部位についての検討。

第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会：Web 開催，2020

9. 杉山裕子，荷見勝彦，野村秀高，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，温泉川真由，宇津木久仁子，金尾祐之，竹島信宏

子宮体癌の腫瘍形成過程からみた 2 種類の類内膜癌。

第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会：Web 開催，2020

10. 杉山裕子，荷見勝彦

子宮体癌の組織発生から考える内膜細胞診：体がん早期発見のため。

第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web 開催，2020

11. 板橋彩，杉山裕子，栗田智子，的田眞紀，尾松公平，野村秀高，谷川輝美，岡本三四郎，金尾祐之，竹島信宏

子宮体部横紋筋肉腫の一例。

第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020

12. 根津幸穂，野村秀高，尾身牧子，北川大，金子景香，中島健，金尾祐之，竹島信宏

既往歴、遺伝学的検査、サーベイランスにより乳癌の早期発見に至った遺伝性乳癌卵巣癌の 1 例。

第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：Web 開催，2020

13. 水崎恵，片山英人，岡本修平，寶田健平，北香，市川英俊，高橋知昭，加藤育民，千石一雄

帝王切開瘢痕部妊娠に対して腹腔鏡下瘢痕部妊娠除去および腔式子宮内容除去術を行った 1 例。

第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：Web 開催，2020

14. 温泉川真由

婦人科腫瘍に対する新規治療薬。

2019 年度 がんの薬物療法研修会：東京，2020

15. 温泉川真由

子宮頸がん・子宮体がん（腔がん・外陰がん・絨毛がん）。

日本臨床腫瘍学会第 36 回教育セミナー B セッション：Web 開催，2020

16. 温泉川真由

卵巣癌の治療における最近の話題。

中外製薬株式会社主催 婦人科がん Web 講演会：Web 開催，2020

17. 田中佑治, 野村秀高, 尾身牧子, 青木洋一, 谷川輝美, 根津幸穂, 栗田智子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 金尾祐之, 竹島信宏
腹腔鏡下骨盤リンパ節郭清術後に 5mm ポート孔より生じたポートサイトヘルニアの 1 例.
第 42 回日本産婦人科手術学会・第 8 回日本婦人科ロボット手術学会: 京都市, 2020
18. 田中佑治, 伏木淳, 中林誠, 尾身牧子, 栗田智子, 谷川輝美, 青木洋一, 根津幸穂, 温泉川真由, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 金尾祐之
当科で行っている尿路再建術.
第 43 回日本産婦人科手術学会: Web 開催, 2020
19. 的田眞紀, 尾松公平, 谷川輝美, 田中佑治, 栗田智子, 根津幸穂, 尾身牧子, 青木洋一, 野村秀高, 岡本三四郎, 金尾祐之, 竹島信宏
子宮頸癌リンパ節転移の術後療法における問題点.
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会: Web 開催, 2020
20. 的田眞紀, 宇佐美知香, 尾松公平, 谷川輝美, 温泉川真由, 水崎恵, 田中佑治, 尾身牧子, 青木洋一, 根津幸穂, 栗田智子, 野村秀高, 岡本三四郎, 金尾祐之, 竹島信宏
IVB 期子宮頸癌に対するベバシズマブ併用化学療法の効果: 導入前後での予後を比較.
第 58 回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2020
21. 的田眞紀, 谷川輝美, 水崎恵, 田中佑治, 尾身牧子, 青木洋一, 根津幸穂, 栗田智子, 野村秀高, 岡本三四郎, 温泉川真由, 金尾祐之, 尾松公平, 宇津木久仁子
ベバシズマブ併用化学療法で多発リンパ節転移が制御された子宮頸癌 IVB 期症例の子宮全摘術.
第 43 回日本産婦人科手術学会: Web 開催, 2020
22. 的田眞紀, 青木洋一, 岡本幸太, 田中佑治, 中林誠, 伏木淳, 一木愛, 水崎恵, 西村真唯, 尾身牧子, 根津幸穂, 栗田智子, 谷川輝美, 岡本三四郎, 野村秀高, 尾松公平, 宇津木久仁子, 金尾祐之, 竹島信宏
早期婦人科癌を対象とした腹腔鏡下 ICG 蛍光観察法単独によるセンチネルリンパ節生検.
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会: Web 開催, 2020
23. 竹島信宏, 馬場長
子宮体癌に対する低侵襲手術: 現状と展望.
第 42 回日本産婦人科手術学会・第 8 回日本婦人科ロボット手術学会: 京都市, 2020
24. 竹島信宏
婦人科がんにおけるがんゲノム医療とバイオマーカーの位置づけ.
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会: Web 開催, 2020
25. 竹島信宏
個別化戦略を見据えた卵巣癌の治療最前線.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会: Web 開催, 2020
26. 菅野素子, 谷川輝美, 青木洋一, 野村秀高, 的田眞紀, 岡本三四郎, 温泉川真由, 尾松公平, 金尾祐之, 竹島信宏
子宮体癌 IVB 期の予後因子について.
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会: Web 開催, 2020
27. 西村真唯, 野村秀高, 尾身牧子, 根津幸穂, 一木愛, 水崎恵, 青木洋一, 谷川輝美, 栗田智子, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 温泉川真由, 金尾祐之, 竹島信宏
リポソーム化ドキシソルビシン長期投与後に口腔内白板症を経て舌癌を発症した症例.
第 58 回日本癌治療学会学術集会: 京都市, 2020
28. 谷川輝美, 板橋彩, 伏木淳, 岡本幸太, 青木洋一, 野村秀高, 岡本三四郎, 的田眞紀, 尾松公平, 温泉川真由, 金尾祐之, 竹島信宏
プラチナ感受性再発卵巣がんにおける PARP 阻害薬 (オラパリブ) 維持療法後の治療についての検討.
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会: Web 開催, 2020

29. 谷川輝美
査読事例の学会への周知。
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web
開催，2020
30. 谷川輝美，伏木敦，岡本幸太，一木愛，栗田智
子，根津幸穂，青木洋一，野村秀高，的田眞紀，
岡本三四郎，尾松公平，温泉川真由，金尾祐之，
竹島信宏
プラチナ感受性再発卵巣がんにおける PARP 阻
害薬維持療法中に病態進行した症例の検討。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，
2020
31. 野村秀高
HBOC に対する卵巣癌サーベイランスの問題
点。
第 8 回日本 HBOC コンソーシアム学術総会：
仙台市，2020
32. 野村秀高
腹腔鏡下悪性腫瘍手術を伝える。
第 42 回日本産婦人科手術学会・第 8 回日本婦
人科ロボット手術学会：京都市，2020
33. 野村秀高
外陰癌における切除断端陽性は予後不良因子で
ある。
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会：Web
開催，2020
34. 野村秀高，杉山裕子，岡本幸太，中林誠，根津
幸穂，谷川輝美，的田眞紀，岡本三四郎，金尾
祐之，竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌に対する卵巣癌サーベイラン
スにおける子宮内膜細胞診の有効性。
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web
開催，2020
35. 野村秀高
遺伝性乳癌卵巣癌に対するリスク低減手術にお
ける子宮摘出の意義。
第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：Web 開
催，2020
36. 野村秀高，伏木淳，西村真唯，清水裕介，尾身
牧子，青木洋一，谷川輝美，根津幸穂，栗田智
子，的田眞紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐
之
がん研におけるラパロ下広汎子宮全摘術の工夫
と治療成績。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，
2020
37. 野村秀高
私が超音波凝固切開装置を好む理由。
第 43 回日本産婦人科手術学会：Web 開催，
2020
38. 野村秀高，金尾祐之，伏木淳，尾身牧子，青木
洋一，谷川輝美，根津幸穂，栗田智子，的田眞
紀，岡本三四郎，尾松公平，竹島信宏
当科における早期子宮頸癌に対する腹腔鏡下広
汎子宮全摘術の治療成績。
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
Web 開催，2020
39. 金尾祐之
婦人科悪性疾患に対する手術戦略。
TAMA Laparoscopic Gynecological Surgery
2020: 東京，2020
40. 金尾祐之
婦人科疾患に対する手術戦略：悪性疾患を中心
に。
第 10 回生長会 産婦人科レビューコース：大阪
市，2020
41. 金尾祐之
婦人科がんに対する手術戦略。
第 18 回山形骨盤外科研究会：山形市，2020
42. 金尾祐之
婦人科がんに対する手術戦略。
第 35 回新潟産科婦人科手術・内視鏡下手術研
究会：新潟市，2020
43. 金尾祐之，竹島信宏
LACC trial の結果を受けて腹腔鏡下広汎子宮全
摘術のあるべき姿を考える。
第 42 回日本産婦人科手術学会・第 8 回日本婦
人科ロボット手術学会：京都市，2020

44. 金尾祐之
腹腔鏡下広範子宮全摘出術。
第 72 回日本産科婦人科学会学術講演会：Web
開催，2020
45. 金尾祐之
手術の学び方：エキスパートはいかにしてエキ
スパートになったか。
第 34 回日本泌尿器科内視鏡学会総会：Web 開
催，2020
46. 金尾祐之
真の低侵襲腫瘍手術とは。
第 43 回日本産婦人科手術学会：Web 開催，
2020
47. 金尾祐之
R0 切除にこだわった婦人科悪性疾患に対する
手術戦略。
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
Web 開催，2020
48. 金尾祐之，青木洋一，尾身牧子，谷川輝美，栗
田智子，岡本三四郎，野村秀高，的田眞紀，尾
松公平，竹島信宏
婦人科悪性疾患に対するロボット手術の現状と
将来像。
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
Web 開催，2020
49. 青木洋一，金尾祐之，菅野素子，伏木淳，田中
佑治，中林誠，岡本三四郎，栗田智子，的田眞
紀，野村秀高，竹島信宏
Da Vinci Xi における左上腹部アプローチの有
効性。
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
Web 開催，2020
50. 青木洋一
子宮筋腫に対する低侵襲手術：指導医のいない
病院からの 10 年間。
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
Web 開催，2020
51. 青木洋一
骨盤腔内手術における合併症回避のコツ：Im-
age Guided Surgery.

第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：
Web 開催，2020

【頭頸科】

1. 三谷浩樹
第 42 群 頭頸部再建 1.
第 30 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術
講演会：宜野湾市，2020
2. 三谷浩樹
頭頸部表在癌の診断と治療。
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
3. 三谷浩樹
頭頸部腫瘍の鑑別診断。
第 121 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会：
Web 開催，2020
4. 三谷浩樹
頭頸部外科手術の周術期管理：頭頸部外科医の
立場から。
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，
2020
5. 三谷浩樹
頭頸部腫瘍 3。
第 82 回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会：Web
開催，2020
6. 佐々木徹，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，新
橋渉，瀬戸陽，小泉雄，神山亮介，市川千恭，
森田琢磨，福田幸太，鳥居淳一，渡嘉敷邦彦，
川端一嘉，利安隆史
舌がんに対する小線源治療は生き残れるか？：
頭頸科の立場から。
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
7. 佐々木徹
甲状腺がんに対する頸部郭清術（上頸部郭清）。
第 53 回日本内分泌外科学会学術大会：Web 開
催，2020
8. 山村晃司，福島啓文，田中亮子，鳥居淳一，市
川千恭，日高竜太，神山亮介，瀬戸陽，新橋渉，
佐々木徹，米川博之，三谷浩樹
当科における頭頸部原発の悪性末梢神経鞘腫症
例の検討。

第 30 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：宜野湾市，2020

9. 新橋渉，杉谷巖，戸田和寿，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，瀬戸陽，小泉雄，神山亮介，市川千恭，森田琢磨，福田幸太，蛭名彩，井上由佳理
甲状腺乳頭癌における喉頭・気管浸潤例に対して気管切除後の再建方法についての検討．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
10. 新橋渉
甲状腺乳頭癌における喉頭・気管浸潤例の検討．
第 32 回日本内分泌外科学会総会：Web 開催，2020
11. 森田琢磨，佐々木徹，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，新橋渉，戸田和寿，瀬戸陽，小泉雄，神山亮介，日高竜太，市川千恭，福田幸太，渡嘉敷邦彦，鳥居淳一，山村晃司，伊東優，道塚智彦，川端一嘉
可動部舌垂全摘術と併施する嚥下改善手術の有効性に関する臨床的検討．
第 38 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会：東京，2020
12. 森田琢磨，佐々木徹，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，新橋渉，瀬戸陽，小泉雄，神山亮介，市川千恭，鳥居淳一，山村晃司，川端一嘉，川名加織，高橋浩二
舌垂全摘術後の嚥下機能に関する臨床的検討．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
13. 瀬戸陽，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，新橋渉，小泉雄，神山亮介，佐藤由紀子
下咽頭喉頭全摘術における病理学的気管傍転移率と，副甲状腺機能温存率についての検討．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
14. 瀬戸陽，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，新橋渉，小泉雄，戸田和寿，神山亮介，森田琢磨，市川千恭，鳥居淳一，道塚智彦，山村晃司，垣内晃人，田中亮子，檜原浩介
COVID-19 パンデミック下の中咽頭癌治療：東京都：がん専門病院としての立場から．
第 33 回日本口腔・咽頭学会総会ならびに学術講演会：仙台市，2020

15. 神山亮介，三谷浩樹，米川博之，福島啓文，佐々木徹，新橋渉，瀬戸陽，小泉雄，市川千恭，森田琢磨，福田幸太
2 つの遊離皮弁（Double free flap）を用いて再建した頭頸部癌 6 症例．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
16. 福島啓文
日常診療における喉頭摘出後のリハビリテーションの取り組み．
第 30 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：宜野湾市，2020
17. 鳥居淳一，杉谷巖，戸田和寿，三谷浩樹，川端一嘉
縦隔病変のある甲状腺乳頭癌手術症例の検討．
第 30 回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会：宜野湾市，2020
18. 鳥居淳一，戸田和寿，杉谷巖，三谷浩樹
当科における甲状腺癌縦隔手術症例の検討．
第 53 回日本内分泌外科学会学術大会：Web 開催，2020

【整形外科】

1. 三浪友輔，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，齊藤正徳，小林秀彰，渡邊紗矢
軟骨肉腫 G1 手術症例の治療成績．
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020
2. 三浪友輔，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，齊藤正徳，小林秀彰，渡邊紗矢
難治性デスモイドの化学療法．
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020
3. 中野めぐみ，阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，大川淳
H3K36M 変異を有する軟骨芽細胞腫様腫瘍が高悪性度骨肉腫に progression した一例．
第 60 回関東整形災害外科学会：Web 開催，2020

4. 小林秀彰, 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 中野めぐみ, 渡邊紗矢, 大川淳
左大腿動脈瘤の診断で人工血管置換術後に、angiosarcoma と診断された一例。
第 60 回関東整形災害外科学会: Web 開催, 2020
5. 小林秀彰, 阿江啓介, 松本誠一, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 渡邊紗矢, 大川淳
乳がんの抗エストロゲン療法により消退した頸部デスモイド腫瘍の 1 例。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: Web 開催, 2020
6. 早川景子, ほか
足部軟部肉腫に対する患肢温存手術の検討: 補助放射線治療の必要性について。
第 3 回日本サルコーマ治療研究学会学術集会: 大阪市, 2020
7. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 中野めぐみ, 小林秀彰, 渡邊紗矢, 松本誠一, 大川淳
骨転移を相談されたらどうする? 整形外科の役割: がんのハイボリュームセンターではどう対応?
第 60 回関東整形災害外科学会: Web 開催, 2020
8. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 西村英樹, 小林秀彰, 渡邊紗矢, 松本誠一
骨・軟部腫瘍患者に対する妊孕性温存への取り組みとその問題点と対策。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: Web 開催, 2020
9. 早川景子, 阿江啓介, 谷澤泰介, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 西村英樹, 小林秀彰, 渡邊紗矢, 松本誠一, 大川淳
骨盤骨悪性骨腫瘍に対する患肢温存手術の合併症と対策。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: Web 開催, 2020
10. 松本誠一
難治性骨・軟部腫瘍。
第 93 回日本整形外科学会学術総会: Web 開催, 2020
11. 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 小林秀彰, 渡邊紗矢, 川口智義, 山下享子, 古田則行
異型脂肪腫状腫瘍(高分化型脂肪肉腫)の術前診断における針生検の意義。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: Web 開催, 2020
12. 松本誠一, 荒木信人
重粒子線治療の長期経過: 再発手術例を含む。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: Web 開催, 2020
13. 渡邊紗矢, 阿江啓介, 小林秀彰, 齊藤正徳, 三浪友輔, 船内雄生, 早川景子, 谷澤泰介, 松本誠一
進行性下顎頭吸収を合併した acroosteolysis の 1 例
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会: Web 開催, 2020
14. 渡邊紗矢, 平井高志, 吉井俊貴, 猪瀬弘之, 湯浅将人, 小柳広高, 佐藤信吾, 阿江啓介, 松本誠一, 大川淳
転移性脊椎腫瘍との鑑別を要した脊椎の孤立性形質細胞腫の 4 例。
第 60 回関東整形災害外科学会: Web 開催, 2020
15. 船内雄生, 佐藤靖祥, 小林由香利, 藤枝奈緒, 垣見和宏, 高橋俊二, 阿江啓介
腫瘍浸潤 T リンパ球の解析による肉腫における免疫療法の可能性の探索。
第 17 回日本免疫治療学会学術集会: 東京, 2020
16. 船内雄生, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 三浪友輔, 齊藤正徳, 黒澤紀雄, 小林秀彰, 渡邊紗矢, 植野映子, 山下享子, 松本誠一
粘液型脂肪肉腫の術後経過観察には胸腹部 CT に加えて全脊椎 MRI を併用すべきである。

第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

17. 船内雄生，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，三浪友輔，齊藤正徳，黒澤紀雄，小林秀彰，渡邊紗矢，植野映子，山下享子，松本誠一
重粒子線治療の長期経過：再発手術例を含む：脊索腫に対する重粒子線治療の機能予後における優位性と長期経過での再燃。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

18. 西村英樹，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，小林秀彰，渡邊紗矢，松本誠一
単純性骨嚢腫に対する手術治療成績。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

19. 阿江啓介
骨盤腫瘍手術：合併症とその対策。
第 7 回日本骨盤手術手技研究会：東京，2020

20. 阿江啓介
軟部肉腫手術における切除縁と放射線治療の役割。
第 93 回日本整形外科学会学術総会：Web 開催，2020

21. 阿江啓介
上腕骨再建術における人工関節の成績と工夫。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

22. 阿江啓介
低悪性度（grade1）軟骨肉腫の治療。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

23. 阿江啓介，松本誠一，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，西村英樹，川口智義，大川淳
軟部肉腫に対する欧米の放射線併用手術と，切除縁評価法に基づき計画された単独手術の治療成績。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

24. 阿江啓介
骨盤悪性腫瘍の患肢温存手術。
第 240 回新潟整形外科研究会：新潟市（Web 講演），2020

25. 黒澤紀雄，松本誠一，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，齊藤正徳，山下享子
Chronic expanding hematoma の臨床疫学と治療成績。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

26. 齊藤正徳，湯浅将人，吉井俊貴，江川聡，Schoenecker, J., 大川淳
脊椎後面に移植した肥大軟骨細胞は，骨移植と同等に骨形成を促進する。
第 49 回日本脊椎脊髓病学会学術集会：神戸市・ハイブリッド開催（Web 発表），2020

27. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，松本誠一，大川淳
初回転移が肺外転移であった軟部肉腫の治療成績。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020

28. 齊藤正徳
P3 発生軟骨肉腫の広範切除とその後の経過。
第 8 回日本骨盤手術手技研究会：Web 開催，2020

29. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，西村英樹，小林秀彰，渡邊紗矢，松本誠一，大川淳
血管肉腫の治療。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

30. 齊藤正徳，阿江啓介，谷澤泰介，早川景子，船内雄生，三浪友輔，西村英樹，小林秀彰，渡邊紗矢，松本誠一，大川淳
高齢者軟部肉腫の治療成績。
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会：Web 開催，2020

【泌尿器科】

1. Komai, Y., Fujiwara, M., Yasuoka, S., Fujiwara, R., Ogawa, M., Numao, N., Yuasa, T., Yamamoto, S., Yonese, J.
The crush-carving technique using a soft coagulation : A simple method to achieve successful laparoscopic partial nephrectomy with minimal renal function decrease.
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020
2. Takemura, K., Yuasa, T., Inamura, K., Gulanbar, A., Yamamoto, S., Numao, N., Komai, Y., Koga, F., Yonese, J.
Prognostic significance of serum gamma-glutamyl transferase in patients with metastatic renal cell carcinoma treated with tyrosine kinase inhibitors.
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020
3. 山本真也，沼尾昇，駒井好信，小川将宏，藤原遼，安岡正太郎，湯浅健，福井巖，米瀬淳二
ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後タダラフィルを使用した陰莖リハビリテーションが及ぼす排尿機能への影響。
日本性機能学会第 30 回学術総会：徳島市，2020
4. 湯浅健
ペンプロリズマブ療法の OS を予測する治療前因子。
第 24 回日本がん分子標的治療学会学術集会：徳島市・Web，2020
5. 湯浅健，安岡正太郎，竹村公祐，藤原基弘，藤原遼，小川将宏，駒井好信，沼尾昇，山本真也，米瀬淳二
ペンプロリズマブ療法の OS を予測する治療前因子。
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020
6. 藤原基裕，駒井好信，湯浅健，佐野裕大，安岡正太郎，藤原遼，小川将宏，沼尾昇，山本真也，福井巖，米瀬淳二
高頻度マイクロサテライト不安定性を有する去勢抵抗性前立腺癌に対してペンプロリズマブ治療をおこなった 1 例。
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020
7. 藤原遼
転移性腎細胞がんに対するニボルマブ単独療法における mGPS の有用性。
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020
8. 駒井好信
AI 技術で突き抜ける VINCENT 第 2 報。腎癌における手術支援画像処理の実際：安全なロボット支援／腹腔鏡下手術のために。
第 34 回日本泌尿器科内視鏡学会総会：Web 開催，2020
9. 駒井好信，濱田晃佑，吉富香澄，深川恵理，藤原基裕，藤原遼，小口智彦，沼尾昇，山本真也，米瀬淳二
ロボット支援腎部分切除・腹腔鏡下腎部分切除におけるソフト凝固止血手技の実際。
第 34 回日本泌尿器科内視鏡学会総会：Web 開催，2020
10. 駒井好信
超音波デバイスによる“安全”で“魅せる”泌尿器科手術：泌尿器科手術におけるハーモニック® HD1000i の活用：効率的な Incision, Dissection, Transection のために。
第 34 回日本泌尿器科内視鏡学会総会：Web 開催，2020
11. 駒井好信
ハイリスク NMIBC に対する治療成績向上を目指して。
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020
12. 駒井好信
腎腫瘍：予後予測。
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020

【血液腫瘍科】

1. 城内優子, 横山雅大, 福田貴規, 丹羽美香子, 瓜生英樹, 岡部崇志, 西村倫子, 三嶋裕子, 照井康仁
Efficacy and safety of bendamustine in elderly patients with R/R low-grade B-cell lymphoma and MCL.
第 82 回日本血液学会学術集会: 京都 + Web 開催, 2020
2. 横山雅大
DLBCL の細胞起源と免疫微小環境: 新たな治療ターゲットへ.
第 60 回日本リンパ網内系学会総会: Web 開催, 2020
3. 照井康仁
新規抗 CD20 抗体オビヌツズマブの臨床的有用性.
第 12 回日本血液学会関東甲信越地方会: 誌上開催, 2020
4. 照井康仁
造血器腫瘍における免疫チェックポイント阻害剤の役割.
第 60 回日本リンパ網内系学会総会: Web 開催, 2020
5. 照井康仁
チロシンキナーゼ阻害薬.
第 3 回日本腫瘍循環器学会学術集会: Web 開催, 2020
6. 照井康仁, 片山量平
免疫療法・抗体療法 2.
第 24 回日本がん分子標的治療学会学術集会: 徳島市・Web, 2020
7. 瓜生英樹, 三嶋裕子, 横山雅大, 西村倫子, 石原優子, 岡部崇志, 福田貴規, 城内優子, 丹羽美香子, 廣田愛, 井上典仁, 津山直子, 竹内賢吾, 照井康仁
Transformed follicular lymphoma in relation with rituximab maintenance and chromosome 8 aberrations.
第 82 回日本血液学会学術集会: 京都 + Web 開催, 2020

8. 西村倫子
チームで取り組む CML 継続治療の工夫.
日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会: Web 開催, 2020

【総合腫瘍科】

1. Ohmoto, A., Sato, Y., Fujiwara, Y., Fukuda, N., Wang, X., Urasaki, T., Hayashi, N., Sato, Y., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Clinicopathological and genomic features in patients with head and neck neuroendocrine carcinoma.
North American Neuroendocrine Tumor Society (NANETS) Multidisciplinary NET Medical Virtual Symposium: Web 開催, 2020
2. Sato, Y., Wada, I., Hosoi, A., Kobayashi, Y., Nagaoka, K., Karasaki, T., Mastushita, H., Yagi, K., Yamashita, H., Takahashi, S., Seto, Y., Kakimi, K.
Novel immunological classification of gastric cancer by integrative analysis.
American Association for Cancer Research Virtual Annual Meeting II: Web 開催, 2020
3. Takahashi, S., Kakehi, Y., Masumori, N., Hosono, M., Kinuya, S., Okayama, Y., Sunaya, T., Okumura, M., Uemura, H.
Safety and effectiveness of radium-223 dichloride (Ra-223) in patients with mCRPC in real-world setting: A Japanese post-marketing study (PMS).
ASCO Genitourinary Cancer Symposium: San Francisco, CA, USA, 2020
4. Takahashi, S., Shimizu, T., Doi, T., Lopez-Vilaro, J. A., N?ez, R., Kahatt, C., Fernandez, C., Sasamoto, H., Zeaiter, A.
Phase I study of lurbinectedin (PM01183) in Japanese patients with previously treated and advanced tumors.
European Society for Medical Oncology (ESMO) Virtual Congress: Web 開催, 2020

5. Takahashi, S.
Larotrectinib treatment of advanced TRK fusion thyroid cancer.
第 53 回日本内分泌外科学会学術大会：Web 開催，2020
6. 仲野兼司
Prognosis of STS with retroperitoneum / intra-abdomen compared to those with extremities / trunk origin.
第 3 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：大阪市，2020
7. 仲野兼司，ほか
原発術後局所再発を来した肺動脈原発肉腫の 1 例．
第 3 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：大阪市，2020
8. 佐藤靖祥，八木浩一，山下裕玄，小林由香利，藤枝奈緒，長岡孝治，細井亮宏，垣見和宏，瀬戸泰之
胃癌における腫瘍内免疫応答の解析．
第 17 回日本免疫治療学会学術集会：東京，2020
9. 佐藤靖祥，福田直樹，王曉斐，浦崎哲也，大本晃弘，仲野兼司，温泉川真由，小野真紀子，友松純一，高橋俊二
CheckMate-141 試験非適格サブタイプを有する再発・転移頭頸部癌に対するニボルマブ療法の有効性．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
10. 小野麻紀子，青木洋一，佐山郁子，横井麻珠美，吉井星良，竹内抄與子，黒田直子，大友陽子，山田欣子，山田玲子，吾妻慧一，市村崇，片岡明美，大野真司
多職種による妊孕性温存支援システム導入後の現状について．
第 10 回日本がん・生殖医療学会 学術集会：さいたま市，2020
11. 福田直樹，藤原裕，大本晃弘，王曉斐，浦崎哲也，佐藤靖祥，仲野兼司，温泉川真由，小野麻紀子，友松純一，三谷浩樹，高橋俊二
頭頸部腺様嚢胞癌に対するカルボプラチン＋パクリタキセル療法．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
12. 福田直樹
甲状腺癌に対するマルチキナーゼ阻害薬治療における臨床的マーカーおよび遺伝子変異．
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020
13. 福田直樹
分化型甲状腺癌に対するレンバチニブの毒性管理と用量調節．
第 53 回日本内分泌外科学会学術大会：Web 開催，2020
14. 藤原裕，佐藤靖祥，福田直樹，王曉斐，浦崎哲也，大本晃弘，仲野謙司，温泉川真由，小野麻紀子，友松純一，利安隆史，三谷浩樹，高橋俊二
頭頸部癌に対する化学療法同時併用放射線治療におけるシスプラチンの至適総投与量の後方視的検討．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
15. 高橋俊二
Larotrectinib efficacy and safety in patients with TRK fusion sarcomas.
第 3 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：大阪市，2020
16. 高橋俊二
悪性軟部腫瘍に対する診療科別治療戦略．
第 3 回日本サルコーム治療研究学会学術集会：大阪市，2020
17. 高橋俊二
頭頸部原発肉腫．
第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020
18. 高橋俊二
甲状腺髄様癌における分子標的治療の開発．
第 93 回日本内分泌学会学術総会：浜松市，2020
19. 高橋俊二，野々村祝夫
新規腫瘍マーカー．

日本泌尿器腫瘍学会第 6 回学術集会：Web・京都市，2020

20. 高橋俊二
Year in Review 2.
第 24 回日本がん分子標的治療学会学術集会：徳島市・Web，2020
21. 高橋俊二
Development of novel antibody-drug conjugates: Antibody-Drug Conjugate の新展開.
第 79 回日本癌学会学術総会：広島・Web，2020
22. 高橋俊二
ゲノム医療とサルコーマ.
第 108 回日本泌尿器科学会総会：神戸市，2020
23. 高橋俊二，谷口博昭，長村文孝，今井浩三
PRDM14 分子を標的とする革新的 siRNA 医薬による難治性乳がんの治療法開発の実際.
核酸医薬シンポジウム 2020: Web 開催，2020

【皮膚腫瘍科・皮膚科】

1. 堤田新，加藤裕史
上皮性腫瘍.
第 119 回日本皮膚科学会総会：京都市，2020
2. 堤田新
形成外科医を経た皮膚腫瘍科医の立場から皮膚悪性腫瘍の診断と治療の考え方.
第 72 回日本皮膚科学会西部支部学術大会：Web 開催，2020
3. 西澤綾
皮膚癌.
日本臨床腫瘍学会第 36 回教育セミナー B セッション：Web 開催，2020
4. 西澤綾，石川加奈子，松浦信子，小川恵，馬城はるか，井沢由紀子，芳賀麻維，星野奈月，堤田新，唐渡敦也，古谷良太，清水多嘉子
がん専門病院における褥瘡対策 15 年間の取り組み.
第 22 回日本褥瘡学会学術集会：Web 開催，2020

【総合診療部】

1. 北澤公
スタチン服用高 TG 血症患者におけるペマフィブラートの有効性と安全性.
港区医師会講演会：東京，2020
2. 志賀太郎
がん関連 VTE に関する最新の知見から：今後の臨床がどう変わるか？
第 84 回日本循環器学会学術集会：Web 開催，2020
3. 志賀太郎
Onco-Cardiology/Cardio-Oncology（腫瘍循環器学）：がん治療中からエンドオブライフケアまで.
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020（第 25 回日本緩和医療学会学術大会 / 5 回がんサポーターズケア学会学術集会 / 33 回サイコロロジー学会総会）：Web 開催，2020
4. 志賀太郎
呼吸器疾患の克服に向けて：肺がんと血栓・循環器合併症：がん診療における Cardio-Oncology/Onco-Cardiology（腫瘍循環器学）の役割.
第 60 回日本呼吸器学会学術講演会：Web 開催，2020
5. 志賀太郎，小板橋俊美
心内膜炎、腫瘍循環器.
第 257 回日本循環器学会関東甲信越地方会：Web 開催，2020
6. 志賀太郎
がん関連 VTE に関する最新の知見から：今後の臨床がどう変わるか？
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020
7. 志賀太郎
Onco-Cardiology / Cardio-Oncology：がん専門病院における循環器医の役割.
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，2020

8. 渡邊直，保田知生，岡本幸太，中林誠，野村秀高，竹島信宏，中山耕之介
進行卵巣癌に合併した静脈血栓塞栓症の治療中に発生したヘパリン起因性血小板減少症に抗トロンビン薬から直接経口抗凝固薬への移行可能であった一症例。
第 27 回肺塞栓症研究会・学術集会：Web 開催，2020
9. 華臻聖，親川拓也，海老原文，照井康仁，志賀太郎
主科との連携によりダサチニブ関連性肺高血圧症の適切な管理と CML 寛解、および無治療寛解を得られた症例。
第 3 回日本腫瘍循環器学会学術集会：Web 開催，2020
10. 親川拓也，真栄平直也，志賀太郎，華臻聖，海老原文，比嘉富貴，上地洋一
抗血小板薬の休薬により冠動脈ステント血栓症を発症した重複がん患者の 1 例。
第 3 回日本腫瘍循環器学会学術集会：Web 開催，2020

【麻酔科・ペインクリニック】

1. 森島光一郎，平島潤子，石川晴士，広山万希子，千々和優介，井上浩太，横田美幸
婦人科腫瘍患者における術前 DVT スクリーニングとして有用な予測因子の検討：D-dimer を中心として。
日本臨床麻酔学会第 40 回大会：Web 開催，2020
2. 横田美幸
急性期医療におけるタスク・シフティング、タスク・シェアを考える：医師の長時間・過重労働とタスクシフト、タスクシェア：「勤勉は美德」は過去のものか？
第 14 回東京都病院学会：誌上発表，2020
3. 横田美幸，鈴木利保，長田理
一般演題 1。
第 32 回日本老年麻酔学会：倉敷市，2020
4. 横田美幸
Neuraxial application 誤接合防止の課題と未来。

日本区域麻酔学会第 7 回学術集会：Web 開催，2020

5. 横田美幸，風戸拓也，見市光寿
麻酔科として注視すべき新規格の影響：「神経麻酔領域」及びその他の新規格と今後の展開。
日本区域麻酔学会第 7 回学術集会：Web 開催，2020
6. 横田美幸
周術期の働き方改革 - 臨床での取り組み実践編
特定行為パッケージ研修で何が変わるか？ 麻酔科医としての期待。
第 42 回日本手術医学会総会：高松市，2020
7. 見市光寿，風戸拓也，大里彰二郎，平島潤子，横田美幸
医師の長時間・過重労働とタスクシフト：老年麻酔科医への期待。
第 32 回日本老年麻酔学会：倉敷市，2020
8. 関誠
全身麻酔と嚥下障害。
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，2020

【形成外科】

1. Karakawa, R.
Profunda femoris Artery Perforator (PAP) flap: An anatomical study of the correlation of the perforators, the accessory saphenous vein, and the lymph collecting vessels and clinical applications of lymphatic vessels preserving PAP (LpPAP) flap.
PRS Korea 2020: Seoul, Korea, 2020
2. Yano, T.
Asymmetry of breast reconstruction : How to select implant and the essentials of breast reduction on the contralateral breast.
PRS Korea 2020: Seoul, Korea, 2020
3. Yano, T.
Combined SIEA and SCIP double pedicle flap (SaS flap) for breast reconstruction.
PRS Korea 2020: Seoul, Korea, 2020

4. Yano, T.
New idea and concept of iPAP flap and SaS flap for breast reconstruction.
2020 Annual Meeting of the Taiwan Society of Plastic Surgery: Taipei, Taiwan, 2020
5. Yoshimatsu, H.
Lymphatic system transplant: Prophylactic lymph node surgery with breast flaps.
American Society of Reconstructive Microsurgery 2020 Annual Meeting: Fort Lauderdale, FL, USA, 2020
6. Yoshimatsu, H.
SCIP flaps: from the basics to advanced application.
Buncke Clinic Virtual Visiting: San Francisco, CA, USA, 2020
7. Yoshimatsu, H.
Designing the SCIP Flap.
Ultrasound for Reconstructive Microsurgery, 2nd Meeting: Web 開催, 2020
8. Yoshimatsu, H.
Use of the SCIP Flap in Sarcoma Reconstruction.
Annual Meeting of the Korean Society of Plastic and Reconstructive Surgeons Virtual Conference: Web 開催, 2020
- 9.. Yoshimatsu, H.
Versatile use of the SCIP flap.
2020 Annual Meeting of the Taiwan Society of Plastic Surgery: Taipei, Taiwan, 2020
10. 倉元有木子
シリコンプレストインプラントの合併症と整容性からみた限界と適応.
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会: 名古屋 +Web 開催, 2020
11. 倉元有木子, 矢野智之, 吉松英彦, 宮下宏紀, 末貞伸子, 柴田知義, 辛川領, 前田恵里沙, 布施佑馬, 山本真魚
Inspira 導入後のティッシュエキスパンダー挿入中患者.
第 8 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会: 岡山市, 2020
12. 吉松英彦
股関節部合併切除後のリンパ漏, リンパ浮腫に対する形成外科的アプローチ.
第 93 回日本整形外科学会学術総会: Web 開催, 2020
13. 吉松英彦
VevoMD をつかった、簡単 SCIP 挙上.
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会: 名古屋 +Web 開催, 2020
14. 宮下宏紀, 吉松英彦, 辛川領, 矢野智之, 倉元有木子, 柴田知義, 上野貴之, 大野真司
PAP flap による一次二期乳房再建で生じうる上胸部陥凹を予防する大胸筋 roll up 法について.
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会: 名古屋市 +Web 開催, 2020
15. 柴田知義, 矢野智之, 宮下宏紀, 倉元有木子, 吉松英彦, 眞島昂也, 鶴田優希, 棚倉健太
1 次 TE 留置時に昇圧して止血確認する重要性の検討.
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会: 名古屋市 +Web 開催, 2020
16. 柴田知義, 矢野智之, 吉松英彦, 宮下宏紀, 倉元有木子, 末貞伸子, 辛川領, 鶴田優希
スムーズタイプ TE とテクスチャータイプ TE の比較.
第 8 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会: 岡山市, 2020
17. 森山壮, 矢野智之, 宮下宏紀, 棚倉健太, 倉元有木子, 坪根隼次郎, 岡村明彦, 渡邊雅之
ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT) に対するマイクロサージャリー.
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会: 名古屋市 +Web 開催, 2020
18. 眞島昂也, 矢野智之, 宮下宏紀, 倉元有木子, 吉松英彦, 柴田知義, 辛川領, 棚倉健太
PAP (profunda artery perforator) flap において伴走静脈は 2 本吻合すべきか.

第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会：名古屋市 +Web 開催，2020

19. 矢野智之，辛川領
“皮弁の質”を重視する再建術．
第 38 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会：東京，2020
20. 矢野智之
当院の乳房再建について．
E-BeC オンラインセミナー：東京，2020
21. 矢野智之，辛川領，金子晃太郎，鶴田優希，神谷佳亮，布施佑馬，前田恵里沙，吉松英彦，倉元有木子，柴田知義，末貞伸子，宮下宏紀，荒船龍彦
乳房再建とプロジェクションマッピング実行可能性と見えてきた問題点．
第 47 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：福岡市，2020
22. 矢野智之
留学マネーの実際：1000 万円を使って得た一生の価値．
第 47 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：福岡市，2020
23. 矢野智之
新たなインプラントから様々な部位からの自家組織まで、どう選ぶ？
2020 年ジャパンキャンサーフォーラム：東京，2020
24. 神谷佳亮，矢野智之，吉松英彦，倉元有木子，柴田知義，末貞伸子，山本真魚，辛川領，布施佑馬，前田恵里沙，鶴田優希，宮下宏紀
DIEP Flap による乳房再建後の異時両側乳癌に対し Lumber Artery perforator Flap による 1 次 1 期乳房再建の 1 例．
第 47 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：福岡市，2020
25. 辛川領
再建外科領域のニーズ、患者さんのペイン、医工連携の可能性．
次世代スーパーマイクロサージャリー研究会 第 1 回オンライン講演会：Web 開催，2020

26. 鶴田優希，矢野智之，宮下宏紀，倉元有木子，吉松英彦，柴田知義，鈴木明世，森山壮，辛川領，眞島昂也，坪根隼次郎
内胸静脈への逆行性静脈吻合を利用した腹部遊離皮弁での乳房再建の 3 例．
第 63 回日本形成外科学会総会・学術集会：名古屋市 +Web 開催，2020
27. 鶴田優希，宮下宏紀，吉松英彦，倉元有木子，柴田知義，末貞伸子，山本真魚，山田真由香，辛川領，布施佑馬，前田恵里沙，泉本真美子，神谷佳亮，矢野智之
片側デザインでの遊離腹部皮弁を用いて乳房再建を施行した一例．
第 8 回日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会総会：岡山市，2020
28. 鶴田優希，矢野智之，吉松英彦，宮下宏紀，倉元有木子，柴田知義，末貞伸子，山本真魚，辛川領，布施佑馬，前田恵里沙，神谷佳亮
DIEP Flap の鬱血に対し SIEV を用いたドレナージにより救済を行なった 3 症例の検討．
第 47 回日本マイクロサージャリー学会学術集会：福岡市，2020

【眼科】

1. 辻英貴，吉田淳，竹内賢吾
眼部領域の孤立性線維性腫瘍．
第 53 回眼科臨床病理組織研究会：Web 開催，2020
2. 辻英貴
不器用な患者さんに対するエピテーゼ装着の工夫．
第 31 回日本眼瞼義眼床手術学会：西宮市，2020
3. 辻英貴
眼付属器悪性リンパ腫．
第 124 回日本眼科学会総会：Web 開催，2020

【感染症科】

1. 羽山ブライアン
FN の病態と新しい予防・治療戦略：FN の予防と外来治療．
第 94 回日本感染症学会学術講演会：東京，2020

2. 羽山ブライアン
新型コロナウイルス感染症：これから．
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，
2020

【歯科】

1. 倉林くみ子，榊原安侑子，富塚健
当科における薬剤関連顎骨壊死に対する保存的
療法を主体とした対応について．
第 29 回日本有病者歯科医療学会学術大会：神
戸市，2020
2. 富塚健
がんの支持療法で求められる口腔管理．
横浜南共済病院地域医療支援病院研修会：がん
治療における周術期口腔機能管理研修会：横浜
市，2020
3. 富塚健
がん治療時の口腔機能管理における「義歯の扱
い」を再考する．
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020（第
25 回日本緩和医療学会学術大会 / 5 回がんサ
ポートケア学会学術集会 / 33 回サイコオン
コロジー学会総会）：Web 開催，2020
4. 富塚健
がん治療における口腔管理の意義．
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，
2020

【放射線治療部】

1. Miyauchi, H., Takahashi, H., Hasegawa, T.,
Hashimoto, M.
Building deep learning based new su-
per-resolution system for exposure dose
reduction.
第 119 回日本医学物理学会学術大会：Web 開
催，2020
2. Miyauchi, H., Tanaka, Y., Takahashi, K., Na-
kano, M., Hasegawa, T., Hashimoto, M.
Image processing system by super-resolu-
tion using deep learning to exposure dose
reduction.
2020 Joint American Association of Physi-

cists in Medicine (AAPM) | Canadian Orga-
nization of Medical Physicists (COMP) Meet-
ing: Virtual, 2020

3. Murakami, Y., Magome, T., Matsumoto, K.,
Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Automated dose generation for intensi-
ty-modulated radiation therapy using gen-
erative adversarial networks in prostate
cancer patient.
第 119 回日本医学物理学会学術大会：Web 開
催，2020
4. Taguchi, S., Sasaki, R., Yoshioka, Y., Mishi-
ma, Y., Nishimura, N., Yokoyama, M., Terui,
Y., Takeuchi, K., Tsuji, H., Oguchi, M.
Prognosis and patterns of relapse after
radiotherapy for localized ocular adnexal
marginal zone lymphoma of mucosa-asso-
ciated lymphoid tissue (MALT Lymphoma).
2020 Annual Meeting of the American So-
ciety for Radiation Oncology: Web 開 催，
2020
5. 下谷内奈々，吉岡靖生，征矢野崇，篠村一磨，
小口正彦
前立腺癌術後救済照射における 3D-CRT と
IMRT の比較．
日本放射線腫瘍学会第 33 回学術大会：Web 開
催，2020
6. 佐々木理栄，田口千藏，吉岡靖生，中島大，伊
藤裕志，三嶋裕子，西村倫子，横山雅大，照井
康仁，竹内賢吾，辻英貴，小口正彦
限局期眼付属器 MALT リンパ腫に対する根治的
放射線治療後の白内障に関する検討．
日本放射線腫瘍学会第 33 回学術大会：Web 開
催，2020
7. 利安隆史
HPV 関連癌に対する放射線治療の当院での治療
経験．
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web
開催，2020
8. 吉岡靖生，下谷内奈々
前立腺癌術後救済照射の意義と問題点．

第 18 回九州放射線治療システム研究会：福岡市，2020

9. 吉岡靖生
がん放射線治療の最前線。
第 4 回がん研究会有明病院・海上ビル診療所合同セミナー：東京，2020
10. 吉岡靖生，伊藤誠，高瀬裕樹，鈴木淳司，奥田隆仁，小口正彦
体幹部定位放射線治療のトピックス：前立腺癌に対する体幹部定位放射線治療。
第 29 回日本定位放射線治療学会：Web 開催，2020
11. 吉岡靖生
前立腺：定位・IMRT。
第 33 回高精度放射線外部照射部会学術大会：Web 開催，2020
12. 吉岡靖生
放射線治療について：ここまできた！前立腺がん治療最前線：泌尿器科医と放射線科医からの最新の知見を解説。
AGX Japan Webinar #002: Webinar（撮影神戸市），2020
13. 小口正彦
AI を有する統合がん診療支援システムの開発。
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，2020
14. 村上悠，馬込大貴，水谷拓也，佐藤智春，吉岡靖生，小口正彦
前立腺癌患者における前立腺内の石灰化が生化学的再発予測モデルに与える影響。
日本放射線腫瘍学会第 33 回高精度外部照射部会研究会：Web 開催，2020
15. 津野隼人
がん放射線治療における不確かさと有効数字の取り扱いについて。
公益社団法人日本診療放射線技師会がん放射線治療における質の確保に向けた基礎セミナー：東京，2020

【画像診断部】

1. Gomi, N., Kikuchi, M., Matsumoto, A., Tanakura, K., Sawaizumi, M., Yano, T., Ueno, T., Ohno, S.
Comparison of usefulness of ultrasound and MRI for diagnosis of silicone breast implant rupture in screening asymptomatic women.
32nd Annual Meeting of the European Congress of Radiology (ECR): Web 開催，2020
2. Kikuchi, M., Gomi, N., Osako, T., Ueno, T., Ohno, S.
Evaluation of usefulness of MRI in benign/malignant discrimination of amorphous grouped calcifications.
32nd Annual Meeting of the European Congress of Radiology (ECR): Web 開催，2020
3. Tanaka, Y. O.
Voice of EPOS 088 - Japanese.
32nd Annual Meeting of the European Congress of Radiology (ECR): Web 開催，2020
4. Tanaka, Y. O.
Voice of EPOS 133 - Japanese.
32nd Annual Meeting of the European Congress of Radiology (ECR): Web 開催，2020
5. Tanaka, Y. O.
Endometrial cancer & other uterine malignancies - No way to treat a lady: Breast & female reproductive organ cancers.
ISMRM (International Society for Magnetic Resonance in Medicine) & SMRT (Society for MR Radiographers & Technologists) Virtual Conference: Web 開催，2020
6. Tanaka, Y. O.
Highlight Session - Body 2.
ISMRM (International Society for Magnetic Resonance in Medicine) & SMRT (Society for MR Radiographers & Technologists) Virtual Conference: Web 開催，2020

7. Teramura, Y., Ueno, T., Tanaka, H., Yamashita, K., Ae, K., Matsueda, K.
Soft tissue myoepithelial carcinoma.
第 31 回骨軟部放射線研究会：東京，2020
8. Watanabe, H., Yamamoto, T., Kohno, A., Matsueda, K.
Urinary bladder dome lesions: urachal cancer and other diseases.
第 79 回日本医学放射線学会総会：Web 開催，2020
9. Watanabe, H., Yamamoto, T., Kohno, A., Matsueda, K.
Imaging features of urachal cancer and mimics.
106th Scientific Assembly and Annual Meeting (RSNA 2020): Web 開催，2020
10. Yamamoto, T., Hayashi, K., Kimura, H.
Differential diagnosis of primary CNS lymphoma and glioblastoma using statistics derived from commercial software.
ISMRM (International Society for Magnetic Resonance in Medicine) & SMRT (Society for MR Radiographers & Technologists) Virtual Conference: Web 開催，2020
11. Yamamoto, T., Kohno, A.
Is diffusion-weighted imaging effective in differentiating chromophobe renal cell carcinoma and oncocytoma as per cell grade?
ISMRM (International Society for Magnetic Resonance in Medicine) & SMRT (Society for MR Radiographers & Technologists) Virtual Conference: Web 開催，2020
12. 上田和彦
良性腫瘍の up to date.
第 26 回肝血流動態機能イメージ研究会：金沢市，2020
13. 上田和彦，山田哲
時間軸再構成造影：CT による新たな画像診断。
第 39 回日本画像医学会学術集会：東京，2020
14. 上田和彦
肝の画像診断：偽陰性の回避。
2020 年度エーザイ造影剤インターネットライブセミナー画像診断セミナー：Web 開催，2020
15. 丹内啓允，植野映子
Mesenchymal chondrosarcoma の一例。
第 31 回骨軟部放射線研究会：東京，2020
16. 丹内啓允，植野映子
動脈瘤で発症した sarcoma の一例。
第 31 回骨軟部放射線研究会：東京，2020
17. 丹内啓允，牧田幸三，佐藤裕子，渡邊智，星野良朋，廣瀬玲，洲之内亮，桂川翔，中井一貴，滝口朋子，小池祐哉，鶴谷悠也，齋藤淳，松井青史
副腎支脈静脈サンプリングで左副腎中心静脈より共通幹でアルドステロン濃度高値を示した症例の検討。
第 49 回日本 IVR 学会総会：神戸市，2020
18. 五味直哉
インプラント破損の画像診断①: MRI を中心に。
第 16 回乳房 MRI 研究会：東京，2020
19. 五味直哉，菊池真理
乳癌術前薬物療法の効果判定。
第 39 回日本画像医学会学術集会：東京，2020
20. 五味直哉
Breast MRI : Social and scientific position and direction.
第 48 回日本磁気共鳴医学会大会：Web 開催，2020
21. 五味直哉，菊池真理，北川大，中島絵里，吉田玲子，前田哲代，細永真理，加藤千絵子，國分優美，圓岡有里，大迫智，宮城由美，森園英智，高橋洋子，高畑史子，中島健，上野貴之，大野真司
乳癌ハイリスクグループに対するサーベイランス MRI 検出乳癌の超音波所見の特徴：Characteristics of US findings of breast cancer detected by surveillance MRI for high-risk groups.

- 第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
22. 佐藤嘉尚，中野祥子，負門克典，石山光富，丹内啓允，渡辺洋志，松枝清，寺内隆司，文敏景，二宮浩範
肺癌手術を契機に診断され、長期経過を観察できた肺アミロイドーシスの一例．
第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：Web 開催，2020
 23. 元山海秀，植野映子
Primary hyperparathyroidism の一例．
第 31 回骨軟部放射線研究会：東京，2020
 24. 松枝清
cTACE の有効性を探る：治療成績向上への工夫．
第 49 回日本 IVR 学会総会：神戸市，2020
 25. 松枝清
今知っておきたい線量管理．
第 49 回日本 IVR 学会総会：神戸市，2020
 26. 松枝清
CV ポートの現状．
第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：Web 開催，2020
 27. 植野映子，高尾正一郎
ランチョンフィルムリーディング．
第 31 回骨軟部放射線研究会：東京，2020
 28. 植野映子
脱分化腫瘍の画像診断：画像で全体像を把握する重要性．
第 39 回日本画像医学会学術集会：東京，2020
 29. 植野映子
がん口コモの画像診断：がん患者の運動器診療について．
第 79 回日本医学放射線学会総会：Web 開催，2020
 30. 植野映子
がん口コモの画像診断：がん患者の運動器診療について：骨転移の画像診断と限界．
第 79 回日本医学放射線学会総会：Web 開催，2020
 31. 植野映子
症例検討会．
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 Web 開催，2020
 32. 植野映子
骨軟部腫瘍の MRI 診断、基本から応用、実践まで．
第 53 回日本整形外科学会 骨・軟部腫瘍学術集会 Web 開催，2020
 33. 田中優美子
泌尿生殖器 1：産婦人科領域．
第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：Web 開催，2020
 34. 田中優美子
ダグラス窩を中心とする卵巣外内膜症の MR 診断：Overview．
第 60 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会：Web 開催，2020
 35. 田中宏子
頭頸部 2：下咽頭癌の画像診断．
第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：Web 開催，2020
 36. 菊池真理
乳癌術前薬物療法の効果判定：画像診断医の立場から．
第 39 回日本画像医学会学術集会：東京，2020
 37. 菊池真理
乳癌ハイリスクグループに対する画像を用いたサーベイランス．
第 79 回日本医学放射線学会総会：Web 開催，2020
 38. 菊池真理，五味直哉，北川大，中島絵里，前田哲代，細永真理，大迫智，中島健，上野貴之，大野真司
Clinical and MRI features of breast cancer detected by high risk surveillance.
第 28 回日本乳癌学会学術総会：Web 開催，2020

- 39 菊池真理
各領域研究の進歩 1：乳腺．
第 5 回 Advanced Medical Imaging 研究会：
Web 開催，2020
- 40 菊池真理
診断：乳房．
日本放射線科専門医会第 8 回 放射線科レジデ
ントセミナー：Web 開催，2020
41. 負門克典，佐藤嘉尚，内堀健，河口洋平，一瀬
淳二，奥村栄，文敏景
3D-CT を用いた右肺上葉気管支分岐の検討：
新しい荒井分類に準拠して．
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：紙上
開催，2020
42. 負門克典
気管支鏡所見・画像診断．
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会：紙上
開催，2020
43. 負門克典
胸部異常陰影：どのような疾患で CT を撮るべ
きか、撮るべきでないか．
第 60 回日本呼吸器学会学術講演会：Web 開催，
2020
44. 負門克典
HER2 陽性転移再発乳癌の薬物治療と副作用マ
ネジメント．
第 82 回日本臨床外科学会総会：Web 開催，
2020

【核医学部】

1. 寺内隆司，松友和紀
SUV の定量性と臨床利用：SPECT と PET にて．
第 60 回日本核医学会学術総会 / 第 40 回日本
核医学技術学会総会学術大会：神戸市，2020

【超音波診断・IVR 部】

1. 加藤千絵子，國分優美，宮城由美，圓岡有里，
高畑史子，高橋洋子，森園英智，大迫智，松枝
清，上野貴之，大野真司
超音波で精査が行われた CT 指摘乳房病変の検

討：Ultrasonographic findings of CT detect-
ed breast lesions.

第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020

2. 國分優美，堀井理絵，加藤千絵子，圓岡有里，
高畑史子，高橋洋子，森園英智，秋山太，大迫
智，宮城由美，上野貴之，大野真司，松枝清
浸潤性乳管癌腺管形成型における超音波像の
検 討：Ultrasonographic findings of tubule
forming type of invasive ductal carcinoma.
第 28 回日本乳癌学会総会：Web 開催，2020
3. 松枝清
cTACE の有効性を探る：治療成績向上への工夫．
第 49 回日本 IVR 学会総会：神戸市，2020
4. 松枝清
今知っておきたい線量管理．
第 49 回日本 IVR 学会総会：神戸市，2020
5. 松枝清
緩和 IVR ほんとのところ．
第 20 回 IVR 看護研究会：東京，2020
6. 松枝清
CV ポートの現状．
第 56 回日本医学放射線学会秋季臨床大会：
Web 開催，2020

【臨床遺伝医療部】

1. 中島健
リンチ症候群．
第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：Web 開
催，2020
2. 吉田玲子
Beyond BRCA：Multi Gene Testing の有用性．
第 8 回日本 HBOC コンソーシアム学術総会：
仙台市，2020
3. 金子景香
認定遺伝カウンセラーから見た遺伝性腫瘍の
チーム医療．
第 26 回日本遺伝性腫瘍学会学術集会：Web 開
催，2020

【集中治療部】

1. 望月俊明, 山本豊, 横田美幸
発熱性好中球減少症 (Febrile neutropenia : FN) を呈する敗血症性ショック患者の特徴 .
第 47 回日本集中治療医学会学術集会 : 名古屋市, 2020
2. 望月俊明
オンコロジックエマージェンシー : 何をどうモニタする ?
第 31 回日本臨床モニター学会総会 : Web 開催, 2020

【救急部】

1. 望月俊明
オンコロジックエマージェンシー : 何をどうモニタする ?
第 31 回日本臨床モニター学会総会 : Web 開催, 2020

【臨床検査センター】

1. 上林慧也, 関田綱基, 小野翔平, 海原和己, 阿部仁, 三宅一徳, 中山耕之介
酵素法での測定にて Ca が異常高値を呈した 1 症例 .
第 60 回日本臨床化学学会年次学術集会 : Web 開催, 2020
2. 友田美穂子, 上東野誉司美, 宗和憲, 海原和己, 小松京子, 三宅一徳, 中山耕之介
色素析出の少ない Sternheimer 染色液作製法の検討 .
第 69 回日本医学検査学会 : 千葉市・Web 開催, 2020

【病理部】

1. 中野薫, 河内洋, 高松学, 山本智理子, 平澤俊明, 藤崎順子, 井田智, 布部創也, 中島健, 竹内賢吾
Gastric adenocarcinoma and proximal polyposis of the stomach の 2 例 .
第 109 回日本病理学会総会 : Web 開催, 2020
2. 二宮浩範
肺原発唾液腺型腫瘍の診断・治療の実際 .

第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会 : Web 開催, 2020

3. 二宮浩範, 有安亮, 柳谷典子, 北園聡, 内堀健, 文敏景, 竹内賢吾, 西尾誠人
これからの病理診断 : 成功するオンコマインの病理検体とは ?
第 61 回日本肺癌学会学術集会 : 岡山市, 2020
4. 佐藤由紀子, 河内洋, 中野薫, 伊東優, 山村晃司, 森田琢磨, 鳥居淳一, 福田幸太, 市川千恭, 小泉雄, 神山亮介, 瀬戸陽, 新橋渉, 佐々木徹, 福島啓文, 米川博之, 三谷浩樹, 川端一嘉, 山本智理子, 竹内賢吾
頭頸部表在癌 (中・下咽頭) の定義の口腔病変への適用は可能か ?
第 38 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 : 東京, 2020
5. 佐藤由紀子
口腔歯科 2.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会 : 横浜市, 2020
6. 山下享子
軟部腫瘍の最新トピックス .
第 109 回日本病理学会総会 : Web 開催, 2020
7. 山下享子
骨軟部腫瘍の細胞診の用い方 (原発腫瘍) .
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会 : 神戸市, 2020
8. 星利良
地域推薦演題 11.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会 : Web 開催, 2020
9. 河内洋
H. pylori 未感染・除菌時代に注目すべき胃疾患の病理 .
第 3 回筑後ブロック胃がん検診講習会 兼 第 297 回筑後地区胃研究会特別講演会 : 久留米市, 2020

10. 河内洋
リンチ症候群における病理学的検査の意義と注意点.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
11. 河内洋
消化器 3.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市，2020
12. 河内洋
いわゆる low-risk T1b 癌におけるリンパ節転移リスク評価における病理学的問題点と将来展望.
第 75 回日本大腸肛門病学会学術集会：Web 開催，2020

【細胞診断部】

1. 伊藤崇彦，石井脩平，外岡暁子，千葉知宏，菅原江美子，山田麻里沙，山崎奈緒子，池畑浩一，古田則行，藤山淳三，阿部仁，杉山裕子
子宮頸部胃型粘液性癌の細胞診所見.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web 開催，2020
2. 古田則行
がん専門病院における骨軟部腫瘍細胞診の役割.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
3. 古田則行
エキスパートによる細胞診学び直しプログラム：骨軟部・用語や細胞の基礎.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web 開催，2020
4. 古田則行
これからの骨軟部腫瘍の細胞診.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web，2020
5. 星利良
地域推薦演題 11.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
6. 杉山裕子
子宮体部 I.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
7. 杉山裕子，荷見勝彦
子宮体癌の組織発生から考える内膜細胞診：体がん早期発見のため.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web 開催，2020
8. 柳谷典子，宝来威
実臨床における肺癌遺伝子検査の現状.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市，2020
9. 池畑浩一，古田則行，小松京子，千葉知宏，外岡暁子，杉山裕子
子宮頸部細胞診：鑑別困難な上皮内病変の細胞像.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
10. 池畑浩一，森園英智，坂井威彦，大迫智，杉山裕子
乳腺細胞診：どのような所見をみて良・悪性診断に迫るか？：症例 7,8.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web 開催，2020
11. 藤山淳三
頭頸部 2.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web 開催，2020
12. 藤山淳三
泌尿器 4.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web 開催，2020
13. 藤山淳三，二宮浩範，伊藤崇彦，石井脩平，山田麻里沙，山崎奈緒子，池畑浩一，古田則行，阿部仁，柳谷典子，杉山裕子，宝来威
硬化性肺胞上皮腫の細胞診.
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市 +Web 開催，2020

14. 阿部仁
その他 2.
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会：Web
開催，2020
15. 阿部仁
エキスパートによる細胞診学び直しプログラム
ム．
第 59 回日本臨床細胞学会秋期大会：横浜市
+Web 開催，2020

【栄養管理部】

1. 中屋恵梨香，中西良太，井田智，岡野亜子，榎
田滋穂，山口彩，松下亜由子，伊丹優貴子，高
木久美，川名加織，伊沢由紀子，松尾宏美，熊
谷厚志，小西毅
小腸ストーマ造設中の High Output Syn-
drome 症例における栄養学的指標の検討と発
症予測因子．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上
開催，2020
2. 井田智，熊谷厚志，松尾宏美，布部創也，比企
直樹
胃切除術後の早期栄養および運動介入の効果．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上
開催，2020
3. 川名加織，井田智，佐々木徹，齊藤正徳，岡野
亜子，榎田滋穂，山口彩，松下亜由子，伊丹優
貴子，中屋恵梨香，高木久美，伊沢由紀子，松
尾宏美，熊谷厚志
頸椎周囲筋断面積を用いた新たな骨格筋量の指
標に関する検討．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上
開催，2020
4. 松下亜由子，熊谷厚志，井田智，松尾宏美，中
濱孝志，伊沢由紀子，川名加織，高木久美，中
屋恵梨香，伊丹優貴子，山口彩，榎田滋穂，岡
野亜子，川原玲子
がん専門病院における管理栄養士の緩和ケア
チーム参加について．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上
開催，2020
5. 榎田滋穂，熊谷厚志，岡野亜子，山口彩，松下
亜由子，中屋恵梨香，川名加織，高木久美，伊
沢由紀子，井田智
卵巢癌患者の術前低筋肉量と栄養指標、術後合
併症との関連．
第 23 回日本病態栄養学会学術集会：京都市，
2020
6. 熊谷厚志
栄養の力：人生の主人公であり続けるためにで
きること．
日本オストミー協会 横浜市支部会：横浜市，
2020
7. 高木久美，中屋恵梨香，松下亜由子，榎田滋穂，
岡野亜子，山口彩，川名加織，伊沢由紀子，松
尾宏美，高橋祐，井田智，熊谷厚志
脾頭十二指腸切除術前患者に対する栄養指導の
有効性について．
第 23 回日本病態栄養学会学術集会：京都市，
2020
8. 高木久美，中屋恵梨香，松下亜由子，榎田滋穂，
岡野亜子，山口彩，伊丹優貴子，伊沢由紀子，
松尾宏美，高橋祐，井田智，熊谷厚志
脾頭十二指腸切除術施行患者に対するガム
チューイングの胃排出遅延予防の有効性につい
て．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上
開催，2020

【緩和治療科】

1. 佐伯吉規
精神科医が緩和医になった時
Consultation Liaison Meeting: Web 開催，2020
2. 佐伯吉規
もし、無床精神科医が本気で地域の精神科医療
政策を考えてみたら：そう遠くない未来の話．
第 33 回日本総合病院精神医学会総会：Web 開
催，2020
3. 川原玲子，竹野伸洋，柴田直樹，水野俊美，大
友陽子，三澤貴代美，佐伯吉規，星野奈月
ミロガバリンのがん疼痛に対する有効性の検
討：プレガバリンとの比較．

緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020（第 25 回日本緩和医療学会学術大会 /5 回がんサポーターケア学会学術集会 /33 回サイコオンコロジー学会総会）：Web 開催，2020

4. 川原玲子
看護師のためのモニタリング講座 2.
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，2020
5. 川原玲子
緩和ケアにおけるモニターの必要性．
第 31 回日本臨床モニター学会総会：Web 開催，2020
6. 秋月晶子，佐伯吉規，櫻井宏樹，星野奈月，川原玲子
緩和ケア病棟退院後、在宅療養中に気管挿管された 3 症例．
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020（第 25 回日本緩和医療学会学術大会 /5 回がんサポーターケア学会学術集会 /33 回サイコオンコロジー学会総会）：Web 開催，2020

【看護部】

1. 上間美夕紀，花出正美，宮城八重子，星野公子
がん相談支援センター企画・運営によるサポートグループに参加したがん患者・家族の体験．
第 34 回日本がん看護学会学術集会：東京，2020
2. 丸山朋恵，藤澤知賀子，野口美保，長崎礼子
大腸がん術後補助 XELOX 療法の外来治療室での継続看護のための看護記録の改善．
第 34 回日本がん看護学会学術集会：東京，2020
3. 佐原彩香，梅本実里，小川恵
頭頸部がん患者へのせん妄アセスメントシートによるスクリーニング及びせん妄ハイリスク患者への看護介入．
第 34 回日本がん看護学会学術集会：東京，2020
4. 佐野紀代，福島啓文，神山亮介，三谷浩樹
シャント発声における発声困難患者への対処方法について．

第 44 回日本頭頸部癌学会：Web 開催，2020

5. 大友陽子，青木洋一，小野麻紀子，横井麻珠美，恩地純子，中山章子，横田淳子，黒田直子，後藤志保，佐山郁子，竹内抄與子，山田欣子，山田玲子，吾妻慧一，片岡明美，吉井星良，大野真司
がん専門病院のがん生殖医療に関する看護師教育に向けた取り組み．
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020（第 25 回日本緩和医療学会学術大会 /5 回がんサポーターケア学会学術集会 /33 回サイコオンコロジー学会総会）：Web 開催，2020
6. 後藤志保，長井優子，長崎礼子，渡邊康恵，千葉玲子，鴨川郁子，下倉美穂，高橋まみ，野口まゆみ，鈴木美智子，手塚敦子
「放射線療法看護を充実させるために私たちは何ができるか」目指す看護を支える仕組みづくり．
第 34 回日本がん看護学会学術集会：東京，2020
7. 後藤志保
INE・がん看護専門看護師が伝授する「がん患者の IVR 看護」．
第 49 回日本 IVR 学会総会：神戸市，2020
8. 後藤志保
医療放射線の安全管理：改正法施行後の現状と課題．
第 15 回医療の質・安全学会学術集会：Web 開催，2020
9. 望月淑子，高木文，磯野香織
緊急入院時における頭頸部がん患者の栄養状態に関する調査．
第 35 回日本臨床栄養代謝学会学術集会：誌上開催，2020
10. 木暮麻優，江口奈緒子，太田志保，富塚健
悪性リンパ腫治療後に発症した壊死性潰瘍性歯肉炎の 1 例：歯科衛生士の立場から．
第 17 回日本口腔ケア学会学術大会：誌上発表，2020

11. 水野俊美, 宇津木智子, 浦野美雪, 大友陽子, 柴本裕美, 花出正美
院内緩和ケア教育の評価と課題: がん性疼痛看護 < 基礎 > < 実践 > / ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムを通して.
第 34 回日本がん看護学会学術集会: 東京, 2020
12. 澤井裕子, 石井幸恵, 星野公子, 長崎礼子
切除不能進行膵臓がん患者に対する外来治療室看護師による心理・社会面へのサポート体制の構築.
第 34 回日本がん看護学会学術集会: 東京, 2020
13. 田島佐季子, 笹本麻実, 古賀典子, 木原央貴, 羽田忍
消化器化学療法科病棟でインフォームド・コンセントの看護記録を統一したことによる情報共有の一考察.
第 34 回日本がん看護学会学術集会: 東京, 2020
14. 石川加奈子, 藤浪文子, 松浦信子
褥瘡専任看護師育成のための教育プログラムの構築: 院内継続教育に組み込んでみて.
第 23 回日本褥瘡学会学術集会: 神戸市, 2020
15. 石神響
ICU 看護師のための循環器モニタリングと看護実践.
第 31 回日本臨床モニター学会総会: Web 開催, 2020
16. 稲見摩紀子, 神田恵子, 鈴木美穂
大腸内視鏡検査における自宅前処置不良関連要因の検討.
第 84 回・85 回日本消化器内視鏡技師学会: 奈良市, 2020
17. 腰塚美愛, 駒澤朋子, 森田みどり, 福長洋介, 横田美幸, 奥村栄, 山田沙織
腹腔鏡下大腸手術における医師・手術室看護師・臨床工学技士の多職種連携に対する意識調査.
第 42 回日本手術医学会総会: 高松市, 2020
18. 花出正美, 上間美夕紀, 宮城八重子, 豊島絵理子
がん相談支援センターにおけるがん就労支援の取り組み: 個別相談とサポートグループ、がん専門相談員・社会保険労務士協働の視点から.
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020 (第 25 回日本緩和医療学会学術大会 / 5 回がんサポーターティブケア学会学術集会 / 33 回サイコオンコロジー学会総会): Web 開催, 2020
19. 赤土朋美, 井田恵都
海外からの多剤耐性菌持ち込み対策におけるシステムの構築と現状.
第 35 回日本環境感染学会総会・学術集会: 東京, 2020
20. 鈴木美智子
在宅とつくるこれからの Advanced Care Planning.
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020 (第 25 回日本緩和医療学会学術大会 / 5 回がんサポーターティブケア学会学術集会 / 33 回サイコオンコロジー学会総会): Web 開催, 2020

【薬剤部】

1. Kawakami, K., Ito, G., Aoyama, T., Yokokawa, T., Nakamura, M., Ozaka, M., Sasahira, N., Hashiguchi, M., Kizaki, H., Hama, T., Hori, S.
Risk factors for severe neutropenia among pancreatic cancer patients receiving nab-paclitaxel and gemcitabine combination therapy.
Gastrointestinal Cancer Symposium of the American Society of Clinical Oncology (ASCO-GI): San Francisco, CA, USA, 2020
2. 前勇太郎, 吾妻慧一, 橋本幸輝, 渡部秀一, 川口萌実, 井上彩花, 田瀬徹, 瀧口友美, 清水久範, 濱敏弘
生産性向上に向けた注射室の取り組み.
第 30 回日本医療薬学会年会: Web 開催, 2020
3. 友松拓哉, 青山剛, 川上和宜, 平出誠, 山口研成, 濱敏弘

- Ramucirumab / Paclitaxel 療法の副作用発現に対するジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬の影響 .
第 30 回日本医療薬学会年会 : Web 開催 , 2020
4. 吉岡秀哲
COVID-19 感染対策とがん医療 : がん診療はどう変わるのか : 変えていくのか : COVID-19 に対するがん専門病院の感染対策 .
第 28 回オンコロジーセミナー : Web 開催 , 2020
 5. 吾妻慧一
造血器腫瘍治療への薬剤師の関わり : チーム医療を実践するための薬剤師の視点 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会 : Web 開催 , 2020
 6. 川口萌実 , 友松拓哉 , 青山剛 , 川上和宜 , 平出誠 , 山口研成 , 濱敏弘
Ramucirumab / Paclitaxel 療法の副作用発現に対するジヒドロピリジン系カルシウム拮抗薬の影響 .
第 30 回日本医療薬学会年会 : Web 開催 , 2020
 7. 平出誠 , 志賀太郎 , 蓑輪雄一 , 中野泰寛 , 吉岡秀哲 , 鈴木賢一 , 保田知生 , 高橋晴美 , 濱敏弘
日本人肺がん患者における静脈血栓塞栓症発症リスク因子に関する研究 .
第 84 回日本循環器学会学術集会 : Web 開催 , 2020
 8. 式部さあ里 , 青山剛 , 山田玲子 , 清水久範 , 濱敏弘
東京都がん診療連携協議会研修部薬剤師研修会事業の変遷 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会 : Web 開催 , 2020
 9. 根本真記
クスリ視点で考える周術期管理のポイント .
第 31 回日本臨床モニター学会総会 : Web 開催 , 2020
 10. 清水久範 , 東加奈子
がん患者の意思決定にかかわる薬剤師の育成 : 都病薬がん領域専門薬剤師養成研究会 : 特別編 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会 : Web 開催 , 2020
 11. 清水久範
東京都病院薬剤師会「がん領域」の取り組み紹介 : 未来の薬剤師像を描く .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会 : Web 開催 , 2020
 12. 渡部秀一 , 平出誠 , 青山剛 , 川上和宜 , 若槻尊 , 山口研成 , 濱敏弘
進行再発胃癌に対するラムシルマブ投与による蛋白尿発現のリスク因子の検討 .
第 30 回日本医療薬学会年会 : Web 開催 , 2020
 13. 濱敏弘
病院薬剤師職能 50 年の進化と未来 : 安全・安心・満足を支える薬学的患者ケアの実践 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会 : Web 開催 , 2020
 14. 竹野伸洋 , ほか
麻薬関連インシデント減少を目的とした院内ルール整備のための実態調査報告 .
日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会 : Web 開催 , 2020
 15. 鈴木亘 , 川上和宜 , 青山剛 , 横川貴志 , 杉崎崇人 , 小林一男 , 柴田直樹 , 羽鳥正浩 , 鈴木賢一 , 伊藤良則 , 濱敏弘
乳がんの高度催吐性化学療法施行時の制吐療法におけるデキサメタゾン未使用時の制吐効果 .
第 30 回日本医療薬学会年会 : Web 開催 , 2020
 16. 青山剛
大腸がん治療の標準療法 .
第 9 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 : 福岡市 , 2020
 17. 青山剛
消化器癌に対する抗癌薬の副作用チームマネジメント .

日本病院薬剤師会関東ブロック第 50 回学術大会：Web 開催，2020

【医療安全管理部】

1. 山本豊，根本真紀，川尻恵子，両角陽子，横田美幸
術中大量出血に対応する診療体制構築の取り組み。
第 15 回医療の質・安全学会学術集会：Web 開催，2020

【臨床研究・開発センター】

1. 鈴木一洋，溝部秀謙，植野峻也，高松学，津山直子，馬瀬章，遠藤隆明，奈部谷章，竹内賢吾，小口正彦
病理診断支援システムの構築：SIP「AI ホスピタルにおける高度診断・治療システム」事業における取り組み。
第 40 回医療情報学連合大会：浜松市，2020

【がん早期臨床開発部】

1. 古川孝広
しびれに対する薬物療法の進歩。
緩和・支持・心のケア合同学術大会 2020（第 25 回日本緩和医療学会学術大会 / 5 回がんサポーターシップケア学会学術集会 / 33 回サイコロジ学会総会）：Web 開催，2020

【がん免疫治療開発部】

1. 北野滋久
未来予想図：メラノーマを中心に展開する免疫療法、分子標的薬治療のこれから。
第 119 回日本皮膚科学会総会：京都市，2020
2. 北野滋久
免疫関連有害事象：免疫関連有害事象のオーバービュー。
第 64 回日本リウマチ学会総会・学術集会：Web 開催，2020
3. 北野滋久
免疫チェックポイント阻害薬の作用機序と免疫関連有害事象のマネジメント。
第 3 回日本腫瘍循環器学会学術集会：Web 開催，2020

4. 北野滋久
複合がん免疫療法における Ipilimumab 併用の意義。
日本泌尿器腫瘍学会第 6 回学術集会：Web・京都市，2020
5. 北野滋久
がん免疫療法における PD-L1 検査の意義。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020
6. 北野滋久
がん免疫療法の副作用管理。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020
7. 北野滋久
癌の免疫逃避機構を標的とした新しい治療法の研究と開発。
第 61 回日本肺癌学会学術集会：岡山市，2020

【健診センター】

1. 内田靖子，宇津木久仁子，土田知宏，羽山ブライアン
がん専門病院健診センターにおける発熱外来・COVID-19 スクリーニング外来の経験。
第 58 回日本癌治療学会学術集会：京都市，2020
2. 内田靖子，土田知宏，宇津木久仁子，羽山ブライアン，清水貴子，春木聡美，山田ゆみ，鈴木裕子
がん専門病院の健診センターで担った発熱外来・COVID-19 スクリーニング外来の経験。
第 61 回日本人間ドック学会学術大会：Web 開催，2020
3. 土田知宏
咽頭と食道の扁平上皮癌内視鏡診断と治療。
日本消化器内視鏡学会 第 47 回重点卒後教育セミナー：横浜市，2020
4. 土田知宏
検診における内視鏡検査：日常診療にも役立つポイントとコツ。
第 111 回日本消化器内視鏡学会関東支部例会：Web 開催，2020

5. 宇津木久仁子
婦人科その他 .
第 61 回日本臨床細胞学会総会春期総会 : Web
開催 , 2020
6. 鈴木裕子 , 宇津木久仁子 , 土田知宏 , 梶野富輝 ,
久米光
病理剖検輯報からみた内臓真菌症の疫学 :
2017 年度の剖検例 (剖検輯報第 60 輯) より .
第 64 回日本医真菌学会総会・学術集会 : 東京 ,
2020

10. 雑誌・単行本発表業績

【呼吸器内科】

1. Amino, Y., Kitazono, S., Uematsu, S., Hasegawa, T., Yoshizawa, T., Uchibori, K., Yanagitani, N., Horiike, A., Horai, T., Kasahara, K., Nishio, M.
Efficacy of anti-PD-1 therapy for recurrence after chemoradiotherapy in locally advanced NSCLC.
Int. J. Clin. Oncol., 2020. 25(1): 67-73
2. Arai, S., Takeuchi, S., Fukuda, K., Taniguchi, H., Nishiyama, A., Tanimoto, A., Satouchi, M., Yamashita, K., Ohtsubo, K., Nanjo, S., Kumagai, T., Katayama, R., Nishio, M., Zheng, M. M., Wu, Y. L., Nishihara, H., Yamamoto, T., Nakada, M., Yano, S.
Osimertinib overcomes alectinib resistance caused by amphiregulin in a leptomeningeal carcinomatosis model of ALK-rearranged lung cancer.
J. Thorac. Oncol., 2020. 15(5): 752-765
3. Ariyasu, R., Yanagitani, N., Tadokoro, K., Yamaguchi, T., Uchibori, K., Kitazono, S., Fujita, N., Katayama, R., Nishio, M.
Efficacy of EGFR tyrosine kinase inhibitors in patients having EGFR-activating mutations with or without BIM polymorphisms.
Cancer Chemother. Pharmacol., 2020. 86(4): 517-525
4. Drilon, A., Oxnard, G. R., Tan, D. S. W., Loong, H. H. F., Johnson, M., Gainor, J., McCoach, C. E., Gautschi, O., Besse, B., Cho, B. C., Peled, N., Weiss, J., Kim, Y. J., Ohe, Y., Nishio, M., Park, K., Patel, J., Seto, T., Sakamoto, T., Rosen, E., Shah, M. H., Barlesi, F., Cassier, P. A., Bazhenova, L., De Braud, F., Garrauda, E., Velcheti, V., Satouchi, M., Ohashi, K., Pennell, N. A., Reckamp, K. L., Dy, G. K., Wolf, J., Solomon, B., Falchook, G., Ebata, K., Nguyen, M., Nair, B., Zhu, E. Y., Yang, L., Huang, X., Olek, E., Rothenberg, S. M., Goto, K., Subbiah, V.
Efficacy of selpercatinib in RET fusion-positive non-small-cell lung cancer.
N. Engl. J. Med., 2020. 383(9): 813-824
5. Hasegawa, T., Yanagitani, N., Ninomiya, H., Sakamoto, H., Tozuka, T., Yoshida, H., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Ariyasu, R., Uchibori, K., Kitazono, S., Horiike, A., Nishio, M.
Association between the efficacy of pembrolizumab and low STK11/LKB1 expression in high-PD-L1-expressing non-small-cell lung cancer.
In Vivo, 2020. 34(5): 2997-3003
6. Ichinose, J., Kawaguchi, Y., Nakao, M., Matsuura, Y., Okumura, S., Ninomiya, H., Oikado, K., Nishio, M., Mun, M.
Utility of maximum CT value in predicting the invasiveness of pure ground-glass nodules.
Clin. Lung Cancer, 2020. 21(3): 281-287
7. Matsui, R., Suzuki, K., Takiguchi, T., Nishio, M., Koike, T., Hayashi, T., Seto, T., Kogure, Y., Nogami, N., Fujiwara, K., Kaneda, H., Harada, T., Shimizu, S., Kimura, M., Kenmotsu, H., Shimokawa, M., Goto, K.
5-Hydroxytryptamine-3 receptor antagonist and dexamethasone as prophylaxis for chemotherapy-induced nausea and vomiting during moderately emetic chemotherapy for solid tumors: A multicenter, prospective, observational study.
BMC Pharmacol. Toxicol., 2020. 21(1): 72
8. Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Nishio, M., Mun, M.
Prognostic impact and distinctive characteristics of surgically resected anaplastic lymphoma kinase-rearranged lung adenocarcinoma.
J. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2020: in press

9. Morita, R., Okishio, K., Shimizu, J., Saito, H., Sakai, H., Kim, Y. H., Hataji, O., Yomota, M., Nishio, M., Aoe, K., Kanai, O., Kumagai, T., Kibata, K., Tsukamoto, H., Oizumi, S., Fujimoto, D., Tanaka, H., Mizuno, K., Masuda, T., Kozuki, T., Haku, T., Suzuki, H., Okamoto, I., Hoshiyama, H., Ueda, J., Ohe, Y.
Real-world effectiveness and safety of nivolumab in patients with non-small cell lung cancer: A multicenter retrospective observational study in Japan.
Lung Cancer, 2020. 140: 8-18
10. Nakagawa, K., Hida, T., Nokihara, H., Morise, M., Azuma, K., Kim, Y. H., Seto, T., Takiguchi, Y., Nishio, M., Yoshioka, H., Kumagai, T., Hotta, K., Watanabe, S., Goto, K., Satouchi, M., Kozuki, T., Koyama, R., Mitsudomi, T., Yamamoto, N., Asakawa, T., Hayashi, M., Hasegawa, W., Tamura, T.
Final progression-free survival results from the J-ALEX study of alectinib versus crizotinib in ALK-positive non-small-cell lung cancer.
Lung Cancer, 2020. 139: 195-199
11. Niho, S., Yoshida, T., Akimoto, T., Sakamaki, K., Ono, A., Seto, T., Nishio, M., Yamamoto, N., Hida, T., Okamoto, H., Kurata, T., Satouchi, M., Goto, K., Yamanaka, T., Ohe, Y.
Randomized phase II study of chemoradiotherapy with cisplatin + S-1 versus cisplatin + pemetrexed for locally advanced non-squamous non-small cell lung cancer: SPECTRA study.
Lung Cancer, 2020. 141: 64-71
12. Nishio, M., Felip, E., Orlov, S., Park, K., Yu, C. J., Tsai, C. M., Cobo, M., McKeage, M., Su, W. C., Mok, T., Scagliotti, G. V., Spigel, D. R., Viraswami-Appanna, K., Chen, Z., Passos, V. Q., Shaw, A. T.
Final overall survival, other efficacy and safety results from ASCEND-3: Phase II study of ceritinib in ALKi-naïve patients with ALK-rearranged non-small-cell lung cancer.
J. Thorac. Oncol., 2020. 15(4): 609-617
13. Nishio, M., Seto, T., Reck, M., Garon, E. B., Chiu, C. H., Yoh, K., Imamura, F., Park, K., Shih, J. Y., Visseren-Grul, C., Fridt-Moller, B., Zimmermann, A., Homma, G., Enatsu, S., Nakagawa, K.
Ramucirumab or placebo plus erlotinib in EGFR-mutated, metastatic non-small-cell lung cancer: East Asian subset of RELAY.
Cancer Sci., 2020. 111(12): 4510-4525
14. Nishio, M., Kato, T., Niho, S., Yamamoto, N., Takahashi, T., Nogami, N., Kaneda, H., Fujita, Y., Wilner, K., Yoshida, M., Isozaki, M., Wada, S., Tsuji, F., Nakagawa, K.
Safety and efficacy of first-line dacomitinib in Japanese patients with advanced non-small cell lung cancer.
Cancer Sci., 2020. 111(5): 1724-1738
15. Okamoto, I., Nokihara, H., Nomura, S., Niho, S., Sugawara, S., Horinouchi, H., Azuma, K., Yoneshima, Y., Murakami, H., Hosomi, Y., Atagi, S., Ozaki, T., Horiike, A., Fujita, Y., Okamoto, H., Ando, M., Yamamoto, N., Ohe, Y., Nakagawa, K.
Comparison of carboplatin plus pemetrexed followed by maintenance pemetrexed with docetaxel monotherapy in elderly patients with advanced nonsquamous non-small cell lung cancer: A phase 3 randomized clinical trial.
JAMA Oncol., 2020. 6(5): e196828
16. Okishio, K., Morita, R., Shimizu, J., Saito, H., Sakai, H., Kim, Y. H., Hataji, O., Yomota, M., Nishio, M., Aoe, K., Kanai, O., Kumagai, T., Kibata, K., Tsukamoto, H., Oizumi, S., Fujimoto, D., Tanaka, H., Mizuno, K., Masuda, T., Kozuki, T., Haku, T., Suzuki, H., Okamoto, I., Hoshiyama, H., Yada, N., Ohe, Y.
Nivolumab treatment of elderly Japanese patients with non-small cell lung cancer:

subanalysis of a real-world retrospective observational study (CA209-9CR).
ESMO Open, 2020. 5(4): e000656

17. Okuma, Y., Goto, Y., Ohyanagi, F., Sunami, K., Nakahara, Y., Kitazono, S., Kudo, K., Tambo, Y., Kanda, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Horinouchi, H., Fujiwara, Y., Nokihara, H., Yamamoto, N., Nishio, M., Ohe, Y., Hosomi, Y.
Phase II trial of S-1 treatment as palliative-intent chemotherapy for previously treated advanced thymic carcinoma.
Cancer Med., 2020. 9(20): 7418-7427
18. Sakakibara, R., Kobayashi, M., Takahashi, N., Inamura, K., Ninomiya, H., Wakejima, R., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nishio, M., Okumura, S., Motoi, N., Ito, T., Miyazaki, Y., Inase, N., Ishikawa, Y.
Insulinoma-associated protein 1 (INSM1) is a better marker for the diagnosis and prognosis estimation of small cell lung carcinoma than neuroendocrine phenotype markers such as chromogranin A, synaptophysin, and CD56.
Am. J. Surg. Pathol., 2020. 44(6): 757-764
19. Satouchi, M., Nosaki, K., Takahashi, T., Nakagawa, K., Aoe, K., Kurata, T., Sekine, A., Horiike, A., Fukuhara, T., Sugawara, S., Umemura, S., Saka, H., Okamoto, I., Yamamoto, N., Sakai, H., Kishi, K., Katakami, N., Horinouchi, H., Hida, T., Okamoto, H., Atagi, S., Ohira, T., Rong Han, S., Noguchi, K., Ebiana, V., Hotta, K.
First-line pembrolizumab versus chemotherapy in metastatic non-small-cell lung cancer: KEYNOTE-024 Japan subset.
Cancer Sci., 2020. 111(12): 4480-4489
20. Seto, T., Hayashi, H., Satouchi, M., Goto, Y., Niho, S., Nogami, N., Hida, T., Takahashi, T., Sakakibara-Konishi, J., Morise, M., Nagasawa, T., Suzuki, M., Ohkura, M., Fukuhara, K., Thurm, H., Peltz, G., Nishio, M.
Lorlatinib in previously treated anaplastic lymphoma kinase-rearranged non-small cell lung cancer: Japanese subgroup analysis of a global study.
Cancer Sci., 2020. 111(10): 3726-3738
21. Seto, T., Azuma, K., Yamanaka, T., Sugawara, S., Yoshioka, H., Wakuda, K., Atagi, S., Iwamoto, Y., Hayashi, H., Okamoto, I., Saka, H., Mitsuka, S., Fujimoto, D., Nishino, K., Horiike, A., Daga, H., Sone, T., Yamamoto, N., Nakagawa, K., Nakanishi, Y.
Randomized phase III study of continuation maintenance bevacizumab with or without pemetrexed in advanced nonsquamous non-small-cell lung cancer: COMPASS (WJOG5610L).
J. Clin. Oncol., 2020. 38(8): 793-803
22. Sonoda, D., Matsuura, Y., Kondo, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M., Okumura, S., Satoh, Y., Mun, M.
Characteristics of surgically resected non-small cell lung cancer patients with post-recurrence cure.
Thorac. Cancer, 2020. 11(11): 3280-3288
23. Sonoda, T., Yanagitani, N., Suga, K., Yoshizawa, T., Nishikawa, S., Kitazono, S., Horiike, A., Shiba, K., Ishizuka, T., Nishio, M., Matsusaka, S.
A novel system to detect circulating tumor cells using two different size-selective microfilters.
Anticancer Res., 2020. 40(10): 5577-5582
24. Takahashi, K., Seto, Y., Okada, K., Uematsu, S., Uchibori, K., Tsukahara, M., Ohhara, T., Fujita, N., Yanagitani, N., Nishio, M., Okubo, K., Katayama, R.
Overcoming resistance by ALK compound mutation (I1171S + G1269A) after sequential treatment of multiple ALK inhibitors in non-small cell lung cancer.
Thorac. Cancer, 2020. 11(3): 581-587

25. Tozuka, T., Kitazono, S., Sakamoto, H., Yoshida, H., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Hasegawa, T., Ariyasu, R., Uchibori, K., Yanagitani, N., Horai, T., Seike, M., Gemma, A., Nishio, M.
Addition of ramucirumab enhances docetaxel efficacy in patients who had received anti-PD-1/PD-L1 treatment.
Lung Cancer, 2020. 144: 71-75
26. Tozuka, T., Yanagitani, N., Sakamoto, H., Yoshida, H., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Hasegawa, T., Ariyasu, R., Uchibori, K., Kitazono, S., Seike, M., Gemma, A., Nishio, M.
Association between continuous decrease of plasma VEGF-A levels and the efficacy of chemotherapy in combination with anti-programmed cell death 1 antibody in non-small cell lung cancer patients.
Cancer Treat. Res. Commun., 2020. 25: 100249
27. Tozuka, T., Kitazono, S., Sakamoto, H., Yoshida, H., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Hasegawa, T., Uchibori, K., Yanagitani, N., Horiike, A., Horai, T., Seike, M., Gemma, A., Nishio, M.
Dissociated responses at initial computed tomography evaluation is a good prognostic factor in non-small cell lung cancer patients treated with anti-programmed cell death-1/ligand 1 inhibitors.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 207
28. Tozuka, T., Kitazono, S., Sakamoto, H., Yoshida, H., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Hasegawa, T., Ariyasu, R., Uchibori, K., Yanagitani, N., Horai, T., Seike, M., Gemma, A., Nishio, M.
Poor efficacy of anti-programmed cell death-1/ligand 1 monotherapy for non-small cell lung cancer patients with active brain metastases.
Thorac. Cancer, 2020. 11(9): 2465-2472
29. Tsuchiya-Kawano, Y., Sasaki, T., Yamaguchi, H., Hirano, K., Horiike, A., Satouchi, M., Hosokawa, S., Morinaga, R., Komiya, K., Inoue, K., Fujita, Y., Toyozawa, R., Kimura, T., Takahashi, K., Nishikawa, K., Kishimoto, J., Nakanishi, Y., Okamoto, I.
Updated survival data for a phase I/II study of carboplatin plus nab-paclitaxel and concurrent radiotherapy in patients with locally advanced non-small cell lung cancer.
Oncologist, 2020. 25(6): 475-e891
30. Wolf, J., Seto, T., Han, J. Y., Reguart, N., Garon, E. B., Groen, H. J. M., Tan, D. S. W., Hida, T., de Jonge, M., Orlov, S. V., Smit, E. F., Souquet, P. J., Vansteenkiste, J., Hochmair, M., Felip, E., Nishio, M., Thomas, M., Ohashi, K., Toyozawa, R., Overbeck, T. R., de Marinis, F., Kim, T. M., Laack, E., Robeva, A., Le Mouhaer, S., Waldron-Lynch, M., Sankaran, B., Balbin, O. A., Cui, X., Giovannini, M., Akimov, M., Heist, R. S.
Capmatinib in MET exon 14-mutated or MET-amplified non-small-cell lung cancer.
N. Engl. J. Med., 2020. 383(10): 944-957
31. Yamamoto, N., Hayashi, H., Planchard, D., Morán, T., Gregorc, V., Dowell, J., Sakai, H., Yoh, K., Nishio, M., Cortot, A. B., Benhadji, K. A., Soni, N., Huang, J., Makris, L., Cedres, S.
A randomized, phase 2 study of deoxyuridine triphosphatase inhibitor, TAS-114, in combination with S-1 versus S-1 alone in patients with advanced non-small-cell lung cancer.
Invest. New Drugs., 2020. 38(5): 1588-1597
32. Yanagitani, N., Uchibori, K., Koike, S., Tsukahara, M., Kitazono, S., Yoshizawa, T., Horiike, A., Ohyanagi, F., Tambo, Y., Nishikawa, S., Fujita, N., Katayama, R., Nishio, M.
Drug resistance mechanisms in Japanese ALK positive NSCLC and the clinical responses based on the resistant mechanisms.

33. 内堀健
ゲノム医療時代のがん：分子標的薬と診断薬研究「治療」の選択肢を広げる新しい標的、併用療法、横断的・マルチコンパニオン診断薬、リキッドバイオプシー：（第1章）新しい標的：RAS 標的治療の夜明け。
実験医学, 2020. 38(15): 2462-2468
34. 内堀健
検査値を読む 2020：（6章）遺伝子・染色体検査 B. 腫瘍関連遺伝子・染色体検査：KRAS 遺伝子。
内科, 2020. 125(4): 592-593
35. 内堀健
検査値を読む 2020：（6章）遺伝子・染色体検査 B. 腫瘍関連遺伝子・染色体検査：ROS1 融合遺伝子。
内科, 2020. 125(4): 605
36. 内堀健
検査値を読む 2020：（6章）遺伝子・染色体検査：B. 腫瘍関連遺伝子・染色体検査：BRAF 遺伝子。
内科, 2020. 125(4): 606-607
37. 内堀健
検査値を読む 2020：（30章）腫瘍関連検査 ALK 融合蛋白。
内科, 2020. 125(4): 1053
38. 有安亮, 内堀健, 田中寿志, 宮内栄作, 川嶋庸介, 大柳文義, 堀池篤, 酒谷俊雄, 齊木雅史, 丹保裕一, 谷本梓, 園田智明, 神山潤二, 上浪健, 工藤慶太, 土屋裕子, 西尾誠人
化学放射線療法後デュルバルマブの投与回避要因 (TOPGAN2020-01)。
肺癌, 2020. 60(7): 966-971
39. 有安亮, 西尾誠人
進行期肺癌治療への道：がんゲノム医療と免疫プレシジョン医療の接点：免疫チェックポイント阻害薬の進化：複合免疫療法：PD-1 阻害薬単剤治療効果とその特徴。
呼吸器ジャーナル, 2020. 68(3): 402-408

40. 柳谷典子
がんゲノム医療 update：患者申出療養制度。
呼吸器内科, 2020. 38(4): 319-322

【呼吸器外科】

- Endoh, M., Shiono, S., Yamauchi, Y., Mun, M., Ikeda, N., Hashimoto, H., Horio, H., Asamura, H., Yoshino, I., Matsuguma, H., Nakajima, J., Oyama, T., Shintani, Y., Nakayama, M., Matsutani, N., Kawamura, M.
Pulmonary metastasectomy for pulmonary metastasis of breast cancer has a limited prognostic impact: A multi-institutional retrospective analysis.
J. Thorac. Dis., 2020. 12(11): 6552-6562
- Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M.
Bilateral lung cancer resection with preservation of an accessory cardiac lobe.
BMJ Case Rep., 2020. 13(11): e239604
- Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M.
Co-occurrence of bilateral pneumothorax and pneumoperitoneum.
BMJ Case Rep., 2020. 13(3): e234628
- Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M.
A novel procedure of thoracoscopic 4L lymph node dissection: 4L posterior first technique.
J. Vis. Surg., 2020. 6: 11
- Ichinose, J., Kawaguchi, Y., Nakao, M., Matsuura, Y., Okumura, S., Ninomiya, H., Oikado, K., Nishio, M., Mun, M.
Utility of maximum CT value in predicting the invasiveness of pure ground-glass nodules.
Clin. Lung Cancer, 2020. 21(3): 281-287
- Iwamoto, N., Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., Nakao, M., Ishikawa, Y., Okumura, S., Mun, M.

An extremely rare case of rapidly growing mediastinal well-differentiated liposarcoma with a sclerosing variant: A case report. *Surg. Case Rep.*, 2020. 6(1): 158

7. Kadoya, Y., Oikado, K., Ishiyama, M., Tanaka, H., Matsueda, K., Ninomiya, H., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Focally ossified minimally invasive adenocarcinoma of the lung coexisting with occult pulmonary metastases from thyroid cancer.
J. Thorac. Imaging, 2020. 35(6): W119-W122
8. Kawakatsu, S., Mise, Y., Hiratsuka, M., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Mun, M., Okumura, S., Matsueda, K., Nagino, M., Saiura, A.
Clinical significance of subcentimeter pulmonary nodules in patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastases.
J. Surg. Oncol., 2020. 122(3): 523-528
9. Matsuda, M., Ninomiya, H., Wakejima, R., Inamura, K., Okumura, S., Mun, M., Kitagawa, M., Ishikawa, Y.
Calretinin-expressing lung adenocarcinoma: Distinct characteristics of advanced stages, smoker-type features, and rare expression of other mesothelial markers are useful to differentiate epithelioid mesothelioma.
Pathol. Res. Pract., 2020. 216(3): 152817
10. Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Novel thoracoscopic lymph node dissection techniques for left upper lobectomy with a fused fissure.
Curr. Chall. Thorac. Surg., 2020: in press
11. Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., Nakao, M., Ishikawa, Y., Okumura, S., Mun, M.

Pathogenesis of secondary spontaneous pneumothorax complicating osteosarcoma. *Ann. Thorac. Surg.*, 2020. 110(2): e81-e83

12. Matsuura, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Prediction of and surgical strategy for adherent hilar lymph nodes in thoracoscopic surgery.
Asian J. Endosc. Surg., 2020. 13(3): 287-292
13. Matsuura, Y., Ninomiya, H., Ichinose, J., Nakao, M., Okumura, S., Nishio, M., Mun, M.
Prognostic impact and distinctive characteristics of surgically resected anaplastic lymphoma kinase-rearranged lung adenocarcinoma.
J. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2020: in press
14. Mun, M., Nakao, M., Matsuura, Y., Ichinose, J., Okumura, S.
Oncological outcomes after lobe-specific mediastinal lymph node dissection via multiport video-assisted thoracoscopic surgery.
Eur. J. Cardiothorac. Surg., 2020. 58(Suppl.1): i92-i99
15. Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
Different perspectives and viewpoints on the postoperative management of EGFR-mutant lung cancer.
Ann. Transl. Med., 2020. 8(18): 1201
16. Nakao, M., Ichinose, J., Matsuura, Y., Okumura, S., Mun, M.
Outcomes after thoracoscopic surgery in octogenarian patients with clinical N0 non-small-cell lung cancer.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2020. 50(8): 926-932
17. Nakashima, Y., Inamura, K., Ninomiya, H., Okumura, S., Mun, M., Kirimura, S., Kobayashi, M., Okubo, K., Ishikawa, Y.
Frequent expression of conventional endo-

- thelial markers in pleural mesothelioma: Usefulness of claudin-5 as well as combined traditional markers to distinguish mesothelioma from angiosarcoma. Lung Cancer, 2020. 148: 20-27
18. Sakakibara, R., Kobayashi, M., Takahashi, N., Inamura, K., Ninomiya, H., Wakejima, R., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nishio, M., Okumura, S., Motoi, N., Ito, T., Miyazaki, Y., Inase, N., Ishikawa, Y. Insulinoma-associated protein 1 (INSM1) is a better marker for the diagnosis and prognosis estimation of small cell lung carcinoma than neuroendocrine phenotype markers such as chromogranin A, synaptophysin, and CD56. Am. J. Surg. Pathol., 2020. 44(6): 757-764
 19. Sonoda, D., Matsuura, Y., Kondo, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M., Okumura, S., Satoh, Y., Mun, M. Characteristics of surgically resected non-small cell lung cancer patients with post-recurrence cure. Thorac. Cancer, 2020. 11(11): 3280-3288
 20. Wakejima, R., Inamura, K., Ninomiya, H., Nagano, H., Mun, M., Okumura, S., Okubo, K., Ishikawa, Y. Mucinous lung adenocarcinoma, particularly referring to EGFR-mutated mucinous adenocarcinoma. Pathol. Int., 2020. 70(2): 72-83
 21. 中尾将之
器械の整理法（コードの整理法）05 呼吸器．
内視鏡外科手術：役立つテクニック 100（宮澤光男編集），東京，医学書院：pp.88-89, 2020
 22. 小澤広輝，中尾将之，一瀬淳二，松浦陽介，奥村栄，文敏景
胸腔鏡下肺葉切除後、気管支断端による肋間動脈損傷で再手術を要した 1 例．
日本呼吸器外科学会雑誌，2020. 34(4): 255-259
 23. 文敏景
血管剥離法 06 呼吸器．
内視鏡外科手術：役立つテクニック 100（宮澤光男編集），東京，医学書院：pp.270-271, 2020
 24. 文敏景監修
肺がん．
標準医療情報センター，2020: 2020.3.19 更新
 25. 松浦陽介，奥村栄
ハイリスク胸部外科手術：呼吸器領域：肺癌肺葉切除後の肺全摘除手術と周術期管理．
胸部外科，2020. 73(10): 819-823
 26. 河口洋平，松浦陽介，二宮浩範，奥村栄，石川雄一，文敏景
末梢小型肺結節で発見された広範な上皮内進展を呈した中枢型扁平上皮癌の 1 切除例．
肺癌，2020. 60(1): 33-37
 27. 近藤泰人，松浦陽介，一瀬淳二，中尾将之，奥村栄，文敏景
術中気管支鏡マーキングが有用であった胸腔鏡下右肺 S6 区域切除術の 1 例．
気管支学，2020. 42(3): 252-255
- ### 【消化器化学療法科】
1. Aoyama, T., Tsunoda, T., Kato, H., Hagi-no, A., Furutani, R., Ito, K., Yoshioka, H., Nakamura, M., Hiraide, M., Kawakami, K., Kobayashi, K., Suzuki, K., Ichimura, T., Yamaguchi, K., Hama, T. Comparison of cisplatin-induced nephrotoxicity when using conventional versus short hydration in gastric cancer: A retrospective study. J. Chmother., 2020. 32(3): 144-150
 2. Bando, H., Kotani, D., Tsushima, T., Hara, H., Kadowaki, S., Kato, K., Chin, K., Yamaguchi, K., Kageyama, S. I., Hojo, H., Na-

- kamura, M., Tachibana, H., Wakabayashi, M., Fukutani, M., Togashi, Y., Fuse, N., Nishikawa, H., Kojima, T.
TENERGY: multicenter phase II study of atezolizumab monotherapy following definitive chemoradiotherapy with 5-FU plus cisplatin in patients with unresectable locally advanced esophageal squamous cell carcinoma.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 336
3. Chen, L. T., Satoh, T., Ryu, M. H., Chao, Y., Kato, K., Chung, H. C., Chen, J. S., Muro, K., Kang, W. K., Yeh, K. H., Yoshikawa, T., Oh, S. C., Bai, L. Y., Tamura, T., Lee, K. W., Hamamoto, Y., Kim, J. G., Chin, K., Oh, D. Y., Minashi, K., Cho, J. Y., Tsuda, M., Sameshima, H., Kang, Y. K., Boku, N.
A phase 3 study of nivolumab in previously treated advanced gastric or gastroesophageal junction cancer (ATTRACTION-2): 2-year update data.
Gastric Cancer, 2020. 23(3): 510-519
 4. Iwasa, S., Kudo, T., Takahari, D., Hara, H., Kato, K., Satoh, T.
Practical guidance for the evaluation of disease progression and the decision to change treatment in patients with advanced gastric cancer receiving chemotherapy.
Int. J. Clin. Oncol., 2020. 25(7): 1223-1232
 5. Kang, Y. K., Chin, K., Chung, H. C., Kadowaki, S., Oh, S. C., Nakayama, N., Lee, K. W., Hara, H., Chung, I. J., Tsuda, M., Park, S. H., Hosaka, H., Hironaka, S., Miyata, Y., Ryu, M. H., Baba, H., Hyodo, I., Bang, Y. J., Boku, N.
S-1 plus leucovorin and oxaliplatin versus S-1 plus cisplatin as first-line therapy in patients with advanced gastric cancer (SOLAR): A randomised, open-label, phase 3 trial.
Lancet Oncol., 2020. 21(8): 1045-1056
 6. Kano, Y., Ohashi, M., Hiki, N., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Facilitated completion of 1-year adjuvant S-1 monotherapy for pathological stage II or III gastric cancer by medical oncologists.
Surg. Today, 2020. 50(10): 1197-1205
 7. Kato, K., Doki, Y., Ura, T., Hamamoto, Y., Kojima, T., Tsushima, T., Hironaka, S., Hara, H., Kudo, T., Iwasa, S., Muro, K., Yasui, H., Minashi, K., Yamaguchi, K., Ohtsu, A., Kitagawa, Y.
Long-term efficacy and predictive correlates of response to nivolumab in Japanese patients with esophageal cancer.
Cancer Sci., 2020. 111(5): 1676-1684
 8. Kawai, S., Fukuda, N., Yamamoto, S., Mitani, S., Omae, K., Wakatsuki, T., Kato, K., Kadowaki, S., Takahari, D., Boku, N., Muro, K., Machida, N.
Retrospective observational study of salvage line ramucirumab monotherapy for patients with advanced gastric cancer.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 338
 9. Kawakami, R., Mashima, T., Kawata, N., Kumagai, K., Migita, T., Sano, T., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
ALDH1A3 - mTOR axis as a therapeutic target for anticancer drug - tolerant persister cells in gastric cancer.
Cancer Sci., 2020. 111(3): 962-973
 10. Kawazoe, A., Yamaguchi, K., Yasui, H., Negoro, Y., Azuma, M., Amagai, K., Hara, H., Baba, H., Tsuda, M., Hosaka, H., Kawakami, H., Oshima, T., Omuro, Y., Machida, N., Esaki, T., Yoshida, K., Nishina, T., Komatsu, Y., Han, S. R., Shiratori, S., Shitara, K.
Safety and efficacy of pembrolizumab in combination with S-1 plus oxaliplatin as a first-line treatment in patients with advanced gastric/gastroesophageal junction cancer: Cohort 1 data from the KEYNOTE-659 phase IIb study.

11. Kitagawa, Y., Osumi, H., Shinozaki, E., Ota, Y., Nakayama, I., Suzuki, T., Wakatsuki, T., Ogura, M., Ooki, A., Takahari, D., Suenaga, M., Chin, K., Yamaguchi, K.
Clinical utility of polyethylene glycol conjugated granulocyte colony-stimulating factor (PEG-G-CSF) for preventing severe neutropenia in metastatic colorectal cancer patients treated with FOLFOXIRI plus bevacizumab: A single-center retrospective study.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 358
12. Kobayashi, S., Takahashi, S., Takahashi, N., Masuishi, T., Shoji, H., Shinozaki, E., Yamaguchi, T., Kojima, M., Gotohda, N., Nomura, S., Yoshino, T., Taniguchi, H.
Survival outcomes of resected BRAF V600E mutant colorectal liver metastases: A multicenter retrospective cohort study in Japan.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(9): 3307-3315
13. Kotani, D., Bando, H., Taniguchi, H., Masuishi, T., Komatsu, Y., Yamaguchi, K., Nakajima, T., Satoh, T., Nishina, T., Esaki, T., Nomura, S., Takahashi, K., Iida, S., Matsuda, S., Motonaga, S., Fuse, N., Sato, A., Fujii, S., Ohtsu, A., Ebi, H., Yoshino, T.
BIG BANG study (EPOC1703): multicentre, proof-of-concept, phase II study evaluating the efficacy and safety of combination therapy with binimetinib, encorafenib and cetuximab in patients with BRAF non-V600E mutated metastatic colorectal cancer.
ESMO Open, 2020. 5(1): e000624
14. Matsusaka, S., Hanna, D. L., Ning, Y., Yang, D., Cao, S., Berger, M. D., Miyamoto, Y., Suenaga, M., Dan, S., Mashima, T., Seimiya, H., Zhang, W., Lenz, H. J.
Epidermal growth factor receptor mRNA expression: A potential molecular escape mechanism from regorafenib.

15. Mikami, H., Kawaguchi, M., Huang, C. J., Matsumura, H., Sugimura, T., Huang, K., Lei, C., Ueno, S., Miura, T., Ito, T., Nagasawa, K., Maeno, T., Watarai, H., Yamagishi, M., Uemura, S., Ohnuki, S., Ohya, Y., Kurokawa, H., Matsusaka, S., Sun, C. W., Ozeki, Y., Goda, K.
Virtual-freezing fluorescence imaging flow cytometry.
Nat. Commun., 2020. 11(1): 1162
16. Mise, Y., Hasegawa, K., Saiura, A., Oba, M., Yamamoto, J., Nomura, Y., Takayama, T., Hashiguchi, Y., Shibasaki, M., Sakamoto, H., Yamagata, S., Aoyanagi, N., Kaneko, H., Koyama, H., Miyagawa, S., Shinozaki, E., Yoshida, S., Nozawa, H., Kokudo, N.
A multicenter phase 2 trial to evaluate the efficacy of mFOLFOX6 + cetuximab as induction chemotherapy to achieve R0 surgical resection for advanced colorectal liver metastases (NEXTO Trial).
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(11): 4188-4195
17. Nakajima, T. E., Yamaguchi, K., Boku, N., Hyodo, I., Mizusawa, J., Hara, H., Nishina, T., Sakamoto, T., Shitara, K., Shinozaki, K., Katayama, H., Nakamura, S., Muro, K., Terashima, M.
Randomized phase II/III study of 5-fluorouracil/l-leucovorin versus 5-fluorouracil/l-leucovorin plus paclitaxel administered to patients with severe peritoneal metastases of gastric cancer (JCOG1108/WJOG7312G).
Gastric Cancer, 2020. 23(4): 677-688
18. Nakamura, Y., Taniguchi, H., Ikeda, M., Bando, H., Kato, K., Morizane, C., Esaki, T., Komatsu, Y., Kawamoto, Y., Takahashi, N., Ueno, M., Kagawa, Y., Nishina, T., Kato, T., Yamamoto, Y., Furuse, J., Denda, T., Kawakami, H., Oki, E., Nakajima, T., Nishida, N., Yamaguchi, K., Yasui, H., Goto, M., Matsushashi, N., Ohtsubo, K., Yamazaki, K.,

- Tsuji, A., Okamoto, W., Tsuchihara, K., Yamanaka, T., Miki, I., Sakamoto, Y., Ichiki, H., Hata, M., Yamashita, R., Ohtsu, A., Odegaard, J. I., Yoshino, T.
Clinical utility of circulating tumor DNA sequencing in advanced gastrointestinal cancer: SCRUM-Japan GI-SCREEN and GOZILA studies.
Nat. Med., 2020. 26(12): 1859-1864
19. Nakayama, I., Hirota, T., Shinozaki, E.
BRAF mutation in colorectal cancers: From prognostic marker to targetable mutation.
Cancers (Basel), 2020. 12(11): 3236
 20. Nakayama, I., Takahari, D., Wakatsuki, T., Osumi, H., Chin, K., Ogura, M., Sato, T., Suzuki, T., Kamiimabeppu, D., Ooki, A., Suenaga, M., Shinozaki, E., Yamaguchi, K.
Single-institute comparison of the efficacy of systemic chemotherapy for oesophagogastric junction adenocarcinoma and stomach adenocarcinoma in a metastatic setting.
ESMO Open, 2020. 5(2): e000595
 21. Nitta, N., Iino, T., Isozaki, A., Yamagishi, M., Kitahama, Y., Sakuma, S., Suzuki, Y., Tezuka, H., Oikawa, M., Arai, F., Asai, T., Deng, D., Fukuzawa, H., Hase, M., Hasunuma, T., Hayakawa, T., Hirai, K., Hiramatsu, K., Hoshino, Y., Inaba, M., Inoue, Y., Ito, T., Karakawa, H., Kasai, Y., Kato, Y., Kobayashi, H., Lei, C., Matsusaka, S., Mikami, H., Nakagawa, A., Numata, k., Ota, T., Sekiya, T., Shiba, K., Shirasaki, Y., Suzuki, N., Tanaka, S., Ueno, S., Watarai, H., Yamano, T., Yazawa, M., Yonamine, Y., Carlo, D. D., Hosokawa, Y., Uemura, S., Sugimura, T., Ozeki, Y., Goda, K.
Raman image-activated cell sorting.
Nat. Commun., 2020. 11: 3452
 22. Ooki, A., Morita, S., Tsuji, A., Iwamoto, S., Hara, H., Tanioka, H., Satake, H., Kataoka, M., Kotaka, M., Kagawa, Y., Nakamura, M., Shingai, T., Ishikawa, M., Miyake, Y., Suto, T., Hashiguchi, Y., Yabuno, T., Ando, M., Sakamoto, J., Yamaguchi, K.
Disagreement between patient- and physician-reported outcomes on symptomatic adverse events as poor prognosis in patients treated with first-line cetuximab plus chemotherapy for unresectable metastatic colorectal cancer: Results of Phase II QUACK trial.
Cancer Med., 2020. 9(24): 9419-9430
 23. Ooki, A., Morita, S., Iwamoto, S., Hara, H., Tanioka, H., Satake, H., Kataoka, M., Kotaka, M., Kagawa, Y., Nakamura, M., Shingai, T., Ishikawa, M., Miyake, Y., Suto, T., Hashiguchi, Y., Yabuno, T., Sakamoto, J., Tsuji, A., Ando, M., Yamaguchi, K.
Patient-reported symptom burden as a prognostic factor in treatment with first-line cetuximab plus chemotherapy for unresectable metastatic colorectal cancer: Results of Phase II QUACK trial.
Cancer Med., 2020. 9(5): 1779-1789
 24. Osumi, H., Shinozaki, E., Yamaguchi, K.
Circulating tumor DNA as a novel biomarker optimizing chemotherapy for colorectal cancer.
Cancers (Basel), 2020. 12(6): 1566
 25. Osumi, H., Muroi, A., Sakahara, M., Kawachi, H., Okamoto, T., Natsume, Y., Yamanaka, H., Takano, H., Kusama, D., Shinozaki, E., Ooki, A., Yamaguchi, K., Ueno, M., Takeuchi, K., Noda, T., Nagayama, S., Koshikawa, N., Yao, R.
Evaluation of the RAS signaling network in response to MEK inhibition using organoids derived from a familial adenomatous polyposis patient.
Sci. Rep., 2020. 10(1): 17455
 26. Ota, Y., Takahari, D., Suzuki, T., Osumi, H., Nakayama, I., Oki, A., Wakatsuki, T., Ichimura, T., Ogura, M., Shinozaki, E.,

- Suenaga, M., Chin, K., Yamaguchi, K.
Changes in the neutrophil-to-lymphocyte ratio during nivolumab monotherapy are associated with gastric cancer survival. *Cancer Chemother. Pharmacol.*, 2020. 85(2): 265-272
27. Sakamoto, K., Honda, G., Beppu, T., Kotake, K., Yamamoto, M., Takahashi, K., Endo, I., Hasegawa, K., Itabashi, M., Hashiguchi, Y., Kotera, Y., Kobayashi, S., Yamaguchi, T., Tabuchi, K., Kobayashi, H., Yamaguchi, K., Morita, S., Miyazaki, M., Sugihara, K.
Comprehensive data of 3,525 patients newly diagnosed with colorectal liver metastasis between 2013 and 2014: 2nd report of a nationwide survey in Japan. *J. Hepatobiliary Pancreat. Sci.*, 2020. 27(8): 555-562
 28. Satoh, T., Kang, Y. K., Chao, Y., Ryu, M. H., Kato, K., Cheol Chung, H., Chen, J. S., Muro, K., Ki Kang, W., Yeh, K. H., Yoshikawa, T., Oh, S. C., Bai, L. Y., Tamura, T., Lee, K. W., Hamamoto, Y., Kim, J. G., Chin, K., Oh, D. Y., Minashi, K., Cho, J. Y., Tsuda, M., Tanimoto, M., Chen, L. T., Boku, N.
Exploratory subgroup analysis of patients with prior trastuzumab use in the ATTRACTION-2 trial: a randomized phase III clinical trial investigating the efficacy and safety of nivolumab in patients with advanced gastric/gastroesophageal junction cancer. *Gastric Cancer*, 2020. 23(1): 143-153
 29. Sawada, Y., Sahara, K., Endo, I., Sakamoto, K., Honda, G., Beppu, T., Kotake, K., Yamamoto, M., Takahashi, K., Hasegawa, K., Itabashi, M., Hashiguchi, Y., Kotera, Y., Kobayashi, S., Yamaguchi, T., Tabuchi, K., Kobayashi, H., Yamaguchi, K., Morita, S., Natsume, S., Miyazaki, M., Sugihara, K.
Long-term outcome of liver resection for colorectal metastases in the presence of extrahepatic disease: A multi-institutional Japanese study. *J. Hepatobiliary Pancreat. Sci.*, 2020. 27(11): 810-818
 30. Shitara, K., Honma, Y., Omuro, Y., Yamaguchi, K., Chin, K., Muro, K., Nakagawa, S., Kawakami, S., Hironaka, S., Nishina, T.
Efficacy of trastuzumab emtansine in Japanese patients with previously treated HER2-positive locally advanced or metastatic gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: A subgroup analysis of the GATSBY study. *Asia Pac. J. Clin. Oncol.*, 2020. 16(1): 5-13
 31. Shitara, K., Bang, Y. J., Iwasa, S., Sugimoto, N., Ryu, M. H., Sakai, D., Chung, H. C., Kawakami, H., Yabusaki, H., Lee, J., Saito, K., Kawaguchi, Y., Kamio, T., Kojima, A., Sugihara, M., Yamaguchi, K.
Trastuzumab deruxtecan in previously treated HER2-positive gastric cancer. *N. Engl. J. Med.*, 2020. 382(25): 2419-2430
 32. Suenaga, M., Wakatsuki, T., Mashima, T., Ogura, M., Ichimura, T., Shinozaki, E., Nakayama, I., Osumi, H., Ota, Y., Takahari, D., Chin, K., Seimiya, H., Yamaguchi, K.
A phase I study to determine the maximum tolerated dose of trifluridine/tipiracil and oxaliplatin in patients with refractory metastatic colorectal cancer: LUPIN study. *Invest. New Drugs.*, 2020. 38(1): 111-119
 33. Suzuki, T., Okamura, A., Watanabe, M., Chin, K.
ASO author reflections: How should we approach borderline resectable esophageal squamous cell carcinoma? *Ann. Surg. Oncol.*, 2020. 27(5): 1518-1519
 34. Suzuki, T., Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Asari, T., Osumi, H., Nakayama, I., Ichimura, T., Ogura, M., Ooki, A., Takahari, D., Yamaguchi, K., Chin, K.

- Neoadjuvant chemoradiotherapy with cisplatin plus fluorouracil for borderline resectable esophageal squamous cell carcinoma.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(5): 1510-1517
35. Takahari, D., Ito, S., Mizusawa, J., Katayama, H., Terashima, M., Sasako, M., Morita, S., Nomura, T., Yamada, M., Fujiwara, Y., Kimura, Y., Ikeda, A., Kadokawa, Y., Sano, T. Long-term outcomes of preoperative docetaxel with cisplatin plus S-1 therapy for gastric cancer with extensive nodal metastasis (JCOG1002).
Gastric Cancer, 2020. 23(2): 293-299
 36. Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K. Upcoming first-line chemotherapy for HER2-negative gastric cancer in Japan: Which patients benefit from immunotherapy?
Future Oncol., 2020. 16(24): 1797-1799
 37. Takahashi, R., Nunobe, S., Osumi, H., Takahari, D., Yamamoto, N., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Hiki, N. Clinical outcomes of radical gastrectomy following trastuzumab-based chemotherapy for stage IV HER2-positive gastric or gastroesophageal junction cancer.
Surg. Today, 2020. 50(10): 1240-1248
 38. Yokota, T., Kato, K., Hamamoto, Y., Tsubosa, Y., Ogawa, H., Ito, Y., Hara, H., Ura, T., Kojima, T., Chin, K., Hironaka, S., Kii, T., Kojima, Y., Akutsu, Y., Matsushita, H., Kawakami, K., Mori, K., Makiuchi, T., Nagumo, R., Kitagawa, Y.
A 3-year overall survival update from a phase 2 study of chemoselection with DCF and subsequent conversion surgery for locally advanced unresectable esophageal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(2): 460-467
 39. Yoshino, T., Cleary, J. M., Van Cutsem, E., Mayer, R. J., Ohtsu, A., Shinozaki, E., Falcone, A., Yamazaki, K., Nishina, T., Garcia-Carbonero, R., Komatsu, Y., Baba, H., Argiles, G., Tsuji, A., Sobrero, A., Yamaguchi, K., Peeters, M., Muro, K., Zaniboni, A., Sugimoto, N., Shimada, Y., Tsuji, Y., Hochster, H. S., Moriwaki, T., Tran, B., Esaki, T., Hamada, C., Tanase, T., Benedetti, F., Makris, L., Yamashita, F., Lenz, H. J. Neutropenia and survival outcomes in metastatic colorectal cancer patients treated with trifluridine/tipiracil in the RECOURSE and J003 trials.
Ann. Oncol., 2020. 31(1): 88-95
 40. 中山巖馬, 高張大亮
変遷するがん治療アルゴリズム: 腫瘍内科からみる標準治療の変遷と診療ガイドライン: 切除不能進行・再発胃がん化学療法のアルゴリズムの変遷.
腫瘍内科, 2020. 26(3): 249-256
 41. 山口研成, 大木暁
MMR と MSI-H の臨床的意義とその違い.
がん免疫療法, 2020. 4(1): 18-22
 42. 山口研成
Upper G.I.Cancer: 食道・胃癌: 食道がん、胃がんにおける免疫療法の展望.
癌と化学療法, 2020. 47(9): 1308-1313

【肝胆脾内科】

1. Fujimori, M., Sato, A., Jinno, S., Okusaka, T., Yamaguchi, T., Ikeda, M., Ueno, M., Ozaka, M., Takayama, Y., Miyaji, T., Majima, Y., Uchitomi, Y.
Integrated communication support program for oncologists, caregivers and patients with rapidly progressing advanced cancer to promote patient-centered communication: J-SUPPORT 1904 study protocol for a randomised controlled trial.
BMJ Open, 2020. 10(9): e036745

2. Fukuda, K., Sasaki, T., Hirasawa, T., Matsueda, K., Nakao, E., Mie, T., Furukawa, T., Yamada, Y., Takeda, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
A case of percutaneous transhepatic portal vein stent placement and endoscopic injection sclerotherapy for duodenal variceal rupture occurring during chemotherapy for unresectable perihilar cholangiocarcinoma. *Clin. J. Gastroenterol.*, 2020. 13(6): 1150-1156
3. Imaoka, H., Ikeda, M., Maehara, K., Umemoto, K., Ozaka, M., Kobayashi, S., Terashima, T., Inoue, H., Sakaguchi, C., Tsuji, K., Shioji, K., Okamura, K., Kawamoto, Y., Suzuki, R., Shirakawa, H., Nagano, H., Ueno, M., Morizane, C., Furuse, J.
Clinical outcomes of chemotherapy in patients with undifferentiated carcinoma of the pancreas: a retrospective multicenter cohort study. *BMC Cancer*, 2020. 20(1): 946
4. Kobayashi, N., Omae, K., Horita, Y., Ueno, H., Mizuno, N., Uesugi, K., Sudo, K., Ozaka, M., Hayashi, H., Okano, N., Kamei, K., Yamaguchi, A., Kobayashi, S., Suzuki, S., Ishihara, S., Uchiyama, T., Todaka, A., Fukutomi, A.
FOLFIRINOX as second-line chemotherapy for advanced pancreatic cancer: A subset analysis of data from a nationwide multicenter observational study in Japan. *Pancreatology*, 2020. 20(7): 1519-1525
5. Kobayashi, S., Ueno, M., Ikeda, M., Ozaka, M., Sano, Y., Hirotani, A., Tozuka, Y., Fukushima, T., Tezuka, S., Moriya, S., Umemoto, K., Watanabe, K., Sasaki, M., Hashimoto, Y., Imaoka, H., Ohno, I., Mitsunaga, S., Yamada, I., Sasaki, T., Sasahira, N., Morimoto, M.
A multicenter retrospective study of gemcitabine plus nab-paclitaxel for elderly patients with advanced pancreatic cancer. *Pancreas*, 2020. 49(2): 187-192
6. Lin, Y., Nakatochi, M., Hosono, Y., Ito, H., Kamatani, Y., Inoko, A., Sakamoto, H., Kinoshita, F., Kobayashi, Y., Ishii, H., Ozaka, M., Sasaki, T., Matsuyama, M., Sasahira, N., Morimoto, M., Kobayashi, S., Fukushima, T., Ueno, M., Ohkawa, S., Egawa, N., Kuruma, S., Mori, M., Nakao, H., Adachi, Y., Okuda, M., Osaki, T., Kamiya, S., Wang, C., Hara, K., Shimizu, Y., Miyamoto, T., Hayashi, Y., Ebi, H., Kohmoto, T., Imoto, I., Kasugai, Y., Murakami, Y., Akiyama, M., Ishigaki, K., Matsuda, K., Hirata, M., Shimada, K., Okusaka, T., Kawaguchi, T., Takahashi, M., Watanabe, Y., Kuriki, K., Kadota, A., Okada, R., Mikami, H., Takezaki, T., Suzuki, S., Yamaji, T., Iwasaki, M., Sawada, N., Goto, A., Kinoshita, K., Fuse, N., Katsuoka, F., Shimizu, A., Nishizuka, S. S., Tanno, K., Suzuki, K., Okada, Y., Horikoshi, M., Yamauchi, T., Kadowaki, T., Yu, H., Zhong, J., Amundadottir, L. T., Doki, Y., Ishii, H., Eguchi, H., Bogumil, D., Haiman, C. A., Le Marchand, L., Mori, M., Risch, H., Setiawan, V. W., Tsugane, S., Wakai, K., Yoshida, T., Matsuda, F., Kubo, M., Kikuchi, S., Matsuo, K.
Genome-wide association meta-analysis identifies GP2 gene risk variants for pancreatic cancer. *Nat. Commun.*, 2020. 11(1): 3175
7. Mie, T., Sasaki, T., Kanata, R., Furukawa, T., Takeda, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Diagnostic yield of endoscopic ultrasound-guided tissue acquisition for small solid pancreatic lesions. *Endosc. Int. Open*, 2020. 8(10): E1359-E1364
8. Nishida, T., Sakai, Y., Takagi, M., Ozaka, M., Kitagawa, Y., Kurokawa, Y., Masuzawa, T., Naito, Y., Kagimura, T., Hirota, S.
Adherence to the guidelines and the pathological diagnosis of high-risk gastrointestinal stromal tumors in the real world. *Gastric Cancer*, 2020. 23(1): 118-125

9. Sasaki, T., Mie, T., Sasahira, N.
Blind spot of enteral stenting for malignant duodenal obstruction due to colon cancer: A rare case of duodenocolonic fistula. *Clin. Endosc.*, 2020: in press
10. Sasaki, T., Sasahira, N.
Direct insertion of a short-type single-balloon enteroscope and using a stent retriever to treat difficult bile duct stones in surgically altered anatomy. *Clin. Endosc.*, 2020: in press
11. Sasaki, T., Takeda, T., Sasahira, N.
Double stenting with EUS-CDS using a new anti-reflux metal stent for combined malignant biliary and duodenal obstruction. *J. Hepatobiliary Pancreat. Sci.*, 2020. 27(11): e15-e16
12. Sasaki, T., Takeda, T., Yasue, C., Tokura, J., Ide, D., Saito, S., Sasahira, N.
Endoscopic removal of two duodenal stents that had migrated into the colon, using the invagination method. *Endoscopy*, 2020: in press
13. Sasaki, T., Mie, T., Takeda, T., Nakagawa, S., Ono, Y., Takahashi, Y., Sasahira, N.
Percutaneous insertion of a jejunal tube via the collapsed blind end of elevated jejunum by a balloon puncturing method assisted by a balloon enteroscope. *J. Hepatobiliary Pancreat. Sci.*, 2020. 27(9): 663-664
14. Sawada, M., Kasuga, A., Mie, T., Furukawa, T., Taniguchi, T., Fukuda, K., Yamada, Y., Takeda, T., Kanata, R., Matsuyama, M., Sasaki, T., Ozaka, M., Sasahira, N.
Modified FOLFIRINOX as a second-line therapy following gemcitabine plus nab-paclitaxel therapy in metastatic pancreatic cancer. *BMC Cancer*, 2020. 20(1): 449
15. Takahara, N., Nakai, Y., Saito, K., Sasaki, T., Suzuki, Y., Inokuma, A., Oyama, H., Kanai, S., Suzuki, T., Sato, T., Hakuta, R., Ishigaki, K., Saito, T., Hamada, T., Mizuno, S., Kogure, H., Tada, M., Isayama, H., Koike, K.
The impact of age and comorbidity in advanced or recurrent biliary tract cancer receiving palliative chemotherapy. *J. Gastroenterol. Hepatol.*, 2020. 35(10): 1828-1835
16. Takeda, T., Sasaki, T., Inoue, Y., Mie, T., Furukawa, T., Kanata, R., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Takahashi, Y., Saiura, A., Sasahira, N.
Comprehensive comparison of clinicopathological characteristics, treatment, and prognosis of borderline resectable pancreatic cancer according to tumor location. *Pancreatology*, 2020. 20(6): 1123-1130
17. Takeda, T., Sasaki, T., Mie, T., Furukawa, T., Kanata, R., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
Novel risk factors for recurrent biliary obstruction and pancreatitis after metallic stent placement in pancreatic cancer. *Endosc. Int. Open*, 2020. 8(11): E1603-E1610
18. Ueno, M., Nakamori, S., Sugimori, K., Kanai, M., Ikeda, M., Ozaka, M., Furukawa, M., Okusaka, T., Kawabe, K., Furuse, J., Komatsu, Y., Ishii, H., Sato, A., Shimizu, S., Chugh, P., Tang, R., Ioka, T.
nal-IRI+5-FU/LV versus 5-FU/LV in post-gemcitabine metastatic pancreatic cancer: Randomized phase 2 trial in Japanese patients. *Cancer Med*, 2020. 9(24): 9396-9408
19. Ueno, M., Ikeda, M., Sasaki, T., Nagashima, F., Mizuno, N., Shimizu, S., Ikezawa, H., Hayata, N., Nakajima, R., Morizane, C.
Phase 2 study of lenvatinib monotherapy as second-line treatment in unresectable

- biliary tract cancer: primary analysis results.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 1105
20. Uesato, Y., Sasahira, N., Ozaka, M., Sasaki, T., Takatsuki, M., Zembutsu, H.
Evaluation of circulating tumor DNA as a biomarker in pancreatic cancer with liver metastasis.
PLoS One, 2020. 15(7): e0235623
 21. 佐々木隆
エキスパートの視点でトラブルを防ぐ & 見逃さない！注目すべき場面が時系列でわかる！消化器内科 11 の治療と検査 1 章 内視鏡治療・検査 経口・経肛門 8 内視鏡的（上部・下部）消化管 スtent留置．
消化器 ナーシング, 2020. 25(12): 1194-1199
 22. 佐々木隆, 福田晃四郎, 山田悠人, 古川貴光, 三重堯文, 武田剛志, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹
新型コロナウイルス感染症と肝胆膵 II. COVID-19 感染症まん延時の対応：がん専門病院での対応状況．
肝胆膵, 2020. 81(6): 1077-1082
 23. 佐々木隆, 尾阪将人, 笹平直樹
胆道癌における遺伝子診断・治療の現況．
胆道, 2020. 34(4): 663-671
 24. 佐々木隆, 高松学, 古川貴光, 三重堯文, 武田剛志, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹
胆道神経内分泌腫瘍に対する臨床・病理学的検討ならびに胆道神経内分泌癌に対する化学療法の成績．
胆道, 2020. 34(2): 153-162
 25. 佐々木隆, 古川貴光, 三重堯文, 武田剛志, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 笹平直樹
膵癌をめぐる最近の話題：膵癌に対する遺伝子治療の展望．
消化器・肝臓内科, 2020. 7(3): 185-190
 26. 尾阪将人
胆膵疾患：胆膵疾患の実地診療 Up-to-date：最新のガイドラインの紹介：改訂のポイントを中心に：膵癌診療ガイドライン 2019 年版．
Medical Practice, 2020. 37(8): 1174-1182
 27. 尾阪将人
臓器別やさしい消化器がん化学療法・薬物療法：32 のレジメン×副作用ケア×退院指導：(Chapter 3)消化器がんの病態と治療：GIST(消化管間質腫瘍)．
消化器ナーシング, 2020 (秋季増刊)：82-89
 28. 尾阪将人, 大場彬博, 小林智
高齢者膵がんの治療戦略について．
膵・胆道癌 Frontier, 2020. 8(1): 33-43
 29. 笹平直樹, 三重堯文, 古川貴光, 武田剛志, 春日章良, 松山真人, 佐々木隆, 尾阪将人
肝胆膵の画像診断：おさえておきたいモダリティ別ポイント：胆膵疾患の超音波内視鏡診断．
画像診断, 2020. 40(7): 715-725
 30. 谷口孝伸, 佐々木隆, 武田剛志, 古川貴光, 三重堯文, 澤田雅志, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 井上陽介, 高橋祐, 高松学, 高澤豊, 笹平直樹
当院で MCN として診療した 46 例の検討：MCN 疑い病変の経過観察は可能か．
膵臓, 2020. 35(2): 201-212
 31. 長崎礼子, 星野公子, 大友陽子, 尾阪将人, 笹平直樹
膵疾患（膵癌）（慢性膵炎を含む）のサポーターズ・ケア：進行膵がん患者に対する PANDA プログラムにおける外来治療室看護師の関わり．
膵臓, 2020. 35(2): 130-135

【上部消化管内科】

1. Fukuda, K., Sasaki, T., Hirasawa, T., Matsueda, K., Nakao, E., Mie, T., Furukawa, T., Yamada, Y., Takeda, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
A case of percutaneous transhepatic portal vein stent placement and endoscopic injection sclerotherapy for duodenal variceal

- rupture occurring during chemotherapy for unresectable perihilar cholangiocarcinoma. *Clin. J. Gastroenterol.*, 2020. 13(6): 1150-1156
2. Horiuchi, Y., Tokai, Y., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T., Fujisaki, J. Addictive effect of magnifying endoscopy with narrow-band imaging for diagnosing mixed-type early gastric cancers. *Dig. Dis. Sci.*, 2020. 65(2): 591-599
 3. Horiuchi, Y., Aoyama, K., Tokai, Y., Hirasawa, T., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T. Convolutional neural network for differentiating gastric cancer from gastritis using magnified endoscopy with narrow band imaging. *Dig. Dis. Sci.*, 2020. 65(5): 1355-1363
 4. Horiuchi, Y., Ida, S., Yamamoto, N., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Fujisaki, J. Feasibility of further expansion of the indications for endoscopic submucosal dissection in undifferentiated-type early gastric cancer. *Gastric Cancer*, 2020. 23(2): 285-292
 5. Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Ishizuka, N., Tokai, Y., Namikawa, K., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T. Performance of a computer-aided diagnosis system in diagnosing early gastric cancer using magnifying endoscopy videos with narrow-band imaging (with videos). *Gastrointest. Endosc.*, 2020. 92(4): 856-865. e1
 6. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T. Undifferentiated-type predominant mixed-type early gastric cancer is a significant risk factor for requiring additional surgeries after endoscopic submucosal dissection. *Sci. Rep.*, 2020. 10(1): 6748
 7. Nakano, K., Kawachi, H., Chino, A., Kita, M., Arai, M., Ide, D., Saito, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J. Phenotypic variations of gastric neoplasms in familial adenomatous polyposis are associated with the endoscopic status of atrophic gastritis. *Dig. Endosc.*, 2020. 32(4): 547-556
 8. Namikawa, K., Hirasawa, T., Nakano, K., Ikenoyama, Y., Ishioka, M., Shiroma, S., Tokai, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T. Artificial intelligence-based diagnostic system classifying gastric cancer and ulcer: Comparison between the original and newly developed systems. *Endoscopy*, 2020. 52(12): 1077-1083
 9. Namikawa, K., Hirasawa, T., Yoshio, T., Fujisaki, J., Ozawa, T., Ishihara, S., Aoki, T., Yamada, A., Koike, K., Suzuki, H., Tada, T. Utilizing artificial intelligence in endoscopy: A clinician's guide. *Expert Rev. Gastroenterol. Hepatol.*, 2020. 14(8): 689-706
 10. Nishida, T., Hayashi, S., Takenaka, M., Hosono, M., Kogure, H., Hasatani, K., Yamaguchi, S., Maruyama, H., Doyama, H., Ihara, H., Yoshio, T., Nagaike, K., Yamada, T., Yakushijin, T., Takagi, T., Tsumura, H., Kurita, A., Asai, S., Ito, Y., Kuwai, T., Hori, Y., Maetani, I., Ikezawa, K., Iwashita, T., Matsumoto, K., Inada, M.

- Multicentre prospective observational study protocol for radiation exposure from gastrointestinal fluoroscopic procedures (REX-GI study).
BMJ Open, 2020. 10(2): e033604
11. Oda, I., Shimizu, Y., Yoshio, T., Katada, C., Yokoyama, T., Yano, T., Suzuki, H., Abiko, S., Takemura, K., Koike, T., Takizawa, K., Hirao, M., Okada, H., Yoshii, T., Katagiri, A., Yamanouchi, T., Matsuo, Y., Kawakubo, H., Kobayashi, N., Shimoda, T., Ochiai, A., Ishikawa, H., Yokoyama, A., Muto, M.
Long-term outcome of endoscopic resection for intramucosal esophageal squamous cell cancer: A secondary analysis of the Japan Esophageal Cohort Study.
Endoscopy, 2020. 52(11): 967-975
 12. Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Fujisaki, J.
Clinical impact of Epstein-Barr virus status on the incidence of lymph node metastasis in early gastric cancer.
Dig. Endosc., 2020. 32(3): 316-322
 13. Tamashiro, A., Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Hijikata, K., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Seto, A., Sasaki, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Artificial-intelligence-based detection of pharyngeal cancer using convolutional neural networks.
Dig. Endosc., 2020. 32(7): 1057-1065
 14. Tokai, Y., Yoshio, T., Aoyama, K., Horie, Y., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Hirasawa, T., Sakakibara, Y., Yamada, T., Yamaguchi, S., Fujisaki, J., Tada, T.
Application of artificial intelligence using convolutional neural networks in determining the invasion depth of esophageal squamous cell carcinoma.
Esophagus, 2020. 17(3): 250-256
 15. Tsugeno, Y., Nakano, K., Nakajima, T., Namikawa, K., Takamatsu, M., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Nunobe, S., Kitagawa, M., Takeuchi, K., Kawachi, H.
Histopathologic analysis of signet-ring cell carcinoma in situ in patients with hereditary diffuse gastric cancer.
Am. J. Surg. Pathol., 2020. 44(9): 1204-1212
 16. Yamasaki, A., Shimizu, T., Kawachi, H., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Sasaki, Y., Fujisaki, J.
Endoscopic features of esophageal adenocarcinoma derived from short-segment versus long-segment Barrett's esophagus.
J. Gastroenterol. Hepatol., 2020. 35(2): 211-217
 17. Yoshimizu, S., Kawachi, H., Yamamoto, Y., Nakano, K., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ito, H., Fujisaki, J.
Clinicopathological features and risk factors for lymph node metastasis in early-stage non-ampullary duodenal adenocarcinoma.
J. Gastroenterol., 2020. 55(8): 754-762
 18. 並河健, 堀内裕介, 平澤俊明, 城間翔, 渡海義隆, 由雄敏之, 吉水祥一, 石山晃世志, 土田知宏, 藤崎順子, 七條智聖, 石原立, 多田智裕
癌早期発見・早期診断の New Era : AI テクノロジーに基づいた癌早期発見法と展望.
消化器・肝臓内科, 2020. 8(2): 144-151
 19. 中島健, 河内洋, 並河健, 吉水祥一, 藤崎順子
胃癌診断を極める: 遺伝性腫瘍疾患を背景に生じる胃癌の内視鏡診断: 遺伝性腫瘍疾患を背景に生じる胃癌の内視鏡診断: 遺伝性びまん型胃癌を中心に.
消化器内視鏡, 2020. 32(1): 144-151
 20. 十倉淳紀, 並河健, 藤崎順子
Helicobacter pylori 除菌後スシルス胃癌の3例.
Prog. Dig. Endosc., 2020. 96(1): 112-114

21. 十倉淳紀, 並河健, 藤崎順子, 河内洋, 中島寛隆, 榊信廣
スキルス胃癌: 病態と診断・治療の最前線: *Helicobacter pylori* 除菌後に発見されたスキルス胃癌の1例.
胃と腸, 2020. 55(6): 853-859
22. 土方一範, 由雄敏之, 河内洋, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 庄司佳晃, 比企直樹, 藤崎順子
丈の高い粘膜下腫瘍様隆起を呈した胃底腺型胃癌の1例.
胃と腸, 2020. 55(10): 1313-1322
23. 城間翔, 堀内裕介, 藤崎順子
ピロリ菌未感染および除菌後の早期胃癌の診断: 前庭部腸型胃癌.
消化器内科, 2020. 2(10): 40-44
24. 堀内裕介, 城間翔, 山本智理子, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏, 藤崎順子
H. pylori 未感染胃の上皮性腫瘍: H. pylori 未感染の腸型分化型癌の1例.
胃と腸, 2020. 55(8): 1085-1089
25. 堀内裕介, 藤崎順子, 山本智理子, 吉水祥一, 石山晃世志, 由雄敏之, 平澤俊明, 土田知宏
早期胃癌の範囲診断 up to date: 早期胃癌の範囲診断: 範囲診断困難例とその臨床的対応: 未分化型癌: 印環細胞癌: H. pylori 未感染例と現感染例・除菌例の比較.
胃と腸, 2020. 55(1): 42-49
26. 堀川宜範, 平澤俊明, 濱田晃市, 藤崎順子
ESD アフターケアが一番大事!: 胃: 急性期の注意点: 胃 ESD 後の狭窄の対策.
消化器内視鏡, 2020. 32(9): 1309-1313
27. 大隅寛木, 河内洋, 由雄敏之, 藤崎順子
早期胃癌における Epstein-Barr ウイルス関連胃癌のリンパ節転移頻度に関する検討.
Gastroenterological Endoscopy, 2020. 62(11): 2980-2988
28. 平澤俊明
上部消化管の偽陰性癌: その癌見逃していませんか?: 見逃さない上部消化管内視鏡検査: 内視鏡アトラスの紹介.
消化器内科, 2020. 2(7): 118-121
29. 平澤俊明, 由雄敏之, 多田智裕
上部消化管腫瘍の内視鏡診断・治療 Up to date: 上部消化管における AI 診断の現状.
日本消化器病学会雑誌, 2020. 117(2): 141-149
30. 平澤俊明, 多田智裕, 藤崎順子
人工知能 (AI) を活用した胃癌診療の未来像.
日本消化器内視鏡学会雑誌, 2020. 62(12): 3031-3040
31. 平澤俊明
人工知能を用いた内視鏡診断: AI vs Endoscopist: who will be winner?
The GI Forefront, 2020. 15(2): 110-112
32. 平澤俊明, 池之山洋平, 石岡充彬, 堀江義政, 玉城温子, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 由雄敏之, 土田知宏, 藤崎順子, 瀧山博年, 多田智裕
消化管腫瘍の内視鏡診断 2020: AI 診断の現状と将来: 上部消化管.
胃と腸, 2020. 55(5): 745-750
33. 東佑香, 平澤俊明
消化器がんの内科的治療法の進歩: 胃がん: ESD.
The GI Forefront, 2020. 16(2): 100-104
34. 田尻久雄, 平澤俊明, 多田智裕, 小島順
メディカル AI × 最新テクノロジー: 内視鏡医療の課題を解決する AI テクノロジー最前線 (Part 1) 最新 AI テクノロジーが内視鏡医療の精度向上、均てん化、読影負荷などの課題解決に貢献: 内視鏡を生んだ日本の医療界が世界に発信する “匠の技” を取り込んだ AI を用いた消化管の診断支援技術.
INNERVISION, 2020. 35(7): 66-69

35. 由雄敏之, 泉本裕文, 土田知宏, 並河健, 渡海義隆, 吉水祥一, 堀内裕介, 平澤俊明, 藤崎順子
頸部食道表在癌のESD: 適応と手技.
消化器内視鏡, 2020. 32(12): 1884-1891
 36. 石岡充彬, 平澤俊明, 河内洋
内視鏡で見える病気、診る病気: 背景を考える:
壁細胞機能不全症 (parietal cell dysfunction).
消化器内科, 2020. 2(11): 52-57
 37. 藤崎順子, 並河健, 中野薫
ピロリ菌除菌後胃がん: 除菌後進行胃がんに関
する注意点.
消化器内科, 2020. 2(3): 67-72
 38. 藤崎順子
内視鏡手技の解説: 臨床のコツとテクニック:
H.pylori 未感染早期胃癌の signet ring cell
carcinoma の特徴とその病態.
胃がん perspective, 2020. 11(2): 128-133
 39. 藤崎順子
治療法の再整理とアップデートのために: 専門
家による私の治療: 早期食道癌 (内視鏡治療).
日本医事新報, 2020(5017): 41-42
 40. 藤崎順子
除菌後時代を迎えた胃癌診療: 残された課題を
巡って: 除菌後胃癌を巡る課題: 除菌後胃癌の
診断を巡って: 内視鏡診断の要点.
臨床消化器内科, 2020. 35(12): 1428-1437
 41. 藤崎順子
食道胃接合部癌 update: 診断: 内視鏡診断の
エッセンス.
外科, 2020. 82(11): 1101-1107
- 【下部消化管内科】**
1. Chino, A., Kawachi, H., Takamatsu, M., Ha-
tamori, H., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M.,
Fujisaki, J., Nagayama, S.
Macroscopic and microscopic morphology
and molecular profiling to distinguish het-
erogeneous traditional serrated adenomas
of the colorectum.
Dig. Endosc., 2020. 32(6): 921-931
 2. Inoue, K., Okuda, T., Oka, K., Sugino, S.,
Endo, Y., Ota, T., Minagawa, Y., Yasue,
C., Tsuji, T., Katayama, T., Nakamura, H.,
Nagata, A., Komaki, T., Naito, Y., Itoh, Y.,
Kagawa, K.
Effects of L-menthol and carbon dioxide on
the adenoma detection rate during colo-
noscopy: L-menthol and carbon dioxide on
colonoscopy.
Digestion, 2020. 101(3): 323-331
 3. Itoh, H., Nimura, Y., Mori, Y., Misawa, M.,
Kudo, S. E., Hotta, K., Ohtsuka, K., Saito, S.,
Saito, Y., Ikematsu, H., Hayashi, Y., Oda, M.,
Mori, K.
Robust endocytoscopic image classification
based on higher-order symmetric tensor
analysis and multi-scale topological statis-
tics.
Int. J. Comput. Assist Radiol. Surg., 2020.
15(12): 2049-2059
 4. Matsuda, T., Fujii, T., Sano, Y., Kudo, S. E.,
Oda, Y., Hotta, K., Shimoda, T., Saito, Y.,
Kobayashi, N., Sekiguchi, M., Konishi, K.,
Ikematsu, H., Iishi, H., Takeuchi, Y., Iga-
rashi, M., Kobayashi, K., Sada, M., Yamagu-
chi, Y., Hasuda, K., Shinohara, T., Ishikawa,
H., Murakami, Y., Taniguchi, H., Fujimori, T.,
Ajioka, Y., Yoshida, S.
Randomised comparison of postpolypecto-
my surveillance intervals following a two-
round baseline colonoscopy: the Japan Pol-
yp Study Workgroup.
Gut, 2020: in press
 5. Nagaoka, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T.,
Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y.,
Chino, A., Ishizuka, N., Konishi, T.
Safety of small circular staplers in double
stapling technique anastomosis for sigmoid
colon and rectal cancer.
Dis. Colon Rectum, 2020: in press
 6. Nakanishi, R., Fukunaga, Y., Nagasaki,
T., Emoto, S., Hirayama, K., Yoshioka, S.,
Kitagawa, Y., Honma, S., Nagaoka, T., Mat-

- sui, S., Tominaga, T., Minami, H., Miyanari, S., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Saito, S., Ueno, M.
Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for ileal lipoma: A case report.
Asian J. Endosc. Surg., 2020. 13(2): 219-222
7. Sasaki, T., Takeda, T., Yasue, C., Tokura, J., Ide, D., Saito, S., Sasahira, N.
Endoscopic removal of two duodenal stents that had migrated into the colon, using the invagination method.
Endoscopy, 2020: in press
 8. Shigematsu, Y., Yamashita, K., Takamatsu, M., Tanizawa, T., Togashi, Y., Nakajima, T., Chino, A., Kawachi, H., Takeuchi, K.
Primary intramucosal synovial sarcoma of the sigmoid colon in a patient with a germline mutation in the MSH2 gene: A case report.
Pathol. Int., 2020. 70(12): 1015-1019
 9. Tanaka, S., Kashida, H., Saito, Y., Yahagi, N., Yamano, H., Saito, S., Hisabe, T., Yao, T., Watanabe, M., Yoshida, M., Saitoh, Y., Tsuruta, O., Sugihara, K. I., Igarashi, M., Toyonaga, T., Ajioka, Y., Kusunoki, M., Koike, K., Fujimoto, K., Tajiri, H.
Japan Gastroenterological Endoscopy Society guidelines for colorectal endoscopic submucosal dissection/endoscopic mucosal resection.
Dig. Endosc., 2020. 32(2): 219-239
 10. 中野薫, 千野晶子, 河内洋
大腸疾患アトラス update: 腫瘍、腫瘍様病変 悪性上皮性腫瘍: 腺癌: 進行癌 (特異な形態のもの) MSI-H 大腸癌: 特徴的な病理所見も添えて.
消化器内視鏡, 2020. 32 (増刊): 20-21
 11. 五十嵐正広, 神田大和, 波多野俊宏, 片山美穂
AI 内視鏡の現状 (第 12 回): オリンパス株式会社との内視鏡 AI システムの開発.
消化器内視鏡, 2020. 32(5): 765-769
 12. 五十嵐正広
アメーバ赤痢.
下部消化管内視鏡診断アトラス (松本主之編集), 東京, 医学書院: pp.74-77, 2020
 13. 五十嵐正広, 岸原輝仁, 千野晶子, 井出大資, 斎藤彰一
消化管症候群 (第 3 版): その他の消化管疾患を含めて: 空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸 (上) 感染症: アメーバ腸症.
日本臨床, 2020. 別冊 (消化管症候群 III): 64-68
 14. 五十嵐正広
脂肪腫.
下部消化管内視鏡診断アトラス (松本主之編集), 東京, 医学書院: pp.204-205, 2020
 15. 井出大資, 五十嵐正広, 千野晶子, 斎藤彰一
大腸 ESD の工夫: 剥離の工夫: トラクションデバイスを使用した pocket-creation method の有用性.
臨床消化器内科, 2020. 35(3): 287-294
 16. 光吉優貴, 斎藤彰一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広
消化管症候群 (第 3 版): その他の消化管疾患を含めて: 空腸、回腸、盲腸、結腸、直腸 (下) 腫瘍: 大腸腫瘍: 悪性腫瘍: 大腸内分泌細胞癌 (NEC).
日本臨床, 2020. 別冊 (消化管症候群 IV): 76-79
 17. 十倉淳紀, 斎藤彰一, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 河内洋
一度見たら忘れられない症例: 直腸肛門部にみられた悪性黒色腫の 1 例.
胃と腸, 2020. 55(9): 1179-1183
 18. 千野晶子
大腸疾患アトラス update: 腫瘍、腫瘍様病変: 良性上皮性腫瘍 (過形成を含む) 鋸歯状病変 (serrated lesion) 鋸歯状腺腫.
消化器内視鏡, 2020. 32 (増刊): 72-73

19. 安江千尋, 千野晶子, 斎藤彰一
大腸疾患アトラス update: 腫瘍、腫瘍様病変:
悪性上皮性腫瘍: 神経内分泌腫瘍: NET G1、
G2.
消化器内視鏡, 2020. 32 (増刊): 30-32
20. 山野泰穂, 田中信治, 菅井有, 松下弘雄, 斎藤
彰一, 三澤将史, 堀田欣一, 竹内洋司, 佐野寧,
永田信二, 河野弘志
大腸鋸歯状病変の新展開: 大腸鋸歯状病変に対
する臨床現場での実情.
胃と腸, 2020. 55(13): 1648-1669
21. 斎藤彰一, 松野高久, 池之山洋平, 中尾栄祐,
土方一範, 鈴木桂悟, 光吉優貴, 屋嘉比聖一,
城間翔, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 河内
洋
消化管腫瘍の内視鏡診断 2020: 大腸腫瘍性病
変の内視鏡診断: 上皮性腫瘍の診断: 通常観察
から超拡大観察まで.
胃と腸, 2020. 55(5): 671-682
22. 斎藤彰一
第 5 章 ④スネアリングのコツ.
大腸 EMR・ESD の基本とコツ: エキスパート
ならではの治療手技・戦略を伝授 (永田信二,
岡志郎編集), 東京, 羊土社: pp.156, 2020
23. 松野高久, 斎藤彰一
大腸腫瘍に対する拡大内視鏡診断: JNET 分類
の紹介.
消化器内科, 2020. 2(8): 108-109
24. 松野高久, 斎藤彰一, 河内洋
小腸腫瘍アトラス: 症例アトラス: 腺腫.
胃と腸, 2020. 55(11): 1402-1403
25. 榎本有里, 斎藤彰一, 十倉淳紀, 石岡充彬, 屋
嘉比聖一, 鈴木桂悟, 井出大資, 千野晶子,
五十嵐正広
拡大内視鏡を極める: 拡大・超拡大内視鏡を使
いこなすための tips & trouble-shooting (技
術論): 構造強調と色彩強調のバランス設定.
Intestine, 2020. 24(4): 290-296
26. 河内洋, 中野薫
ここまで来た de novo cancer: De novo can-
cer の病理診断: 陥凹型腺腫との異同を含めて.
Intestine, 2020. 24(1): 45-54
27. 畑森裕之, 斎藤彰一, 堀江義政, 安江千尋, 井
出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 河内洋
大腸鋸歯状病変の新展開: 上行結腸に認めた鋸
歯状病変由来と考えられる早期内分泌細胞癌の
1 例.
胃と腸, 2020. 55(13): 1639-1646
28. 鈴木桂悟, 斎藤彰一, 池之山洋平, 光吉優貴,
中尾栄祐, 城間翔, 松野高久, 屋嘉比聖一, 井
出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 河内洋
当院における大腸腫瘍性病変に対する JNET 分
類の診断成績.
日本大腸検査学会雑誌, 2020. 36(2): 83-89

【食道外科】

1. Hayami, M., Watanabe, M., Mine, S.,
Imamura, Y., Okamura, A., Yuda, M., Ya-
mashita, K., Shoji, Y., Toihata, T., Kozuki, R.,
Ishizuka, N.
Steam induced by the activation of energy
devices under a wet condition may cause
thermal injury.
Surg. Endosc., 2020. 34(5): 2295-2302
2. Kosumi, K., Baba, Y., Okadome, K., Yagi,
T., Kiyozumi, Y., Yoshida, N., Watanabe, M.,
Baba, H.
Tumor long-interspersed nucleotide ele-
ment-1 methylation level and immune re-
sponse to esophageal cancer.
Ann. Surg., 2020. 272(6): 1025-1034
3. Matsuda, S., Kawakubo, H., Okamura, A.,
Takahashi, K., Toihata, T., Takemura, R.,
Mayanagi, S., Hirata, K., Irino, T., Ham-
amoto, Y., Takeuchi, H., Watanabe, M.,
Kitagawa, Y.
Distribution of residual disease and recur-
rence patterns in pathological responders
after neoadjuvant chemotherapy for esoph-
ageal squamous cell carcinoma.
Ann. Surg., 2020: in press

4. Nagai, Y., Yoshida, N., Baba, Y., Harada, K., Imai, K., Iwatsuki, M., Karashima, R., Koga, Y., Nomoto, D., Okadome, K., Ishimoto, T., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Clinical significance of evaluating endoscopic response to neoadjuvant chemotherapy in esophageal squamous cell carcinoma.
Dig. Endosc., 2020. 32(1): 39-48
5. Nomoto, D., Baba, Y., Akiyama, T., Okadome, K., Uchihara, T., Harada, K., Eto, K., Hiyoshi, Y., Nagai, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Outcomes of esophageal bypass surgery and self-expanding metallic stent insertion in esophageal cancer: Reevaluation of bypass surgery as an alternative treatment.
Langenbecks Arch. Surg., 2020. 405(8): 1111-1118
6. Okadome, K., Baba, Y., Nomoto, D., Yagi, T., Kalikawe, R., Harada, K., Hiyoshi, Y., Nagai, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Komohara, Y., Shono, T., Sasaki, Y., Baba, H.
Prognostic and clinical impact of PD-L2 and PD-L1 expression in a cohort of 437 esophageal cancers.
Br. J. Cancer., 2020. 122(10): 1535-1543
7. Okadome, K., Baba, Y., Yagi, T., Kiyozumi, Y., Ishimoto, T., Iwatsuki, M., Miyamoto, Y., Yoshida, N., Watanabe, M., Baba, H.
Prognostic nutritional index, tumor-infiltrating lymphocytes, and prognosis in patients with esophageal cancer.
Ann. Surg., 2020. 271(4): 693-700
8. Okamura, A., Matsuda, S., Kawakubo, H., Mine, S., Takeuchi, H., Kitagawa, Y., Watanabe, M.
ASO author reflections: Prediction of the therapeutic efficacy in patients with neoadjuvant chemotherapy for esophageal squamous cell carcinoma.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(Suppl.3): 795-796
9. Okamura, A., Watanabe, M., Mitani, H.
ASO author reflections: What is the optimal method of digestive reconstruction following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy?
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(Suppl.3): 824-825
10. Okamura, A., Yamamoto, H., Watanabe, M., Miyata, H., Kanaji, S., Kamiya, K., Kakeji, Y., Doki, Y., Kitagawa, Y.
Association between preoperative HbA1c levels and complications after esophagectomy: Analysis of 15 801 esophagectomies from the National Clinical Database in Japan.
Ann. Surg., 2020: in press
11. Okamura, A., Hayami, M., Kozuki, R., Takahashi, K., Toihata, T., Imamura, Y., Mine, S., Watanabe, M.
Salvage esophagectomy for initially unresectable locally advanced T4 esophageal squamous cell carcinoma.
Esophagus, 2020. 17(1): 59-66
12. Otake, R., Okamura, A., Kanamori, J., Takahashi, K., Ushida, Y., Imamura, Y., Mine, S., Watanabe, M.
The optimal feeding enterostomy creation during esophagectomy to reduce the long-term risk of small bowel obstruction.
World J. Surg., 2020. 44(11): 3845-3851
13. Shimizu, H., Okada, M., Tangoku, A., Doki, Y., Endo, S., Fukuda, H., Hirata, Y., Iwata, H., Kobayashi, J., Kumamaru, H., Miyata, H., Motomura, N., Natsugoe, S., Ozawa, S., Saiki, Y., Saito, A., Saji, H., Sato, Y., Taketani, T., Tanemoto, K., Tatsushiki, W., Toh, Y., Tsukihara, H., Watanabe, M., Yamamoto, H., Yokoi, K., Okita, Y.
Thoracic and cardiovascular surgeries in Japan during 2017 : Annual report by the Japanese Association for Thoracic Surgery.
Gen. Thorac. Cardiovasc. Surg., 2020. 68(4): 414-449

14. Suzuki, T., Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Asari, T., Osumi, H., Nakayama, I., Ichimura, T., Ogura, M., Ooki, A., Takahari, D., Yamaguchi, K., Chin, K.
Neoadjuvant chemoradiotherapy with cisplatin plus fluorouracil for borderline resectable esophageal squamous cell carcinoma.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(5): 1510-1517
15. Takahashi, K., Okamura, A., Watanabe, M.
ASO author reflections: Cervicothoracic esophagectomy for esophageal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(5): 1531-1532
16. Takahashi, K., Okamura, A., Amada, E., Otake, R., Kozuki, R., Toihata, T., Imamura, Y., Watanabe, M.
Esophagectomy for esophageal cancer in a patient with left pulmonary artery sling.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(5): 1530
17. Watanabe, M., Otake, R., Kozuki, R., Toihata, T., Takahashi, K., Okamura, A., Imamura, Y.
Recent progress in multidisciplinary treatment for patients with esophageal cancer.
Surg. Today, 2020. 50(1): 12-20
18. Watanabe, M.
Salvage esophagectomy for residual tumor after definitive chemoradiotherapy for esophageal squamous cell carcinoma invading the neighboring organs: Is it a feasible choice?
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(9): 3107-3108
19. Watanabe, M., Nakajima, M., Nishikawa, K., Kato, H., Matsubara, H.
Thoracic endovascular aortic repair for esophageal cancer invading the thoracic aorta: A questionnaire survey study.
Esophagus, 2020. 17(1): 74-80
20. Watanabe, M., Sato, M., Fukuchi, M., Kato, H., Matsubara, H.
Treatment of aorto-esophageal fistula developed after thoracic endovascular aortic repair: A questionnaire survey study.
Esophagus, 2020. 17(1): 81-86
21. Yoshida, N., Kosumi, K., Tokunaga, R., Baba, Y., Nagai, Y., Miyamoto, Y., Iwagami, S., Iwatsuki, M., Hiyoshi, Y., Ishimoto, T., Eto, K., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Clinical importance of mean corpuscular volume as a prognostic marker after esophagectomy for esophageal cancer: A retrospective study.
Ann. Surg., 2020. 271(3): 494-501
22. Yoshida, N., Adachi, Y., Morinaga, T., Eto, K., Tokunaga, R., Harada, K., Hiyoshi, Y., Nagai, Y., Iwatsuki, M., Ishimoto, T., Baba, Y., Iwagami, S., Miyamoto, Y., Imamura, Y., Watanabe, M., Baba, H.
Wives as key persons positively impacting prognosis for male patients undergoing esophagectomy for esophageal cancer: A retrospective study from a single Japanese institute.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(7): 2402-2411
23. 岡村明彦, 渡邊雅之, 上月亮太郎, 高橋慶太, 間端輔, 今村裕, 峯真司
食道癌診療の現状と展望 8. 根治的化学放射線療法とサルベージ手術.
日本外科学会雑誌, 2020. 121(4): 448-452
24. 渡邊雅之, 上月亮太郎
ハイリスク胸部外科手術: 食道領域: 臓器予備力が低下した高齢者における食道癌手術と周術期管理.
胸部外科, 2020. 73(10): 870-875
25. 渡邊雅之
ポートの挿入位置 01 上部消化管① (食道).
内視鏡外科手術: 役立つテクニック 100 (宮澤光男編集), 東京, 医学書院: pp.200-202, 2020

26. 渡邊雅之, 高橋慶太, 岡村明彦, 金森淳, 今村裕
早わかり縫合・吻合のすべて (4 章) 術式別の縫合・吻合法: 食道: 頸部食道 - 胃管吻合: リニアステープラー: 三角吻合.
臨床外科, 2020. 75(11): 112-114
27. 渡邊雅之
消化器外科: 切除可能進行食道癌に対する集学的治療のこれから: 大きなパラダイムシフトが起きる可能性がある.
日本医事新報, 2020(5027): 51
28. 渡邊雅之, 堀創史, 大竹玲子, 上月亮太郎, 問端輔, 高橋慶太
消化器外科手術の論点 2020: 誌上ディベートと手術手技: 食道外科: 食道切除後の標準的再建ルート: 胸骨後再建の立場から.
手術, 2020. 74(4): 439-446
29. 渡邊雅之
第 3 章 食道 3. 食道癌 20) 進行食道癌に対する集学的治療.
消化器外科専門医の心得 (上) (日本消化器外科学会編集), 東京, 日本消化器外科学会: pp.257-260, 2020
30. 渡邊雅之, 桑野博行
胸部食道癌に対する体腔鏡下手術のこれから: 手術侵襲を軽減し、長期予後を改善する可能性がある.
日本医事新報, 2020(5023): 51-52
31. 渡邊雅之, 大竹玲子, 上月亮太郎, 高橋慶太, 問端輔, 岡村明彦, 今村裕
進行食道癌に対する集学的治療: サルベージ手術とコンバージョン手術の意義: 食道癌に対するサルベージ手術の適応と成績.
日本気管食道科学会会報, 2020. 71(2): 130-132
32. 高橋慶太, 大竹玲子, 堀創史, 問端輔, 上月亮太郎, 岡村明彦, 今村裕, 渡邊雅之
「縫合不全 !!」を防ぐ: 食道: 頸部食道胃管吻合: 器械吻合 (三辺外翻三角吻).
臨床外科, 2020. 75(2): 157-160
33. 鳥居淳一, 新橋渉, 三谷浩樹, 渡邊雅之, 今村裕, 岡村明彦, 瀬戸陽, 神山亮介, 渡嘉敷邦彦, 川端一嘉
放射線治療後の遺残・再発例に対する咽喉頭全摘・食道全摘症例の検討.
日本気管食道科学会会報, 2020. 71(4): 297-305

【胃外科】

1. Amada, E., Fukuda, K., Kumagai, K., Kawakubo, H., Kitagawa, Y.
Soluble recombinant human thrombomodulin suppresses inflammation-induced gastrointestinal tumor growth in a murine peritonitis model.
Mol. Cell Biochem., 2020. 475(1-2): 195-203
2. Eto, K., Ida, S., Ohashi, T., Kumagai, K., Nunobe, S., Ohashi, M., Sano, T., Hiki, N.
Perirenal fat thickness as a predictor of postoperative complications after laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer.
BJS Open, 2020. 4(6): 865-872
3. Haga, Y., Hiki, N., Kinoshita, T., Ojima, T., Nabeya, Y., Kuwabara, S., Seto, Y., Yajima, K., Takeuchi, H., Yoshida, K., Kadera, Y., Fujiwara, Y., Baba, H.
Treatment option of endoscopic stent insertion or gastrojejunostomy for gastric outlet obstruction due to gastric cancer: A propensity score-matched analysis.
Gastric Cancer, 2020. 23(4): 667-676
4. Hayami, M., Ohashi, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Hiki, N., Nunobe, S.
A 'just enough' gross proximal margin length ensuring pathologically complete resection in distal gastrectomy for gastric cancer.
Ann. Surg. Open, 2020. 1(2): e026
5. Horiuchi, Y., Ida, S., Yamamoto, N., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T.,

- Tsuchida, T., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Fujisaki, J.
Feasibility of further expansion of the indications for endoscopic submucosal dissection in undifferentiated-type early gastric cancer.
Gastric Cancer, 2020. 23(2): 285-292
6. Kano, Y., Ohashi, M., Hiki, N., Takahari, D., Chin, K., Yamaguchi, K., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Facilitated completion of 1-year adjuvant S-1 monotherapy for pathological stage II or III gastric cancer by medical oncologists.
Surg. Today, 2020. 50(10): 1197-1205
 7. Kano, Y., Ohashi, M., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Hiki, N., Nunobe, S.
Laparoscopic proximal gastrectomy with double-flap technique versus laparoscopic subtotal gastrectomy for proximal early gastric cancer.
BJS Open, 2020. 4(2): 252-259
 8. Kano, Y., Ohashi, M., Ida, S., Kumagai, K., Makuuchi, R., Sano, T., Hiki, N., Nunobe, S.
Therapeutic value of splenectomy to dissect splenic hilar lymph nodes for type 4 gastric cancer involving the greater curvature, compared with other types.
Gastric Cancer, 2020. 23(5): 927-936
 9. Katai, H., Ishikawa, T., Akazawa, K., Fukagawa, T., Isobe, Y., Miyashiro, I., Oda, I., Tsujitani, S., Ono, H., Tanabe, S., Nunobe, S., Suzuki, S., Kakeji, Y.
Optimal extent of lymph node dissection for remnant advanced gastric carcinoma after distal gastrectomy: A retrospective analysis of more than 3000 patients from the nationwide registry of the Japanese Gastric Cancer Association.
Gastric Cancer, 2020. 23(6): 1091-1101
 10. Katai, H., Mizusawa, J., Katayama, H., Morita, S., Yamada, T., Bando, E., Ito, S., Takagi, M., Takagane, A., Teshima, S., Koeda, K., Nunobe, S., Yoshikawa, T., Terashima, M., Sasako, M.
Survival outcomes after laparoscopy-assisted distal gastrectomy versus open distal gastrectomy with nodal dissection for clinical stage IA or IB gastric cancer (JCOG0912): A multicentre, non-inferiority, phase 3 randomised controlled trial.
Lancet Gastroenterol. Hepatol., 2020. 5(2): 142-151
 11. Kawakami, R., Mashima, T., Kawata, N., Kumagai, K., Migita, T., Sano, T., Mizunuma, N., Yamaguchi, K., Seimiya, H.
ALDH1A3 - mTOR axis as a therapeutic target for anticancer drug - tolerant persister cells in gastric cancer.
Cancer Sci., 2020. 111(3): 962-973
 12. Kinoshita, T., Honda, M., Matsuki, A., Enomoto, N., Aizawa, M., Nunobe, S., Yabusaki, H., Abe, T., Hiki, N.
Billroth-I vs Roux-en-Y after distal gastrectomy: A comparison of long-term nutritional status and survival rates from a large-scale multicenter cohort study.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2020. 4(2): 142-150
 13. Matsuda, T., Ohashi, M., Tsujiura, M., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T., Hiki, N.
Shorter survival of patients with upper-third gastric cancer preoperatively diagnosed as stage IA compared with those with middle to lower lesions.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(1): 276-283
 14. Miyamoto, Y., Schirripa, M., Suenaga, M., Cao, S., Zhang, W., Okazaki, S., Berger, M. D., Matsusaka, S., Yang, D., Ning, Y., Baba, H., Loupakis, F., Lonardi, S., Pietrantonio, F., Borelli, B., Cremolini, C., Yamaguchi, T., Lenz, H. J.
A polymorphism in the cachexia-associated gene INHBA predicts efficacy of regorafenib in patients with refractory metastatic col-

orectal cancer.

PLoS One, 2020. 15(9): e0239439

15. Nunobe, S., Ida, S.
Current status of proximal gastrectomy for gastric and esophagogastric junctional cancer: A review.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2020. 4(5): 498-504
16. Nunobe, S., Ri, M., Yamazaki, K., Uraoka, M., Ohata, K., Kitazono, I., Terashima, M., Yamagata, Y., Tanabe, S., Abe, N., Tsuji, T., Niimi, K., Kawakubo, H., Tsukada, T., Kitashiro, S., Ishizuka, N., Hiki, N.
Safety and feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for duodenal neoplasm: A retrospective multicenter study.
Endoscopy, 2020: in press
17. Nunobe, S., Oda, I., Ishikawa, T., Akazawa, K., Katai, H., Isobe, Y., Miyashiro, I., Tsujitani, S., Ono, H., Tanabe, S., Fukagawa, T., Suzuki, S., Kakeji, Y.
Surgical outcomes of elderly patients with stage I gastric cancer from the nationwide registry of the Japanese Gastric Cancer Association.
Gastric Cancer, 2020. 23(2): 328-338
18. Ri, M., Nunobe, S., Honda, M., Akimoto, E., Kinoshita, T., Hori, S., Aizawa, M., Yabusaki, H., Isobe, Y., Kawakubo, H., Abe, T.
Gastrectomy with or without omentectomy for cT3-4 gastric cancer: A multicentre cohort study.
Br. J. Surg., 2020. 107(12): 1640-1647
19. Sato, Y., Mizusawa, J., Katayama, H., Nakamura, K., Fukagawa, T., Katai, H., Haruta, S., Yamada, M., Takagi, M., Tamura, S., Yoshimura, T., Tokunaga, M., Yoshikawa, T., Boku, N., Sano, T., Sasako, M., Terashima, M.
Diagnosis of invasion depth in resectable advanced gastric cancer for neoadjuvant chemotherapy: An exploratory analysis of Japan Clinical Oncology Group Study: JCO-G1302A.
Eur. J. Surg. Oncol., 2020. 46(6): 1074-1079
20. Takahari, D., Ito, S., Mizusawa, J., Katayama, H., Terashima, M., Sasako, M., Morita, S., Nomura, T., Yamada, M., Fujiwara, Y., Kimura, Y., Ikeda, A., Kadokawa, Y., Sano, T.
Long-term outcomes of preoperative docetaxel with cisplatin plus S-1 therapy for gastric cancer with extensive nodal metastasis (JCOG1002).
Gastric Cancer, 2020. 23(2): 293-299
21. Takahashi, R., Nunobe, S., Osumi, H., Takahari, D., Yamamoto, N., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Hiki, N.
Clinical outcomes of radical gastrectomy following trastuzumab-based chemotherapy for stage IV HER2-positive gastric or gastroesophageal junction cancer.
Surg. Today, 2020. 50(10): 1240-1248
22. Takahashi, R., Ohashi, M., Hiki, N., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Sano, T., Nunobe, S.
Risk factors and prognosis of gastric stasis, a crucial problem after laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for early middle-third gastric cancer.
Gastric Cancer, 2020. 23(4): 707-715
23. Takahashi, R., Nunobe, S., Makuuchi, R., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T.
Survival outcomes of elderly patients with pathological stages II and III gastric cancer following curative gastrectomy.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2020. 4(4): 433-440
24. Terashima, M., Yoshikawa, T., Boku, N., Ito, S., Tsuburaya, A., Iwasaki, Y., Fukagawa, T., Tokunaga, M., Sano, T., Sasako, M.
Current status of perioperative chemotherapy for locally advanced gastric cancer and

- JCOG perspectives.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2020. 50(5): 528-534
25. Tsugeno, Y., Nakano, K., Nakajima, T., Namikawa, K., Takamatsu, M., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Nunobe, S., Kitagawa, M., Takeuchi, K., Kawachi, H.
Histopathologic analysis of signet-ring cell carcinoma in situ in patients with hereditary diffuse gastric cancer.
Am. J. Surg. Pathol., 2020. 44(9): 1204-1212
 26. Tsujiura, M., Nunobe, S.
Functional and nutritional outcomes after gastric cancer surgery.
Transl. Gastroenterol. Hepatol., 2020. 5: 29
 27. Yamaguchi, T., Takashima, A., Nagashima, K., Makuuchi, R., Aizawa, M., Ohashi, M., Tashiro, K., Yamada, T., Kinoshita, T., Hata, H., Kawachi, Y., Kawabata, R., Tsuji, T., Hihara, J., Sakamoto, T., Fukagawa, T., Katai, H., Higuchi, K., Boku, N.
Efficacy of postoperative chemotherapy after resection that leaves no macroscopically visible disease of gastric cancer with positive peritoneal lavage cytology (CY1) or localized peritoneum metastasis (P1a): A multicenter retrospective study.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(1): 284-292
 28. Yasufuku, I., Nunobe, S., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Hiki, N., Sano, T.
Conversion therapy for peritoneal lavage cytology-positive type 4 and large type 3 gastric cancer patients selected as candidates for R0 resection by diagnostic staging laparoscopy.
Gastric Cancer, 2020. 23(2): 319-327
 29. Yasufuku, I., Ohashi, M., Eto, K., Ida, S., Kumagai, K., Nunobe, S., Sano, T., Hiki, N.
Size-dependent differences in the proximal remnant stomach: How much does a small remnant stomach after subtotal gastrectomy work?
Surg. Endosc., 2020. 34(12): 5540-5549
 30. 井田智
あぶない基礎疾患“わる”きゃらずかん:糖尿病・消化器ナーシング, 2020. 25(5): 452-454
 31. 井田智
ステージ I 胃癌患者における腹腔鏡下幽門側胃切除術と開腹幽門側胃切除術の長期生存: ランダム化比較試験 (KLASS-01) の結果. 胃癌 perspective, 2020. 11(2): 138-140
 32. 井田智
よくわかる周術期の栄養管理 Q & A 15: 術後に経口栄養がすすまない場合はどうするの? Nutrition Care, 2020. 13(2): 145-148
 33. 井田智
リバイス論文執筆と投稿. 5 章 研究論文を書く 5. 臨床研究アウトプット術 (前田圭介, 室谷健太編著), 東京, 中外医学社: pp.301-310, 2020
 34. 井田智, 熊谷厚志, 幕内梨恵, 大橋学, 布部創也
外科栄養: 最新のアプローチ: 胃癌周術期運動・栄養療法. 外科, 2020. 82(4): 345-349
 35. 佐野武
Book Review: レジリエント・ヘルスケア入門: 擾乱と制約下で柔軟に対応する力. 病院, 2020. 79(7): 557
 36. 佐野武
Round-table discussion: 胃癌とヘリコバクター・ピロリ (Hp) の総括: Hp 発見以前に私たちは何を見ていたのか? 胃癌 perspective, 2020. 11(2): 91-99
 37. 佐野武
胃癌治療ガイドラインの 20 年. ALPHA CLUB, 2020 (441 号)
 38. 土方一範, 由雄敏之, 河内洋, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 庄司

佳晃, 比企直樹, 藤崎順子
丈の高い粘膜下腫瘍様隆起を呈した胃底腺型胃癌の1例.
胃と腸, 2020. 55(10): 1313-1322

39. 天田塩, 布部創也
ポートへの拘り 01 消化管.
内視鏡外科手術: 役立つテクニック 100 (宮澤光男編集), 東京, 医学書院: pp.151-152, 2020
40. 太田絵美, 布部創也
術前・術後管理必携 2020: 術式別術前・術後管理: 胃: 幽門側胃切除術.
消化器外科, 2020. 43(5): 621-624
41. 宗岡悠介, ほか
ディベートから学ぶ: 術式の利点と主義の秘訣 [上部消化管編] サージカルディベート 3 胃上部早期癌に対する腹腔鏡下胃切除術 (2) 腹腔鏡下胃全摘術 (極小残胃).
新 Digestive Surgery Now ; 7 東京, メジカルビュー社: 2020
42. 宗岡悠介, 布部創也, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学
内視鏡外科手術に必要な局所解剖: 食道・胃: 腹腔鏡下胃切除術に必要な脾上縁の局所解剖: No.7 ~ 9, 11p を中心に.
手術, 2020. 74(6): 897-905
43. 宗岡悠介, 大橋学
早わかり縫合・吻合のすべて: (4 章) 術式別の縫合・吻合法: 胃: 幽門保存胃切除術: 器械式端端胃 - 胃吻合: 完全鏡視下: ピアス法.
臨床外科, 2020. 75(11): 168-173
44. 小野裕之, 八尾建史, 藤城光弘, 小田一郎, 上堂文也, 二村聡, 矢作直久, 飯石浩康, 岡政志, 味岡洋一, 藤本一真, 井上晴洋, 佐野武, 朴成和, 石川勉, 胃癌に対する ESD/EMR ガイドライン作成委員会, 日本消化器内視鏡学会ガイドライン委員会
胃癌に対する ESD/EMR ガイドライン (第 2 版).
Gastroenterological Endoscopy, 2020. 62(2): 273-290

45. 布部創也
第 4 章 胃・十二指腸 16) 胃癌に対する幽門保存胃切除術.
消化器外科専門医の心得 (上) (日本消化器外科学会編集), 東京, 日本消化器外科学会: pp.339-341, 2020
46. 布部創也, 田島ジェシー雄, 井田智, 熊谷厚志, 幕内梨恵, 大橋学
高齢者早期胃癌 ESD の現状と問題点: 高齢者早期胃癌 ESD の予後と適応: Stage I 胃癌の手術成績からみた高齢者に対する ESD 適応.
胃と腸, 2020. 55(12): 1499-1506
47. 幕内梨恵
夢を実現し、輝く女性外科医たち: 求められるサポート体制と働き方改革: 外科の魅力.
日本外科学会雑誌, 2020. 121(6): 680-682
48. 幕内梨恵, 布部創也, 佐野武
早わかり縫合・吻合のすべて: (4 章) 術式別の縫合・吻合法: 胃: 幽門側胃切除術: Roux-en-Y 法再建での残胃 - 空腸吻合: 開腹.
臨床外科, 2020. 75(11): 160-162
49. 熊谷厚志
レジデントからの Q&A: リンパ節 No.13 が領域リンパ節として扱われる場合があるのはなぜですか?
胃がん perspective, 2020. 11(1): 48-49
50. 熊谷厚志
外科医にとっての働き方改革とは: これからの日本の外科医はどうあるべきか?: スウェーデンでの臨床経験から考えること.
日本外科学会雑誌, 2020. 121(1): 108-110
51. 磯崎正典, 布部創也, 幕内梨恵, 井田智, 熊谷厚志, 大橋学
スキルス胃癌: 病態と診断・治療の最前線: スキルス胃癌の外科的治療.
胃と腸, 2020. 55(6): 820-827

【大腸外科】

1. Akagi, T., Inomata, M., Fujishima, H., Fukuda, M., Konishi, T., Tsukamoto, S., Teraishi,

- F., Ozawa, H., Tanaka, K., Hida, K., Sakai, Y., Watanabe, M.
Preoperative chemoradiotherapy versus surgery alone for advanced low rectal cancer: A large multicenter cohort study in Japan.
Surg. Today, 2020. 50(11): 1507-1514
2. An, Y., Bellato, V., Konishi, T., Pellino, G., Sensi, B., Siragusa, L., Franceschilli, M., Sica, G. S.
Surgeons' fear of getting infected by COVID19: A global survey.
Br. J. Surg., 2020. 107(11): e543-e544
 3. Bellato, V., Konishi, T., Pellino, G., An, Y., Picciocchi, A., Sensi, B., Siragusa, L., Khanna, K., Pirozzi, B. M., Franceschilli, M., Campanelli, M., Efetov, S., Sica, G. S.
Impact of asymptomatic COVID-19 patients in global surgical practice during the COVID-19 pandemic.
Br. J. Surg., 2020. 107(10): e364-e365
 4. Bellato, V., Konishi, T., Pellino, G., An, Y., Picciocchi, A., Sensi, B., Siragusa, L., Khanna, K., Pirozz, B. M., Franceschilli, M., Campanelli, M., Efetov, S., Sica, G. S.
Screening policies, preventive measures and in-hospital infection of COVID-19 in global surgical practices.
J. Glob. Health, 2020. 10(2): 020507
 5. Chan, H. T., Nagayama, S., Chin, Y. M., Otaki, M., Hayashi, R., Kiyotani, K., Fukunaga, Y., Ueno, M., Nakamura, Y., Low, S. K.
Clinical significance of clonal hematopoiesis in the interpretation of blood liquid biopsy.
Mol. Oncol., 2020. 14(8): 1719-1730
 6. Chino, A., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hatamori, H., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Fujisaki, J., Nagayama, S.
Macroscopic and microscopic morphology and molecular profiling to distinguish heterogeneous traditional serrated adenomas of the colorectum.
Dig. Endosc., 2020. 32(6): 921-931
 7. Emoto, S., Akiyoshi, T., Fukata, K., Nagasaki, T., Fukunaga, Y.
Laparoscopic transabdominal dissection and transection of the distal rectum followed by local excision through the anus for rectal gastrointestinal stromal tumor.
Dis. Colon Rectum, 2020. 63(11): e542
 8. Fukuoka, H., Fukunaga, Y., Minami, H., Miyanari, S., Suzuki, S., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Needlescopic surgery for very low rectal cancer with no abdominal skin incision.
Asian J. Endosc. Surg., 2020. 13(2): 180-185
 9. Hiyoshi, Y., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y.
The advantage of one-step nucleic acid amplification for the diagnosis of lymph node metastasis in colorectal cancer patients.
Ann. Gastroenterol. Surg., 2020. 5(1): 60-66
 10. Honma, N., Matsuda, Y., Arai, T., Kawachi, H., Akishima-Fukasawa, Y., Yamamoto, N., Ueno, M., Ishikawa, Y., Mikami, T.
Impact of older age on clinicopathological and prognostic features of colon cancer in postmenopausal women.
Pathol. Int., 2020. 70(7): 433-440
 11. Ikeda, M., Morizane, C., Hijioka, S., Matsumoto, S., Konishi, T., Komoto, I., Aoki, T., Ito, T., Furuse, J., Sasano, H., Doi, R.
Optimal strategy of systemic treatment for unresectable pancreatic neuroendocrine tumors based upon opinion of Japanese experts.
Pancreatology, 2020. 20(5): 944-950
 12. Inoue, A., Murata, K., Komori, T., Takeda, T., Fujii, M., Yamaguchi, T., Yamaguchi, T., Masuishi, T., Shiota, T., Morita, S., Suzuki, Y.,

- Ito, M., Kanemitsu, Y., Shiozawa, M., Yasui, M., Kagawa, Y., Sugihara, K.
Open versus laparoscopic surgery for primary appendiceal tumors: A large multicenter retrospective propensity score-matched cohort study in Japan.
Surg. Endosc., 2020: in press
13. Ishigaki, K., Akiyama, M., Kanai, M., Takahashi, A., Kawakami, E., Sugishita, H., Sakaue, S., Matoba, N., Low, S. K., Okada, Y., Terao, C., Amariuta, T., Gazal, S., Kochi, Y., Horikoshi, M., Suzuki, K., Ito, K., Koyama, S., Ozaki, K., Niida, S., Sakata, Y., Sakata, Y., Kohno, T., Shiraishi, K., Momozawa, Y., Hirata, M., Matsuda, K., Ikeda, M., Iwata, N., Ikegawa, S., Kou, I., Tanaka, T., Nakagawa, H., Suzuki, A., Hirota, T., Tamari, M., Chayama, K., Miki, D., Mori, M., Nagayama, S., Daigo, Y., Miki, Y., Katagiri, T., Ogawa, O., Obara, W., Ito, H., Yoshida, T., Imoto, I., Takahashi, T., Tanikawa, C., Suzuki, T., Sinozaki, N., Minami, S., Yamaguchi, H., Asai, S., Takahashi, Y., Yamaji, K., Takahashi, K., Fujioka, T., Takata, R., Yanai, H., Masumoto, A., Koretsune, Y., Kutsumi, H., Higashiyama, M., Murayama, S., Minegishi, N., Suzuki, K., Tanno, K., Shimizu, A., Yamaji, T., Iwasaki, M., Sawada, N., Uemura, H., Tanaka, K., Naito, M., Sasaki, M., Wakai, K., Tsugane, S., Yamamoto, M., Yamamoto, K., Murakami, Y., Nakamura, Y., Raychaudhuri, S., Inazawa, J., Yamauchi, T., Kadowaki, T., Kubo, M., Kamatani, Y.
Large-scale genome-wide association study in a Japanese population identifies novel susceptibility loci across different diseases.
Nat. Genet., 2020. 52(7): 669-679
 14. Jimenez-Rodriguez, R. M., Patil, S., Keshinro, A., Shia, J., Vakiani, E., Stadler, Z., Segal, N. H., Yaeger, R., Konishi, T., Shimada, Y., Widmar, M., Wei, I., Pappou, E., Smith, J. J., Nash, G., Paty, P., Garcia-Aguilar, J., Weiser, M. R.
Quantitative assessment of tumor-infiltrating lymphocytes in mismatch repair proficient colon cancer.
Oncoimmunology, 2020. 9(1): 1841948
 15. Kakiuchi, N., Yoshida, K., Uchino, M., Kihara, T., Akaki, K., Inoue, Y., Kawada, K., Nagayama, S., Yokoyama, A., Yamamoto, S., Matsuura, M., Horimatsu, T., Hirano, T., Goto, N., Takeuchi, Y., Ochi, Y., Shiozawa, Y., Kogure, Y., Watatani, Y., Fujii, Y., Kim, S. K., Kon, A., Kataoka, K., Yoshizato, T., Nakagawa, M. M., Yoda, A., Nanya, Y., Makishima, H., Shiraishi, Y., Chiba, K., Tanaka, H., Sanada, M., Sugihara, E., Sato, T. A., Maruyama, T., Miyoshi, H., Taketo, M. M., Oishi, J., Inagaki, R., Ueda, Y., Okamoto, S., Okajima, H., Sakai, Y., Sakurai, T., Haga, H., Hirota, S., Ikeuchi, H., Nakase, H., Marusawa, H., Chiba, T., Takeuchi, O., Miyano, S., Seno, H., Ogawa, S.
Frequent mutations that converge on the NFKBIZ pathway in ulcerative colitis.
Nature, 2020. 577(7789): 260-265
 16. Konishi, T.
Why do we need to know the differences between the East and West?
Clin. Colon Rectal Surg., 2020. 33(6): 327-328
 17. Matsui, S., Murata, K., Fukunaga, Y., Takeda, T., Fujii, M., Yamaguchi, T., Kagawa, Y., Mizushima, T., Ohno, Y., Yao, T., Doki, Y., Sugihara, K.
Analysis of clinicopathological characteristics of appendiceal tumors in Japan: A multicenter collaborative retrospective clinical study: A Japanese nationwide survey.
Dis. Colon Rectum, 2020. 63(10): 1403-1410
 18. Miki, H., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Ueno, M.
Feasibility of needlescopic surgery for colorectal cancer: safety and learning curve for Japanese Endoscopic Surgical Skill Qualification System-unqualified young

- surgeons.
Surg. Endosc., 2020. 34(2): 752-757
19. Mukai, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Yamaguchi, T., Konishi, T., Nagayama, S., Ueno, M.
Laparoscopic multivisceral resection for locally advanced colon cancer: A single-center analysis of short- and long-term outcomes.
Surg. Today, 2020. 50(9): 1024-1031
 20. Murahashi, S., Akiyoshi, T., Sano, T., Fukunaga, Y., Noda, T., Ueno, M., Zembutsu, H.
Serial circulating tumour DNA analysis for locally advanced rectal cancer treated with preoperative therapy: Prediction of pathological response and postoperative recurrence.
Br. J. Cancer., 2020. 123(5): 803-810
 21. Nagaoka, T., Fukunaga, Y., Mukai, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Nagayama, S.
Risk factors for anastomotic leakage after laparoscopic low anterior resection: A single-center retrospective study.
Asian J. Endosc. Surg., 2020: in press
 22. Nagaoka, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Chino, A., Ishizuka, N., Konishi, T.
Safety of small circular staplers in double stapling technique anastomosis for sigmoid colon and rectal cancer.
Dis. Colon Rectum, 2020: in press
 23. Nakai, N., Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Shiomi, A., Kagawa, H., Yamakawa, Y., Numata, M., Furutani, A., Yamaoka, Y., Manabe, S., Sawada, A.
Diagnostic value of computed tomography (CT) and positron emission tomography (PET) for paraaortic lymph node metastasis from left-sided colon and rectal cancer.
Asian J. Surg., 2020. 43(6): 676-682
 24. Nakanishi, R., Akiyoshi, T.
ASO author reflections: CT-based radiomics model to predict lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo)radiotherapy in advanced low rectal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(11): 4284-4285
 25. Nakanishi, R., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Nagasaki, T., Nagayama, S., Mukai, T., Ueno, M., Fukunaga, Y., Konishi, T.
Laparoscopic and robotic lateral lymph node dissection for rectal cancer.
Surg. Today, 2020. 50(3): 209-216
 26. Nakanishi, R., Fukunaga, Y., Nagasaki, T., Emoto, S., Hirayama, K., Yoshioka, S., Kitagawa, Y., Honma, S., Nagaoka, T., Matsui, S., Tominaga, T., Minami, H., Miyanari, S., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Nagayama, S., Saito, S., Ueno, M.
Laparoscopic-endoscopic cooperative surgery for ileal lipoma: A case report.
Asian J. Endosc. Surg., 2020. 13(2): 219-222
 27. Nakanishi, R., Akiyoshi, T., Toda, A., Murakami, Y., Taguchi, S., Oba, K., Nagasaki, T., Matoba, S., Ueno, M., Fukunaga, Y., Kuroyanagi, H.
Radiomics approach outperforms diameter criteria for predicting pathological lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo)radiotherapy in advanced low rectal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(11): 4273-4283
 28. Osumi, H., Muroi, A., Sakahara, M., Kawachi, H., Okamoto, T., Natsume, Y., Yamanka, H., Takano, H., Kusama, D., Shinozaki, E., Ooki, A., Yamaguchi, K., Ueno, M., Takeuchi, K., Noda, T., Nagayama, S., Koshikawa, N., Yao, R.
Evaluation of the RAS signaling network in

- response to MEK inhibition using organoids derived from a familial adenomatous polyposis patient.
Sci. Rep., 2020. 10(1): 17455
29. Pittella-Silva, F., Chin, Y. M., Chan, H. T., Nagayama, S., Miyauchi, E., Low, S. K., Nakamura, Y.
Plasma or serum: Which is preferable for mutation detection in liquid biopsy?
Clin. Chem., 2020. 66(7): 946-957
 30. Suzuki, S., Akiyoshi, T.
ASO author reflections: Comparison of prognostic impact of various systemic inflammatory markers for stage II/III colon cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(3): 853-854
 31. Suzuki, S., Akiyoshi, T., Oba, K., Otsuka, F., Tominaga, T., Nagasaki, T., Fukunaga, Y., Ueno, M.
Comprehensive comparative analysis of prognostic value of systemic inflammatory biomarkers for patients with stage II/III colon cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(3): 844-852
 32. Tominaga, T., Nagayama, S., Takamatsu, M., Miyanari, S., Nagasaki, T., Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Konishi, T., Fujimoto, Y., Fukunaga, Y., Ueno, M.
A case of severe megacolon due to acquired isolated hypoganglionosis after low anterior resection for lower rectal cancer.
Clin. J. Gastroenterol., 2020. 13(3): 328-333
 33. Tominaga, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Honma, S., Nagaoka, T., Matsui, S., Minami, H., Miyanari, S., Yamaguchi, T., Ueno, M.
Prognostic nutritional index and postoperative outcomes in patients with colon cancer after laparoscopic surgery.
Surg. Today, 2020. 50(12): 1633-1643
 34. Ueno, H., Konishi, T., Ishikawa, Y., Shimazaki, H., Ueno, M., Aosasa, S., Saiura, A., Shinto, E., Kajiwar, Y., Mochizuki, S., Nakamura, T., Yamamoto, J.
Primary tumor histology affects oncological outcomes independently of the anatomical extent of disease in colorectal liver metastasis.
JAM Journal, 2020. 3(3): 240-250
 35. Yamaguchi, T., Akiyoshi, T., Fukunaga, Y., Nagayama, S., Nagasaki, T., Mukai, T., Nakanishi, R., Konishi, T.
Robotic extralevator abdominoperineal resection with en bloc multivisceral resection and lateral lymph node dissection for rectal cancer.
Tech. Coloproctol., 2020. 24(10): 1093-1094
 36. Yamaoka, Y., Imai, K., Shiomi, A., Kagawa, H., Hino, H., Yamakawa, Y., Yamaguchi, T., Kinugasa, Y., Kishida, Y., Ito, S., Hotta, K., Imai, T.
Endoscopic resection of T1 colorectal cancer prior to surgery does not affect surgical adverse events and recurrence.
Surg. Endosc., 2020. 34(11): 5006-5016
 37. Yanagida, Y., Amano, T., Akai, R., Toyoshima, A., Kobayashi, J., Hashimoto, T., Sunami, E., Kumasaka, T., Sasaki, S.
Treatment of tumor thrombus in the superior mesenteric vein due to advanced colon cancer with complete surgical resection and chemotherapy: A case report.
Surg. Case Rep., 2020. 6(1): 320
 38. 向井俊貴, 長壽寿矢, 秋吉高志, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
大学病院では学べない外科臨床: 消化器外科: ストーマ脱出・脱落(壊死): 診断と治療. 外科, 2020. 82(5): 441-447
 39. 小西毅, 福長洋介
直腸癌の集学的治療.

日本消化器病学会雑誌, 2020. 117(7): 571-579

40. 小西毅, 篠崎英司, 田口千蔵, 長山聡, 藤本佳也, 秋吉高志, 長寄寿矢, 山口智弘, 向井俊貴, 山口研成, 小口正彦, 上野雅資, 福長洋介
誌上ディベート (第 19 回) 直腸癌に対する CRT 後の watch and wait の是非: Yes vs. No: Yes の立場から.
消化器外科, 2020. 43(2): 218-225
41. 山口智弘, 福長洋介, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長寄寿矢
大腸外科手術におけるトラブルシューティング I. 術中出血: 9) ロボット支援下直腸癌手術における術中出血の予防と対処法.
手術, 2020. 74(8): 1139-1144
42. 日吉幸晴, 福長洋介
内視鏡外科手術に必要な局所解剖: 結腸・直腸: 腹腔鏡下括約筋間直腸切除術 (ISR) に必要な局所解剖.
手術, 2020. 74(13): 1849-1855
43. 松井信平, 福長洋介, 長山聡, 小西毅, 秋吉高志, 長寄寿矢, 山口智弘, 向井俊貴
大腸癌に対する内視鏡手術の進歩: RPS (Reduced port surgery): 細径鉗子を用いた腹腔鏡下大腸切除術.
日本外科学会雑誌, 2020. 121(3): 294-300
44. 深田浩志, 秋吉高志
ポートの挿入位置 04 下部消化管② (左大腸).
内視鏡外科手術: 役立つテクニック 100 (宮澤光男編集), 東京, 医学書院: pp.70-75, 2020
45. 深田浩志, 秋吉高志, 向井俊貴, 長寄寿也, 山口智弘, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
消化器外科手術: 助手の極意: 開腹からロボット手術まで: 下部消化管領域: 腹腔鏡下直腸切除術における助手の極意.
臨床外科, 2020. 75(12): 1320-1324
46. 清住雄希, 山口智弘, 太田絵美, 財津瑛子, 深田浩志, 福長洋介
縫合・吻合法の基本: ロボット手術で使用する縫合・吻合デバイスの種類と特徴.

臨床外科, 2020. 75(11): 22-23

47. 清住雄希, 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿也, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
進行直腸癌のベストプラクティス: NACRT の適応と成績.
外科, 2020. 82(7): 724-729
48. 澤田龍一郎, 小西毅
術野の展開法 08 下部消化管① (右側).
内視鏡外科手術: 役立つテクニック 100 (宮澤光男編集), 東京, 医学書院: pp.62-64, 2020
49. 福長洋介, 江本慎
大腸癌手術におけるリンパ節郭清の理論と手技: 大腸癌に対する腹腔鏡下大動脈周囲リンパ節郭清.
手術, 2020. 74(3): 281-289
50. 福長洋介, 横田美幸
手術のここがわからない! 患者の疑問に答える Q&A.
手術数でわかる「いい病院 2020」(大谷壮太郎編集), 東京, 朝日新聞出版: pp.70-75, 2020
51. 福長洋介
鉗子の拘り 01 腸管 (把持鉗子).
内視鏡外科手術: 役立つテクニック 100 (宮澤光男編集), 東京, 医学書院: pp.143-144, 2020
52. 秋吉高志, 向井俊貴, 山口智弘, 長寄寿也, 小西毅, 長山聡, 福長洋介
T4b 大腸癌に対する腹腔鏡下手術: 安全・確実に病変を取り除くために!: 精囊・前立腺浸潤.
消化器外科, 2020. 43(8): 1213-1221
53. 秋吉高志, 前佛均
リキッドバイオプシーに基づく直腸癌術前放射線化学療法の効果予測法の開発.
大和証券ヘルス財団研究業績集, 2020(43): 71-73
54. 秋吉高志
第 5 章 小腸・大腸 5. その他の悪性腫瘍 26) 後腹膜腫瘍・原発不明癌.

消化器外科専門医の心得（下）（日本消化器外科学会編集），東京，日本消化器外科学会：pp.550-552, 2020

55. 蟹江恭和，久留宮康浩，水野敬輔，世古口英，菅原元，井上昌也，加藤健宏，秋田直宏，鳥居直矢，佐久間政宜，稲田亘佑，竹内健司，緒方諒仁，長田祥子
下行結腸癌の吻合部再発に対し腹腔鏡下に根治切除を施行した1例．
日本農村医学会雑誌，2020. 69(2): 155-160
56. 長山聡，日吉幸晴，向井俊貴，山口智弘，長壽矢，秋吉高志，小西毅，福長洋介
見直そう！大腸癌に対する腹腔鏡・ロボット手術の基本手技：横行結腸癌に対する腹腔鏡下横行結腸切除術．
消化器外科，2020. 43(13): 1747-1753

【肝胆膵外科】

1. Croce, C., Mungo, B., Oba, A., Schulick, R. D., Del Chiaro, M.
ASO author reflections: Which patients with invasive intraductal papillary mucinous neoplasm can benefit from adjuvant therapy?
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(Suppl.3): 873-874
2. Hata, T., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Yanaga, K., Saiura, A.
Multidisciplinary treatment for colorectal liver metastases in elderly patients.
World J. Surg. Oncol., 2020. 18(1): 173
3. Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Commentary: Complex venous resection and reconstruction for locally advanced pancreatic cancer: Our approach.
Surgery, 2020. 168(6): 1056-1057
4. Kawakatsu, S., Mise, Y., Hiratsuka, M., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Mun, M., Okumura, S., Matsueda, K., Nagino, M., Saiura, A.
Clinical significance of subcentimeter pul-

monary nodules in patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastases.

J. Surg. Oncol., 2020. 122(3): 523-528

5. Kono, Y., Ishizawa, T., Kokudo, N., Kuriki, Y., Iwatate, R. J., Kamiya, M., Urano, Y., Kumagai, A., Kurokawa, H., Miyawaki, A., Hasegawa, K.
On-site monitoring of postoperative bile leakage using bilirubin-inducible fluorescent protein.
World J. Surg., 2020. 44(12): 4245-4253
6. Matsuki, R., Ishizawa, T., Saiura, A.
Applications of a laparoscopic fluorescence imaging system during open hepatectomy: Tumor/ and segment identification, cholangiography, and angiography.
Asian J. Endosc. Surg., 2020. 13(2): 256-258
7. Mise, Y., Hasegawa, K., Saiura, A., Oba, M., Yamamoto, J., Nomura, Y., Takayama, T., Hashiguchi, Y., Shibasaki, M., Sakamoto, H., Yamagata, S., Aoyanagi, N., Kaneko, H., Koyama, H., Miyagawa, S., Shinozaki, E., Yoshida, S., Nozawa, H., Kokudo, N.
A multicenter phase 2 trial to evaluate the efficacy of mFOLFOX6 + cetuximab as induction chemotherapy to achieve R0 surgical resection for advanced colorectal liver metastases (NEXTO Trial).
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(11): 4188-4195
8. Miyashita, M., Ono, Y., Takamatsu, M., Inoue, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Repeat hepatectomy for liver metastases from bile duct neuroendocrine tumor: A case report.
Surg. Case Rep., 2020. 6(1): 204
9. Naito, K., Shigematsu, Y., Fujiwara, Y., Inamura, K., Togashi, Y., Inoue, Y., Takazawa, Y., Kanda, H., Matsueda, K.

Identification of a specific ultrasonographic finding for differentiating hepatic angiomyolipoma from hepatocellular carcinoma. *Clin. Imag.*, 2020. 59(2): 104-108

10. Oba, A., Stoop, T. F., Löhr, M., Hackert, T., Zyromski, N., Nealon, W. H., Unno, M., Schulick, R. D., Al-Musawi, M. H., Wu, W., Zhao, Y., Satoi, S., Wolfgang, C. L., Hilal, M. A., Besselink, M. G., Del Chiaro, M.
Global survey on pancreatic surgery during the COVID-19 pandemic.
Ann. Surg., 2020. 272(2): e87-e93
11. Oba, A., Ho, F., Bao, Q. R., Al-Musawi, M. H., Schulick, R. D., Chiaro, M. D.
Neoadjuvant treatment in pancreatic cancer.
Front. Oncol., 2020. 10: 245
12. Oba, A., Croce, C., Hosokawa, P., Meguid, C., Torphy, R. J., Al-Musawi, M. H., Ahrendt, S., Gleisner, A., Schulick, R. D., Del Chiaro, M.
Prognosis based definition of resectability in pancreatic cancer: A road map to new guidelines.
Ann. Surg., 2020: in press
13. Oba, A., Inoue, Y., Ono, Y., Irie, S., Sato, T., Mise, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Radiologically occult metastatic pancreatic cancer: How can we avoid unbeneficial resection?
Langenbecks Arch. Surg., 2020. 405(1): 35-41
14. Oba, A., Ito, H., Ono, Y., Sato, T., Mise, Y., Inoue, Y., Takahashi, Y., Saiura, A.
Regional pancreatoduodenectomy versus standard pancreatoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic ductal adenocarcinoma with portal vein invasion.
BJS Open, 2020. 4(3): 438-448
15. Oba, A., Bao, Q. R., Barnett, C. C., Al-Musawi, M. H., Croce, C., Schulick, R. D., Del

Chiaro, M.

Vascular resections for pancreatic ductal adenocarcinoma: Vascular resections for PDAC.

Scand. J. Surg., 2020. 109(1): 18-28

16. Ohtsuka, T., Nagakawa, Y., Toyama, H., Takeda, Y., Maeda, A., Kumamoto, Y., Nakamura, Y., Hashida, K., Honda, G., Fukuzawa, K., Toyoda, E., Tanabe, M., Gotohda, N., Matsumoto, I., Ryu, T., Uyama, I., Kojima, T., Unno, M., Ichikawa, D., Inoue, Y., Matsukawa, H., Sudo, T., Takaori, K., Yamaue, H., Eguchi, S., Tahara, M., Shinzeki, M., Eguchi, H., Kurata, M., Morimoto, M., Hayashi, H., Marubashi, S., Inomata, M., Kimura, K., Amaya, K., Sho, M., Yoshida, R., Murata, A., Yoshitomi, H., Hakamada, K., Yasunaga, M., Abe, N., Hioki, M., Tsuchiya, M., Misawa, T., Seyama, Y., Noshiro, H., Sakamoto, E., Hasegawa, K., Kawabata, Y., Uchida, Y., Kameyama, S., Ko, S., Takao, T., Kitahara, K., Nakahira, S., Baba, H., Watanabe, M., Yamamoto, M., Nakamura, M.
A multicenter prospective registration study on laparoscopic pancreatectomy in Japan: Report on the assessment of 1,429 patients.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2020. 27(2): 47-55
17. Sakamoto, Y., Yoshio, S., Doi, H., Kawai, H., Shimagaki, T., Mori, T., Matsuda, M., Aoki, Y., Osawa, Y., Yoshida, Y., Arai, T., Itokawa, N., Ito, T., Seko, Y., Yamaguchi, K., Itoh, Y., Mise, Y., Saiura, A., Taketomi, A., Kanto, T.
Serum soluble sialic acid-binding immunoglobulin-like lectin-7 concentration as an indicator of liver macrophage activation and advanced fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease.
Hepatol. Res., 2020. 50(4): 466-477
18. Sasaki, T., Mie, T., Takeda, T., Nakagawa, S., Ono, Y., Takahashi, Y., Sasahira, N.
Percutaneous insertion of a jejunal tube via the collapsed blind end of elevated jejunum

- by a balloon puncturing method assisted by a balloon enteroscope.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2020. 27(9): 663-664
19. Schulick, R. D., Oba, A., Del Chiaro, M.
Response to the comment on "Prognosis-based definition of resectability in pancreatic cancer: A road map to new guidelines" .
Ann. Surg., 2020: in press
 20. Takahashi, Y., Ito, H., Inoue, Y., Mise, Y., Ono, Y., Sato, T., Saiura, A.
Preoperative biliary drainage for patients with perihilar bile duct malignancy.
J. Gastrointest. Surg., 2020. 24(7): 1630-1638
 21. Takeda, T., Sasaki, T., Inoue, Y., Mie, T., Furukawa, T., Kanata, R., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Takahashi, Y., Saiura, A., Sasahira, N.
Comprehensive comparison of clinicopathological characteristics, treatment, and prognosis of borderline resectable pancreatic cancer according to tumor location.
Pancreatology, 2020. 20(6): 1123-1130
 22. Takeda, Y., Saiura, A., Takahashi, Y., Inoue, Y., Mise, Y., Ito, H.
Conservative drain management increases the incidence of grade B postoperative pancreatic fistula without increasing serious complications: Does persistent drainage reflect the quality of pancreatic surgery or institutional policy?
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2020. 27(12): 1011-1018
 23. Takeda, Y., Saiura, A., Inoue, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Ito, H.
Early fistulography can predict whether biochemical leakage develops to clinically relevant postoperative pancreatic fistula.
World J. Surg., 2020. 44(4): 1252-1259
 24. Tanaka, M., Inoue, Y., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Muto, M., Kawakatsu, S., Ono, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Saiura, A.
Three-dimensional fixation: Pathological protocol following pancreaticoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic cancer.
J. Gastrointest. Surg., 2020. 24(3): 619-626
 25. Tashiro, K., Kuroki, N., Einama, T., Iwasaki, T., Miyata, Y., Aosasa, S., Inoue, Y., Takahashi, Y., Ogata, S., Ueno, H., Hase, K., Yamamoto, J., Kishi, Y.
Prognostic significance of regional lymph node metastasis according to station in ampullary carcinoma.
J. Hepatobiliary Pancreat. Sci., 2020. 27(10): 712-720
 26. Ueno, H., Konishi, T., Ishikawa, Y., Shimazaki, H., Ueno, M., Aosasa, S., Saiura, A., Shinto, E., Kajiwarra, Y., Mochizuki, S., Nakamura, T., Yamamoto, J.
Primary tumor histology affects oncological outcomes independently of the anatomical extent of disease in colorectal liver metastasis.
JAM Journal, 2020. 3(3): 240-250
 27. Watanabe, G., Mise, Y., Ito, H., Inoue, Y., Ishizawa, T., Takahashi, Y., Saiura, A.
Repeat hepatectomy for early recurrence of colorectal liver metastases-prognostic impacts assessed from the recurrence pattern.
World J. Surg., 2020. 44(1): 268-276
 28. Wu, Y. H. A., Samuels, J. M., Harnke, B., Negrini, D., Al-Musawi, M. H., Meguid, C., Ahrendt, S., Schulick, R. D., Del Chiaro, M., Oba, A.
Multifocal/diffuse pancreatic serous cystic neoplasms: Systematic review with a new case.
Pancreatology, 2020. 20(5): 902-909

29. Yoshimizu, S., Kawachi, H., Yamamoto, Y., Nakano, K., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ito, H., Fujisaki, J.
Clinicopathological features and risk factors for lymph node metastasis in early-stage non-ampullary duodenal adenocarcinoma. J. Gastroenterol., 2020. 55(8): 754-762
30. 中川茂樹, 高木久美, 高橋祐
最新の周術期リハビリテーション・栄養管理: 胆管癌における周術期栄養管理およびリハビリテーション.
消化器外科, 2020. 43(2): 199-205
31. 井上陽介, 高橋祐
なぜ手術記録が大切なのか? 肝胆膵外科における手術記事の意義.
日本消化器外科学会雑誌, 2020. 53(10): 835-843
32. 井上陽介, 高橋祐
膵癌治療の最前線: 膵癌手術における上腸間膜動脈周囲の処理.
外科, 2020. 82(9): 941-948
33. 新垣碧, 高橋祐
術前・術後管理必携 2020: 術前検査: 肝機能検査.
消化器外科, 2020. 43(5): 565-568
34. 牛田雄太, 井上陽介, 笹平直樹, 中川茂樹, 三重堯文, 高橋祐
肝胆膵外科における Conversion Surgery: 切除不能膵癌に対する Conversion Surgery: 集学的治療の当院成績.
手術, 2020. 74(10): 1461-1469
35. 牛田雄太, 井上陽介, 宮下真美子, 大庭篤志, 小野嘉大, 佐藤崇文, 伊藤寛倫, 高橋祐
膵癌診療ガイドライン改訂を外科医はこう読み解く: デイバート & ディスカッション: デイバート: 腹腔洗浄細胞診陽性膵癌に対して: 切除を行う vs 行わない: 「切除を行う」の立場から.
臨床外科, 2020. 75(6): 669-674
36. 谷口孝伸, 佐々木隆, 武田剛志, 古川貴光, 三重堯文, 澤田雅志, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 井上陽介, 高橋祐, 高松学, 高澤豊, 笹平直樹
当院で MCN として診療した 46 例の検討: MCN 疑い病変の経過観察は可能か.
膵臓, 2020. 35(2): 201-212
37. 高橋祐, 江畑智希
膵頭十二指腸切除における各種アプローチの利点・欠点: artery-first approach は術中出血量を減らし、根治度を上げる.
日本医事新報, 2020(5027): 51-53
38. 黒木直美, 高橋祐
膵胆管合流異常症を伴った肝門部領域胆管癌術後膵液瘻に対し ENPD 留置が有効であった 1 例.
胆道, 2020. 34(2): 200-204
39. 黒木直美, 井上陽介, 野村亮介, 高橋祐
膵頭部黄色肉芽腫性炎症性腫瘍の 1 切除例と既報のまとめ.
膵臓, 2020. 35(6): 607-614

【乳腺内科】

1. Hirai, T., Nemoto, A., Ito, Y., Matsuura, M.
Meta-analyses on progression-free survival as a surrogate endpoint for overall survival in triple-negative breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2020. 181(1): 189-198
2. Hosonaga, M., Saya, H., Arima, Y.
Molecular and cellular mechanisms underlying brain metastasis of breast cancer.
Cancer Metastasis Rev., 2020. 39(3): 711-720
3. Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ito, Y., Ueno, T., Iwase, T., Ohno, S.
Survival in cytologically proven node-positive breast cancer patients with nodal pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy.
Cancers (Basel), 2020. 12(9): E2633

4. Iwamoto, T., Hara, F., Uemura, Y., Mukai, H., Watanabe, T., Ohashi, Y.
NSAS-BC02 substudy of chemotherapy-induced amenorrhea (CIA) in premenopausal patients who received either taxane alone or doxorubicin(A) cyclophosphamide(C) followed by taxane as postoperative chemotherapy.
Breast Cancer Res. Treat., 2020. 182(2): 325-332
5. Kawaguchi, H., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ito, Y., Ohtani, S., Sato, N., Saji, S., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, H., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.
Factors associated with prolonged overall survival in patients with postmenopausal estrogen receptor-positive advanced breast cancer using real-world data: a follow-up analysis of the JBCRG-C06 Safari study.
Breast Cancer, 2020. 27(3): 389-398
6. Masuda, N., Ohtani, S., Takano, T., Inoue, K., Suzuki, E., Nakamura, R., Bando, H., Ito, Y., Ishida, K., Yamanaka, T., Kuroi, K., Yasojima, H., Kasai, H., Takasuka, T., Sakurai, T., Kataoka, T. R., Morita, S., Ohno, S., Toi, M.
A randomized, 3-arm, neoadjuvant, phase 2 study comparing docetaxel + carboplatin + trastuzumab + pertuzumab (TCbHP), TCbHP followed by trastuzumab emtansine and pertuzumab (T-DM1+P), and T-DM1+P in HER2-positive primary breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2020. 180(1): 135-146
7. Modi, S., Saura, C., Yamashita, T., Park, Y. H., Kim, S. B., Tamura, K., Andre, F., Iwata, H., Ito, Y., Tsurutani, J., Sohn, J., Denduluri, N., Perrin, C., Aogi, K., Tokunaga, E., Im, S. A., Lee, K. S., Hurvitz, S. A., Cortes, J., Lee, C., Chen, S., Zhang, L., Shahidi, J., Yver, A., Krop, I.
Trastuzumab deruxtecan in previously treated HER2-positive breast cancer.
N. Engl. J. Med., 2020. 382(7): 610-621
8. Naito, Y., Kai, Y., Ishikawa, T., Fujita, T., Uehara, K., Doihara, H., Tokunaga, S., Shimokawa, M., Ito, Y., Saeki, T.
Chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with breast cancer: a prospective cohort study.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 122-128
9. Sawaki, M., Taira, N., Uemura, Y., Saito, T., Baba, S., Kobayashi, K., Kawashima, H., Tsuneizumi, M., Sagawa, N., Bando, H., Takahashi, M., Yamaguchi, M., Takashima, T., Nakayama, T., Kashiwaba, M., Mizuno, T., Yamamoto, Y., Iwata, H., Kawahara, T., Ohashi, Y., Mukai, H.
Randomized controlled trial of trastuzumab with or without chemotherapy for HER2-positive early breast cancer in older patients.
J. Clin. Oncol., 2020. 38(32): 3743-3752
10. Shibayama, T., Low, S. K., Ono, M., Kobayashi, T., Kobayashi, K., Fukada, I., Ito, Y., Ueno, T., Ohno, S., Nakamura, Y., Takahashi, S.
Clinical significance of gene mutation in ctDNA analysis for hormone receptor-positive metastatic breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2020. 180(2): 331-341
11. Shimoi, T., Sagara, Y., Hara, F., Toyama, T., Iwata, H.
First-line endocrine therapy for postmenopausal patients with hormone receptor-positive, HER2-negative metastatic breast cancer: a systematic review and meta-analysis.
Breast Cancer, 2020. 27(3): 340-346
12. Shimoi, T., Nagai, S. E., Yoshinami, T., Takahashi, M., Arioka, H., Ishihara, M., Kikawa, Y., Koizumi, K., Kondo, N., Sagara, Y.,

- Takada, M., Takano, T., Tsurutani, J., Naito, Y., Nakamura, R., Hattori, M., Hara, F., Hayashi, N., Mizuno, T., Miyashita, M., Yamashita, N., Yamanaka, T., Saji, S., Iwata, H., Toyama, T.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of breast cancer, 2018 edition.
Breast Cancer, 2020. 27(3): 322-331
13. Takano, T.
The era of meta-analyses-based recommendations: how were the Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of breast cancer established?
Breast Cancer, 2020. 27(3): 332-333
 14. Tsuda, M., Ishiguro, H., Toriguchi, N., Masuda, N., Bando, H., Ohgami, M., Homma, M., Morita, S., Yamamoto, N., Kuroi, K., Yanagita, Y., Takano, T., Shimizu, S., Toi, M.
Overnight fasting before lapatinib administration to breast cancer patients leads to reduced toxicity compared with nighttime dosing: a retrospective cohort study from a randomized clinical trial.
Cancer Med., 2020. 9(24): 9246-9255
 15. Tsurutani, J., Hara, F., Kitada, M., Takahashi, M., Kikawa, Y., Kato, H., Sakata, E., Naito, Y., Hasegawa, Y., Saito, T., Iwasa, T., Taira, N., Takashima, T., Kashiwabara, K., Aihara, T., Mukai, H.
Randomized phase II study to determine the optimal dose of 3-week cycle nab-paclitaxel in patients with metastatic breast cancer.
Breast, 2020. 55: 63-68
 16. Yamashita, T., Masuda, N., Saji, S., Araki, K., Ito, Y., Takano, T., Takahashi, M., Tsurutani, J., Koizumi, K., Kitada, M., Kojima, Y., Sagara, Y., Tada, H., Iwasa, T., Kadoya, T., Iwatani, T., Hasegawa, H., Morita, S., Ohno, S.
Trastuzumab, pertuzumab, and eribulin mesylate versus trastuzumab, pertuzumab, and a taxane as a first-line or second-line treatment for HER2-positive, locally advanced or metastatic breast cancer: study protocol for a randomized controlled, non-inferiority, phase III trial in Japan (JB-CRG-M06/EMERALD).
Trials, 2020. 21(1): 391
 17. Yap, Y. S., Chiu, J., Ito, Y., Ishikawa, T., Aruga, T., Kim, S. J., Toyama, T., Saeki, T., Saito, M., Gounaris, I., Su, F., Ji, Y., Han, Y., Gazdaru, M., Masuda, N.
Ribociclib, a CDK 4/6 inhibitor, plus endocrine therapy in Asian women with advanced breast cancer.
Cancer Sci., 2020. 111(9): 3313-3326
 18. Yokokawa, T., Suzuki, K., Sugisaki, T., Kobayashi, K., Shouji, D., Watanabe, H., Kawakami, K., Takiguchi, T., Aoyama, T., Kobayashi, K., Takahashi, S., Ito, Y., Ohno, S., Hama, T.
Impact of primary pegfilgrastim prophylaxis on relative dose intensity in neoadjuvant/ adjuvant FEC-100 chemotherapy.
Anticancer Res., 2020. 40(2): 915-921
 19. 原文堅, 大野真司
ゲノム医療と分子標的治療の最新情報: 分子標的治療の実践 (がん): 乳がん.
臨床と研究, 2020. 97(4): 402-406
 20. 友松拓哉, 平出誠, 青山剛, 鈴木賢一, 伊藤良則, 濱敏弘
乳癌周術期化学療法で制吐薬として使用するオランザピンの血糖値に与える影響.
癌と化学療法, 2020. 47(10): 1471-1475
 21. 尾崎由記範, 高野利実
日本の乳がん臨床研究・新治療開発の現状と展望: 乳がんに対する新しい治療法の開発: 免疫チェックポイント阻害薬.
腫瘍内科, 2020. 26(2): 147-156

22. 深田一平
骨転移をともなう乳癌の臨床 .
臨床画像, 2020. 36(8): 911-917

【乳腺外科】

1. Bando, H., Kataoka, A., Tamaki, K., Kobayashi, M., Tamura, N., Ozawa, M., Kawano, J., Fukatsu, Y., Kitano, A., Shiota, K., Yamauchi, H.
Physician's knowledge, attitudes and practice pattern for breast cancer diagnosed during pregnancy: a survey among breast care specialists in Japan.
Breast Cancer, 2020. 27(5): 796-802
2. Fujiwara, Y., Sato, Y., Wang, X., Oikado, K., Sato, Y., Fukuda, N., Enokida, T., Takeda, K., Ohkushi, D., Hayama, B., Egi, Y., Tokai, Y., Yamada, Y., Nakajima, Y., Kubota, M., Haruki, S., Shimizu, T., Uchida, Y., Utsugi, K., Ito, Y., Ohno, S., Takahashi, S., Tsuchida, T.
Screening for COVID-19 in symptomatic cancer patients in a cancer hospital.
Cancer Cell, 2020. 38(5): 609-610
3. Fukuoka, M., Ueno, T., Yoshida, K., Kikuchi, M., Takeuchi, K., Ohno, S.
Breast Castleman disease.
Breast J., 2020. 26(9): 1855-1856
4. Horii, R., Tsuda, H., Masuda, S., Sugita, H., Togashi, K., Ohno, S., Akiyama, F.
Performance analysis of the anti-Ki67 antibody clone 30-9 for immunohistochemical staining of breast cancer.
Breast Cancer, 2020. 27(6): 1058-1064
5. Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ito, Y., Ueno, T., Iwase, T., Ohno, S.
Clinicopathological features of breast cancer patients with internal mammary and/or supraclavicular lymph node recurrence without distant metastasis.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 932
6. Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ito, Y., Ueno, T., Iwase, T., Ohno, S.
Survival in cytologically proven node-positive breast cancer patients with nodal pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy.
Cancers (Basel), 2020. 12(9): E2633
7. Inokuchi, M., Kutomi, G., Kijima, Y., Sakai, T., Sawaki, M., Shien, T., Hanamura, N., Yano, K., Wada, N., Saji, S., Iwata, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guidelines for surgical treatment of breast cancer, 2018 edition.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 4-8
8. Ishiguro, H., Masuda, N., Sato, N., Higaki, K., Morimoto, T., Yanagita, Y., Mizutani, M., Ohtani, S., Kaneko, K., Fujisawa, T., Takahashi, M., Kadoya, T., Matsunami, N., Yamamoto, Y., Ohno, S., Takano, T., Morita, S., Tanaka-Mizuno, S., Toi, M.
A randomized study comparing docetaxel/cyclophosphamide (TC), 5-fluorouracil/epirubicin/cyclophosphamide (FEC) followed by TC, and TC followed by FEC for patients with hormone receptor-positive HER2-negative primary breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2020. 180(3): 715-724
9. Izumori, A., Kokubu, Y., Sato, K., Gomi, N., Morizono, H., Sakai, T., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
Usefulness of second-look ultrasonography using anatomical breast structures as indicators for magnetic resonance imaging-detected breast abnormalities.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 129-139
10. Kaneyasu, T., Mori, S., Yamauchi, H., Ohsu, S., Ohno, S., Aoki, D., Baba, S., Kawano, J., Miki, Y., Matsumoto, N., Nagasaki, M., Yoshida, R., Akashi-Tanaka, S., Iwase, T., Kitagawa, D., Masuda, K., Hirasawa, A.,

- Arai, M., Takei, J., Ide, Y., Gotoh, O., Yaguchi, N., Nishi, M., Kaneko, K., Matsuyama, Y., Okawa, M., Suzuki, M., Nezu, A., Yokoyama, S., Amino, S., Inuzuka, M., Noda, T., Nakamura, S.
Prevalence of disease-causing genes in Japanese patients with BRCA1/2-wildtype hereditary breast and ovarian cancer syndrome.
NPJ Breast Cancer, 2020. 6: 25
11. Kawaguchi, H., Masuda, N., Nakayama, T., Aogi, K., Anan, K., Ito, Y., Ohtani, S., Sato, N., Saji, S., Takano, T., Tokunaga, E., Nakamura, S., Hasegawa, Y., Hattori, M., Fujisawa, T., Morita, S., Yamaguchi, M., Yamashita, H., Yamashita, T., Yamamoto, Y., Yotsumoto, D., Toi, M., Ohno, S.
Factors associated with prolonged overall survival in patients with postmenopausal estrogen receptor-positive advanced breast cancer using real-world data: a follow-up analysis of the JBCRG-C06 Safari study.
Breast Cancer, 2020. 27(3): 389-398
 12. Lin, C. H., Yap, Y. S., Lee, K. H., Yeo, W., Ueno, T., Li, H., Huang, S. M., Lu, Y. S.
Response to Sung, Rosenberg, and Yang.
J. Natl. Cancer Inst., 2020. 112(5): 547-548
 13. Luangxay, T., Osako, T., Yonekura, R., Sugiyama, Y., Kikuchi, M., Gomi, N., Ueno, T., Ohno, S., Machinami, R., Takeuchi, K., Akiyama, F.
Giant cell tumor of soft tissue of the breast: Case report with H3F3A mutation analysis and review of the literature.
Pathol. Res. Pract., 2020. 216(2): 152750
 14. Masuda, T., Noda, M., Kitagawa, A., Hu, Q., Fujii, A., Ito, S., Kosai, K., Ando, Y., Matsumoto, Y., Ohtsu, H., Uchida, H., Ohno, S., Mimori, K.
The expression level of PD-L1 (CD274) mRNA in peripheral blood is a potential biomarker for predicting recurrence in breast cancer.
Anticancer Res., 2020. 40(7): 3733-3742
 15. Masuda, T., Ueo, H., Kai, Y., Noda, M., Hu, Q., Sato, K., Fujii, A., Hayashi, N., Tsuruda, Y., Otsu, H., Kuroda, Y., Eguchi, H., Ohno, S., Mimori, K., Ueo, H.
N-cadherin mRNA levels in peripheral blood could be a potential indicator of new metastases in breast cancer: A pilot study.
Int. J. Mol. Sci., 2020. 21(2): E511
 16. Masuda, T., Noda, M., Kogawa, T., Kitagawa, D., Hayashi, N., Jomori, T., Nakanishi, Y., Nakayama, K. I., Ohno, S., Mimori, K.
Phase I dose-escalation trial to repurpose propagermanium, an oral CCL2 Inhibitor, in patients with breast cancer.
Cancer Sci., 2020. 111(3): 924-931
 17. Masuda, N., Ohtani, S., Takano, T., Inoue, K., Suzuki, E., Nakamura, R., Bando, H., Ito, Y., Ishida, K., Yamanaka, T., Kuroi, K., Yasojima, H., Kasai, H., Takasuka, T., Sakurai, T., Kataoka, T. R., Morita, S., Ohno, S., Toi, M.
A randomized, 3-arm, neoadjuvant, phase 2 study comparing docetaxel + carboplatin + trastuzumab + pertuzumab (TCbHP), TCbHP followed by trastuzumab emtansine and pertuzumab (T-DM1+P), and T-DM1+P in HER2-positive primary breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2020. 180(1): 135-146
 18. Nakajima, E., Iwase, T., Miyagi, Y., Fujita, T., Ikeda, N., Ishikawa, T., Iwata, H.
Association of parity and infant feeding method with breast density on mammography.
Acad. Radiol., 2020. 27(2): e24-e26
 19. O' Shaughnessy, J., Cortes, J., Twelves, C., Goldstein, L. J., Alexis, K., Xie, R., Barrios, C., Ueno, T.

- Efficacy of eribulin for metastatic breast cancer based on localization of specific secondary metastases: a post hoc analysis. *Sci. Rep.*, 2020. 10(1): 11203
20. Ohishi, Y., Mitsuda, A., Ejima, K., Morizono, H., Yano, T., Yokoyama, M., Takeuchi, K., Fujiwara, M., Nemoto, T., Minabe, T.
Breast implant-associated anaplastic large-cell lymphoma: first case detected in a Japanese breast cancer patient. *Breast Cancer*, 2020. 27(3): 499-504
 21. Okamoto, M., Tajiri, W., Ueo, H., Masuda, T., Ijichi, H., Koga, C., Nakamura, Y., Taguchi, K., Ohno, S., Tokunaga, E.
Efficacy of adjuvant combination therapy with trastuzumab and chemotherapy in HER2-positive early breast cancer: A single institutional cohort study from clinical practice. *Anticancer Res.*, 2020. 40(6): 3315-3323
 22. Rubio, I. T., Kontos, M., Vrancken-Peeters, M., Rouzier, R., Skandarajah, A. R., Galimberti, V., Kroman, N., Caballero, C., Ohno, S.
Missed opportunities and challenges for surgical breast cancer research in the era of personalized cancer treatment. *Eur. J. Surg. Oncol.*, 2020. 46(4ptA): 501-503
 23. Sakai, T., Ueno, T.
Local management after neoadjuvant treatment for breast cancer. *Chin. Clin. Oncol.*, 2020. 9(2): 34
 24. Shibayama, T., Low, S. K., Ono, M., Kobayashi, T., Kobayashi, K., Fukada, I., Ito, Y., Ueno, T., Ohno, S., Nakamura, Y., Takahashi, S.
Clinical significance of gene mutation in ctDNA analysis for hormone receptor-positive metastatic breast cancer. *Breast Cancer Res. Treat.*, 2020. 180(2): 331-341
 25. Suzuki, R., Yoshida, M., Oguchi, M., Yoshio-ka, Y., Tokumatsu, K., Osako, T., Ohno, S., Ueno, T., Miyagi, Y.
Efficacy of radiation boost after breast-conserving surgery for breast cancer with focally positive, tumor-exposed margin. *J. Radiat. Res.*, 2020. 61(3): 440-446
 26. Tokunaga, E., Ijichi, H., Tajiri, W., Masuda, T., Takizawa, K., Ueo, H., Koga, C., Tanaka, J., Nakamura, Y., Ohno, S., Taguchi, K., Okamoto, M.
The comparison of the anatomic stage and pathological prognostic stage according to the AJCC 8th edition for the prognosis in Japanese breast cancer patients: data from a single institution. *Breast Cancer*, 2020. 27(6): 1137-1146
 27. Ueno, T.
Biomarkers of neoadjuvant/adjuvant endocrine therapy for ER-positive/HER2-negative breast cancer. *Chin. Clin. Oncol.*, 2020. 9(2): 35
 28. Ueno, T., Masuda, N., Sato, N., Ohtani, S., Yamamura, J., Matsunami, N., Kashiwaba, M., Takano, T., Takahashi, M., Kaneko, K., Ohno, S., Morita, S., Toi, M.
Multicenter study of primary systemic therapy with docetaxel, cyclophosphamide and trastuzumab for HER2-positive operable breast cancer: the JBCRG-10 study. *Jpn. J. Clin. Oncol.*, 2020. 50(1): 3-11
 29. Yamamoto, Y., Ueno, T.
Focused issue "Neoadjuvant/adjuvant treatment for early breast cancer" . *Chin. Clin. Oncol.*, 2020. 9(2): 26
 30. Yamashiro, H., Iwata, H., Masuda, N., Yamamoto, N., Nishimura, R., Ohtani, S., Sato, N., Takahashi, M., Kamio, T., Yamazaki, K., Saito, T., Kato, M., Lee, T., Kuroi, K., Takano, T., Yasuno, S., Morita, S., Ohno, S., Toi, M.

Outcomes of trastuzumab therapy in HER2-positive early breast cancer patients: extended follow-up of JBCRG-cohort study 01.

Breast Cancer, 2020. 27(4): 631-641

31. Yamashita, T., Masuda, N., Saji, S., Araki, K., Ito, Y., Takano, T., Takahashi, M., Tsurutani, J., Koizumi, K., Kitada, M., Kojima, Y., Sagara, Y., Tada, H., Iwasa, T., Kadoya, T., Iwatani, T., Hasegawa, H., Morita, S., Ohno, S.

Trastuzumab, pertuzumab, and eribulin mesylate versus trastuzumab, pertuzumab, and a taxane as a first-line or second-line treatment for HER2-positive, locally advanced or metastatic breast cancer: study protocol for a randomized controlled, non-inferiority, phase III trial in Japan (JBCRG-M06/EMERALD).

Trials, 2020. 21(1): 391

32. 中島絵里, 上野貴之, 大野真司
HBOCにおける乳房予防切除: RRM の実際: 保険適用以前とこれから.
乳癌の臨床, 2020. 35(5): 339-346

33. 多田真奈美, 稲荷均, 片岡明美, 堀井理絵, 上野貴之, 秋山太, 大野真司
乳房部分切除後 11 年で乳頭部 Paget 型再発と対側腋窩リンパ節転移をきたした非浸潤性乳管癌の 1 例.
乳癌の臨床, 2020. 35(2): 131-135

34. 大野真司
日本の乳がん臨床研究・新治療開発の現状と展望: JBCRG の現状と展望.
腫瘍内科, 2020. 26(2): 123-130

35. 森園英智, 大野真司
癌・腫瘍学: 乳房インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫 (BIA-ALCL).
医学のあゆみ, 2020. 273(8): 660-661

36. 武田美鈴, 片岡明美, 大野真司
Ⅲ乳がん: 外科治療.

高齢者がん Q&A (日本がんサポーターズケア学会編集), 東京, 金原出版: 2020

37. 片岡明美, 阿部朋未, 大野真司
第 2 章 妊孕性温存を考慮すべき疾患 08 乳がん患者の現況: 治療の進歩.
がん・生殖医療: 妊孕性温存の診療 (鈴木直他編集), 東京, 医歯薬出版: 2020

【婦人科】

1. Aoki, Y., Kanao, H., Wang, X., Yunokawa, M., Omatsu, K., Fusegi, A., Takeshima, N.
Adjuvant treatment of endometrial cancer today.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2020. 50(7): 753-765
2. Chang, E. J., Mandelbaum, R. S., Nusbaum, D. J., Violette, C. J., Matsushima, K., Klar, M., Matsuzaki, S., Machida, H., Kanao, H., Roman, L. D., Matsuo, K.
Vesico-ureteral injury during benign hysterectomy: minimally-invasive laparoscopic surgery versus laparotomy.
J. Minim. Invasive Gynecol., 2020. 127(6): 1354-1362
3. Chikazawa, K., Netsu, S., Imai, K., Ishiguro, A., Kimura, A., Wang, L., Kuwata, T., Konno, R.
Nedaplatin use in patients with hypersensitivity reaction episodes to carboplatin.
Taiwan J. Obstet. Gynecol., 2020. 59(4): 546-550
4. Chikazawa, K., Kanao, H., Wang, L., Kuwata, T., Konno, R.
Taking care of vesicohypogastric fascia: Enveloping bladder, uterine vessels, and ureter for safe laparoscopic hysterectomy.
Taiwan J. Obstet. Gynecol., 2020. 59(2): 348-349
5. Kanao, H., Omi, M., Takeshima, N.
Laparoscopic mesh repair for perineal hernia after en bloc resection of an aggressive angiomyxoma using a modified sacral-colpopexy technique.

- J. Minim. Invasive Gynecol., 2020. 27(6): 1258-1259
6. Kanao, H., Kanno, M., Takeshima, N.
Laparoscopic ureteral reimplantation for the management of long-segment ureteral defect in gynecologic surgeries.
J. Minim. Invasive Gynecol., 2020. 27(7): 1476-1477
 7. Kanao, H., Aoki, Y., Fusegi, A., Takeshima, N.
Should indications for laterally extended endopelvic resection (LEER) exclude patients with sciatica?
J. Gynecol. Oncol., 2020. 31(5): e63
 8. Kanao, H., Omi, M., Takeshima, N.
Step-by-step demonstration of laparoscopic laterally extended endopelvic resection for a recurrent endometrial cancerous tumor at a sciatic foramen, with a detailed explanation of the pelvic sidewall anatomy.
Gynecol. Oncol., 2020. 156(1): 260-261
 9. Kato, M. K., Yunokawa, M., Bun, S., Shimoi, T., Yonemori, K., Miyasaka, N., Kato, T., Tamura, K.
Treatment strategies for recurrent ovarian cancer in older adult patients in Japan: a study based on real-world data.
J. Cancer Res. Clin. Oncol., 2020. 146(5): 1335-1341
 10. Nakamura, K., Aimonio, E., Tanishima, S., Nomura, H., Imai, M., Hayashi, H., Nishi-hara, H.
Genetic profiling of patients with adenoid cystic carcinoma of the Bartholin's glands reveals potential new routes for targeted therapies: a case report.
Diagn. Pathol., 2020. 15(1): 64
 11. Nishikimi, K., Tate, S., Kato, K., Matsuoka, A., Shozu, M.
Well-trained gynecologic oncologists can perform bowel resection and upper abdominal surgery safely.
J. Gynecol. Oncol., 2020. 31(1): e3
 12. Nishio, S., Matsumoto, K., Takehara, K., Kawamura, N., Hasegawa, K., Takeshima, N., Aoki, D., Kamiura, S., Arakawa, A., Kon-do, E., Hirakawa, T., Yamamoto, K., Aoki, M., Stein, K., Keefe, S., Fujiwara, K., Ushiji-ma, K.
Pembrolizumab monotherapy in Japanese patients with advanced ovarian cancer: Subgroup analysis from the KEYNOTE-100.
Cancer Sci., 2020. 111(4): 1324-1332
 13. Nomura, H., Tanaka, Y., Omi, M., Netsu, S., Aoki, Y., Tanigawa, T., Kurita, T., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kanao, H., Takeshima, N.
Surgical outcomes of early-stage primary vaginal nonsquamous cell carcinoma.
Int. J. Clin. Oncol., 2020. 25(7): 1412-1417
 14. Omi, M., Tonooka, A., Chiba, T., Tanaka, Y., Fusegi, A., Aoki, Y., Nomura, H., Kanao, H., Takazawa, Y.
Immunohistochemical markers and the clinical course of adenosarcoma: a series of seven cases.
Diagn. Pathol., 2020. 15(1): 119
 15. Omi, M., Kanao, H., Aoki, Y., Okamoto, S., Takeshima, N.
Minimally invasive diagnostic and therapeutic surgery for an intra-abdominal desmoid tumor: A case report.
Gynecol. Oncol. Rep., 2020. 32: 100560
 16. Ota, E., Nomura, H., Omatsu, K., Takaza-wa, Y., Takeshima, N.
A case of endometrial carcinoma pro-gressed during pregnancy resulting in fetal death.
Int. Cancer Conf. J., 2020. 9(3): 159-161

17. Sugiyama, Y., Gotoh, O., Fukui, N., Tanaka, N., Hasumi, K., Takazawa, Y., Noda, T., Mori, S.
Two distinct tumorigenic processes in endometrial endometrioid adenocarcinoma.
Am. J. Pathol., 2020. 190(1): 234-251
18. Tanaka, Y., Shimizu, Y., Ikki, A., Okamoto, K., Fusegi, A., Nakabayashi, M., Omi, M., Kurita, T., Tanigawa, t., Aoki, Y., Netsu, S., Yunokawa, M., Nomura, H., Matoda, M., Okamoto, S., Omatsu, K., Kanao, H.
Laparoscopic ureteral reconstruction in gynaecological recurrent cancer surgeries: An initial case series study.
Eur. J. Gynaecol. Oncol., 2020. 41(6): 975-981
19. Tanigawa, T., Matoda, M., Omi, M., Aoki, Y., Netsu, S., Nomura, H., Okamoto, S., Omatsu, K., Yunokawa, M., Kanao, H., Takeshima, N.
Continuous administration of bevacizumab after disease progression in recurrent ovarian cancer: A retrospective observational study.
Anticancer Res., 2020. 40(9): 5285-5290
20. Yoshihara, K., Enomoto, T., Aoki, D., Watanabe, Y., Kigawa, J., Takeshima, N., Inomata, H., Hattori, K., Jinushi, M., Tsuda, H., Sugiyama, T.
Association of gBRCA1/2 mutation locations with ovarian cancer risk in Japanese patients from the CHARLOTTE study.
Cancer Sci., 2020. 111(9): 3350-3358
21. 中林誠, 野村秀高, 岡本幸太, 田中佑治, 板橋彩, 菅野素子, 一瀬隆行, 尾身牧子, 金尾祐之, 竹島信宏, 杉山裕子, 高澤豊
腹腔鏡下子宮体癌根治術を施行し、術後再発中リスク群で急速に腹膜播種再発をした1例。
東京産科婦人科学会誌, 2020. 69(2): 370-375
22. 宇津木久仁子, 杉山裕子著
外来で行う子宮頸がん・体がん診断：早期発見のポイント。
東京, メジカルビュー社：164pp., 2020
23. 宇津木久仁子
第4章 婦人科がん治療後に生じる諸症状・疾患とその実際 b. セクシュアリティ。
婦人科がんサバイバーのヘルスケアガイドブック（日本婦人科腫瘍学会ほか編）, 東京, 診断と治療社：pp.36-42, 2020
24. 柴田直樹, 川上和宜, 中村匡志, 平出誠, 竹野伸洋, 吉岡秀哲, 鈴木賢一, 温泉川真由, 竹島信宏, 濱敏弘
卵巣がん患者におけるカルボプラチン脱感作療法の使用実態調査。
日本病院薬剤師会雑誌, 2020. 56(8): 918-924
25. 温泉川真由
ウイメンズヘルス：子宮頸癌：予防・検診・治療。
Cancer Board of the Breast, 2020. 6(1): 60-63
26. 温泉川真由
卵巣がんにおけるオラパリブの実際。
新薬と臨床, 2020. 69(2): 195-200
27. 温泉川真由
泌尿器・生殖器がん、希少がん：希少がん：子宮肉腫に対する治療方針。
腫瘍内科, 2020. 26(4): 399-406
28. 温泉川真由
産婦人科処方のすべて 2020：症例に応じた実践マニュアル：婦人科編：腫瘍：抗がん薬副作用対策：悪心・嘔吐。
臨床婦人科産科, 2020. 74(4): 225-227
29. 温泉川真由
産婦人科処方のすべて 2020：症例に応じた実践マニュアル：婦人科編：腫瘍：抗がん薬副作用対策：末梢神経障害。
臨床婦人科産科, 2020. 74(4): 228-229

30. 的田眞紀, 竹島信宏
第3章 子宮頸癌 3. 血管新生阻害薬.
婦人科腫瘍治療アップデート(岡本愛光編),
東京, 中外医学社: 2020
31. 谷川輝美, 的田眞紀, 野村秀高, 岡本三四郎,
金尾祐之, 杉山裕子, 高澤豊, 竹島信宏
多発リンパ節転移を認めた著明な扁平上皮分化
を伴う子宮体部類内膜癌の1例.
日本臨床細胞学会雑誌, 2020. 59(6): 269-
272
32. 野村秀高, 吉田玲子, 喜多瑞穂, 芦原有美, 高
津美月, 竹内抄與子, 田中佑治, 尾身牧子, 根
津幸穂, 栗田智子, 青木洋一, 温泉川真由, 谷
川輝美, 的田眞紀, 岡本三四郎, 尾松公平, 金
尾祐之, 高澤豊, 中島健, 竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌に対するリスク低減卵管卵巣
摘出術で経験したオカルト癌.
遺伝性腫瘍, 2020. 20(3): 136-141
33. 金尾祐之, 竹島信宏
がん研有明病院婦人科最新治療ガイド: 子宮頸
がん・子宮体がん・卵巣がんを診断されたあな
たへ.
東京, 新興医学出版社: 114p., 2020
34. 金尾祐之
婦人科腫瘍における低侵襲手術について: 子宮
頸がんに対する低侵襲手術.
日本産科婦人科学会雑誌, 2020. 72(6): 643-
651
35. 金尾祐之
腹腔鏡手術: 基礎知識.
産婦人科手術のための基礎知識: 開腹腹腔鏡口
ボット(平松祐司担当編集委員), 東京, メジ
カルビュー社: pp.102-117, 2020
2. Fujiwara, Y., Fukuda, N., Ohmoto, A., Na-
kano, K., Ono, M., Taira, S., Torii, J., Taka-
matsu, M., Takahashi, S.
An extragonadal germ cell tumor with der-
matomyositis: A case report and literature
review.
Mol. Clin. Oncol., 2020. 13(5): 60
3. Fukuda, N., Toda, K., Fujiwara, Y. U., Wang,
X., Ohmoto, A., Urasaki, T., Hayashi, N.,
Sato, Y., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono,
M., Tomomatsu, J., Mitani, H., Takahashi, S.
Neutrophil-to-lymphocyte ratio as a prog-
nostic marker for anaplastic thyroid cancer
treated with lenvatinib.
In Vivo, 2020. 34(5): 2859-2864
4. Harada, S., Ohkushi, D., Nakano, K., Mitani,
H., Yamamoto, Y., Kamei, K., Hayama, B.
Fatal invasive pulmonary aspergillosis
caused by voriconazole-resistant *Aspergil-*
lus tubingensis in a patient with solid tu-
mor.
J. Infect. Chemother., 2020. 26(3): 301-
304
5. Koshkina, A., Fazelzad, R., Sugitani, I., Mi-
yauchi, A., Thabane, L., Goldstein, D. P.,
Ghai, S., Sawka, A. M.
Association of patient age with progres-
sion of low-risk papillary thyroid carcinoma
under active surveillance: A systematic re-
view and meta-analysis.
JAMA Otolaryngol. Head Neck Surg., 2020.
146(6): 552-560
6. Nakano, K., Nishizawa, M., Fukuda, N.,
Urasaki, T., Wang, X., Mitani, H., Takahashi,
S.
Mycophenolate mofetil as a successful
treatment of corticosteroid-resistant im-
mune checkpoint inhibitor-induced hepatis.
Oxf. Med. Case Rep., 2020. 2020(4):
omaa027

【頭頸科】

1. Ebina, A., Togashi, Y., Baba, S., Sato, Y.,
Sakata, S., Ishikawa, M., Mitani, H., Takeu-
chi, K., Sugitani, I.
TERT promoter mutation and extent of
thyroidectomy in patients with 1-4 cm in-
trathyroidal papillary carcinoma.
Cancers (Basel), 2020. 12(8): 2115

7. Okamura, A., Watanabe, M., Mitani, H.
ASO author reflections: What is the optimal method of digestive reconstruction following pharyngolaryngectomy with total esophagectomy?
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(Suppl.3): 824-825
8. Onoda, N., Sugitani, I., Ito, K. I., Suzuki, A., Higashiyama, T., Fukumori, T., Suganuma, N., Masudo, K., Nakayama, H., Uno, A., Yane, K., Yoshimoto, S., Ebina, A., Kawasaki, Y., Maeda, S., Iwade, M., Suzuki, S.
Evaluation of the 8th Edition TNM Classification for Anaplastic Thyroid Carcinoma.
Cancers (Basel), 2020. 12(3): 552
9. Saito, Y., Hayashi, R., Iida, Y., Mizumachi, T., Fujii, T., Matsumoto, F., Beppu, T., Yoshida, M., Shinomiya, H., Kamiyama, R., Kitano, M., Yokoshima, K., Fujimoto, Y., Hama, T., Yamashita, T., Okami, K., Miura, K., Fujisawa, T., Sano, D., Kato, H., Minami, S., Sugawara, M., Masuda, M., Ota, I., Iwae, S., Kawata, R., Monden, N., Imai, T., Asakage, T., Okada, M., Yoshikawa, T., Tanioka, K., Kitayama, M., Doi, M., Fujii, S., Fujii, M., Oridate, N., Nakamizo, M., Yoshimoto, S., Homma, A., Nibu, K. I., Yane, K.
Optimization of therapeutic strategy for p16-positive oropharyngeal squamous cell carcinoma: Multi-institutional observational study based on the national head and neck cancer registry of Japan.
Cancer, 2020. 126(18): 4177-4187
10. Sato, Y., Fukuda, N., Wang, X., Urasaki, T., Ohmoto, A., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Sato, Y., Mitani, H., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Efficacy of nivolumab for head and neck cancer patients with primary sites and histological subtypes excluded from the CheckMate-141 trial.
Cancer Manag. Res., 2020. 12: 4161-4168
11. Tamashiro, A., Yoshio, T., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Hijikata, K., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Seto, A., Sasaki, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Artificial-intelligence-based detection of pharyngeal cancer using convolutional neural networks.
Dig. Endosc., 2020. 32(7): 1057-1065
12. 三谷浩樹
カラー術中写真でよくわかる：達人による頭頸部がん拡大切除：喉頭・咽頭手術 下咽頭喉頭全摘術（咽頭頭食道摘出術）.
耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2020. 92(13): 1120-1127
13. 佐野紀代, 福島啓文, 神山亮介, 三谷浩樹
プロヴォックスボイスプロステシス使用患者の術前・術後指導の実際.
頭頸部癌, 2020. 46(4): 322-327
14. 増山敬祐, 福島啓文
新しい声と生きる：がんで失った声をシャント発生で取り戻す.
メディカルレビュー社：207p., 2020
15. 木村幸紀, 三谷浩樹, 米川博之, 福島啓文, 佐々木徹, 新橋渉, 瀬戸陽, 小泉雄, 山本智理子, 荒木和之
pT3・pT4a 筋層浸潤舌扁平上皮癌の臨床病理学的検討.
頭頸部癌, 2020. 46(3): 258-263
16. 神山亮介
気管切開術マニュアル：縦郭気管孔形成術.
JOHNS, 2020. 36(2): 223-226
17. 福島啓文
25 耳鼻咽喉科疾患：私はこうしている：喉頭摘出患者のリハビリテーション.
今日の治療指針 2020 年版(福井次矢, 高木誠, 小室一成総編集), 東京, 医学書院：pp.1630-1631, 2020
18. 福島啓文
外来診療における私の処置：咽喉頭の処置：気管食道シャントの処置.

JOHNS, 2020. 36(7): 917-920

19. 福島啓文

実は知らなかった！ 新たに学ぶ頭頸部再建周術期管理の10の盲点：頭頸部癌再建患者における音声リハビリテーション。

PEPARS, 2020(168): 59-66

20. 鳥居淳一，新橋渉，三谷浩樹，渡邊雅之，今村裕，岡村明彦，瀬戸陽，神山亮介，渡嘉敷邦彦，川端一嘉

放射線治療後の遺残・再発例に対する咽喉頭全摘・食道全摘症例の検討。

日本気管食道科学会会報，2020. 71(4): 297-305

【整形外科】

1. Hayakawa, K., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Okawa, A.

Definitive surgery of primary lesion should be prioritized over preoperative chemotherapy to treat high-grade osteosarcoma in patients aged 41-65 years.

J. Orthop. Traumatol., 2020. 21(1): 13

2. Ichikawa, J., Ando, T., Kawasaki, T., Sasaki, T., Shirai, T., Tsukiji, N., Kimura, Y., Aoki, K., Hayakawa, K., Suzuki-Inoue, K., Saitoh, M., Haro, H.

Role of platelet C-type lectin-like receptor 2 in promoting lung metastasis in osteosarcoma.

J. Bone Miner. Res., 2020. 35(9): 1738-1750

3. Kobayashi, H., Iwata, S., Wakamatsu, T., Hayakawa, K., Yonemoto, T., Wasa, J., Oka, H., Ueda, T., Tanaka, S.

Efficacy and safety of trabectedin for patients with unresectable and relapsed soft-tissue sarcoma in Japan: A Japanese Musculoskeletal Oncology Group study.

Cancer, 2020. 126(6): 1253-1263

4. Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Saito, M.

The extracompartmental tumoral invasion of extraskeletal myxoid chondrosarcoma induces distant metastasis.

Anticancer Res., 2020. 40(2): 1035-1039

5. Minami, Y., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Saito, M., Tsuda, Y.

The role of neoadjuvant chemotherapy in resectable primary synovial sarcoma.

Anticancer Res., 2020. 40(2): 1029-1034

6. Nagano, A., Matsumoto, S., Kawai, A., Okuma, T., Hiraga, H., Matsumoto, Y., Nishida, Y., Yonemoto, T., Hosaka, M., Takahashi, M., Yoshikawa, H., Kunisada, T., Asanuma, K., Naka, N., Emori, M., Kubo, T., Kawashima, H., Kawamoto, T., Yokoyama, R., Tsukushi, S., Sato, K., Okamoto, T., Hiraoka, K., Morioka, H., Tanaka, K., Takagi, T., Iwamoto, Y., Ozaki, T.

Osteosarcoma in patients over 50 years of age: Multi-institutional retrospective analysis of 104 patients.

J. Orthop. Sci., 2020. 25(2): 319-323

7. Nakano, K., Ae, K., Matsumoto, S., Takahashi, S.

The VAC regimen for adult rhabdomyosarcoma: Differences between adolescent/young adult and older patients.

Asia Pac. J. Clin. Oncol., 2020. 16(2): e47-e52

8. Nishida, Y., Hamada, S., Kawai, A., Kunisada, T., Ogose, A., Matsumoto, Y., Ae, K., Toguchida, J., Ozaki, T., Hirakawa, A., Motoi, T., Sakai, T., Kobayashi, E., Gokita, T., Okamoto, T., Matsunobu, T., Shimizu, K., Koike, H.

Risk factors of local recurrence after surgery in extra-abdominal desmoid-type fibromatosis: A multicenter study in Japan.

Cancer Sci., 2020. 111(8): 2935-2942

9. Sasaki, T., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Motoi, N., Matsumoto, S.
Osteosarcoma arising from acetabulum extended to femoral head through round ligament: A case report.
Oxf. Med. Case Rep., 2020. 2020(11): omaa076
10. Shigematsu, Y., Yamashita, K., Takamatsu, M., Tanizawa, T., Togashi, Y., Nakajima, T., Chino, A., Kawachi, H., Takeuchi, K.
Primary intramucosal synovial sarcoma of the sigmoid colon in a patient with a germline mutation in the MSH2 gene: A case report.
Pathol. Int., 2020. 70(12): 1015-1019
11. Sukpanichyingyong, S., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Yamashita, K.
Simultaneous bifocal and asymptomatic intramuscular nodular fasciitis of the thigh: A case report.
Clin. Case Rep., 2020. 8(7): 1213-1216
12. Tanaka, M., Homme, M., Yamazaki, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Subramanian, S., Nakamura, T.
Cooperation between SS18-SSX1 and miR-214 in synovial sarcoma development and progression.
Cancers, 2020. 12(2): 324
13. Teramura, Y., Tanaka, M., Yamazaki, Y., Yamashita, K., Takazawa, Y., Ae, K., Matsumoto, S., Nakayama, T., Kaneko, T., Musha, Y., Nakamura, T.
Identification of novel fusion genes in bone and soft tissue sarcoma and their implication in the generation of a mouse model.
Cancers, 2020. 12(9): E2345
14. 松本誠一, 阿江啓介, 谷澤泰介, 早川景子, 船内雄生
肉腫:基礎・臨床の最新知見:肉腫の外科的治療:切除:骨軟部肉腫の切除縁.
日本臨床, 2020. 78(増刊5 肉腫): 297-302
15. 船内雄生, 佐藤靖祥, 垣見和宏, 高橋俊二, 阿江啓介, 大川淳
腫瘍浸潤 T リンパ球の解析による肉腫における免疫療法の可能性探索.
東日本整形災害外科学会雑誌, 2020. 32(1): 79-82
16. 阿江啓介, 下地尚, 松本誠一
肉腫:基礎・臨床の最新知見:肉腫の外科的治療:切除:浸潤型軟部肉腫.
日本臨床, 2020. 78(増刊5 肉腫): 303-309

【泌尿器科】

1. Bhindi, B., Graham, J., Wells, J. C., Bakouny, Z., Donskov, F., Fraccon, A., Pasini, F., Lee, J. L., Basappa, N. S., Hansen, A., Kollmannsberger, C. K., Kanesvaran, R., Yuasa, T., Ernst, D. S., Srinivas, S., Rini, B. I., Bowman, I., Pal, S. K., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Deferred cytoreductive nephrectomy in patients with newly diagnosed metastatic renal cell carcinoma.
Eur. Urol., 2020. 78(4): 615-623
2. Donskov, F., Xie, W., Overby, A., Wells, J. C., Fraccon, A. P., Sacco, C. S., Porta, C., Stukalin, I., Lee, J. L., Koutsoukos, K., Yuasa, T., Davis, I. D., Pezaro, C., Kanesvaran, R., Bjarnason, G. A., Sim, H. W., Rath, N., Kollmannsberger, C. K., Canil, C. M., Choueiri, T. K., Heng, D. Y. C.
Synchronous versus metachronous metastatic disease: Impact of time to metastasis on patient outcome-results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.
Eur. Urol. Oncol., 2020. 3(4): 530-539
3. Fujiwara, R., Inamura, K., Yuasa, T., Numao, N., Yamamoto, S., Masuda, H., Kawauchi, A., Takeuchi, K., Yonese, J.

Efficacy and safety profile of nivolumab for Japanese patients with metastatic renal cell cancer.

Int. J. Clin. Oncol., 2020. 25(1): 151-157

4. Fujiwara, M., Yuasa, T., Komai, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Efficacy, prognostic factors, and safety profile of enzalutamide for non-metastatic and metastatic castration-resistant prostate cancer: A retrospective single-center analysis in Japan.
Target. Oncol., 2020. 15(5): 635-643
5. Fujiwara, R., Numao, N., Ishikawa, Y., Inoue, T., Ogawa, M., Masuda, H., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Incidence and predictors of deep vein thrombosis in patients with elevated serum D-dimer prior to surgery for urologic malignancy.
Urol. Int., 2020. 104(1-2): 1-6
6. Fujiwara, M., Komai, Y., Yuasa, T., Numao, N., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Pembrolizumab for a patient with metastatic castration - resistant prostate cancer with microsatellite instability - high.
IJU Case Rep., 2020. 3(2): 62-64
7. Fukushima, H., Kijima, T., Fukuda, S., Moriyama, S., Uehara, S., Yasuda, Y., Tanaka, H., Yoshida, S., Yokoyama, M., Matsuoka, Y., Saito, K., Matsubara, N., Numao, N., Sakai, Y., Yuasa, T., Masuda, H., Yonese, J., Kageyama, Y., Fujii, Y.
Impact of radiotherapy to the primary tumor on the efficacy of pembrolizumab in advanced urothelial cancer patients.
Cancer Med., 2020. 9(22): 8355-8363
8. Hinata, N., Yonese, J., Masui, S., Nakai, Y., Shirotake, S., Tatsugami, K., Inamoto, T., Nozawa, M., Ueda, K., Etsunaga, T., Osa-
wa, T., Uemura, M., Kimura, G., Numakura, K., Yamana, K., Miyake, H., Fukasawa, S., Ochi, K., Kaneko, H., Uemura, H.

A multicenter retrospective study of nivolumab monotherapy in previously treated metastatic renal cell carcinoma patients: Interim analysis of Japanese re-
al-world data.

Int. J. Clin. Oncol., 2020. 25(8): 1533-1542

9. Ito, K., Kobayashi, M., Komiyama, M., Naito, S., Nishimura, K., Yonese, J., Hashine, K., Saito, S., Arai, G., Shinohara, M., Masumori, N., Shimizu, N., Satoh, T., Yamauchi, A., Tochigi, T., Takezawa, Y., Fujimoto, H., Yokomizo, A., Kakimoto, K. I., Fukui, I., Karasawa, K., Tsukamoto, T., Nozaki, M., Hasumi, M., Ishiyama, H., Ohtani, M., Kuwahara, M., Harada, M., Ohashi, Y., Kotake, T., Kakizoe, T., Suzuki, K., Yamanaka, H.
Oncological outcomes for patients with locally advanced prostate cancer treated with neoadjuvant endocrine and external-beam radiation therapy followed by adjuvant continuous/intermittent endocrine therapy in an open-label, randomized, phase 3 trial.
Cancer, 2020. 126(17): 3961-3971
10. Izumi, K., Saito, K., Nakayama, T., Fukuda, S., Fukushima, H., Uehara, S., Koga, F., Yonese, J., Kageyama, Y., Fujii, Y.
Contact with renal sinus is associated with poor prognosis in surgically treated pT1 clear cell renal cell carcinoma.
Int. J. Urol., 2020. 27(8): 657-662
11. Kijima, T., Fukushima, H., Kusuhara, S., Tanaka, H., Yoshida, S., Yokoyama, M., Ishioka, J., Matsuoka, Y., Numao, N., Sakai, Y., Saito, K., Matsubara, N., Yuasa, T., Masuda, H., Yonese, J., Kageyama, Y., Fujii, Y.
Association between the occurrence and spectrum of immune-related adverse events and efficacy of pembrolizumab in Asian patients with advanced urothelial cancer: Multicenter retrospective analyses and systematic literature review.
Clin. Genitourin. Cancer, 2020: in press

12. Kubota, S., Yoshida, T., Kageyama, S., Iso-no, T., Yuasa, T., Yonese, J., Kushima, R., Kawauchi, A., Chano, T.
A risk stratification model based on four novel biomarkers predicts prognosis for patients with renal cell carcinoma.
World J. Surg. Oncol., 2020. 18(1): 270
13. Numao, N., Fujiwara, R., Uehara, S., Yasuoka, S., Fujiwara, M., Komai, Y., Yuasa, T., Yamamoto, S., Fukui, I., Yonese, J.
Intraoperative only versus extended duration use of antimicrobial prophylaxis for infectious complications in radical cystectomy with intestinal urinary diversion.
Urol. Int., 2020. 104(11-12): 954-959
14. Ogawa, M., Yamamoto, S., Inoue, T., Numao, N., Yuasa, T., Masuda, H., Fukui, I., Yonese, J.
Phase II study of second-line chemotherapy with paclitaxel, gemcitabine, and cisplatin for advanced urothelial carcinoma.
Anticancer Res., 2020. 40(3): 1613-1618
15. Sano, Y., Fujiwara, M., Yuasa, T., Komai, Y., Yamamoto, T., Kohno, A., Nakao, M., Inamura, K., Yonese, J.
Testicular seminoma with a progressing pulmonary nodule and mediastinal lymphadenopathy without retroperitoneal metastasis.
IJU Case Rep., 2020. 3(5): 211-214
16. Takemura, K., Yuasa, T., Inamura, K., Amori, G., Koga, F., Board, P. G., Yonese, J.
Impact of serum γ -glutamyltransferase on overall survival in patients with metastatic renal cell carcinoma in the era of targeted therapy.
Target. Oncol., 2020. 15(3): 347-356
17. Takemura, K., Yuasa, T., Fujiwara, R., Ito, M., Suzuki, H., Yonese, J., Koga, F.
Prognostic significance of the controlling nutritional status (CONUT) score in patients with advanced renal cell carcinoma treated with nivolumab after failure of prior tyrosine kinase inhibitors.
J. Urol., 2020. 204(6): 1166-1172
18. Yamamoto, S.
Editorial comment to rare gastrointestinal stromal tumor in an ileal conduit detected by recurrent massive bleeding from the stoma.
IJU Case Rep., 2020. 3(5): 210
19. Yamamoto, S., Kageyama, Y., Fujii, Y., Aizawa, T., Urakami, S., Fukui, I.
Randomized study of postoperative single intravesical instillation with pirarubicin and mitomycin C for low-risk bladder cancer
Anticancer Res., 2020. 40(9): 5295-5299
20. Yasuoka, S., Yuasa, T., Fujiwara, R., Komai, Y., Numao, N., Yamamoto, S., Kondo, Y., Yonese, J.
Efficacy and safety of axitinib therapy after nivolumab for patients with metastatic renal cell cancer.
Anticancer Res., 2020. 40(11): 6493-6497
21. Yuasa, T.
Editorial comment from Dr Yuasa to clinicopathological features of malignant urachal tumor: A hospital-based cancer registry data in Japan.
Int. J. Urol., 2020. 27(2): 163
22. Yuasa, T.
Editorial comment from Dr Yuasa to pathological complete response after nivolumab therapy following angiogenesis inhibitors in a patient with metastatic renal cell carcinoma.
IJU Case Rep., 2020. 3(6): 291
23. Yuasa, T.
Editorial comment from Dr Yuasa to possible abscopal effect after discontinuation of nivolumab in metastatic renal cell carcinoma.
IJU Case Rep., 2020. 3(5): 218

24. Yuasa, T.
Editorial comment on: Bowel movement conditions predict therapeutic effects of pembrolizumab on urothelial cancer patients.
Int. J. Urol., 2020: in press
25. Yuasa, T.
Editorial comment on: Prognostic implication of body mass index on survival outcomes in surgically-treated non-metastatic renal cell carcinoma: A single institutional, retrospective analysis of a large cohort.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(7): 2137-2138
26. Yuasa, T.
Editorial comment to presence of constipation predicts the therapeutic efficacy of pembrolizumab in metastatic urothelial cancer patients.
Int. J. Urol., 2020. 27(12): 1123
27. Yuasa, T.
A novel classification for local recurrence after surgical removal of renal cell cancer.
Ann. Transl. Med., 2020. 8(15): 970
28. 吉岡靖生, 米瀬淳二, 小口正彦
HDR 小線源療法 .
泌尿器外科, 2020. 33 (臨時増刊号) : 705-706
29. 橋本幸輝, 小林一男, 平出誠, 横川貴志, 吾妻慧一, 柴田直樹, 吉岡秀哲, 副島梓, 羽鳥正浩, 鈴木賢一, 湯浅健, 米瀬淳二, 濱敏弘
尿路上皮がんに対するゲムシタビン + シスプラチン併用療法の相対用量強度減弱リスク因子の検討 .
日本病院会雑誌, 2020. 56(9): 993-997
30. 沼尾昇
泌尿器腫瘍の機能温存手術 : 知っておくべき適応と限界 : 前立腺・生殖器 : 陰茎部分切断術 .
臨床泌尿器科, 2020. 74(9): 688-690
31. 湯浅健
腫瘍マーカーからみた尿路性器癌の診断 .
今日の診断指針 (永井良三総編集), 東京, 医学書院 : pp.1734-1735, 2020
32. 米瀬淳二
徹底解説 : 泌尿器科の開腹手術 : 何を準備し、どう管理するか : (chapter 5) 膀胱 : 膀胱がんの全摘除術 : 回腸導管造設術 .
Uro-Lo: 泌尿器 Care & Cure, 2020. 25(1): 85-91

【血液腫瘍科】

1. Fukuta, T., Nishimura, N., Shirouchi, Y., Inoue, N., Uryu, H., Kusano, Y., Mishima, Y., Yokoyama, M., Tsuyama, N., Takeuchi, K., Terui, Y.
Insignificance of surveillance imaging in patients with diffuse large B-cell lymphoma who achieved first complete remission: a retrospective cohort study.
Int. J. Hematol., 2020. 111(4): 567-573
2. Hatake, K., Chou, T., Doi, T., Terui, Y., Kato, H., Hirose, T., Seo, S., Pourdehnad, M., Ogaki, Y., Fujimoto, H., Hagner, P. R., Yamamoto, K.
A phase I, multicenter, dose-escalation study of avadomide in adult Japanese patients with advanced malignancies.
Cancer Sci., 2020. 112(1): 331-338
3. Izutsu, K., Minami, Y., Fukuhara, N., Terui, Y., Jo, T., Yamamoto, G., Ishikawa, T., Kobayashi, T., Kiguchi, T., Nagai, H., Ohtsu, T., Kalambakas, S., Fustier, P., Midorikawa, S., Tobinai, K.
Analysis of Japanese patients from the AUGMENT phase III study of lenalidomide + rituximab (R2) vs. rituximab + placebo in relapsed/refractory indolent non-Hodgkin lymphoma.
Int. J. Hematol., 2020. 111(3): 409-416
4. Maruyama, D., Terui, Y., Yamamoto, K., Fukuhara, N., Choi, I., Kuroda, J., Ando, K., Hattori, A., Tobinai, K.
Final results of a phase II study of nivolumab in Japanese patients with relapsed or

refractory classical Hodgkin lymphoma.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2020. 50(11): 1265-1273

5. Nishimura, N., Takeuchi, K., Asaka, R., Tuyama, N., Inoue, N., Kusano, Y., Mishima, Y., Yokoyama, M., Terui, Y.
MYD88 L265P mutation detected by digital PCR as a prognostic factor in patients with diffuse large B-cell lymphoma in rituximab era.
Leuk. Res., 2020. 97: 106426
6. Ohishi, Y., Mitsuda, A., Ejima, K., Morizono, H., Yano, T., Yokoyama, M., Takeuchi, K., Fujiwara, M., Nemoto, T., Minabe, T.
Breast implant-associated anaplastic large-cell lymphoma: first case detected in a Japanese breast cancer patient.
Breast Cancer, 2020. 27(3): 499-504
7. Sekiguchi, N., Rai, S., Munakata, W., Suzuki, K., Handa, H., Shibayama, H., Endo, T., Terui, Y., Iwaki, N., Fukuhara, N., Tatetsu, H., Iida, S., Ishikawa, T., Shiibashi, R., Izutsu, K.
A multicenter, open-label, phase II study of tirabrutinib (ONO/GS-4059) in patients with Waldenström's macroglobulinemia.
Cancer Sci., 2020. 111(9): 3327-3337
8. Suzuki, K., Tsukada, N., Nishimura, N., Nagata, Y., Okazuka, K., Mishima, Y., Yokoyama, M., Nishiwaki, K., Ishida, T., Yano, S., Terui, Y., Suzuki, K.
Bortezomib, lenalidomide, and dexamethasone in transplant-eligible newly diagnosed multiple myeloma patients: a multicenter retrospective comparative analysis.
Int. J. Hematol., 2020. 111(1): 103-111
9. Yokoyama, M., Kusano, Y., Nishihara, A., Inoue, N., Nishimura, N., Mishima, Y., Terui, Y., Nukada, T., Nomura, T., Hatake, K.
Incidence and risk factors for febrile neutropenia in Japanese patients with non-Hodgkin B cell lymphoma receiving

R-CHOP: 2-year experience in a single center (STOP FN in NHL 2).

Support. Care Cancer, 2020. 28(2): 571-579

10. 照井康仁
Hematologic Malignancies/Pediatric Malignancies : 血液・リンパ系腫瘍 : 多発性骨髄腫に対する治療戦略 Update : 移植非適応の初発多発性骨髄腫のストラテジー .
癌と化学療法 , 2020. 47(5): 769-771
11. 照井康仁
RINKETSU Dictionary : 二重特異性抗体 .
臨床血液 , 2020. 61(8): 995
12. 照井康仁 , 関義信
組織学的に形質転換をきたしかけている FL に対する初期治療として何が勧められるか ? : 高腫瘍量の場合、オビヌツズマブ併用ベンダムスチン治療を勧める .
日本医事新報 , 2020(4995): 53
13. 照井康仁
造血器腫瘍学 (第 2 版) : 基礎と臨床の最新研究動向 : 造血器腫瘍の診断と治療 : 治療法 : 抗体療法 .
日本臨床 , 2020. 78 (増刊 3 造血器腫瘍学) : 239-242

【総合腫瘍科】

1. Doi, T., Matsubara, N., Kawai, A., Naka, N., Takahashi, S., Uemura, H., Yamamoto, N.
Phase I study of TAS-115, a novel oral multi-kinase inhibitor, in patients with advanced solid tumors.
Invest. New Drugs., 2020. 38(4): 1175-1185
2. Endo, M., Takahashi, S., Araki, N., Sugiura, H., Ueda, T., Yonemoto, T., Takahashi, M., Morioka, H., Hiraga, H., Hiruma, T., Kunisada, T., Matsumine, A., Goda, K., Kawai, A.
Time lapse analysis of tumor response in patients with soft tissue sarcoma treated with trabectedin: A pooled analysis of two phase II clinical trials.

- Cancer Med., 2020. 9(11): 3656-3667
3. Fujiwara, Y., Fukuda, N., Ohmoto, A., Nakano, K., Ono, M., Taira, S., Torii, J., Takamatsu, M., Takahashi, S.
An extragonadal germ cell tumor with dermatomyositis: A case report and literature review.
Mol. Clin. Oncol., 2020. 13(5): 60
 4. Fujiwara, Y., Sato, Y., Wang, X., Oikado, K., Sato, Y., Fukuda, N., Enokida, T., Takeda, K., Ohkushi, D., Hayama, B., Egi, Y., Tokai, Y., Yamada, Y., Nakajima, Y., Kubota, M., Haruki, S., Shimizu, T., Uchida, Y., Utsugi, K., Ito, Y., Ohno, S., Takahashi, S., Tsuchida, T.
Screening for COVID-19 in symptomatic cancer patients in a cancer hospital.
Cancer Cell, 2020. 38(5): 609-610
 5. Fukuda, N., Toda, K., Fujiwara, Y. U., Wang, X., Ohmoto, A., Urasaki, T., Hayashi, N., Sato, Y., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Tomomatsu, J., Mitani, H., Takahashi, S.
Neutrophil-to-lymphocyte ratio as a prognostic marker for anaplastic thyroid cancer treated with lenvatinib.
In Vivo, 2020. 34(5): 2859-2864
 6. Fukuda, N., Wang, X., Ohmoto, A., Urasaki, T., Sato, Y., Nakano, K., Nishizawa, M., Yunokawa, M., Ono, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Sequential analysis of neutrophil-to-lymphocyte ratio for differentiated thyroid cancer patients treated with lenvatinib.
In Vivo, 2020. 34(2): 709-714
 7. Fukuda, N., Fujiwara, Y., Wang, X., Ohmoto, A., Urasaki, T., Hayashi, N., Sato, Y., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Tumor growth rate as a prognostic factor for metastatic or recurrent adenoid cystic carcinoma of the head and neck patients treated with carboplatin plus paclitaxel.
Eur. Arch. Otorhinolaryngol., 2020: in press
 8. Harada, S., Ohkushi, D., Nakano, K., Mitani, H., Yamamoto, Y., Kamei, K., Hayama, B.
Fatal invasive pulmonary aspergillosis caused by voriconazole-resistant *Aspergillus tubingensis* in a patient with solid tumor.
J. Infect. Chemother., 2020. 26(3): 301-304
 9. Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ito, Y., Ueno, T., Iwase, T., Ohno, S.
Clinicopathological features of breast cancer patients with internal mammary and/or supraclavicular lymph node recurrence without distant metastasis.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 932
 10. Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ito, Y., Ueno, T., Iwase, T., Ohno, S.
Survival in cytologically proven node-positive breast cancer patients with nodal pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy.
Cancers (Basel), 2020. 12(9): E2633
 11. Kato, M. K., Yunokawa, M., Bun, S., Shimoi, T., Yonemori, K., Miyasaka, N., Kato, T., Tamura, K.
Treatment strategies for recurrent ovarian cancer in older adult patients in Japan: A study based on real-world data.
J. Cancer Res. Clin. Oncol., 2020. 146(5): 1335-1341
 12. Kawai, S., Fukuda, N., Yamamoto, S., Mitani, S., Omae, K., Wakatsuki, T., Kato, K., Kadowaki, S., Takahashi, D., Boku, N., Muro, K., Machida, N.
Retrospective observational study of salvage line ramucirumab monotherapy for patients with advanced gastric cancer.
BMC Cancer, 2020. 20(1): 338
 13. Modi, S., Park, H., Murthy, R. K., Iwata, H., Tamura, K., Tsurutani, J., Moreno-Aspitia,

- A., Doi, T., Sagara, Y., Redfern, C., Krop, I. E., Lee, C., Fujisaki, Y., Sugihara, M., Zhang, L., Shahidi, J., Takahashi, S.
Antitumor activity and safety of trastuzumab deruxtecan in patients with HER2-low-expressing advanced breast cancer: Results from a phase Ib study.
J. Clin. Oncol., 2020. 38(17): 1887-1896
14. Modi, S., Park, H., Murthy, R. K., Iwata, H., Tamura, K., Tsurutani, J., Moreno-Aspitia, A., Doi, T., Sagara, Y., Redfern, C., Krop, I. E., Lee, C., Fujisaki, Y., Sugihara, M., Zhang, L., Shahidi, J., Takahashi, S.
Reply to T.J.A. Dekker.
J. Clin. Oncol., 2020. 38(28): 3351-3352
 15. Nakano, K., Nishizawa, M., Fukuda, N., Urasaki, T., Wang, X., Mitani, H., Takahashi, S.
Mycophenolate mofetil as a successful treatment of corticosteroid-resistant immune checkpoint inhibitor-induced hepatitis.
Oxf. Med. Case Rep., 2020. 2020(4): omaa027
 16. Nakano, K., Takahashi, S.
Precision medicine in soft tissue sarcoma treatment.
Cancers, 2020. 12(1): 221
 17. Ohmoto, A., Morizane, C.
Genomic profiles and current therapeutic agents in neuroendocrine neoplasms.
Curr. Drug Targets, 2020. 21(4): 389-405
 18. Sanchez Calle, A., Yamamoto, T., Kawamura, Y., Hironaka-Mitsunashi, A., Ono, M., Tsuda, H., Shimomura, A., Tamura, K., Takeshita, F., Ochiya, T., Yamamoto, Y.
Long non-coding NR2F1-AS1 is associated with tumor recurrence in estrogen receptor-positive breast cancers.
Mol. Oncol., 2020. 14(9): 2271-2287
 19. Sato, Y., Fukuda, N., Wang, X., Urasaki, T., Ohmoto, A., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Sato, Y., Mitani, H., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Efficacy of nivolumab for head and neck cancer patients with primary sites and histological subtypes excluded from the CheckMate-141 trial.
Cancer Manag. Res., 2020. 12: 4161-4168
 20. Sato, Y., Wada, I., Odaira, K., Hosoi, A., Kobayashi, Y., Nagaoka, K., Karasaki, T., Matsushita, H., Yagi, K., Yamashita, H., Fujita, M., Watanabe, S., Kamatani, T., Miya, F., Mineno, J., Nakagawa, H., Tsunoda, T., Takahashi, S., Seto, Y., Kakimi, K.
Integrative immunogenomic analysis of gastric cancer dictates novel immunological classification and the functional status of tumor-infiltrating cells.
Clin. Transl. Immunol., 2020. 9(10): e1194
 21. Shibayama, T., Low, S. K., Ono, M., Kobayashi, T., Kobayashi, K., Fukada, I., Ito, Y., Ueno, T., Ohno, S., Nakamura, Y., Takahashi, S.
Clinical significance of gene mutation in ctDNA analysis for hormone receptor-positive metastatic breast cancer.
Breast Cancer Res. Treat., 2020. 180(2): 331-341
 22. Sugano, T., Yoshida, M., Masuda, M., Ono, M., Tamura, K., Kinoshita, T., Tsuda, H., Honda, K., Gemma, A., Yamada, T.
Prognostic impact of ACTN4 gene copy number alteration in hormone receptor-positive, HER2-negative, node-negative invasive breast carcinoma.
Br. J. Cancer, 2020. 122(12): 1811-1817
 23. Takahashi, S., Uemura, M., Kimura, T., Kawasaki, Y., Takamoto, A., Yamaguchi, A., Melhem-Bertrandt, A., Gartner, E. M., Inoue, T., Akazawa, R., Kadokura, T., Tanikawa, T.

- A phase I study of enfortumab vedotin in Japanese patients with locally advanced or metastatic urothelial carcinoma.
Invest. New Drugs., 2020. 38(4): 1056-1066
24. Takahashi, S., Tahara, M., Ito, K., Tori, M., Kiyota, N., Yoshida, K., Sakata, Y., Yoshida, A.
Safety and effectiveness of lenvatinib in 594 patients with unresectable thyroid cancer in an all-case post-marketing observational study in Japan.
Adv. Ther., 2020. 37(9): 3850-3862
 25. Tsurutani, J., Iwata, H., Krop, I., Janne, P. A., Doi, T., Takahashi, S., Park, H., Redfern, C., Tamura, K., Wise-Draper, T. M., Saito, K., Sugihara, M., Singh, J., Jikoh, T., Gallant, G., Li, B. T.
Targeting HER2 with trastuzumab derux-
tecan: A dose-expansion, phase I study in multiple advanced solid tumors.
Cancer Discov., 2020. 10(5): 688-701
 26. Yokokawa, T., Suzuki, K., Sugisaki, T., Kobayashi, K., Shouji, D., Watanabe, H., Kawakami, K., Takiguchi, T., Aoyama, T., Kobayashi, K., Takahashi, S., Ito, Y., Ohno, S., Hama, T.
Impact of primary pegfilgrastim prophylaxis on relative dose intensity in neoadjuvant/ adjuvant FEC-100 chemotherapy.
Anticancer Res., 2020. 40(2): 915-921
 27. Yokota, T., Homma, A., Kiyota, N., Tahara, M., Hanai, N., Asakage, T., Matsuura, K., Ogawa, T., Saito, Y., Sano, D., Kodaira, T., Motegi, A., Yasuda, K., Takahashi, S., Tanaka, K., Onoe, T., Okano, S., Imamura, Y., Ariizumi, Y., Hayashi, R.
Immunotherapy for squamous cell carcinoma of the head and neck.
Jpn. J. Clin. Oncol., 2020. 50(10): 1089-1096
 28. 仲野兼司
希少がんの病理診断体制：希少がん診療の現状と今後：抗がん薬治療に携わる腫瘍内科医の立場から。
病理と臨床, 2020. 38(1): 27-32
 29. 佐藤靖祥
免疫チェックポイント阻害薬：押さえるべき特徴と注意点：免疫チェックポイント阻害薬とバイオマーカー。
臨床検査, 2020. 64(1): 20-25
 30. 佐藤靖祥
消化器領域における免疫チェックポイント阻害薬の現状・今後の展望：免疫チェックポイント阻害薬の臨床効果予測：バイオマーカー開発の現状。
臨床消化器内科, 2020. 35(5): 487-493
 31. 林直美, 河合美紀
遺伝性腫瘍とゲノム医療を学ぶ：遺伝性腫瘍：リンチ症候群。
臨床外科, 2020. 75(8): 931-934
 32. 柴田直樹, 川上和宜, 中村匡志, 平出誠, 竹野伸洋, 吉岡秀哲, 鈴木賢一, 温泉川真由, 竹島信宏, 濱敏弘
卵巣がん患者におけるカルボプラチン脱感作療法の使用実態調査。
日本病院薬剤師会雑誌, 2020. 56(8): 918-924
 33. 浦崎哲也
泌尿器科診療のスタンダード：平成の常識は令和の非常識：腫瘍：部位別：後腹膜腫瘍：薬物治療。
臨床泌尿器科, 2020. 74(4): 30-35
 34. 浦崎哲也, 高橋俊二
泌尿器科領域の希少癌（陰茎癌・副腎癌・尿管癌）の薬物療法。
臨床泌尿器科, 2020. 74(10): 790-800
 35. 福田直樹
これからのがん診療を考える：甲状腺癌：甲状腺がんにおける好中球・リンパ球比（NLR）活用の意義。

クリニシアン, 2020. 67(2-3): 256-261

36. 福田直樹
泌尿器・生殖器がん、希少がん：希少がん：腺
様嚢胞がんに対する治療方針。
腫瘍内科, 2020. 26(4): 418-424
37. 船内雄生, 佐藤靖祥, 垣見和宏, 高橋俊二, 阿
江啓介, 大川淳
腫瘍浸潤 T リンパ球の解析による肉腫における
免疫療法の可能性探索。
東日本整形災害外科学会雑誌, 2020. 32(1):
79-82
38. 高橋俊二
がんの分子標的薬、免疫療法薬の知っておきたい
副作用：分子標的薬オーバービューと抗がん
作用メカニズム。
日本医師会雑誌, 2020. 148(10): 1939-1943
39. 高橋俊二
がん治療における個別化医療の潮流：軟部肉腫
に対する precision medicine。
Precision Medicine, 2020. 3(14): 1308-
1313
40. 高橋俊二
がん診療最前線：希少がん診療の新たな展開。
クリニシアン, 2020. 67(10): 903-908
41. 高橋俊二, 植村天受, 舩森直哉, 絹谷清剛, 細
野眞, 岡山豊, 砂谷敏行, 堀尾知代, 箕善行
使用実態下における骨転移を有する去勢抵抗性
前立腺癌患者を対象とした塩化ラジウム-223
の安全性と有効性：使用成績調査結果。
泌尿器外科, 2020. 33(4): 435-449
42. 高橋俊二
泌尿器科診療のスタンダード：平成の常識は令
和の非常識：腫瘍：化学療法・緩和ケア：腫瘍
崩壊症候群。
臨床泌尿器科, 2020. 74(4): 101-104
43. 高橋俊二
肉腫：基礎・臨床の最新知見：肉腫の薬物療法：
軟部肉腫：軟部肉腫に対するエリブリン。
日本臨床, 2020. 78(増刊 5 肉腫): 462-468

【皮膚腫瘍科・皮膚科】

1. Nakano, E., Takahashi, A., Namikawa, K.,
Muto, Y., Jinnai, S., Kage, Y., Mizuta, H.,
Tsutsumida, A., Yamazaki, N.
Correlation between cutaneous adverse
events and prognosis in patients with mel-
anoma treated with nivolumab: A single
institutional retrospective study.
J. Dermatol., 2020. 47(6): 622-628
2. Oashi, K., Shibata, T., Namikawa, K., Taka-
hashi, A., Yokota, K., Nakano, E., Teramoto,
Y., Tsutsumida, A., Maeda, T., Yamazaki, N.
A single-arm confirmatory trial of pazo-
panib in patients with paclitaxel-pretreated
primary cutaneous angiosarcoma: Japan
Clinical Oncology Group study (JCOG1605,
JCOG-PCAS protocol).
BMC Cancer, 2020. 20(1): 652
3. 西澤綾
写真で学ぶアレルギー：異汗性湿疹の水疱内所
見。
皮膚アレルギーフロンティア, 2020. 18(1):
52-53
4. 西澤綾
第2章 抗 PD-L1 抗体：アベルマブ。
免疫チェックポイント阻害薬実践ガイドブ
ック：使いこなすためのコツ！（倉田宝保, 吉岡
弘鎮編集），東京，メジカルビュー社：pp.35-
40, 2020
5. 西澤綾
薬剤師はどう向き合う？患者背景から考える高
齢者の皮膚管理：病態から考える皮膚管理：が
ん患者。
調剤と情報, 2020. 26(6): 1026-1032

【総合診療部】

1. Hiraide, M., Shiga, T., Minowa, Y., Nakano,
Y., Yoshioka, H., Suzuki, K., Yasuda, C.,
Takahashi, H., Hama, T.
Identification of risk factors for venous
thromboembolism and evaluation of Khora-
na venous thromboembolism risk assess-

- ment in Japanese lung cancer patients.
J. Cardiol., 2020. 75(1): 110-114
2. Shiga, T., Hiraide, M.
Cardiotoxicities of 5-fluorouracil and other fluoropyrimidines.
Curr. Treat. Options Oncol., 2020. 21(4): 27
 3. 中山耕之介
治療法の再整理とアップデートのために：専門家による私の治療：副甲状腺機能亢進症．
日本医事新報，2020(5014): 39-41
 4. 中山耕之介
治療法の再整理とアップデートのために：専門家による私の治療：副甲状腺機能低下症．
日本医事新報，2020(5009): 48-49
 5. 北澤公
令和時代のインスリン療法：インスリン療法のステップアップ：BOT からのステップアップ：超速効型インスリンの段階的追加か GLP-1 受容体作動薬か？
月刊糖尿病，2020. 12(8): 32-38
 6. 大橋健，北澤公編著
こういときはこうする！腫瘍糖尿病学 Q&A：がん患者さんの糖尿病診療マニュアル．
京都，金芳堂：287p., 2020
 7. 志賀太郎
Onco-Cardio-Coagulation：がん関連性血栓症（CAT）と Trousseau 症候群．
Cardio-Coagulation, 2020. 7(2): 116-122
 8. 志賀太郎
がんサポーターズケアのいま・これから（VOL.22）：がん関連性血栓症（Cancer Associated Thrombosis: CAT）の診療．
新薬と臨牀，2020. 69(5): 671-678
 9. 志賀太郎
がん関連血栓症の診断と治療：がん関連性静脈血栓症に対する抗凝固療法．
Thrombosis Medicine, 2020. 10(2): 110-114
 10. 志賀太郎
腫瘍循環器学：新しい学際領域の最新知見：がん治療にともなう循環器合併症：放射線療法による心血管合併症．
日本臨床，2020. 78(9): 1520-1528
- 【麻酔科・ペインクリニック】**
1. 坂口嘉郎，平島潤子，横田美幸
末梢静脈路確保にまつわるやってはいけないこと．
臨床麻酔，2020. 44(8): 1097-1100
 2. 横田美幸，風戸拓也
最新主要文献とガイドラインでみる麻酔科学レビュー：2020：手術室の効率化と安全．
麻酔科学レビュー，2020. 2020: 276-281
 3. 横田美幸，田中栄，細川豊史，住谷昌彦
痛みの診断と治療最前線：疼痛性疾患をいかに診断し治療するか．
日本医師会雑誌，2020. 149(1): 5-19
 4. 横田美幸，風戸拓也，見市光寿，奥野欣伸，小林正彦，一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会国際規格委員会
痛みを「診る」装置：最近の進歩、および注射器誤接続防止機能の新規格：新規格：神経麻酔分野と ISO（International Organization for Standardization）：誤接続防止としたコネクタ開発．
ペインクリニック，2020. 41(5): 609-618
 5. 横田美幸，風戸拓也
第 32 回老年麻酔学会・印象記．
臨床麻酔，2020. 44(4): 621-622
- 【腫瘍精神科】**
1. Kusaka, K., Inoguchi, H., Nakahara, R., Kurosawa, S., Fukuda, T., Satomura, K., Shimizu, K.
Stress and coping strategies among allogeneic haematopoietic stem cell transplantation survivors: A qualitative study.
Eur. J. Cancer Care (Engl), 2020. 29(6): e13307

2. 厚坊浩史
書評「そして歩き出す：サッカーと白血病と僕の日常」早川史哉著．
心と社会，2020. 51(3)
3. 厚坊浩史，清水研
現代社会における不安の病理と対応：リエゾン精神医学に見られる不安．
精神科治療学，2020. 35(12): 1317-1322
4. 清水研 著
がんとの向き合い方：悲しみや怒りのふたを外すことで心は前に動き始めます．
ハルメク，2020. 2020年（12月号）：152-153
5. 清水研
他人の期待に応えない：ありのままで生きるレッスン．
東京，SB新書：215p., 2020

【形成外科】

1. Banda, C. H., Narushima, M., Mitsui, K., Danno, K., Fujita, M., Furuya, M., Karakawa, R., Ogishima, S., Ishiura, R.
Posterior auricular artery free flap reconstruction of the retroauricular sulcus in microtia repair.
J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg., 2020: in press
2. Comert, M., Yoshimatsu, H.
The uppercut needle holding technique for facilitating second suture placement during back wall microvascular anastomosis.
Microsurgery, 2020. 40(2): 280-281
3. Czedik-Eysenberg, M., Steinbacher, J., Obermayer, B., Yoshimatsu, H., Hara, H., Mihara, M., Tzou, C. J., Meng, S.
Exclusive use of ultrasound for locating optimal LVA sites-A descriptive data analysis.
J. Surg. Oncol., 2020. 121(1): 51-56
4. Hayashi, N., Kumamaru, H., Isozumi, U., Aogi, K., Asaga, S., Iijima, K., Kadoya, T., Kojima, Y., Kubo, M., Miyashita, M., Miyata, H., Nagahashi, M., Niikura, N., Ogo, E., Tamura, K., Tanakura, K., Yamamoto, Y., Yoshida, M., Imoto, S., Jinno, H.
Annual report of the Japanese Breast Cancer Registry for 2017.
Breast Cancer, 2020. 27(5): 803-809
5. Iida, T., Yoshimatsu, H., Seto, Y., Mori, K., Okazaki, M.
Two-stage reconstruction using a free jejunum/ileum flap after total esophagectomy.
Ann. Plast. Surg., 2020. 85(6): 638-644
6. Ishiura, R., Sawaizumi, M.
Long-term results of vascularized proximal fibula epiphyseal transfer based on the anterior tibial artery in retrograde fashion.
Clin. Case Rep., 2020. 8(6): 1069-1072
7. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Tanakura, K., Miyashita, H., Shibata, T., Kuramoto, Y., Yano, T.
An anatomical study of the lymph-collecting vessels of the medial thigh and clinical applications of lymphatic vessels preserving profunda femoris artery perforator (LpPAP) flap using pre- and intraoperative indocyanine green (ICG) lymphography.
J. Plast. Reconstr. Aesthet. Surg., 2020. 73(9): 1768-1774
8. Karakawa, R., Yano, T., Yoshimatsu, H., Katsuta, H., Kushihashi, Y., Shimane, T.
Computer-aided design and syringe-aided manufacturing for mandibular reconstruction using a vascularized fibula flap.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2020. 8(5): e2819
9. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Fuse, Y., Hayashi, A., Tanakura, K., Heber, U. M., Weninger, W. J., Tzou, C. J., Meng, S., Yano, T.
The correlation of the perforators and the accessory saphenous vein in a profunda femoris artery perforator flap for addition-

- al venous anastomosis: A cadaveric study and clinical application.
Microsurgery, 2020. 40(2): 200-206
10. Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Maeda, E., Shibata, T., Tanakura, K., Kuramoto, Y., Miyashita, H., Yano, T.
Use of the profunda femoris artery perforator flap for reconstruction after sarcoma resection.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2020. 8(12): e3289
 11. Karakawa, R., Yano, T., Shibata, T., Miyashita, H., Kuramoto, Y., Yoshimatsu, H.
Use of the wearable smart glasses for indocyanine green (ICG) angiography of a flap surgery.
Microsurgery, 2020. 40(2): 276-277
 12. Kimura, T., Yano, T., Akabane, A.
Temporo-parietal muscle pedicle flap for reconstruction of the anterior skull base after resection of recurrent olfactory groove meningioma: A technical note.
Br. J. Neurosurg., 2020: in press
 13. Minagawa, M., Ichida, H., Yoshioka, R., Gyoda, Y., Mizuno, T., Imamura, H., Mise, Y., Yoshimatsu, H., Fukumura, Y., Kato, K., Kajiyama, Y., Saiura, A.
Pancreaticoduodenectomy with reconstructing blood flow of the gastric conduit after esophagectomy with concomitant celiac axis stenosis: A case report.
Surg. Case Rep., 2020. 6(1): 267
 14. Ohishi, Y., Mitsuda, A., Ejima, K., Morizono, H., Yano, T., Yokoyama, M., Takeuchi, K., Fujiwara, M., Nemoto, T., Minabe, T.
Breast implant-associated anaplastic large-cell lymphoma: first case detected in a Japanese breast cancer patient.
Breast Cancer, 2020. 27(3): 499-504
 15. Tsuruta, Y., Miyashita, H., Kuramoto, Y., Karakawa, R., Suesada, N., Shibata, T., Yoshimatsu, H., Yano, T.
An idea of hemi-abdominal free flap for breast reconstruction: A case report.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2020. 8(10): e3168
 16. Tsuruta, Y., Karakawa, R., Majima, K., Yamamoto, S., Shibata, T., Yoshimatsu, H., Miyashita, H., Tanakura, K., Yano, T.
The reconstruction after a giant phyllodes tumor resection using a DIEP flap.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2020. 8(4): e2760
 17. Yamamoto, S., Yano, T., Furubayashi, G., Sawaizumi, M.
A labia majora sharing perforator flap for labial defect reconstruction.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2020. 8(6): e2931
 18. Yoshimatsu, H., Hayashi, A., Karakawa, R., Yano, T.
Combining the superficial circumflex iliac artery perforator flap with the superficial inferior epigastric artery flap or the deep inferior epigastric artery perforator flap for coverage of large soft tissue defects in the extremities and the trunk.
Microsurgery, 2020. 40(6): 649-655
 19. Yoshimatsu, H., Visconti, G., Karakawa, R., Hayashi, A.
Lymphatic system transfer for lymphedema treatment: Transferring the lymph nodes with their lymphatic vessels.
Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open, 2020. 8(4): e2721
 20. 倉元有木子, 棚倉健太
再建手術の合併症からのリカバリー: 人工物による乳房再建: よくある合併症から稀な合併症の予防と対策.
PEPARS, 2020(161): 46-53
 21. 辛川領, 吉松英彦, 矢野智之
再建手術の合併症からのリカバリー: 四肢軟部

悪性腫瘍再建における合併症の予防と対策 .
PEPARS, 2020(161): 69-78

22. 辛川領, 矢野智之
実は知らなかった! 新たに学ぶ頭頸部再建周術
期管理の 10 の盲点: 頭頸部癌患者における二
次再建の実際 .
PEPARS, 2020(168): 76-84

【眼科】

1. Nakahara, H., Kaburaki, T., Tanaka, R., Yoshida, A., Takamoto, M., Kawata, M., Fujino, Y., Kawashima, H., Aihara, M.
Comparisons of clinical features in Japanese patients with Behcet's uveitis treated in the 1990s and the 2000s.
Ocul. Immunol. Inflamm., 2020. 28(2): 262-269
2. Shirahama, S., Kaburaki, T., Takada, S., Nakahara, H., Tanaka, R., Komae, K., Fujino, Y., Kawashima, H., Aihara, M.
Comparison of visual field defect progression in secondary glaucoma due to anterior uveitis caused by three types of herpes viruses.
Graefes Arch. Clin. Exp. Ophthalmol., 2020. 258(3): 639-645
3. Tanaka, R., Kaburaki, T., Yoshida, A., Takamoto, M., Miyaji, T., Yamaguchi, T.
Fluorescein angiography scoring system using ultra-wide-field fluorescein angiography versus standard fluorescein angiography in patients with sarcoid uveitis.
Ocul. Immunol. Inflamm., 2020: in press
4. Zhou, H. P., Tanaka, R., Tsuji, H.
Therapeutic changes in bilateral choroidal metastasis from non-small cell lung cancer with response to afatinib: A case report.
Ocul. Immunol. Inflamm., 2020. 28(6): 860-863
5. 蕪城俊克, 田中理恵, 福永久子, 唐川綾子, 白濱新多朗, 曾我拓嗣, 小前恵子, 中原久恵, 伊

沢英知, 相原一, 井上達也, 川島秀俊, 辻英貴, 竹内二士夫, 佐藤智人, 竹内大, 裏出良博, 和田洋一郎, 田岡和城, 黒川峰夫
眼内炎症性疾患の病態解明に向けて .
日本眼科学会雑誌, 2020. 124(3): 220-246

6. 辻英貴
IV 神経眼科: Q2 眼球突出例の診断の進め方と画像検査のポイントについて教えて下さい .
あたらしい眼科, 2020. 37(臨増): 371-375
7. 辻英貴
放射線治療 .
眼科学 第 3 版 (園田康平, 近藤峰生, 稲谷大編集), 東京, 文光堂: pp.1146-1148, 2020
8. 辻英貴
涙嚢炎と間違えられやすい涙嚢腫瘍 .
眼科, 2020. 62(4): 371-375
9. 辻英貴
眼科鑑別診断の勘どころ: 眼瞼腫瘍を認めたら .
OCULISTA, 2020(84): 15-23
10. 辻英貴
眼腫瘍: 見逃さないために: 診断と治療: わかりやすい臨床講座: 眼窩 .
日本の眼科, 2020. 91(1): 42-48
11. 辻英貴
眼腫瘍に対する非観血的治療: 転移性眼部腫瘍に対する非観血的治療戦略 .
眼科, 2020. 62(10): 953-959

【感染症科】

1. Fujiwara, Y., Sato, Y., Wang, X., Oikado, K., Sato, Y., Fukuda, N., Enokida, T., Takeda, K., Ohkushi, D., Hayama, B., Egi, Y., Tokai, Y., Yamada, Y., Nakajima, Y., Kubota, M., Haruki, S., Shimizu, T., Uchida, Y., Utsugi, K., Ito, Y., Ohno, S., Takahashi, S., Tsuchida, T.
Screening for COVID-19 in symptomatic cancer patients in a cancer hospital.
Cancer Cell, 2020. 38(5): 609-610

2. Harada, S., Ohkushi, D., Nakano, K., Mitani, H., Yamamoto, Y., Kamei, K., Hayama, B. Fatal invasive pulmonary aspergillosis caused by voriconazole-resistant *Aspergillus tubingensis* in a patient with solid tumor. *J. Infect. Chemother.*, 2020. 26(3): 301-304
3. Matsuo, T., Mori, N., Mizuno, A., Sakurai, A., Kawai, F., Starkey, J., Ohkushi, D., Abe, K., Yamasaki, M., Ito, J., Yoshino, K., Mikami, Y., Uehara, Y., Furukawa, K. Infected aortic aneurysm caused by *Helicobacter cinaedi*: case series and systematic review of the literature. *BMC Infect. Dis.*, 2020. 20(1): 854
4. Sasaki, T., Harada, S., Yamamoto, S., Ohkushi, D., Hayama, B., Takeda, K., Hoashi, K., Shiotani, J., Takehana, K., Doi, Y. Clinical characteristics of peripheral venous catheter-associated gram-negative bloodstream infection among patients with malignancy. *PLoS One*, 2020. 15(1): e0228396
5. 大串大輔
免疫チェックポイント阻害薬：押さえるべき特徴と注意点：免疫チェックポイント阻害薬と感染症．
臨床検査，2020. 64(1): 39-43
6. 武田孝一
悩むケースに立ち向かう！ 臨床推論のススメ方：全国 GIM カンファレンスより（第 9 回）
〇〇医大〇〇!?
内科，2020. 125(6): 1431-1437
7. 羽山ブライアン
ICD のホンネ(第 21 回)『コロナとアマビエと』.
J-IDEO, 2020. 4(4): 664-665
8. 羽山ブライアン
周術期感染対策 Update：総論：標準予防策と感染経路別予防策．
外科，2020. 82(1): 12-17

【歯科】

1. 富塚健（分担執筆）
がん治療に伴う粘膜障害マネジメントの手引き．2020 年版
東京，金原出版：192p., 2020

【放射線治療部】

1. Chin, M., Yokoyama, R., Sumi, M., Okita, H., Kawai, A., Hosono, A., Koga, Y., Sano, H., Watanabe, H., Ozaki, T., Mugishima, H. Multimodal treatment including standard chemotherapy with vincristine, doxorubicin, cyclophosphamide, ifosfamide, and etoposide for the Ewing sarcoma family of tumors in Japan: Results of the Japan Ewing Sarcoma Study 04. *Pediatr. Blood Cancer*, 2020. 67(5): e28194
2. Kim, H., Jeong, H., Yamaguchi, M., Sohn, I., Yoon, S. E., Byeon, S., Hur, J. Y., Koh, Y., Yoon, S. S., Kim, E. J., Oguchi, M., Miyazaki, K., Taguchi, S., Yoon, D. H., Cho, J., Ko, Y. H., Kim, S. J., Suzuki, R., Kim, W. S. Prediction and prevention of central nervous system relapse in patients with extranodal natural killer/T-cell lymphoma. *Blood*, 2020. 136(22): 2548-2556
3. Murakami, Y., Magome, T., Matsumoto, K., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M. Fully automated dose prediction using generative adversarial networks in prostate cancer patients. *PLoS One*, 2020. 15(5): e0232697
4. Murofushi, K., Yoshioka, Y., Sumi, M., Ishikawa, H., Oguchi, M., Sakurai, H. Outcomes analysis of pre-brachytherapy MRI in patients with locally advanced cervical cancer. *Int. J. Gynecol. Cancer*, 2020. 30(4): 473-479
5. Murofushi, K. N., Yoshioka, Y., Ishikawa, H., Sumi, M., Okumura, T., Oguchi, M., Sakurai, H.

Selection criteria and clinical outcomes of patients with asymmetrical cervical cancer treated with various high-dose-rate brachytherapy techniques.

Anticancer Res., 2020. 40(2): 999-1006

6. Nakamura, R., Hirata, T., Suzuki, O., Otani, K., Kai, N., Hatano, K., Fujita, K., Uemura, M., Imamura, R., Tanaka, K., Yoshioka, Y., Nonomura, N., Ogawa, K.

Stereotactic body radiotherapy using cyberKnife® for localized low- and intermediate-risk prostate cancer: Initial report on a phase I/II trial.

Anticancer Res., 2020. 40(4): 2053-2057

7. Nakanishi, R., Akiyoshi, T., Toda, A., Murakami, Y., Taguchi, S., Oba, K., Nagasaki, T., Matoba, S., Ueno, M., Fukunaga, Y., Kuroyanagi, H.

Radiomics approach outperforms diameter criteria for predicting pathological lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo)radiotherapy in advanced low rectal cancer.

Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(11): 4273-4283

8. Natsume, A., Aoki, K., Ohka, F., Maeda, S., Hirano, M., Adilijiang, A., Motomura, K., Sumi, M., Nishikawa, R., Narita, Y., Muragaki, Y., Maruyama, T., Ito, T., Beppu, T., Nakamura, H., Kayama, T., Sato, S., Nagane, M., Mishima, K., Nakasu, Y., Kurisu, K., Yamasaki, F., Sugiyama, K., Onishi, T., Iwadate, Y., Terasaki, M., Kobayashi, H., Matsumura, A., Ishikawa, E., Sasaki, H., Mukasa, A., Matsuo, T., Hirano, H., Kumabe, T., Shinoura, N., Hashimoto, N., Aoki, T., Asai, A., Abe, T., Yoshino, A., Arakawa, Y., Asano, K., Yoshimoto, K., Shibui, S., Okuno, Y., Wakabayashi, T.

Genetic analysis in patients with newly diagnosed glioblastomas treated with interferon-beta plus temozolomide in comparison with temozolomide alone.

J. Neurooncol., 2020. 148(1): 17-27

9. Nishimura, Y., Ishikura, S., Shibata, T., Kodaira, T., Ito, Y., Tsuchiya, K., Murakami, Y., Saitoh, J. I., Akimoto, T., Nakata, K., Yoshimura, M., Teshima, T., Toshiyasu, T., Ota, Y., Ishikawa, K., Shimizu, H., Minemura, T., Nakamura, K., Hiraoka, M.

A phase II study of adaptive two-step intensity-modulated radiation therapy (IMRT) with chemotherapy for loco-regionally advanced nasopharyngeal cancer (JCOG1015).

Int. J. Clin. Oncol., 2020. 25(7): 1250-1259

10. Ogita, M., Shiraishi, K., Karasawa, K., Tokumasu, K., Nakajima, N., Chang, T., Kawamori, J., Yamashita, H., Nakagawa, K.

Clinical outcome of adjuvant radiotherapy for squamous cell carcinoma of the breast; A multicenter retrospective cohort study.

Breast, 2020. 52: 88-94

11. Ozaki, S., Haga, A., Chao, E., Maurer, C., Nawa, K., Ohta, T., Nakamoto, T., Nozawa, Y., Magome, T., Nakano, M., Nakagawa, K.

Fast statistical iterative reconstruction for mega-voltage computed tomography.

J. Med. Invest., 2020. 67(1,2): 30-39

12. Sasamura, K., Suzuki, R., Kozuka, T., Yoshimura, R., Yoshioka, Y., Oguchi, M.

Outcomes after reirradiation of spinal metastasis with stereotactic body radiation therapy (SBRT): A retrospective single institutional study.

J. Radiat. Res., 2020. 61(6): 929-934

13. Suzuki, R., Yoshida, M., Oguchi, M., Yoshioka, Y., Tokumatsu, K., Osako, T., Ono, S., Ueno, T., Miyagi, Y.

Efficacy of radiation boost after breast-conserving surgery for breast cancer with focally positive, tumor-exposed margin.

J. Radiat. Res., 2020. 61(3): 440-446

14. Suzuki, T., Okamura, A., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Asari, T., Osumi,

- H., Nakayama, I., Ichimura, T., Ogura, M., Ooki, A., Takahari, D., Yamaguchi, K., Chin, K.
Neoadjuvant chemoradiotherapy with cisplatin plus fluorouracil for borderline resectable esophageal squamous cell carcinoma.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(5): 1510-1517
15. Tamura, M., Monzen, H., Matsumoto, K., Kubo, K., Ueda, Y., Kamima, T., Inada, M., Doi, H., Nakamatsu, K., Nishimura, Y.
Influence of cleaned-up commercial knowledge-based treatment planning on volumetric-modulated arc therapy of prostate cancer.
J. Med. Phys., 2020. 45(2): 71-77
 16. Tsuchida, K., Inaba, K., Kashiwara, T., Murakami, N., Okuma, K., Takahashi, K., Igaki, H., Nakayama, Y., Maejima, A., Shinoda, Y., Matsui, Y., Komiyama, M., Fujimoto, H., Ito, Y., Sumi, M., Nakano, T., Itami, J.
Clinical outcomes of definitive whole pelvic radiotherapy for clinical lymph node metastatic prostate cancer.
Cancer Med., 2020. 9(18): 6629-6637
 17. Uchida, H., Hirata, T., Otani, K., Suzuki, O., Oda, M., Akino, Y., Sumida, I., Hatano, K., Fujita, K., Uemura, M., Imamura, R., Eino, D., Yoshioka, Y., Nonomura, N., Ogawa, K.
Assessment of daily replanning and geometrical variation of high-dose-rate brachytherapy for the prostate.
Anticancer Res., 2020. 40(3): 1677-1682
 18. Yamano, T., Tomita, N., Sato, T., Hayakawa, K., Kamikonya, N., Matoba, S., Uki, A., Baba, H., Oya, N., Hasegawa, H., Shigematsu, N., Hiraoka, M., Shimada, M., Noda, M., Sakai, Y., Sato, H., Saegusa, M., Takeuchi, M., Oguchi, M., Oya, M., Watanabe, M.
Influence of chemoradiotherapy on nutritional status in locally advanced rectal cancer: Prospective multicenter study.
Nutrition, 2020. 77: 110807
 19. Yamauchi, C., Yoshimura, M., Sekiguchi, K., Hamamoto, Y., Nakajima, N., Sanuki, N., Ogo, E., Oguchi, M., Saji, S., Iwata, H.
The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guideline for radiation treatment of breast cancer, 2018 edition.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 9-16
 20. 上間達也, 村上悠, 有馬誠人, 佐藤洋輔, 吉岡稔, 佐藤智春
照射野開口形状コントローラが上咽頭がん VMAT 治療計画に与える影響について .
日本放射線技術学会雑誌, 2020. 76(4): 356-365
 21. 吉岡靖生
2020 年の Radiology : 今年 1 年を診断する ! : 放射線治療 : 2020 年における放射線治療のトレンドの予測と最新動向 .
Rad Fan, 2020. 18(4): 52-55
 22. 吉岡靖生, 米瀬淳二, 小口正彦
HDR 小線源療法 .
泌尿器外科, 2020. 33 (臨時増刊号) : 705-706
 23. 吉岡靖生, 金子真洋, 上間達也, 小口正彦
前立腺癌 .
新・医用放射線科学講座 放射線腫瘍学 (松本光弘監修・編集, 小泉雅彦, 川守田龍編集), 東京, 医歯薬出版 : pp.135-140, 2020
 24. 吉岡靖生, 田口千蔵, 小口正彦
直腸癌・膀胱癌 .
新・医用放射線学講座 放射線腫瘍学 (松本光弘監修・編集, 小泉雅彦, 川守田龍編集), 東京, 医歯薬出版 : pp.141-145, 2020
 25. 山下孝, 戸井田敦
標的α線治療薬ゾーフィゴの役割 .
Medical Science Digest, 2020. 46(13): 817-820
 26. 田口千蔵, 吉岡靖生, 小口正彦
造血器腫瘍学 (第 2 版) : 基礎と臨床の最新研究動向 : 造血器腫瘍の診断と治療 : 治療法 : 放射線療法 .

日本臨床, 2020. 78 (増刊 3 造血器腫瘍学): 243-249

27. 篠村一磨, 吉岡靖生, 小口正彦
画像診断医にも知ってほしい放射線治療: 画像が担う役割: 画像情報の利用: 治療計画立案からフォローアップまで: 前立腺癌.
臨床画像, 2020. 36(2): 166-174

【放射線治療チーム】

1. Murakami, Y., Magome, T., Matsumoto, K., Sato, T., Yoshioka, Y., Oguchi, M.
Fully automated dose prediction using generative adversarial networks in prostate cancer patients.
PLoS One, 2020. 15(5): e0232697
2. Nakanishi, R., Akiyoshi, T., Toda, A., Murakami, Y., Taguchi, S., Oba, K., Nagasaki, T., Matoba, S., Ueno, M., Fukunaga, Y., Kuroyanagi, H.
Radiomics approach outperforms diameter criteria for predicting pathological lateral lymph node metastasis after neoadjuvant (chemo)radiotherapy in advanced low rectal cancer.
Ann. Surg. Oncol., 2020. 27(11): 4273-4283
3. Tamura, M., Monzen, H., Matsumoto, K., Kubo, K., Ueda, Y., Kamima, T., Inada, M., Doi, H., Nakamatsu, K., Nishimura, Y.
Influence of cleaned-up commercial knowledge-based treatment planning on volumetric-modulated arc therapy of prostate cancer.
J. Med. Phys., 2020. 45(2): 71-77
4. 上間達也, 村上悠, 有馬誠人, 佐藤洋輔, 吉岡稔, 佐藤智春
照射野開口形状コントローラが上咽頭がん VMAT 治療計画に与える影響について.
日本放射線技術学会雑誌, 2020. 76(4): 356-365
5. 吉岡靖生, 金子真洋, 上間達也, 小口正彦
前立腺癌.

新・医用放射線科学講座 放射線腫瘍学 (松本光弘監修・編集, 小泉雅彦, 川守田龍編集), 東京, 医歯薬出版: pp.135-140, 2020

【画像診断部】

1. Fujiwara, Y., Sato, Y., Wang, X., Oikado, K., Sato, Y., Fukuda, N., Enokida, T., Takeda, K., Ohkushi, D., Hayama, B., Egi, Y., Tokai, Y., Yamada, Y., Nakajima, Y., Kubota, M., Haruki, S., Shimizu, T., Uchida, Y., Utsugi, K., Ito, Y., Ohno, S., Takahashi, S., Tsuchida, T.
Screening for COVID-19 in symptomatic cancer patients in a cancer hospital.
Cancer Cell, 2020. 38(5): 609-610
2. Fukuda, K., Sasaki, T., Hirasawa, T., Matsueda, K., Nakao, E., Mie, T., Furukawa, T., Yamada, Y., Takeda, T., Kasuga, A., Matsuyama, M., Ozaka, M., Sasahira, N.
A case of percutaneous transhepatic portal vein stent placement and endoscopic injection sclerotherapy for duodenal variceal rupture occurring during chemotherapy for unresectable perihilar cholangiocarcinoma.
Clin. J. Gastroenterol., 2020. 13(6): 1150-1156
3. Fukuoka, M., Ueno, T., Yoshida, K., Kikuchi, M., Takeuchi, K., Ohno, S.
Breast Castleman disease.
Breast J., 2020. 26(9): 1855-1856
4. Ichinose, J., Kawaguchi, Y., Nakao, M., Matsuura, Y., Okumura, S., Ninomiya, H., Oikado, K., Nishio, M., Mun, M.
Utility of maximum CT value in predicting the invasiveness of pure ground-glass nodules.
Clin. Lung Cancer, 2020. 21(3): 281-287
5. Ishiyama, M., Matesan, M.
Mesenteric panniculitis mimicking early recurrence at end-of-treatment evaluation in malignant lymphoma: Differentiation by active surveillance with F-18 FDG PET/CT imaging.
Radiol. Case Rep., 2020. 15(7): 1006-1010

6. Izumori, A., Kokubu, Y., Sato, K., Gomi, N., Morizono, H., Sakai, T., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
Usefulness of second-look ultrasonography using anatomical breast structures as indicators for magnetic resonance imaging-detected breast abnormalities.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 129-139
7. Kadoya, Y., Oikado, K., Ishiyama, M., Tanaka, H., Matsueda, K., Ninomiya, H., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Focally ossified minimally invasive adenocarcinoma of the lung coexisting with occult pulmonary metastases from thyroid cancer.
J. Thorac. Imaging, 2020. 35(6): W119-W122
8. Kawakatsu, S., Mise, Y., Hiratsuka, M., Inoue, Y., Ito, H., Takahashi, Y., Mun, M., Okumura, S., Matsueda, K., Nagino, M., Saiura, A.
Clinical significance of subcentimeter pulmonary nodules in patients undergoing hepatectomy for colorectal liver metastases.
J. Surg. Oncol., 2020. 122(3): 523-528
9. Luangxay, T., Osako, T., Yonekura, R., Sugiyama, Y., Kikuchi, M., Gomi, N., Ueno, T., Ohno, S., Machinami, R., Takeuchi, K., Akiyama, F.
Giant cell tumor of soft tissue of the breast: Case report with H3F3A mutation analysis and review of the literature.
Pathol. Res. Pract., 2020. 216(2): 152750
10. Noso, Y., Takeichi, N., Kijima, T., Yanagisawa, Y., Ushiyama, M., Sawada, T., Tanaka, Y. O., Eguchi, N., Nishio, M., Oishi, M., Ishibashi, Y., Inoue, K., Hoshi, M.
Childhood thyroid examinations in the Kanto Hotspot: A report (Study period: October 2013 to December 2017) .
Shimane J. Med. Sci., 2020. 37(1): 31-41
11. Sato, Y., Inaba, Y., Aramaki, T., Sone, M., Morita, Y., Nishiofuku, H., Tanaka, T., Miyazaki, M., Matsueda, K., Arai, Y.
Hepatic arterial infusion chemotherapy of 5-Fluorouracil for patients with unresectable liver metastases from colorectal cancer refractory to standard systemic chemotherapy: A multicenter retrospective study.
Oncology, 2020. 98(5): 267-272
12. Shiino, S., Yoshida, M., Tokura, M., Watase, C., Murata, T., Jimbo, K., Takayama, S., Suto, A., Satomi, K., Miyagi Maeshima, A., Kikuchi, M., Uchiyama, N., Kinoshita, T.
Locally advanced triple negative breast cancer arising from fibroadenoma with complete response to neoadjuvant chemotherapy: A case report.
Int. J. Surg. Case. Rep., 2020. 68: 234-238
13. Tanaka, H.
Chapter 6. Diagnostic imaging of metastatic nodal disease.
Diagnostic imaging in head and neck cancer. (Ojiri, H.), Singapore, Springer Nature: pp.113-129, 2020
14. Tanaka, M., Inoue, Y., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Muto, M., Kawakatsu, S., Ono, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Saiura, A.
Three-dimensional fixation: Pathological protocol following pancreaticoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic cancer.
J. Gastrointest. Surg., 2020. 24(3): 619-626
15. Uematsu, T., Nakashima, K., Kikuchi, M., Kubota, K., Suzuki, A., Nakano, S., Hirokaga, K., Yamaguchi, K., Saji, S., Iwata, H.
The Japanese Breast Cancer Society clinical practice guidelines for breast cancer screening and diagnosis, 2018 edition.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 17-24

16. 上田和彦, 高松学
画像診断と病理: 肝内胆管癌の画像診断.
肝臓クリニカルアップデート, 2020. 6(1):
105-108
17. 五味直哉
Land-Mark papers in Oncology: エポックメイカーとなった論文「診断」乳房 MRI.
Cancer Board of the Breast, 2020. 6(1): 66
18. 五味直哉
体表リンパ節腫大の診断: 針生検の有用性.
超音波医学, 2020. 47(6): 231-240
19. 五味直哉, 伊藤良則, 笹野公伸, 細永真理
異時多発トリプルネガティブ BRCA1 変異陽性乳癌の再発に対する治療.
Cancer Board of the Breast, 2020. 6(1):
5-16
20. 佐藤嘉尚
肺癌診断会:胸部 X 線画像読影トレーニング(第 6 回): この病変は良性(非がん)? それとも悪性(がん)?
日本医事新報, 2020(5011): 9-10
21. 外崎光宏, 吉田玲子, 菊池真理, 和泉美希子, 村上和香奈, 増田美香
遺伝性乳がん卵巣がん症候群(HBOC)の保険収載により, 乳がん診療はどう変わるか?
INNERVISION, 2020. 35(8): 16-21
22. 植野映子
II. 脊椎転移の診断 3. 脊椎腫瘍と他の脊椎疾患: 画像所見.
脊椎転移パーフェクト診療: がん口コモを防ぐために 東京, 南江堂: 2020
23. 植野映子
骨転移の画像診断.
臨床画像, 2020. 36(12): 1458-1461
24. 田中優美子
第 1 章 子宮頸癌: 画像診断法.
Science and Practice 産科婦人科臨床シリーズ; 第 5 巻『悪性腫瘍』(八重樫伸生専門編集), 東京, 中山書店: pp.21-26, 2020
25. 田中宏子
ビギナーのための頭頸部画像診断: Q&A アプローチ: 所見からのアプローチ(Q5) 鼻腔に腫瘍を認めた時, どのように読影・診断すればよいですか?
画像診断, 2020. 40(9): 944-945
26. 田中宏子
ビギナーのための頭頸部画像診断: Q&A アプローチ: 疾患からのアプローチ(Q7) 神経周囲進展について教えてください.
画像診断, 2020. 40(9): 976-977
27. 石山光富, 大澤敦, 寺内隆司
Precision Medicine 時代の Abdominal Imaging 2020: 先人たちの足跡と未来への道: 後編: CT/X-ray/ 核医学/WS: 核医学: 腹部領域における技術の到達点と臨床の最前線: 核医学の技術進歩で変わる臨床の今と未来: デバイスレス呼吸同期機能搭載の半導体 PET/CT の使用経験および有用性.
INNERVISION, 2020. 35(5): 56-59
28. 石山光富
肺癌診断会:胸部 X 線画像読影トレーニング(第 7 回): 肺癌の病変はどこにありますか?
日本医事新報, 2020(5012): 9-10
29. 石山光富
肺癌診断会:胸部 X 線画像読影トレーニング(第 8 回): この病変は良性(非がん)? それとも悪性(がん)?
日本医事新報, 2020(5013): 7-8
30. 菊池真理
75 歳以上のマンモグラフィ検診継続: 乳がん死亡率の低下をもたらさず.
The Mainichi Medical Journal MMJ, 2020. 16(6): 170
31. 負門克典
呼吸器疾患の鑑別診断: 「基本画像パターン」, 「病態」, 「経過」: 無気肺.
呼吸器ジャーナル, 2020. 68(1): 106-112
32. 負門克典
基礎から学ぶ肺癌診断: 肺区域の画像診断: 孤

立性肺結節を正確に診断するために .
画像診断 , 2020. 40(5): 394-400

33. 負門克典

肺癌診断会:胸部 X 線画像読影トレーニング(第
2 回):この病変は良性(非がん)?それとも
悪性(がん)?

日本医事新報 , 2020(5007): 7-8

【核医学部】

1. Fukano, R., Mori, T., Sekimizu, M., Choi, I., Kada, A., Moriya Saito, A., Asada, R., Takeuchi, K., Terauchi, T., Tateishi, U., Horibe, K., Nagai, H.
Alectinib for relapsed or refractory ALK-positive anaplastic large cell lymphoma: An open label phase 2 trial.
Cancer Sci., 2020. 111(12): 4540-4547
2. Imaizumi, A., Obata, T., Kershaw, J., Tachibana, Y., Inubushi, M., Koizumi, M., Yoshikawa, K., Zhang, M. R., Tanimoto, K., Harada, R., Uno, T., Saga, T.
Imaging of hypoxic tumor: Correlation between diffusion-weighted MR imaging and 18F-fluoroazomycin arabinoside positron emission tomography in head and neck carcinoma.
Magn. Reson. Med. Sci., 2020. 19(3): 276-281
3. Koizumi, M., Motegi, K., Koyama, M., Ishiyama, M., Togawa, T., Makino, T., Arisaka, Y., Terauchi, T.
Diagnostic performance of a computer-assisted diagnostic system: Sensitivity of BONENAVI for bone scintigraphy in patients with disseminated skeletal metastasis is not so high.
Ann. Nucl. Med., 2020. 34(3): 200-211
4. Matsutomo, N., Seki, H., Hishikawa, M., Motegi, K., Yamamoto, T.
Technical note: Development of an ischemic defect model insert attachable to a commercially available myocardial phantom.

Med. Phys., 2020. 47(9): 4340-4347

5. Miwa, K., Wagatsuma, K., Nemoto, R., Masubuchi, M., Kamitaka, Y., Yamao, T., Hiratsuka, S., Yamaguchi, M., Yoshii, T., Kobayashi, R., Miyaji, N., Ishii, K.
Detection of sub-centimeter lesions using digital TOF-PET/CT system combined with Bayesian penalized likelihood reconstruction algorithm.
Ann. Nucl. Med., 2020. 34(10): 762-771
6. Miyaji, N., Miwa, K., Tokiwa, A., Ichikawa, H., Terauchi, T., Koizumi, M., Onoguchi, M.
Phantom and clinical evaluation of bone SPECT/CT image reconstruction with xSPECT algorithm.
EJNMMI Res., 2020. 10(1): 71
7. Motegi, K., Matsutomo, N., Yamamoto, T., Koizumi, M.
Evaluation of bone metastasis burden as an imaging biomarker by quantitative single-photon emission computed tomography/computed tomography for assessing prostate cancer with bone metastasis: A phantom and clinical study.
Radiol. Phys. Technol., 2020. 13(3): 219-229
8. Takase, Y., Tsubochi, H., Nakano, S., Suzuki, T., Nagashima, T., Kawashima, O.
Spontaneous pneumothorax in a patient with multiple pulmonary arteriovenous malformations caused by hereditary hemorrhagic telangiectasia: A case report.
J. Surg. Case. Rep., 2020. 2020(8): rjaa266
9. Yoshii, T., Miwa, K., Yamaguchi, M., Shimada, K., Wagatsuma, K., Yamao, T., Kamitaka, Y., Hiratsuka, S., Kobayashi, R., Ichikawa, H., Miyaji, N., Miyazaki, T., Ishii, K.
Optimization of a Bayesian penalized likelihood algorithm (Q.Clear) for 18F-NaF bone PET/CT images acquired over shorter durations using a custom-designed phantom.

10. 中野祥子
肺癌診断会:胸部 X 線画像読影トレーニング(第 33 回) 肺癌の病変はどこにありますか?
日本医事新報, 2020(5041): 7-8
11. 小山眞道, 寺内隆司
多発性骨髄腫における画像診断.
血液内科, 2020. 80(2): 294-300
12. 石山光富, 大澤敦, 寺内隆司
Precision Medicine 時代の Abdominal Imaging 2020: 先人たちの足跡と未来への道: 後編: CT/X-ray/ 核医学 /WS: 核医学: 腹部領域における技術の到達点と臨床の最前線: 核医学の技術進歩で変わる臨床の今と未来: デバイスレス呼吸同期機能搭載の半導体 PET/CT の使用経験および有用性.
INNERVISION, 2020. 35(5): 56-59

【超音波診断・IVR 部】

1. Izumori, A., Kokubu, Y., Sato, K., Gomi, N., Morizono, H., Sakai, T., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
Usefulness of second-look ultrasonography using anatomical breast structures as indicators for magnetic resonance imaging-detected breast abnormalities.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 129-139
2. Naito, K., Shigematsu, Y., Fujiwara, Y., Inamura, K., Togashi, Y., Inoue, Y., Takazawa, Y., Kanda, H., Matsueda, K.
Identification of a specific ultrasonographic finding for differentiating hepatic angiomyolipoma from hepatocellular carcinoma.
Clin. Imag., 2020. 59(2): 104-108
3. 國分優美
2 章 鑑別診断の進め方: 非腫瘍性病変: 乳管拡張と乳管内病変、斑状低エコー域.
乳房超音波入門: 動画で学ぶ厳選 100 症例 東京, 日本医事新報社: pp.90-97, 2020

【臨床遺伝医療部】

1. Blair, V. R., McLeod, M., Carneiro, F., Coit, D. G., D'Addario, J. L., van Dieren, J. M., Harris, K. L., Hoogerbrugge, N., Oliveira, C., van der Post, R. S., Arnold, J., Benusinglio, P. R., Bisseling, T. M., Boussioutas, A., Cats, A., Charlton, A., Schreiber, K. E. C., Davis, J. L., Pietro, M. D., Fitzgerald, R. C., Ford, J. M., Gamet, K., Gullo, I., Hardwick, R. H., Huntsman, D. G., Kaurah, P., Kupfer, S. S., Latchford, A., Mansfield, P. F., Nakajima, T., Parry, S., Rossaak, J., Sugimura, H., Svrcek, M., Tischkowitz, M., Ushijima, T., Yamada, H., Yang, H. K., Claydon, A., Figueiredo, J., Paringatai, K., Seruca, R., Bougen-Zhukov, N., Brew, T., Busija, S., Carneiro, P., DeGregorio, L., Fisher, H., Gardner, E., Godwin, T. D., Holm, K. N., Humar, B., Lintott, C. J., Monroe, E. C., Muller, M. D., Norero, E., Nouri, Y., Paredes, J., Sanches, J. M., Schulpen, E., Ribeiro, A. S., Sporle, A., Whitworth, J., Zhang, L., Reeve, A. E., Guilford, P.
Hereditary diffuse gastric cancer: Updated clinical practice guidelines.
Lancet Oncol., 2020. 21(8): e386-e397
2. Ichijima, R., Abe, S., Kobayashi, S., Minagawa, T., Tagawa, T., Nakajima, T., Yamada, M., Takamaru, H., Sekiguchi, M., Sakamoto, T., Oda, I., Matsuda, T., Saito, Y., Gotoda, T.
Efficacy of full-spectrum endoscopy to visualize the major duodenal papilla in patients with familial adenomatous polyposis.
Digestion, 2020. 101(5): 563-570
3. Kaneyasu, T., Mori, S., Yamauchi, H., Ohsu-mi, S., Ohno, S., Aoki, D., Baba, S., Kawano, J., Miki, Y., Matsumoto, N., Nagasaki, M., Yoshida, R., Akashi-Tanaka, S., Iwase, T., Kitagawa, D., Masuda, K., Hirasawa, A., Arai, M., Takei, J., Ide, Y., Gotoh, O., Yaguchi, N., Nishi, M., Kaneko, K., Matsuyama, Y., Okawa, M., Suzuki, M., Nezu, A., Yokoyama, S., Amino, S., Inuzuka, M., Noda, T., Nakamura, S.

- Prevalence of disease-causing genes in Japanese patients with BRCA1/2-wildtype hereditary breast and ovarian cancer syndrome.
NPJ Breast Cancer, 2020. 6: 25
4. Masuzawa, K., Asakura, T., Ikemura, S., Yasuda, H., Kawada, I., Takaoka, S., Hayashi, Y., Nakajima, T., Arai, M., Fukunaga, K., Soejima, K.
Long-lasting response to nivolumab for a patient with Lynch syndrome-associated lung adenocarcinoma.
JCO Precis. Oncol., 2020. 4: PO.19.00156
 5. Nakano, K., Kawachi, H., Chino, A., Kita, M., Arai, M., Ide, D., Saito, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Phenotypic variations of gastric neoplasms in familial adenomatous polyposis are associated with the endoscopic status of atrophic gastritis.
Dig. Endosc., 2020. 32(4): 547-556
 6. Tsugeno, Y., Nakano, K., Nakajima, T., Namikawa, K., Takamatsu, M., Yamamoto, N., Fujisaki, J., Nunobe, S., Kitagawa, M., Takeuchi, K., Kawachi, H.
Histopathologic analysis of signet-ring cell carcinoma in situ in patients with hereditary diffuse gastric cancer.
Am. J. Surg. Pathol., 2020. 44(9): 1204-1212
 7. Yokota, T., Saito, Y., Takamaru, H., Sekine, S., Nakajima, T., Yamada, M., Sakamoto, T., Taniguchi, H., Kushima, R., Tsukamoto, S., Shida, D., Kanemitsu, Y., Matsuda, T.
Spontaneous regression of mismatch repair-deficient colon cancer: A case series.
Clin. Gastroenterol. Hepatol., 2020: in press
 8. Yoshida, R., Hagio, T., Kaneyasu, T., Gotoh, O., Osako, T., Tanaka, N., Amino, S., Yaguchi, N., Nakashima, E., Kitagawa, D., Ueno, T., Ohno, S., Nakajima, T., Nakamura, S., Miki, Y., Hirota, T., Takahashi, S., Matsuura, M., Noda, T., Mori, S.
Pathogenicity assessment of variants for breast cancer susceptibility genes based on BRCAness of tumor sample.
Cancer Sci., 2021. 112(3): 1310-1319
 9. 中島健
胃癌検診の時代的変遷：がんゲノム時代の遺伝性腫瘍診療：消化器病専門医の役割。
日本消化器病学会雑誌，2020. 117(6): 485-493
 10. 中島健，河内洋，並河健，吉水祥一，藤崎順子
胃癌診断を極める：遺伝性腫瘍疾患を背景に生じる胃癌の内視鏡診断：遺伝性腫瘍疾患を背景に生じる胃癌の内視鏡診断：遺伝性びまん型胃癌を中心に。
消化器内視鏡，2020. 32(1): 144-151
 11. 中島健
遺伝性腫瘍とゲノム医療を学ぶ：遺伝性腫瘍：家族性大腸腺腫症（FAP）。
臨床外科，2020. 75(8): 922-926
 12. 野村秀高，吉田玲子，喜多瑞穂，芦原有美，高津美月，竹内抄與子，田中佑治，尾身牧子，根津幸穂，栗田智子，青木洋一，温泉川真由，谷川輝美，的田真紀，岡本三四郎，尾松公平，金尾祐之，高澤豊，中島健，竹島信宏
遺伝性乳癌卵巣癌に対するリスク低減卵管卵巣摘出術で経験したオカルト癌。
遺伝性腫瘍，2020. 20(3): 136-141
- 【集中治療部】**
1. Harada, S., Ohkushi, D., Nakano, K., Mitani, H., Yamamoto, Y., Kamei, K., Hayama, B.
Fatal invasive pulmonary aspergillosis caused by voriconazole-resistant *Aspergillus tubingensis* in a patient with solid tumor.
J. Infect. Chemother., 2020. 26(3): 301-304

【救急部】

1. Mizuno, A., Miyashita, M., Kohno, T., Tokuda, Y., Fujimoto, S., Nakamura, M., Takayama, M., Niwa, K., Fukuda, T., Ishimatsu, S., Kinoshita, S., Oishi, S., Mochizuki, H., Utsunomiya, A., Takada, Y., Ochiai, R., Mochizuki, T., Nagao, K., Yoshida, S., Hayashi, A., Sekine, R., Anzai, T.
Quality indicators of palliative care for acute cardiovascular diseases.
J. Cardiol., 2020. 76(2): 177-183

【臨床検査センター】

1. Sasaki, T., Harada, S., Yamamoto, S., Ohkushi, D., Hayama, B., Takeda, K., Hoashi, K., Shiotani, J., Takehana, K., Doi, Y.
Clinical characteristics of peripheral venous catheter-associated gram-negative bloodstream infection among patients with malignancy.
PLoS One, 2020. 15(1): e0228396

【遺伝子診断部】

1. Kaneyasu, T., Mori, S., Yamauchi, H., Ohsu-mi, S., Ohno, S., Aoki, D., Baba, S., Kawano, J., Miki, Y., Matsumoto, N., Nagasaki, M., Yoshida, R., Akashi-Tanaka, S., Iwase, T., Kitagawa, D., Masuda, K., Hirasawa, A., Arai, M., Takei, J., Ide, Y., Gotoh, O., Yaguchi, N., Nishi, M., Kaneko, K., Matsuyama, Y., Okawa, M., Suzuki, M., Nezu, A., Yokoyama, S., Amino, S., Inuzuka, M., Noda, T., Nakamura, S.
Prevalence of disease-causing genes in Japanese patients with BRCA1/2-wildtype hereditary breast and ovarian cancer syndrome.
NPJ Breast Cancer, 2020. 6: 25
2. Ishigaki, K., Akiyama, M., Kanai, M., Takahashi, A., Kawakami, E., Sugishita, H., Sakaue, S., Matoba, N., Low, S. K., Okada, Y., Terao, C., Amariuta, T., Gazal, S., Kochi, Y., Horikoshi, M., Suzuki, K., Ito, K., Koyama, S., Ozaki, K., Niida, S., Sakata, Y., Sakata, Y., Kohno, T., Shiraishi, K., Momo-

zawa, Y., Hirata, M., Matsuda, K., Ikeda, M., Iwata, N., Ikegawa, S., Kou, I., Tanaka, T., Nakagawa, H., Suzuki, A., Hirota, T., Tamari, M., Chayama, K., Miki, D., Mori, M., Nagayama, S., Daigo, Y., Miki, Y., Katagiri, T., Ogawa, O., Obara, W., Ito, H., Yoshida, T., Imoto, I., Takahashi, T., Tanikawa, C., Suzuki, T., Sinozaki, N., Minami, S., Yamaguchi, H., Asai, S., Takahashi, Y., Yamaji, K., Takahashi, K., Fujioka, T., Takata, R., Yanai, H., Masumoto, A., Koretsune, Y., Kutsumi, H., Higashiyama, M., Murayama, S., Minegishi, N., Suzuki, K., Tanno, K., Shimizu, A., Yamaji, T., Iwasaki, M., Sawada, N., Uemura, H., Tanaka, K., Naito, M., Sasaki, M., Wakai, K., Tsugane, S., Yamamoto, M., Yamamoto, K., Murakami, Y., Nakamura, Y., Raychaudhuri, S., Inazawa, J., Yamauchi, T., Kadowaki, T., Kubo, M., Kamatani, Y.
Large-scale genome-wide association study in a Japanese population identifies novel susceptibility loci across different diseases.
Nat. Genet., 2020. 52(7): 669-679

3. Deng, Y., Miki, Y., Nakanishi, A.
Estradiol/GPER affects the integrity of mammary duct-like structures in vitro.
Sci. Rep., 2020. 10(1): 1386

【病理部】

1. Chino, A., Kawachi, H., Takamatsu, M., Hatamori, H., Ide, D., Saito, S., Igarashi, M., Fujisaki, J., Nagayama, S.
Macroscopic and microscopic morphology and molecular profiling to distinguish heterogeneous traditional serrated adenomas of the colorectum.
Dig. Endosc., 2020. 32(6): 921-931
2. Ebina, A., Togashi, Y., Baba, S., Sato, Y., Sakata, S., Ishikawa, M., Mitani, H., Takeuchi, K., Sugitani, I.
TERT promoter mutation and extent of thyroidectomy in patients with 1-4 cm intrathyroidal papillary carcinoma.
Cancers (Basel), 2020. 12(8): 2115

3. Fujiwara, R., Inamura, K., Yuasa, T., Numao, N., Yamamoto, S., Masuda, H., Kawauchi, A., Takeuchi, K., Yonese, J. Efficacy and safety profile of nivolumab for Japanese patients with metastatic renal cell cancer. *Int. J. Clin. Oncol.*, 2020. 25(1): 151-157
4. Fujiwara, Y., Fukuda, N., Ohmoto, A., Nakano, K., Ono, M., Taira, S., Torii, J., Takamatsu, M., Takahashi, S. An extragonadal germ cell tumor with dermatomyositis: A case report and literature review. *Mol. Clin. Oncol.*, 2020. 13(5): 60
5. Hasegawa, T., Yanagitani, N., Ninomiya, H., Sakamoto, H., Tozuka, T., Yoshida, H., Amino, Y., Uematsu, S., Yoshizawa, T., Ariyasu, R., Uchibori, K., Kitazono, S., Horiike, A., Nishio, M. Association between the efficacy of pembrolizumab and low STK11/LKB1 expression in high-PD-L1-expressing non-small-cell lung cancer. *In Vivo*, 2020. 34(5): 2997-3003
6. Hirai, H., Tada, Y., Nakaguro, M., Kawakita, D., Sato, Y., Shimura, T., Tsukahara, K., Kano, S., Ozawa, H., Okami, K., Sato, Y., Fushimi, C., Shimizu, A., Okamoto, I., Takase, S., Okada, T., Sato, H., Imanishi, Y., Otsuka, K., Watanabe, Y., Sakai, A., Ebisumoto, K., Togashi, T., Ueki, Y., Ota, H., Saigusa, N., Takahashi, H., Ando, M., Ura-no, M., Hanazawa, T., Nagao, T. The clinicopathological significance of the adipophilin and fatty acid synthase expression in salivary duct carcinoma. *Virchows Arch.*, 2020. 477(2): 291-299
7. Hokari, S., Tamura, Y., Kaneda, A., Katsura, A., Morikawa, M., Murai, F., Ehata, S., Tsutsumi, S., Ishikawa, Y., Aburatani, H., Kikuchi, T., Miyazono, K., Koinuma, D. Comparative analysis of TTF-1 binding DNA regions in small-cell lung cancer and non-small-cell lung cancer. *Mol. Oncol.*, 2020. 14(2): 277-293
8. Horiuchi, Y., Tokai, Y., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T., Fujisaki, J. Addictive effect of magnifying endoscopy with narrow-band imaging for diagnosing mixed-type early gastric cancers. *Dig. Dis. Sci.*, 2020. 65(2): 591-599
9. Horiuchi, Y., Ida, S., Yamamoto, N., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Fujisaki, J. Feasibility of further expansion of the indications for endoscopic submucosal dissection in undifferentiated-type early gastric cancer. *Gastric Cancer*, 2020. 23(2): 285-292
10. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T. Undifferentiated-type predominant mixed-type early gastric cancer is a significant risk factor for requiring additional surgeries after endoscopic submucosal dissection. *Sci. Rep.*, 2020. 10(1): 6748
11. Ichinose, J., Kawaguchi, Y., Nakao, M., Matsuura, Y., Okumura, S., Ninomiya, H., Oikado, K., Nishio, M., Mun, M. Utility of maximum CT value in predicting the invasiveness of pure ground-glass nodules. *Clin. Lung Cancer*, 2020. 21(3): 281-287
12. Inari, H., Teruya, N., Kishi, M., Horii, R., Akiyama, F., Takahashi, S., Ito, Y., Ueno, T., Iwase, T., Ohno, S. Clinicopathological features of breast cancer patients with internal mammary and/or supraclavicular lymph node recurrence

without distant metastasis.

BMC Cancer, 2020. 20(1): 932

13. Izumori, A., Kokubu, Y., Sato, K., Gomi, N., Morizono, H., Sakai, T., Horii, R., Akiyama, F., Iwase, T., Ohno, S.
Usefulness of second-look ultrasonography using anatomical breast structures as indicators for magnetic resonance imaging-detected breast abnormalities.
Breast Cancer, 2020. 27(1): 129-139
14. Kadoya, Y., Oikado, K., Ishiyama, M., Tanaka, H., Matsueda, K., Ninomiya, H., Nakao, M., Okumura, S., Mun, M.
Focally ossified minimally invasive adenocarcinoma of the lung coexisting with occult pulmonary metastases from thyroid cancer.
J. Thorac. Imaging, 2020. 35(6): W119-W122
15. Luangxay, T., Osako, T., Yonekura, R., Sugiyama, Y., Kikuchi, M., Gomi, N., Ueno, T., Ohno, S., Machinami, R., Takeuchi, K., Akiyama, F.
Giant cell tumor of soft tissue of the breast: Case report with H3F3A mutation analysis and review of the literature.
Pathol. Res. Pract., 2020. 216(2): 152750
16. Matsuda, M., Ninomiya, H., Wakejima, R., Inamura, K., Okumura, S., Mun, M., Kitagawa, M., Ishikawa, Y.
Calretinin-expressing lung adenocarcinoma: Distinct characteristics of advanced stages, smoker-type features, and rare expression of other mesothelial markers are useful to differentiate epithelioid mesothelioma.
Pathol. Res. Pract., 2020. 216(3): 152817
17. Miyashita, M., Ono, Y., Takamatsu, M., Inoue, Y., Sato, T., Ito, H., Takahashi, Y., Saiura, A.
Repeat hepatectomy for liver metastases from bile duct neuroendocrine tumor: A case report.
Surg. Case Rep., 2020. 6(1): 204
18. Nakaguro, M., Sato, Y., Tada, Y., Kawakita, D., Hirai, H., Urano, M., Shimura, T., Tsukahara, K., Kano, S., Ozawa, H., Okami, K., Sato, Y., Fushimi, C., Shimizu, A., Takase, S., Okada, T., Sato, H., Imanishi, Y., Otsuka, K., Watanabe, Y., Sakai, A., Ebisumoto, K., Togashi, T., Ueki, Y., Ota, H., Saigusa, N., Takahashi, H., Ando, M., Hanazawa, T., Nagao, T.
Prognostic implication of histopathologic indicators in salivary duct carcinoma: proposal of a novel histologic risk stratification model.
Am. J. Surg. Pathol., 2020. 44(4): 526-535
19. Nakano, K., Kawachi, H., Chino, A., Kita, M., Arai, M., Ide, D., Saito, S., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J.
Phenotypic variations of gastric neoplasms in familial adenomatous polyposis are associated with the endoscopic status of atrophic gastritis.
Dig. Endosc., 2020. 32(4): 547-556
20. Nakashima, H., Kawahira, H., Kawachi, H., Sakaki, N.
Endoscopic three-categorical diagnosis of Helicobacter pylori infection using linked color imaging and deep learning: A single-center prospective study (with video).
Gastric Cancer, 2020. 23(6): 1033-1040
21. Nakashima, Y., Inamura, K., Ninomiya, H., Okumura, S., Mun, M., Kirimura, S., Kobayashi, M., Okubo, K., Ishikawa, Y.
Frequent expression of conventional endothelial markers in pleural mesothelioma: Usefulness of claudin-5 as well as combined traditional markers to distinguish mesothelioma from angiosarcoma.
Lung Cancer, 2020. 148: 20-27

22. Ohishi, Y., Mitsuda, A., Ejima, K., Morizono, H., Yano, T., Yokoyama, M., Takeuchi, K., Fujiwara, M., Nemoto, T., Minabe, T.
Breast implant-associated anaplastic large-cell lymphoma: First case detected in a Japanese breast cancer patient.
Breast Cancer, 2020. 27(3): 499-504
23. Omi, M., Tonooka, A., Chiba, T., Tanaka, Y., Fusegi, A., Aoki, Y., Nomura, H., Kanao, H., Takazawa, Y.
Immunohistochemical markers and the clinical course of adenosarcoma: A series of seven cases.
Diagn. Pathol., 2020. 15(1): 119
24. Osumi, H., Kawachi, H., Yoshio, T., Fujisaki, J.
Clinical impact of Epstein-Barr virus status on the incidence of lymph node metastasis in early gastric cancer.
Dig. Endosc., 2020. 32(3): 316-322
25. Osumi, H., Muroi, A., Sakahara, M., Kawachi, H., Okamoto, T., Natsume, Y., Yamanka, H., Takano, H., Kusama, D., Shinozaki, E., Ooki, A., Yamaguchi, K., Ueno, M., Takeuchi, K., Noda, T., Nagayama, S., Koshikawa, N., Yao, R.
Evaluation of the RAS signaling network in response to MEK inhibition using organoids derived from a familial adenomatous polyposis patient.
Sci. Rep., 2020. 10(1): 17455
26. Sakakibara, R., Kobayashi, M., Takahashi, N., Inamura, K., Ninomiya, H., Wakejima, R., Kitazono, S., Yanagitani, N., Horiike, A., Ichinose, J., Matsuura, Y., Nakao, M., Mun, M., Nishio, M., Okumura, S., Motoi, N., Ito, T., Miyazaki, Y., Inase, N., Ishikawa, Y.
Insulinoma-associated protein 1 (INSM1) is a better marker for the diagnosis and prognosis estimation of small cell lung carcinoma than neuroendocrine phenotype markers such as chromogranin A, synaptophysin, and CD56.
Am. J. Surg. Pathol., 2020. 44(6): 757-764
27. Sakamoto, K., Takeuchi, K.
Cytogenetics of blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm: Chromosomal rearrangements and DNA copy-number alterations.
Hematol. Oncol. Clin. North Am., 2020. 34(3): 523-538
28. Sano, Y., Fujiwara, M., Yuasa, T., Komai, Y., Yamamoto, T., Kohno, A., Nakao, M., Inamura, K., Yonese, J.
Testicular seminoma with a progressing pulmonary nodule and mediastinal lymphadenopathy without retroperitoneal metastasis.
IJU Case Rep., 2020. 3(5): 211-214
29. Sasaki, T., Gokita, T., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Motoi, N., Matsumoto, S.
Osteosarcoma arising from acetabulum extended to femoral head through round ligament: A case report.
Oxf. Med. Case Rep., 2020. 2020(11): omaa076
30. Sato, Y., Fukuda, N., Wang, X., Urasaki, T., Ohmoto, A., Nakano, K., Yunokawa, M., Ono, M., Sato, Y., Mitani, H., Tomomatsu, J., Takahashi, S.
Efficacy of nivolumab for head and neck cancer patients with primary sites and histological subtypes excluded from the CheckMate-141 trial.
Cancer Manag. Res., 2020. 12: 4161-4168
31. Shibata, E., Morita, K. I., Kayamori, K., Maruiwa, M., Michi, Y., Sato, Y., Takeuchi, K., Ikeda, T., Harada, H., Yoda, T.
Secretory carcinoma around Stensen's duct misdiagnosed as salivary duct cyst.
Int. J. Clin. Exp. Pathol., 2020. 13(8): 2211-2217

32. Shigematsu, Y., Yamashita, K., Takamatsu, M., Tanizawa, T., Togashi, Y., Nakajima, T., Chino, A., Kawachi, H., Takeuchi, K.
Primary intramucosal synovial sarcoma of the sigmoid colon in a patient with a germline mutation in the MSH2 gene: A case report.
Pathol. Int., 2020. 70(12): 1015-1019
33. Sonoda, D., Matsuura, Y., Kondo, Y., Ichinose, J., Nakao, M., Ninomiya, H., Ishikawa, Y., Nishio, M., Okumura, S., Satoh, Y., Mun, M.
Characteristics of surgically resected non-small cell lung cancer patients with post-recurrence cure.
Thorac. Cancer, 2020. 11(11): 3280-3288
34. Sugiyama, Y., Gotoh, O., Fukui, N., Tanaka, N., Hasumi, K., Takazawa, Y., Noda, T., Mori, S.
Two distinct tumorigenic processes in endometrial endometrioid adenocarcinoma.
Am. J. Pathol., 2020. 190(1): 234-251
35. Sukpanichyingyong, S., Matsumoto, S., Ae, K., Tanizawa, T., Hayakawa, K., Funauchi, Y., Minami, Y., Saito, M., Yamashita, K.
Simultaneous bifocal and asymptomatic intramuscular nodular fasciitis of the thigh: A case report.
Clin. Case Rep., 2020. 8(7): 1213-1216
36. Suzuki, R., Yoshida, M., Oguchi, M., Yoshioka, Y., Tokumatsu, K., Osako, T., Ono, S., Ueno, T., Miyagi, Y.
Efficacy of radiation boost after breast-conserving surgery for breast cancer with focally positive, tumor-exposed margin.
J. Radiat. Res., 2020. 61(3): 440-446
37. Takahashi, R., Nunobe, S., Osumi, H., Takahari, D., Yamamoto, N., Ida, S., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Hiki, N.
Clinical outcomes of radical gastrectomy following trastuzumab-based chemotherapy for stage IV HER2-positive gastric or gastroesophageal junction cancer.
Surg. Today, 2020. 50(10): 1240-1248
38. Takemura, K., Yuasa, T., Inamura, K., Amori, G., Koga, F., Board, P. G., Yonese, J.
Impact of serum γ -glutamyltransferase on overall survival in patients with metastatic renal cell carcinoma in the era of targeted therapy.
Target. Oncol., 2020. 15(3): 347-356
39. Tanaka, M., Inoue, Y., Matsueda, K., Hiratsuka, M., Muto, M., Kawakatsu, S., Ono, Y., Mise, Y., Ishizawa, T., Ito, H., Takahashi, Y., Takazawa, Y., Saiura, A.
Three-dimensional fixation: Pathological protocol following pancreaticoduodenectomy with portal vein resection for pancreatic cancer.
J. Gastrointest. Surg., 2020. 24(3): 619-626
40. Tsuda, H., Tsugawa, K., Akiyama, F., Horii, R., Kurosumi, M., Moriya, T., Takano, T., Takei, H., Nakayama, T., Miyagi, Y., Yamauchi, C., Yamashita, T., Aogi, K., Mukai, H., Sugie, T., Iwata, H., Masuda, S.
Correction to: Histological classification of breast tumors in the General Rules for Clinical and Pathological Recording of Breast Cancer (18th edition).
Breast Cancer, 2020. 27(4): 792
41. Ueno, H., Konishi, T., Ishikawa, Y., Shimazaki, H., Ueno, M., Aosasa, S., Saiura, A., Shinto, E., Kajiwar, Y., Mochizuki, S., Nakamura, T., Yamamoto, J.
Primary tumor histology affects oncological outcomes independently of the anatomical extent of disease in colorectal liver metastasis.
JAM Journal, 2020. 3(3): 240-250
42. Wakejima, R., Inamura, K., Ninomiya, H., Nagano, H., Mun, M., Okumura, S., Okubo, K., Ishikawa, Y.

- Mucinous lung adenocarcinoma, particularly referring to EGFR-mutated mucinous adenocarcinoma.
Pathol. Int., 2020. 70(2): 72-83
43. Yamasaki, A., Shimizu, T., Kawachi, H., Yamamoto, N., Yoshimizu, S., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Sasaki, Y., Fujisaki, J.
Endoscopic features of esophageal adenocarcinoma derived from short-segment versus long-segment Barrett's esophagus. J. Gastroenterol. Hepatol., 2020. 35(2): 211-217
 44. Yoshimizu, S., Kawachi, H., Yamamoto, Y., Nakano, K., Horiuchi, Y., Ishiyama, A., Tsuchida, T., Yoshio, T., Hirasawa, T., Ito, H., Fujisaki, J.
Clinicopathological features and risk factors for lymph node metastasis in early-stage non-ampullary duodenal adenocarcinoma. J. Gastroenterol., 2020. 55(8): 754-762
 45. 中島健, 河内洋, 並河健, 吉水祥一, 藤崎順子
胃癌診断を極める: 遺伝性腫瘍疾患を背景に生じる胃癌の内視鏡診断: 遺伝性腫瘍疾患を背景に生じる胃癌の内視鏡診断: 遺伝性びまん型胃癌を中心に.
消化器内視鏡, 2020. 32(1): 144-151
 46. 中野薫, 千野晶子, 河内洋
大腸疾患アトラス update: 腫瘍、腫瘍様病変 悪性上皮性腫瘍: 腺癌: 進行癌 (特異な形態のもの) MSI-H 大腸癌: 特徴的な病理所見も添えて.
消化器内視鏡, 2020. 32 (増刊): 20-21
 47. 中野薫, 河内洋
消化器医にちょっと役立つ豆知識: 消化器内科医が知っておくべき病理学的基礎知識: 消化管領域 (第 1 回) 腫瘍の病理診断: 質的診断編. 消化器クリニカルアップデート, 2020. 2(1): 126-131
 48. 二宮浩範
病理診断の情報を診療に活用しよう!: 病理医から臨床医への提言: 肺神経内分泌腫瘍. 糖尿病・内分泌代謝科, 2020. 51(6): 467-472
 49. 十倉淳紀, 並河健, 藤崎順子, 河内洋, 中島寛隆, 榊信廣
スキルス胃癌: 病態と診断・治療の最前線: Helicobacter pylori 除菌後に発見されたスキルス胃癌の 1 例.
胃と腸, 2020. 55(6): 853-859
 50. 十倉淳紀, 斎藤彰一, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 河内洋
一度見たら忘れられない症例: 直腸肛門部にみられた悪性黒色腫の 1 例.
胃と腸, 2020. 55(9): 1179-1183
 51. 土方一範, 由雄敏之, 河内洋, 吉水祥一, 堀内裕介, 石山晃世志, 平澤俊明, 土田知宏, 庄司佳晃, 比企直樹, 藤崎順子
丈の高い粘膜下腫瘍様隆起を呈した胃底腺型胃癌の 1 例.
胃と腸, 2020. 55(10): 1313-1322
 52. 多田真奈美, 稲荷均, 片岡明美, 堀井理絵, 上野貴之, 秋山太, 大野真司
乳房部分切除後 11 年で乳頭部 Paget 型再発と対側腋窩リンパ節転移をきたした非浸潤性乳管癌の 1 例.
乳癌の臨床, 2020. 35(2): 131-135
 53. 大隅寛木, 河内洋, 由雄敏之, 藤崎順子
早期胃癌における Epstein-Barr ウイルス関連胃癌のリンパ節転移頻度に関する検討. Gastroenterological Endoscopy, 2020. 62(11): 2980-2988
 54. 山下享子
骨軟部腫瘍の病理 II: 軟部の骨・軟骨性腫瘍. 病理と臨床, 2020. 38(4): 349-354
 55. 斎藤彰一, 松野高久, 池之山洋平, 中尾栄祐, 土方一範, 鈴木桂悟, 光吉優貴, 屋嘉比聖一, 城間翔, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 河内洋

- 消化管腫瘍の内視鏡診断 2020 : 大腸腫瘍性病変の内視鏡診断 : 上皮性腫瘍の診断 : 通常観察から超拡大観察まで .
胃と腸, 2020. 55(5): 671-682
56. 松野高久, 斎藤彰一, 河内洋
小腸腫瘍アトラス : 症例アトラス : 腺腫 .
胃と腸, 2020. 55(11): 1402-1403
57. 河内洋, 中野薫
ESD アフターケアが一番大事! : [大腸] 病理学的治癒切除判定基準 .
消化器内視鏡, 2020. 32(9): 1334-1338
58. 河内洋, 中野薫
ここまで来た de novo cancer : De novo cancer の病理診断 : 陥凹型腺腫との異同を含めて .
Intestine, 2020. 24(1): 45-54
59. 河内洋, 根木真理子, 菅原江美子
免疫組織化学 : 実践的な診断・治療方針決定のために : (第 5 部) 免疫組織化学の治療への展開 浸潤度・脈管侵襲評価のための免疫染色 .
病理と臨床, 2020. 38 (臨増) : 378-383
60. 河内洋, 中野薫
内視鏡医も知っておくべき病理診断リファレンス : 上部消化管腫瘍 : 食道 : 悪性黒色腫 .
胃と腸, 2020. 55(4): 387-389
61. 河内洋, 中野薫
内視鏡医も知っておくべき病理診断リファレンス : 上部消化管腫瘍 : 食道 : 癌肉腫 .
胃と腸, 2020. 55(4): 384-386
62. 河内洋
切り出しのキモ:私はここをこう切っている (第 9 回) 胃 .
病理と臨床, 2020. 38(12): 1153-1159
63. 河内洋
大腸 NET : 診断と治療の最前線 : 大腸 NET 病理診断の up-to-date .
日本大腸肛門病学会雑誌, 2020. 73(10): 452-457
64. 河内洋
消化器腫瘍 I : 新 WHO 分類のポイント : 消化管編 : 食道 .
病理と臨床, 2020. 38(11): 974-979
65. 河内洋
第 5 章 小腸・大腸 4. 大腸癌 4) 大腸癌の病理診断 .
消化器外科専門医の心得 (下) (日本消化器外科学会編集), 東京, 日本消化器外科学会 : pp.444-448, 2020
66. 河内洋
胃癌診断を極める : 胃癌の病理診断 : 残された課題 .
消化器内視鏡, 2020. 32(1): 119-120
67. 河内洋, 中野薫
食道胃接合部の新展開 : 食道胃接合部の基本構造 : 食道胃接合部の組織構造 .
消化器内視鏡, 2020. 32(5): 673-679
68. 畑森裕之, 斎藤彰一, 堀江義政, 安江千尋, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 河内洋
大腸鋸歯状病変の新展開 : 上行結腸に認めた鋸歯状病変由来と考えられる早期内分泌細胞癌の 1 例 .
胃と腸, 2020. 55(13): 1639-1646
69. 石井脩平, 小松京子, 布施翔大, 柿田智世, 竹内賢吾
目で見る病理・細胞診の不良標本 (第 7 回) 免疫組織化学染色の不良標本 .
Medical Technology, 2020. 48(8): 858-865
70. 石岡充彬, 平澤俊明, 河内洋
内視鏡で見える病気、診る病気 : 背景を考える : 壁細胞機能不全症 (parietal cell dysfunction) .
消化器内科, 2020. 2(11): 52-57
71. 谷口孝伸, 佐々木隆, 武田剛志, 古川貴光, 三重堯文, 澤田雅志, 金田遼, 春日章良, 松山真人, 尾阪将人, 井上陽介, 高橋祐, 高松学, 高澤豊, 笹平直樹
当院で MCN として診療した 46 例の検討 : MCN 疑い病変の経過観察は可能か .

脾臓, 2020. 35(2): 201-212

72. 鈴木桂悟, 斎藤彰一, 池之山洋平, 光吉優貴, 中尾栄祐, 城間翔, 松野高久, 屋嘉比聖一, 井出大資, 千野晶子, 五十嵐正広, 河内洋
当院における大腸腫瘍性病変に対する JNET 分類の診断成績.
日本大腸検査学会雑誌, 2020. 36(2): 83-89

【細胞診断部】

1. Ishii, S., Ito, T., Yamada, M., Yamazaki, N., Ikebata, K., Fujiyama, J., Furuta, N., Komatsu, K., Takeuchi, K., Sugiyama, Y., Takazawa, Y.
Characteristic cytological findings of lobular endocervical glandular hyperplasia associated with adenocarcinoma of the uterine cervix.
Acta Cytol., 2020. 64(6): 556-562
2. Sugiyama, Y., Gotoh, O., Fukui, N., Tanaka, N., Hasumi, K., Takazawa, Y., Noda, T., Mori, S.
Two distinct tumorigenic processes in endometrial endometrioid adenocarcinoma.
Am. J. Pathol., 2020. 190(1): 234-251
3. 坂本穆彦, 古田則行編集
細胞診セルフアセスメント. 第2版
東京, 医学書院: 320p., 2020
4. 宇津木久仁子, 杉山裕子著
外来で行う子宮頸がん・体がん診断: 早期発見のポイント.
東京, メジカルビュー社: 164p., 2020

【栄養管理部】

1. 井田智
よくわかる周術期の栄養管理 Q & A 15: 術後に経口栄養がすすまない場合はどうするの?
Nutrition Care, 2020. 13(2): 145-148
2. 井田智, 熊谷厚志, 幕内梨恵, 大橋学, 布部創也
外科栄養: 最新のアプローチ: 胃癌周術期運動・栄養療法.

外科, 2020. 82(4): 345-349

3. 川名加織
実は知らなかった! 新たに学ぶ頭頸部再建周術期管理の10の盲点: 頭頸部癌再建患者の在宅食事指導の実際.
PEPARS, 2020(168): 68-74

【緩和治療科】

1. Mori, M., Morita, T., Matsuda, Y., Yamada, H., Kaneishi, K., Matsumoto, Y., Matsuo, N., Odagiri, T., Aruga, E., Watanabe, H., Tataru, R., Sakurai, H., Kimura, A., Katayama, H., Suga, A., Nishi, T., Shirado, A. N., Watanabe, T., Kuchiba, A., Yamaguchi, T., Iwase, S.
How successful are we in relieving terminal dyspnea in cancer patients? A real-world multicenter prospective observational study.
Support. Care Cancer, 2020. 28(7): 3051-3060
2. 佐伯吉規, 川原玲子
3章 認知機能障害を示す様々な背景: 3-4 身体的苦痛が認知機能に与える影響.
がん認知機能障害: 気づく, 評価する, 支援する (谷向仁編著), 東京, 中外医学社: 2020
3. 佐伯吉規
4つの診断を受けた女性: 治療的でない安易な診断 (レッテル貼り) に注意.
「大人の発達障害」トリセツのつくりかた: 一般病棟における入院患者の評価と対応に役立つ実践的知識! (井上真一郎編著), 東京, 中外医学社: 2020
4. 川原玲子
一般・消化器外科医のための: できる! 漢方緩和医療: がん患者のQOLを漢方で支える.
臨床外科, 2020. 75(3): 334-338
5. 川原玲子
漢方薬が神経筋疾患の筋緊張に対して有効であった1症例.
痛みと漢方, 2020. 30: 51-55

6. 川原玲子
痛みの診断と治療最前線：がん疼痛の治療戦略．
日本医師会雑誌，2020. 149(1): 37-40
7. 平田幸一，鈴木圭輔，春山康夫，小橋元，佐伯吉規，細井昌子，福土審，柳原万理子，井上雄一，西原真理，西須大徳，森岡周，西上智彦，團野大介，竹島多賀夫，端詰勝敬，橋本和明．
種々の症状を呈する難治性疾患における中枢神経感作の役割の解明とそれによる患者ケアの向上．
精神治療，2020. 37(2): 166-179

【看護部】

1. 三澤貴代美，升谷英子，荒尾晴恵
再発・転移をきたした悪性骨軟部腫瘍患者のケアに対して看護師が抱く困難感とその関連要因．
Palliative Care Research, 2020. 15(4): 309-319
2. 三澤貴代美，水野俊美
研究結果を生かした診断・治療期の緩和ケア：実践へのチャレンジ：早期からの緩和ケア：早期からの緩和ケアは患者のQOL向上に有効か？
がん看護，2020. 25(1): 40-42
3. 上間美夕紀
上部消化管がん看護のいま 2020：術前リハビリテーションを促す看護 呼吸リハビリ，嚥下リハビリ，運動リハビリ．
がん看護，2020. 25(6): 537-542
4. 佐野紀代，福島啓文，神山亮介，三谷浩樹
プロヴォックスボイスプロステシス使用患者の術前・術後指導の実際．
頭頸部癌，2020. 46(4): 322-327
5. 佐野紀代
第3章 咽頭摘出者に対する各種サポート 1 医療従事者によるサポート (1) 看護師によるサポート．
新しい声と生きる：がんで失った声をシャント発声で取り戻す (増山敬祐，福島啓文編集)，東京，メディカルレビュー社：pp.94-106, 2020
6. 大友陽子
体調が悪化していても化学療法が継続されるとき緩和ケアチームの役割．
緩和ケア，2020. 30(6): 457-461
7. 大友陽子，三澤貴代美
“痛み + せん妄” を何とかする！：(第2章) 痛み + せん妄のあるときのケアの工夫：治療ゴールをどうするか．
緩和ケア，2020. 30(3): 213-217
8. 松浦信子
膀胱全摘除術前術後の看護．
Uro-Lo：泌尿器 care&cure, 2020. 25(1): 106-112
9. 横井麻珠美
2. 呼吸困難．
がん化学療法ケアガイド 第3版 (濱口恵子，本山清美編集)，東京，中山書店：pp.328-338, 2020
10. 武田知子
上部消化管がん看護のいま 2020：データでわかる！安全に手術に臨むための術前看護．
がん看護，2020. 25(6): 527-531
11. 水野俊美
生活の視点で読み解く！今日の緩和ケア：患者になにが起こっているのか：眠る・休む：不眠のケア．
がん看護，2020. 25(5): 509-511
12. 稲城陽子
ICU 入室中から退院へ向けてできる支援：重症患者の退院に向けた支援の実際：がん患者における退院に向けた支援の現状と課題．
重症集中ケア，2020. 18(6): 43-48
13. 稲城陽子
上部消化管がん看護のいま 2020：術後患者の身体的変化と看護．
がん看護，2020. 25(6): 551-554
14. 竹内抄與子
上部消化管がん看護のいま 2020：術前の栄養コントロール：栄養補助食品を摂取する必要性

とその効果 .

がん看護, 2020. 25(6): 532-534

15. 竹内抄與子
上部消化管がん看護のいま 2020 : 術後早期からの栄養コントロール : 胃がん術後患者への食事支援 .
がん看護, 2020. 25(6): 535-536
16. 綿貫恵
上部消化管がん看護のいま 2020: リハビリテーション継続のための支援 : 術前から退院後まで .
がん看護, 2020. 25(6): 546-550
17. 花出正美
緩和ケアにおける家族ケアベストプラクティス : 第 II 部 シチュエーションに沿った各専門家の家族ケア : ベストプラクティス : 家族内で治療やケアに対する考えが違ふとき : がん看護の視点から .
緩和ケア, 2020. 30 (6 月増刊) : 042-045
18. 長崎礼子
免疫チェックポイント阻害薬 : 知って実践 ! 免疫関連有害事象マネジメント : 免疫関連有害事象に備えた患者教育とセルフケア支援 .
がん看護, 2020. 25(4): 317-320
19. 長崎礼子
分子標的治療薬の新たな副作用 .
がん化学療法ケアガイド 第 3 版 (濱口恵子, 本山清美編集), 東京, 中山書店 : pp.310-316, 2020
20. 長崎礼子, 星野公子, 大友陽子, 尾阪将人, 笹平直樹
膵疾患 (膵癌) (慢性膵炎を含む) のサポーター・ケア : 進行膵がん患者に対する PANDA プログラムにおける外来治療室看護師の関わり .
膵臓, 2020. 35(2): 130-135
21. 鴨川郁子
上部消化管がん看護のいま 2020 : 周術期の患者を支援するためのコミュニケーション : 意思決定と不安に寄り添う看護 .
がん看護, 2020. 25(6): 555-557

22. 黒田直子

上部消化管がん看護のいま 2020 : 腸内コントロールが術後の状態を左右する .

がん看護, 2020. 25(6): 543-545

【薬剤部】

1. Aoyama, T., Tsunoda, T., Kato, H., Hagi-no, A., Furutani, R., Ito, K., Yoshioka, H., Nakamura, M., Hiraide, M., Kawakami, K., Kobayashi, K., Suzuki, K., Ichimura, T., Yamaguchi, K., Hama, T.
Comparison of cisplatin-induced nephrotoxicity when using conventional versus short hydration in gastric cancer: A retrospective study.
J. Chmother., 2020. 32(3): 144-150
2. Chiba, T., Kambe, T., Yamamoto, K., Kawakami, K., Taguchi, K., Abe, K.
Vincristine increased spinal cord substance P levels in a peripheral neuropathy rat model.
Drug Chem. Toxicol., 2020: in press
3. Hiraide, M., Shiga, T., Minowa, Y., Nakano, Y., Yoshioka, H., Suzuki, K., Yasuda, C., Takahashi, H., Hama, T.
Identification of risk factors for venous thromboembolism and evaluation of Khora-na venous thromboembolism risk assessment in Japanese lung cancer patients.
J. Cardiol., 2020. 75(1): 110-114
4. Kamata, Y., Kambe, T., Chiba, T., Yamamoto, K., Kawakami, K., Abe, K., Taguchi, K.
Paclitaxel induces upregulation of transient receptor potential vanilloid 1 expression in the rat spinal cord.
Int. J. Mol. Sci., 2020. 21(12)
5. Kobayashi, K., Iikura, Y., Hiraide, M., Yokokawa, T., Aoyama, T., Shikibu, S., Hashimoto, K., Suzuki, K., Sato, H., Sugiyama, E., Tajima, M., Hama, T.
Association between immune-related adverse events and clinical outcome following

- nivolumab treatment in patients with metastatic renal cell carcinoma.
In Vivo, 2020. 34(5): 2647-2652
6. Kobayashi, K., Suzuki, K., Hiraide, M., Aoyama, T., Yokokawa, T., Shikibu, S., Hashimoto, K., Iikura, Y., Sato, H., Sugiyama, E., Tajima, M., Hama, T.
Association of immune-related adverse events with pembrolizumab efficacy in the treatment of advanced urothelial carcinoma.
Oncology, 2020. 98(4): 237-242
 7. Matsui, R., Suzuki, K., Takiguchi, T., Nishio, M., Koike, T., Hayashi, T., Seto, T., Kogure, Y., Nogami, N., Fujiwara, K., Kaneda, H., Harada, T., Shimizu, S., Kimura, M., Kenmotsu, H., Shimokawa, M., Goto, K.
5-Hydroxytryptamine-3 receptor antagonist and dexamethasone as prophylaxis for chemotherapy-induced nausea and vomiting during moderately emetic chemotherapy for solid tumors: A multicenter, prospective, observational study.
BMC Pharmacol. Toxicol., 2020. 21(1): 72
 8. Shiga, T., Hiraide, M.
Cardiotoxicities of 5-fluorouracil and other fluoropyrimidines.
Curr. Treat. Options Oncol., 2020. 21(4): 27
 9. Yokokawa, T., Suzuki, K., Sugisaki, T., Kobayashi, K., Shouji, D., Watanabe, H., Kawakami, K., Takiguchi, T., Aoyama, T., Kobayashi, K., Takahashi, S., Ito, Y., Ohno, S., Hama, T.
Impact of primary pegfilgrastim prophylaxis on relative dose intensity in neoadjuvant/adjuvant FEC-100 chemotherapy.
Anticancer Res., 2020. 40(2): 915-921
 10. 原山真理子, 鈴木亘
がん薬物療法の患者安全管理に向けて知っておきたい共通認識: 保険薬局での抗がん薬治療安
- 全管理標準化に向けて: (第7回) 悪心・嘔吐.
都薬雑誌, 2020. 42(11): 50-53
11. 原山真理子, 友松拓哉, 吾妻慧一
がん薬物療法の患者安全管理に向けて知っておきたい共通認識 (第8回) FN (febrile neutropenia: 発熱性好中球減少症).
都薬雑誌, 2020. 42(12): 44-47
 12. 友松拓哉, 平出誠, 青山剛, 鈴木賢一, 伊藤良則, 濱敏弘
乳癌周術期化学療法で制吐薬として使用するオランザピンの血糖値に与える影響.
癌と化学療法, 2020. 47(10): 1471-1475
 13. 吾妻慧一
Evidence Update 2020: 最新の薬物治療のエビデンスを付加的に利用する: エキスパートが注目する最新エビデンスをアップデート! 前立腺癌治療薬.
薬局, 2020. 71(1): 163-166
 14. 川上和宜
4 段目 副作用対策 26 がん薬物療法の副作用
4 段目 副作用対策 27 支持療法
がん薬物療法のひきだし: 腫瘍薬学の基本から応用まで(松尾宏一ほか編集), 東京, 医学書院: pp.278-287, 288-291, 2020
 15. 川上和宜
プロフェッショナル EYE: 専門薬剤師からみた勘所: 外来がん薬物療法のマネジメント実践: 副作用評価からメディカルレコードの書き方まで.
薬局, 2020. 71(9): 3031-3039
 16. 川上和宜
病気とくすり 2020: 基礎と実践 Expert's Guide: 病原微生物・悪性新生物とくすり: 悪性新生物の基礎と治療薬: 副作用マネジメントと支持療法.
薬局, 2020. 71(4): 2056-2060
 17. 望月敬浩, 中村安孝, 川上和宜, 大橋養賢, 原田知彦編
薬剤師の臨床センスを磨くトレーニングブック: 薬トレ: 感染・がん.

東京：416p., 2020

18. 柴田直樹, 川上和宜, 中村匡志, 平出誠, 竹野伸洋, 吉岡秀哲, 鈴木賢一, 温泉川真由, 竹島信宏, 濱敏弘
卵巣がん患者におけるカルボプラチン脱感作療法の使用実態調査.
日本病院薬剤師会雑誌, 2020. 56(8): 918-924
19. 橋本幸輝, 小林一男, 平出誠, 横川貴志, 吾妻慧一, 柴田直樹, 吉岡秀哲, 副島梓, 羽鳥正浩, 鈴木賢一, 湯浅健, 米瀬淳二, 濱敏弘
尿路上皮がんに対するゲムシタピン + シスプラチン併用療法の相対用量強度減弱リスク因子の検討.
日本病院会雑誌, 2020. 56(9): 993-997
20. 鈴木亘
末梢神経障害.
フローチャート抗がん薬副作用：対応の流れと治療のポイントがわかる（渡邊裕之ほか編）, 東京, じほう：pp.127-136, 2020

【医療安全管理部】

1. Hiraide, M., Shiga, T., Minowa, Y., Nakano, Y., Yoshioka, H., Suzuki, K., Yasuda, C., Takahashi, H., Hama, T.
Identification of risk factors for venous thromboembolism and evaluation of Khora-na venous thromboembolism risk assessment in Japanese lung cancer patients.
J. Cardiol., 2020. 75(1): 110-114
2. 根本真記
最適治療を目指すなら、ここまで知っておきたい「がん×他領域」の最新知識：がん×循環器.
薬事, 2020. 62(3): 523-527

【臨床研究・開発センター】

1. Akahoshi, T., Gatanaga, H., Kuse, N., Chikata, T., Koyanagi, M., Ishizuka, N., Brumme, C. J., Murakoshi, H., Brumme, Z. L., Oka, S., Takiguchi, M.
T-cell responses to sequentially emerging viral escape mutants shape long-term HIV-1 population dynamics.

PLoS Pathog., 2020. 16(12): e1009177

2. Hayami, M., Watanabe, M., Mine, S., Imamura, Y., Okamura, A., Yuda, M., Yamashita, K., Shoji, Y., Toihata, T., Kozuki, R., Ishizuka, N.
Steam induced by the activation of energy devices under a wet condition may cause thermal injury.
Surg. Endosc., 2020. 34(5): 2295-2302
3. Horiuchi, Y., Ida, S., Yamamoto, N., Nunobe, S., Ishizuka, N., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Tsuchida, T., Kumagai, K., Ohashi, M., Sano, T., Fujisaki, J.
Feasibility of further expansion of the indications for endoscopic submucosal dissection in undifferentiated-type early gastric cancer.
Gastric Cancer, 2020. 23(2): 285-292
4. Horiuchi, Y., Hirasawa, T., Ishizuka, N., Tokai, Y., Namikawa, K., Yoshimizu, S., Ishiyama, A., Yoshio, T., Tsuchida, T., Fujisaki, J., Tada, T.
Performance of a computer-aided diagnosis system in diagnosing early gastric cancer using magnifying endoscopy videos with narrow-band imaging (with videos).
Gastrointest. Endosc., 2020. 92(4): 856-865. e1
5. Horiuchi, Y., Fujisaki, J., Yamamoto, N., Ishizuka, N., Ishiyama, A., Yoshio, T., Hirasawa, T., Yamamoto, Y., Nagahama, M., Takahashi, H., Tsuchida, T.
Undifferentiated-type predominant mixed-type early gastric cancer is a significant risk factor for requiring additional surgeries after endoscopic submucosal dissection.
Sci. Rep., 2020. 10(1): 6748
6. Nagaoka, T., Yamaguchi, T., Nagasaki, T., Akiyoshi, T., Nagayama, S., Fukunaga, Y., Chino, A., Ishizuka, N., Konishi, T.
Safety of small circular staplers in double

stapling technique anastomosis for sigmoid colon and rectal cancer.

Dis. Colon Rectum, 2020: in press

7. Nunobe, S., Ri, M., Yamazaki, K., Uraoka, M., Ohata, K., Kitazono, I., Terashima, M., Yamagata, Y., Tanabe, S., Abe, N., Tsuji, T., Niimi, K., Kawakubo, H., Tsukada, T., Kitashiro, S., Ishizuka, N., Hiki, N.

Safety and feasibility of laparoscopic and endoscopic cooperative surgery for duodenal neoplasm: A retrospective multicenter study.

Endoscopy, 2020: in press

【がん早期臨床開発部】

1. Kogawa, T., Fujii, T., Wu, J., Harano, K., Fouad, T. M., Liu, D. D., Shen, Y., Masuda, H., Krishnamurthy, S., Chavez-MacGregor, M., Lim, B., Murthy, R. K., Valero, V., Tripathy, D., Ueno, N. T.

Prognostic value of HER2 to CEP17 ratio on fluorescence in situ hybridization ratio in patients with nonmetastatic HER2-positive inflammatory and noninflammatory breast cancer treated with neoadjuvant chemotherapy with or without trastuzumab.

Oncologist, 2020. 25(6): e909-e919

2. Masuda, T., Noda, M., Kogawa, T., Kitagawa, D., Hayashi, N., Jomori, T., Nakanishi, Y., Nakayama, K. I., Ohno, S., Mimori, K.

Phase I dose-escalation trial to repurpose propagermanium, an oral CCL2 inhibitor, in patients with breast cancer.

Cancer Sci., 2020. 111(3): 924-931

3. Sasaki, A., Harano, K., Kogawa, T., Matsubara, N., Naito, Y., Hosono, A., Mukai, H., Yoshino, T., Mukohara, T.

Intestinal perforation due to neutropenic enterocolitis in a patient treated with bevacizumab for ovarian cancer.

Case Rep. Oncol. Med., 2020. 2020: 7231358

4. Shingaki, S., Kogawa, T., Shimokawa, M., Harano, K., Naito, Y., Kusuhashi, S., Fujimoto, Y., Matsubara, N., Hosono, A., Mukai, H., Onishi, T., Hojo, T., Mukohara, T.

Use of eribulin as an earlier-line chemotherapy for patients with HER2-negative metastatic breast cancer.

J. Cancer, 2020. 11(14): 4099-4105

5. Yamashita, S., Hattori, N., Fujii, S., Yamaguchi, T., Takahashi, M., Hozumi, Y., Kogawa, T., El-Omar, O., Liu, Y. Y., Arai, N., Mori, A., Higashimoto, H., Ushijima, T., Mukai, H.

Multi-omics analyses identify HSD17B4 methylation-silencing as a predictive and response marker of HER2-positive breast cancer to HER2-directed therapy.

Sci. Rep., 2020. 10(1): 15530

【がん免疫治療開発部】

1. Horimoto, Y., Thinzar Hlaing, M., Saeki, H., Kitano, S., Nakai, K., Sasaki, R., Kuri-saki-Arakawa, A., Arakawa, A., Otsuji, N., Matsuoka, S., Tokuda, E., Arai, M., Saito, M.

Microsatellite instability and mismatch repair protein expressions in lymphocyte-predominant breast cancer.

Cancer Sci., 2020. 111(7): 2647-2654

2. Ikarashi, D., Kitano, S., Ishida, K., Nakatsura, T., Shimodate, H., Tsuyukubo, T., Tamura, D., Kato, R., Sugai, T., Obara, W.

Complete pathological response to neoadjuvant pembrolizumab in a patient with chemoresistant upper urinary tract urothelial carcinoma: A case report.

Front. Oncol., 2020. 10: 564714

3. Yamamoto, S., Kato, K., Daiko, H., Kojima, T., Hara, H., Abe, T., Tsubosa, Y., Nagashima, K., Aoki, K., Mizoguchi, Y., Kitano, S., Yachida, S., Shiba, S., Kitagawa, Y.

Feasibility study of nivolumab as neoadjuvant chemotherapy for locally esophageal carcinoma: FRONTIER (JCOG1804E).

Future Oncol., 2020. 16(19): 1351-1357

4. 北野滋久
Cancer-Immunological Topics : がん免疫療法の現状と今後の展望 .
がん免疫療法 , 2020. 4(1): 49-58
5. 北野滋久
がん免疫療法の最前線 : これからの免疫療法の展望 : これから臨床に登場してくることが期待される免疫療法 .
JOHNS, 2020. 36(4): 493-501
6. 北野滋久
免疫チェックポイント阻害薬 : 押さえるべき特徴と注意点 : 免疫チェックポイント阻害薬の機序と適応 .
臨床検査 , 2020. 64(1): 11-19
7. 北野滋久
消化器領域における免疫チェックポイント阻害薬の現状・今後の展望 : がん免疫療法の課題と今後の展開 : がん免疫療法の開発状況と今後の展望 .
臨床消化器内科 , 2020. 35(5): 532-540
8. 北野滋久
腎がん診療最前線 : IO combo はなぜ IO 単剤、TKI 単剤より有効か ? : そのメカニズム .
Pharma Medica, 2020. 38(2): 9-14

【健診センター】

1. Fujiwara, Y., Sato, Y., Wang, X., Oikado, K., Sato, Y., Fukuda, N., Enokida, T., Takeda, K., Ohkushi, D., Hayama, B., Egi, Y., Tokai, Y., Yamada, Y., Nakajima, Y., Kubota, M., Haruki, S., Shimizu, T., Uchida, Y., Utsugi, K., Ito, Y., Ohno, S., Takahashi, S., Tsuchida, T.
Screening for COVID-19 in symptomatic cancer patients in a cancer hospital.
Cancer Cell, 2020. 38(5): 609-610

11. 獲得研究費一覧

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
内閣府 (医薬基盤・健康・栄養研究所)	戦略的イノベーション創造プログラム AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム	人工知能を有する統合がん診療支援システム	170,122,966	有明病院 佐野武
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援体制の均てん化と安全な長期検体保管体制の確立を志向した研究-患者本位のがん医療の実現を目指して	100,000	乳腺センター 大野真司
厚生労働省	がん対策推進総合研究事業	3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」に関する教育と正しい情報伝達に関する研究	300,000	総合腫瘍科 高橋俊二
文部科学省	新学術領域研究	先端モデル動物支援プラットフォーム	410,000	臨床研究・開発センター 牛嶋大
文部科学省	基盤研究（A）	骨軟部腫瘍における診断マーカーの同定と腫瘍概念の再構築を目指した融合遺伝子の探索	100,000	整形外科 阿江啓介
文部科学省	基盤研究（B）	大規模経時採取検体を用いた大腸がん肝転移巣の化学療法耐性化シグナルシフトの解明	400,000	大腸外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（B）	生検組織を用いたリン酸化シグナル解析によるがん多様性機序の解明と精密医療への応用	100,000	大腸外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（B）	革新的治療法開発を目指した抗癌剤耐性に関わる腸内細菌叢の網羅的探索	100,000	食道外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（B）	間質応答を利用したホルモン受容体陽性乳がんの治療戦略の構築	5,600,000	乳腺外科 上野貴之
文部科学省	基盤研究（B）	抗横紋筋抗体の病因論的自己抗体としての意義とPD-1ミオパチーの疾患概念の確立	200,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究（B）	がんクリニカルシーケンス解析に基づいた「骨軟部腫瘍分子標的」の作用機序解明	100,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	基盤研究（B）	個別化医療のための人工知能・深層学習に対する統計学的評価法の開発	150,000	臨床研究・開発センター 牛嶋大
文部科学省	基盤研究（C）	基礎研究解析データに基づく大腸がん治療薬の非網羅的バイオマーカー検証研究	1,000,000	消化器化学療法科 末永光邦
文部科学省	基盤研究（C）	抗VEGFR2抗体投与後早期のVEGF-A上昇の臨床的意義と新たな治療戦略の開発	500,000	消化器化学療法科 若槻尊
文部科学省	基盤研究（C）	体液試料からのオルガノイドによる化学療法の治療効果予測モデルの有用性	1,000,000	消化器化学療法科 大木暁
文部科学省	基盤研究（C）	人工知能を使用した上部消化管内視鏡における食道癌診断の検討	400,000	上部消化管内科 由雄敏之
文部科学省	基盤研究（C）	Radiogenomicsによる直腸がん放射線化学療法の効果予測マーカーの確立	1,300,000	大腸外科 福長洋介
文部科学省	基盤研究（C）	肥満合併食道癌における癌細胞-脂肪細胞間相互作用の解明と新規治療法の開発	900,000	食道外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（C）	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	100,000	食道外科 渡邊雅之
文部科学省	基盤研究（C）	遺伝子変異情報に基づいた大腸癌に対する新規治療戦略の開発	900,000	大腸外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（C）	ctDNAメチル化検出を実装する新たなアプローチによる大腸癌再発早期診断法の確立	300,000	大腸外科 長山聡
文部科学省	基盤研究（C）	非EBV非MSI-high食道胃接合部腺癌の免疫回避機構解明と新規免疫治療の開発	1,300,000	胃外科 井田智
文部科学省	基盤研究（C）	放射線照射により胃がん幹細胞に生じる免疫学的プロファイルの変化	900,000	胃外科 熊谷厚志
文部科学省	基盤研究（C）	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	100,000	食道外科 今村裕

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	基盤研究（C）	新規免疫治療創出を目指したMSI-low上部消化管腺癌の網羅的免疫・ゲノム解析	1,100,000	食道外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	飲酒喫煙が食道癌診療に及ぼすリスクの包括的評価における平均赤血球容積の意義	50,000	食道外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	活性化ストローマ細胞とのクロストークを介した炎症性発癌メカニズムの解明	50,000	食道外科 今村裕
文部科学省	基盤研究（C）	胆汁を用いたリキッドバイオプシーの確立と胆管がん術前診断への応用	1,600,000	肝胆膵外科 伊藤寛倫
文部科学省	基盤研究（C）	免疫ゲノム解析による直腸癌術前放射線化学療法の治療効果に寄与する免疫環境の解明	1,000,000	大腸外科 秋吉高志
文部科学省	基盤研究（C）	直腸癌微小リンパ節転移検出による革新的直腸癌治療戦略の構築	1,100,000	大腸外科 日吉幸晴
文部科学省	基盤研究（C）	バイオマーカーに沿ったスタチン併用大腸癌治療法の開発	50,000	大腸外科 日吉幸晴
文部科学省	基盤研究（C）	AIを用いたCTテクスチャ解析による大腸癌肝転移に対する化学療法の治療効果予測	50,000	大腸外科 日吉幸晴
文部科学省	基盤研究（C）	リキッドバイオプシーに基づく直腸癌術前放射線化学療法の効果予測法の開発	1,000,000	大腸外科 上野雅資
文部科学省	基盤研究（C）	子宮頸癌に対する本邦での低侵襲手術の再発リスク因子の検証	30,000	婦人科 金尾祐之
文部科学省	基盤研究（C）	レーザパルスジェットメスと血流画像計測を用いた形成外科皮弁形成術術中支援システム	50,000	形成外科 矢野智之
文部科学省	基盤研究（C）	前立腺癌に対する高線量率組織内照射の多施設プラットフォーム構築と国際共同研究開始	700,000	放射線治療部 吉岡靖生
文部科学省	基盤研究（C）	BRCAnessを利用した遺伝性乳がんの病原性予測・薬物療法効果予測法の確立	1,300,000	遺伝子診療部 吉田玲子
文部科学省	基盤研究（C）	子宮頸部腺系病変早期発見のための新しいAI細胞診の確立	2,000,000	細胞診断部 杉山裕子
文部科学省	基盤研究（C）	腎細胞がんにおける炎症と免疫の関連メカニズムの解明とその新規免疫療法への応用	100,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	挑戦的研究(萌芽)	人工知能（AI）の利用がもたらす生命倫理問題—全体像把握と今後の研究方向提示	200,000	上部消化管内科 平澤俊明
文部科学省	挑戦的研究(萌芽)	骨軟部腫瘍の「小胞体ストレス」機能解析に基づいた新規治療法開発	50,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
文部科学省	若手研究	EGFR-C797S/T790M変異による多剤耐性の検出と克服の分子基盤研究	1,200,000	呼吸器内科 内堀健
文部科学省	若手研究	nCounterを用いた遺伝子発現解析による肺扁平上皮癌と頭頸部癌肺転移の鑑別	2,200,000	呼吸器外科 一瀬淳二
文部科学省	若手研究	IPF合併肺癌の機序解明につながる非侵襲的Exosome解析	2,000,000	呼吸器外科 山道亮
文部科学省	若手研究	Development of training and simulation programs for tracheobronchial reconstruction surgery using a three-dimensional operable airway model from clinical computed tomography data	1,639,734	呼吸器外科 橋本浩平
文部科学省	若手研究	乳がんにおけるIL17RBの細胞生物学的・腫瘍免疫学的・臨床的意義の解明	1,000,000	乳腺内科 尾崎由記範
文部科学省	若手研究	スマートデバイスを用いたマイクロサージャリートレーニングシステムの開発	700,000	形成外科 辛川領
文部科学省	若手研究	肉腫における腫瘍内免疫応答の解析に基づく最適な複合的免疫療法の検討	1,500,000	総合腫瘍科 佐藤靖祥
文部科学省	若手研究	若年発症舌がんに対する臨床的特徴と遺伝学的背景に関する検討	1,300,000	総合腫瘍科 大本晃弘
文部科学省	若手研究	子宮頸がん放射線治療におけるラジオミクス解析と標的体積縮小モデルの構築	800,000	放射線治療部 中野正寛
文部科学省	若手研究	微小肺血管計測による肺移植後慢性拒絶反応の早期診断法の開発	2,128,032	画像診断部 佐藤嘉尚

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
文部科学省	若手研究(B)	乳癌における免疫モニタリングと新規免疫治療の開発	900,000	総合腫瘍科 小野麻紀子
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	次世代シークエンサーによる網羅的がん関連遺伝子パネル解析を用いたHER2遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌に対する治療開発を目指した研究	1,000,000	呼吸器内科 柳谷典子
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	腎機能低下時、軽体重時におけるオシメルチニブ療法の薬物動態、用量反応関係を検討する第1相試験	250,000	呼吸器内科 北園聡
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	EGFR 遺伝子変異陽性の進行非小細胞肺癌におけるEGFR 阻害薬耐性機序 (C797S 耐性変異) を克服する新規治療法の確立を目指した研究	2,000,000	呼吸器内科 内堀健
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	切除不能局所進行食道扁平癌を対象とした化学放射線療法後の逐次治療としての抗PD-1抗体薬療法の安全性・有効性・proof-of-concept (POC)を検討する多施設共同臨床第 I b/ II 相試験	2,000,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	SCRUM-Japanの基盤を活用した血液循環腫瘍DNAスクリーニングに基づくFGFR遺伝子異常を有する難治性の治癒切除不能な進行・再発固形がんに対するTAS-120のバスケット型医師主導治験	1,200,000	消化器化学療法科 篠崎英司
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	急速進行性がん患者・家族と医師の共感的コミュニケーション促進のための統合支援プログラムの有効性を検証する無作為化比較試験	990,000	肝胆脾内科 尾阪将人
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	臨床病期I/II/III食道癌 (T4を除く) に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第III相試験	100,000	食道外科 渡邊雅之
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	局所進行胃癌に対する術前科学療法の有効性を検証する臨床第Ⅲ相試験	300,000	胃外科 布部創也
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	100,000	胃外科 大橋学
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	日本人BRCA未発症変異保持者に対する乳癌リスク低減手法の開発研究	1,630,000	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	早期転移発見による予後の向上を目指した乳がん術後の新たな標準的フォローアップ法開発に関する研究	300,000	乳腺外科 坂井威彦
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	300,000	整形外科 阿江啓介
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	遺伝子組み換え麻疹ウイルスを用いた抗がんウイルス療法の臨床研究	10,000,000	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	Stage I/II舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するための多施設共同臨床試験	1,000,000	頭頸科 福島啓文
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	650,000	総合腫瘍科 高橋俊二
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	乳房再建におけるアウトカム指標の確立と科学的根拠に基づいた患者意思決定支援	698,400	形成外科 矢野智之
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	61,539	頭頸科 三谷浩樹
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	放射線治療の品質管理、ISRTの標準手順の確立	55,000	放射線治療部 小口正彦
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	TCR多様性に基づく免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測に関する研究	100,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
日本医療研究開発機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究事業	難治性神経芽腫に対する分化誘導療法併用下でのエピソードゲネティック治療開発	2,000,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療創生研究事業	がん細胞および免疫応答解析に基づく免疫療法効果予測診断法の確立	26,923,077	呼吸器内科 西尾誠人
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療創生研究事業	N G S 技術を駆使した遺伝学的解析にせる家族性乳がんの原因遺伝子と同定と標準化医療構築	45,512,308	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構 (AMED)	次世代がん医療創生研究事業	メチル化ctDNAにより大腸がん根治術後補助療法モニタリング・システムの開発	1,000,000	大腸外科 長山聡

受託元	種目/項目	研究テーマ	金額	研究者
日本医療研究開発機構（AMED）	次世代がん医療創生研究事業	腸内細菌を指標とした大腸がんスクリーニング方法の確立とそのがん予防への応用 / 腸内細菌を利用した大腸がんの早期診断方法及び発症リスク評価方法の開発	5,500,000	大腸外科 長山聡
日本医療研究開発機構（AMED）	次世代がん医療創生研究事業	ヒト腫瘍組織、正常組織の採取と解析試料作成と腫瘍浸潤各種免疫担当細胞の解析	2,615,385	がん免疫治療開発部 北野滋久
日本医療研究開発機構（AMED）	橋渡し研究戦略的推進プログラム	シリーズA123 乳がん温存手術における乳房形態の三次元予測システムの開発	1,000,000	乳腺外科 上野貴之
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	産学連携全国がんゲノムスクリーニング（SCRUM Japan）患者レジストリを活用した BRAF 遺伝子変異陽性切除不能進行・再発大腸がんを対象にした医師主導治験	1,000,000	消化器化学療法科 山口研成
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	医師主導治験の実施（症例登録及びプロトコル遂行）	2,000,000	婦人科 温泉川真由
日本医療研究開発機構（AMED）	臨床研究・治験推進研究事業	京都大学大学院における臨床統計教育のための教育カリキュラムの標準化のための研究開発	769,230	企画品質管理部 石塚直樹
日本医療研究開発機構（AMED）	中央IRB促進事業	教育プログラムの開発・検討	700,000	臨床研究開発センター 山原有子
日本医療研究開発機構（AMED）	感染症実用化研究事業	思春期女性へのHPVワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	100,000	婦人科 金尾祐之
日本医療研究開発機構（AMED）	未来医療を実現する医療機器・システム研究開発事業	直径1mmの血管吻合を容易にする顕微鏡下手術支援ロボットシステムの研究開発	500,000	乳腺センター 大野真司
日本医療研究開発機構（AMED）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	免疫応答モニタリングによるがん免疫の全容理解に基づく新規層別化マーカーの開発	30,000,000	がん免疫治療開発部 北野滋久
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	600,000	胃外科 布部創也
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	外科手術前後補助薬物療法早期臨床試験の研究体制確立に関する研究	200,000	肝胆膵外科 伊藤寛倫
国立がん研究センター	国立がん研究センター研究開発費	成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	2,500,000	核医学部 寺内隆司
国立国際医療研究センター	国際医療研究開発事業	膵癌の微小環境と化学療法効果予測の検討から膵癌予後改善を目指したヒト免疫臨床研究	2,000,000	肝胆膵外科 小野 嘉大
上原記念生命科学財団	研究助成金（健康科学・医学・薬学）	革新的質量分析法による食道腺癌の免疫回避機序の解明	5,000,000	食道外科 渡邊雅之
冲中記念成人病研究所	2020年度研究助成	頭頸部原発神経内分泌がんの遺伝学的背景に関する研究	1,000,000	総合腫瘍科 大本晃弘
大和証券ヘルス財団	令和2年度（第47回）調査研究助成 医学・医療	FRAFV600E変異陽性大腸癌オルガノイドを用いたEGFR、BRAF及びMAPK阻害の耐性に関わるバイオマーカーの解明	1,000,000	消化器化学療法科 大隅寛木
がん研究振興財団	がん研究助成金A課題	ヒトにおけるCDK4/6阻害剤のオフターゲット効果としての抗腫瘍免疫活性化能の評価と新規免疫療法の開発	1,000,000	乳腺内科 小林隆之
日本胃癌学会	混合型組織に対するESDに関する研究	未分化型優位混合型癌におけるリンパ節転移のリスクとなる病理学的因子と内視鏡的切除の更なる適応拡大に関する研究	750,000	上部消化管内科 堀内裕介

12. 学術研究講演

回	日付	開催時間	演題	発表者
第300回	2021年3月16日	18:00～19:00	2020年度 Best English Paper 受賞記念講演会	
			【ゴールド賞】	
			T-cell complexity and density are associated with sensitivity to neoadjuvant chemoradiotherapy in patients with rectal cancer.	大腸外科 秋吉高志医師
			【シルバー賞】	
			Histopathologic analysis of signet-ring cell carcinoma in situ in patients with hereditary diffuse gastric cancer.	病理部 柘野佑太医師
			Two distinct tumorigenic processes in endometrial endometrioid adenocarcinoma.	婦人科 杉山裕子医師
			【ブロンズ賞】	
			Artificial intelligence-based diagnostic system classifying gastric cancer and ulcer: Comparison between the original and newly developed systems.	上部消化管内科 並河健医師
			Survival in cytologically proven node-positive breast cancer patients with nodal pathological complete response after neoadjuvant chemotherapy.	乳腺外科 稲荷均医師
			Multicenter phase II study of trastuzumab with S-1 plus oxaliplatin for chemotherapy-naïve, HER2-positive advanced gastric cancer.	消化器化学療法科 高張大亮医師
			Immunogenic characteristics of microsatellite instability-low esophagogastric junction adenocarcinoma based on clinicopathological, molecular, immunological and survival analyses.	食道外科 今村裕医師

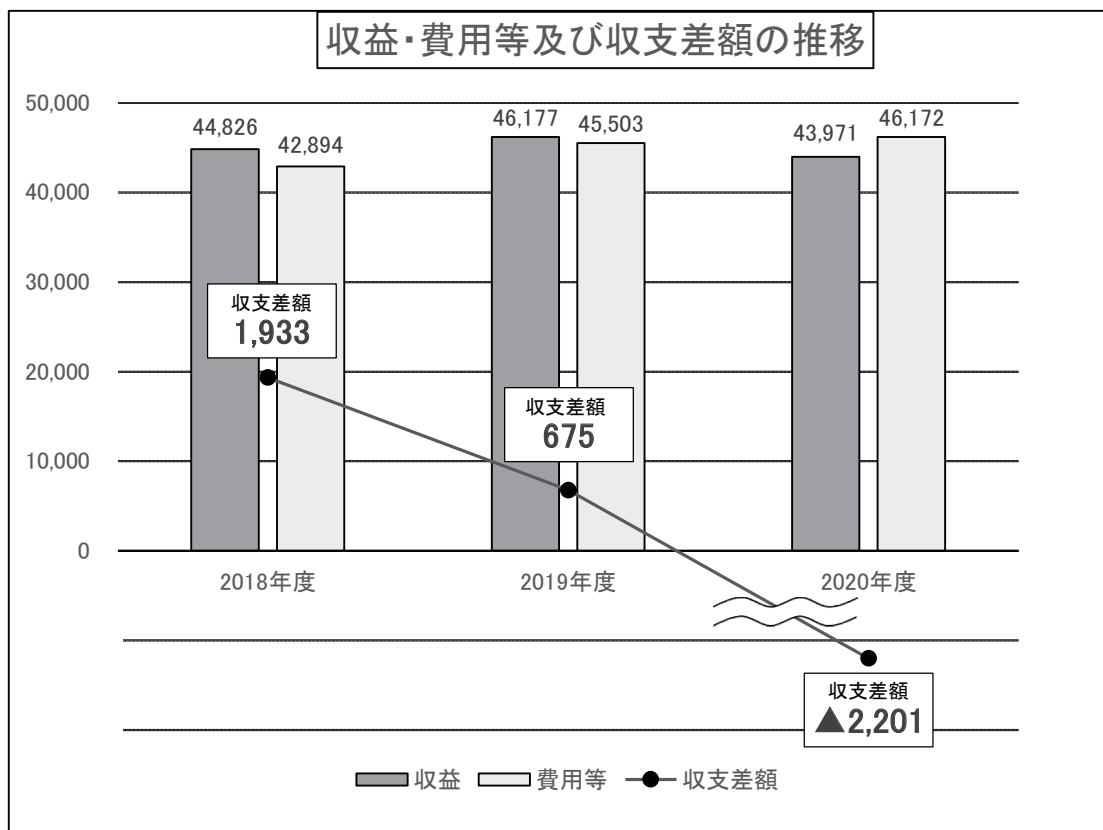
13. 財政状況

2018～2020年度 正味財産増減計算書(3か年度分) 2018年4月1日～2021年3月31日

(単位:百万円)

科 目	2018年度	2019年度	2020年度
経常増減の部			
経常収益			
基本財産運用益	3	3	3
事業収益	42,773	44,116	42,000
受取補助金等	412	458	933
受取負担金	268	426	9
受取寄付金	956	715	617
雑収益	415	459	408
合計	44,826	46,177	43,971
経常費用			
事業費	41,929	44,525	45,214
管理費	954	950	872
合計	42,883	45,475	46,087
評価損益等 計	▲ 10	▲ 25	▲ 1
当期経常増減額	1,934	677	▲ 2,116
経常外増減の部			
当期経常外増減額	▲ 1	▲ 2	▲ 85
当期 正味財産増減額	1,933	675	▲ 2,201

※ 端数処理のため、合計額が合わないことがあります。





公益財団法人 **がん研究会**